

『障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)』

報告書

令和3年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

本報告書は、スポーツ庁の障害者スポーツ推進プロジェクト委託事業として、株式会社リベルタス・コンサルティングが実施した令和2年度「障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

目次

1 調査概要	1
1. 調査目的.....	3
2. 調査内容.....	3
3. 有識者会議の設置	4
2 障害児・者のスポーツライフに関する調査	7
1. 調査概要.....	10
2. 調査結果及び分析	12
3 障害者スポーツ施設等における障害者スポーツ用具の保有・貸出状況等の調査	107
1. 調査概要.....	110
2. 調査結果及び分析	112
4 障害者スポーツ用具の貸出状況調査 ヒアリング調査結果	149
5 障害者スポーツ用具の貸出対応施設・協会・団体一覧	168

図表目次

2 障害児・者のスポーツライフに関する調査

図表 2-1	回答者の居住地.....	11
図表 2-2	回答者の年齢	11
図表 2-3	回答者の性別	11
図表 2-4	本人及び同居する家族における障害児・者の有無（複数回答）	12
図表 2-5	年齢.....	13
図表 2-6	性別.....	13
図表 2-7	障害の種類（複数回答）	14
図表 2-8	単一障害・重複障害の比率.....	15
図表 2-9	障害者手帳の保有状況（複数回答）	16
図表 2-10	障害者手帳の保有状況（障害種別）（複数回答）	17
図表 2-11	障害者手帳の保有状況（年齢別）（複数回答）	17
図表 2-12	障害が発生した年齢.....	18
図表 2-13	障害福祉サービスの利用状況（複数回答）	19
図表 2-14	障害福祉サービスの利用状況（障害種別）（複数回答）	19
図表 2-15	移動支援サービスの利用状況	20
図表 2-16	移動支援サービスの利用状況（障害種別）	20
図表 2-17	所属する（していた）学校の種別	21
図表 2-18	所属する（していた）学校の種別（障害種別）	22
図表 2-19	所属する学校の種別（現在の年齢別）（18歳以下のみ）	24
図表 2-20	所属する（していた）学校の種別（障害種別）	25
図表 2-21	所属する（していた）学校の種別（障害種別）	26
図表 2-22	所属する（していた）学校の種別（障害種別）	27
図表 2-23	過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無	28
図表 2-24	過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無（障害種別） ..	28
図表 2-25	過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無（障害種別・性別）	29
図表 2-26	過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無（障害程度別）	29

図表 2-27 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無(障害程度別・性別)	30
.....
図表 2-28 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無 (過去との比較)	30
.....
図表 2-29 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数	31
図表 2-30 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数 (性別)	32
図表 2-31 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数	33
図表 2-32 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数	35
図表 2-33 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無	37
図表 2-34 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数 (発生年齢別)	38
.....
図表 2-35 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数(発生年齢別・性別)	39
.....
図表 2-36 過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション(障害種別:N=3,667) (複数回答)	41
図表 2-37 過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション(障害種別・7~19 歳 : N=557) (複数回答)	42
図表 2-38 過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション(障害種別・成人:N=3,110) (複数回答)	43
図表 2-39 過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション(障害発生年齢別 : N=3,667)	44
図表 2-40 スポーツ・レクリエーション種目 (実施率上位 30 種目) の年平均実施回数	45
.....
図表 2-41 スポーツ・レクリエーション種目 (実施率上位 30 種目) の年平均実施回数	46
.....
図表 2-42 スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ (複数回答)	47
図表 2-43 スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ (複数回答)	48
図表 2-44 スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ (複数回答)	49
図表 2-45 スポーツ・レクリエーションを実施する主な目的	50
図表 2-46 スポーツ・レクリエーションを実施する主な目的	50

図表 2-47	スポーツ・レクリエーションを実施する主な目的（障害種別）（年度比較）	51
図表 2-48	スポーツ・レクリエーションをやってよかったこと（複数回答）	52
図表 2-49	スポーツ・レクリエーションをやってよかったこと（複数回答）（障害種別） （スポーツ実施者のみ）	53
図表 2-50	スポーツ・レクリエーションをやってよかったこと（複数回答）（障害種別） 【重度】（スポーツ実施者のみ）	54
図表 2-51	運動・スポーツがもたらすと考えられるもの（複数回答）	55
図表 2-52	現在のスポーツ・レクリエーションへの取組	56
図表 2-53	現在のスポーツ・レクリエーションへの取組	57
図表 2-54	現在のスポーツ・レクリエーションへの取組（障害種別）	58
図表 2-55	現在のスポーツ・レクリエーションへの取組（性別）	59
図表 2-56	現在のスポーツ・レクリエーションへの取組（年齢別）	59
図表 2-57	スポーツ・レクリエーションを行っている施設（複数回答）	60
図表 2-58	スポーツ・レクリエーションを行っている施設（障害種別）（複数回答）	61
図表 2-59	スポーツ施設までの移動手段（障害種別）（複数回答）	62
図表 2-60	スポーツ施設での実施日数(障害種別)	63
図表 2-61	障害者スポーツ用具の利用の有無（障害種別：肢体不自由のみ）（複数回答）	64
図表 2-62	障害者スポーツ用具を利用したことがない理由	65
図表 2-63	障害者スポーツ用具を利用したことがない理由	66
図表 2-64	障害者スポーツ用具を借りた経験の有無	67
図表 2-65	借りたことのある障害者スポーツ用具	68
図表 2-66	障害者スポーツ用具の購入経験の有無	69
図表 2-67	購入したことがある障害者スポーツ用具	70
図表 2-68	スポーツ・レクリエーションの実施の障壁（複数回答）	71
図表 2-69	スポーツ・レクリエーションの実施の障壁	72
図表 2-70	スポーツ・レクリエーションの実施の障壁（障害種別）（複数回答）	73
図表 2-71	スポーツ・レクリエーションを実施しない理由（複数回答）	74

図表 2-72	スポーツ・レクリエーションを実施しない理由（複数回答）（障害種別）	75
図表 2-73	今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーション（障害種別・N=2,653）	77
図表 2-74	スポーツクラブや同好会への加入	78
図表 2-75	スポーツクラブや同好会への加入（障害種別）	78
図表 2-76	加入しているスポーツクラブや同好会・サークルの主な形態	79
図表 2-77	加入しているスポーツクラブや同好会・サークルの主な形態（障害種別）	80
図表 2-78	加入しているスポーツクラブや同好会・サークルの主な形態（障害種別） 【重度】	81
図表 2-79	加入しているスポーツクラブや同好会・サークルへの参加状況	82
図表 2-80	過去 1 年間のスポーツ観戦の有無（複数回答）（障害種別）【直接観戦】	83
図表 2-81	過去 1 年間のスポーツ観戦の有無（複数回答）（障害種別）【テレビ観戦】	84
図表 2-82	過去 1 年間のスポーツ観戦の有無（複数回答）（障害種別）	85
図表 2-83	スポーツを観戦しなかった理由（複数回答）	86
図表 2-84	スポーツを観戦しなかった理由（複数回答）（障害種別）	86
図表 2-85	e スポーツの経験（複数回答）	87
図表 2-86	e スポーツの経験（複数回答）（障害種別）	87
図表 2-87	学校体育の参加状況（年齢 18 歳以下のみ／年齢別）	88
図表 2-88	学校体育の参加状況（年齢 18 歳以下のみ／学校種別）	89
図表 2-89	学校体育の参加状況（年齢 18 歳以下のみ）（障害種別）	90
図表 2-90	学校体育を楽しんでいたか（学校体育に参加していたと回答した人のみ）	91
図表 2-91	学校体育を楽しんでいたか（スポーツの実施・非実施別）	91

3 障害者スポーツ施設等における障害者スポーツ用具の 保有・貸出状況等の調査

図表 3-1	回答者団体の所在地.....	111
図表 3-2	回答者の所属	111
図表 3-3	貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況 (n=177)	112
図表 3-4	貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況 (属性種別)	112
図表 3-5	貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由 (複数回答) (n=79)	113
図表 3-6	貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由 (複数回答) (属性種別)	114
図表 3-7	障害者スポーツ用具の貸出条件 (n=97)	116
図表 3-8	障害者スポーツ用具の貸出条件 (属性種別)	116
図表 3-9	障害者スポーツ用具の貸出対象者 (複数回答) (n=97)	118
図表 3-10	障害者スポーツ用具の貸出対象者 (複数回答) (属性種別)	118
図表 3-11	障害者スポーツ用具の貸出手続き (複数回答) (n=97)	120
図表 3-12	障害者スポーツ用具の貸出手続き (複数回答) (属性種別)	120
図表 3-13	貸出する障害者スポーツ用具の利用目的 (複数回答) (n=97)	122
図表 3-14	貸出する障害者スポーツ用具の利用目的 (属性種別).....	123
図表 3-15	障害者スポーツ用具の使用方法的指導状況 (n=97)	124
図表 3-16	障害者スポーツ用具の使用方法的指導状況(属性種別).....	124
図表 3-17	使用方法的指導を行うスタッフの雇用形態 (複数回答) (n=57)	125
図表 3-18	使用方法的指導を行うスタッフの雇用形態 (属性種別).....	125
図表 3-19	使用方法的指導を行うスタッフの保有資格 (複数回答) (n=57)	127
図表 3-20	使用方法的指導を行うスタッフの保有資格 (属性種別)	128
図表 3-21	障害者スポーツ用具のメンテナンス状況 (n=97)	130
図表 3-22	障害者スポーツ用具のメンテナンス状況 (属性種別)	130
図表 3-23	メンテナンスを行うスタッフの雇用形態 (複数回答) (n=73)	131
図表 3-24	メンテナンスを行うスタッフの雇用形態 (属性種別).....	132
図表 3-25	メンテナンスを行うスタッフの保有資格 (複数回答) (n=73)	133
図表 3-26	メンテナンスを行うスタッフの保有資格 (属性種別)	134

図表 3-27	貸出情報の周知方法（複数回答）（n=97）	135
図表 3-28	貸出情報の周知方法（属性種別）	136
図表 3-29	障害者スポーツ用具の貸出における問題点（複数回答）（n=97）	137
図表 3-30	障害者スポーツ用具の貸出における問題点（属性種別）	138

1 調査概要

1 調査概要

1. 調査目的

スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、日本各地において障害者が健常者と同様にスポーツに親しめるようにするためには、各地域で抱える課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備を図ることが不可欠である。

平成 29 年 3 月に策定された「第 2 期スポーツ基本計画」においても、障害者スポーツ振興のための体制や方策の充実を重点的に盛り込んでいる。

このことから、本事業では、障害者がスポーツに参加するに当たっての阻害要因や促進要因を障害種別や程度別に把握した上で分析するなどの調査研究を実施することにより、障害者のスポーツ参加促進に資することを目的とする。

2. 調査内容

(1) 障害児・者のスポーツライフに関する調査

全国の障害者及び障害者を家族に持つ方々を対象として、障害に関する基本情報、スポーツ・レクリエーションの実施状況（実施種目、頻度、目的等）、スポーツ実施における障壁、今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーション、スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況、過去 1 年間のスポーツ観戦の実態、スポーツ観戦における障壁等を調査した。

(2) 障害者スポーツ施設等における障害者スポーツ用具の保有・貸出状況等の調査

スポーツ車椅子、スポーツ義足等の用具を利用してスポーツを実施することを希望する障害者を対象に、これらの障害者スポーツ用具の地域の保有資源を有効活用してスポーツを実施できる仕組みを構築するため、障害者スポーツ施設やスポーツ団体等における、スポーツ車椅子、スポーツ義足等の用具の利用を希望する障害者を対象とした用具をシェアする仕組みの有無に係る調査を実施した。

3. 有識者会議の設置

(1) 有識者委員名簿

太田 澄人	長野県障がい者福祉センタースポーツ課	係長
	日本障がい者スポーツ協会	技術委員会 推進部会長
藤田 紀昭	日本福祉大学	スポーツ科学部 教授
	日本障がい者スポーツ協会	技術委員会 育成部会長
細川 諭	神奈川県スポーツ局スポーツ課	課長代理 (スポーツ振興担当)
雪下 岳彦	順天堂大学	医学部・スポーツ健康科学部 非常勤講師

(2) 有識者会議概要

第一回 日時	令和2年11月11日(水) 14時~16時
開催場所	オンライン (Zoom)
議題	(1) 調査趣旨・内容について (2) 「障害児・者のスポーツライフに関する調査」アンケート調査項目について (3) 「障害者スポーツ施設等における障害者スポーツ用具の保有・貸し出し状況等の調査」調査票について (4) その他

第二回 日時	令和3年1月25日(月) 14時~16時
開催場所	オンライン (Zoom)
議題	(1) アンケート調査結果(速報値)について (2) 障害者スポーツ用具の貸出状況調査について (3) その他

第三回 日時	令和3年3月17日(水) 14時~16時
開催場所	オンライン (Zoom)
議題	(1) 報告書(案)について (2) その他

2 障害児・者のスポーツライフに関する調査

主な調査結果

週 1 日以上スポーツ・レクリエーションの実施は、7～19 歳が 27.9%、成人が 24.9%

障害児・者が週 1 日以上、何らかのスポーツ・レクリエーションを実施していたのは 7～19 歳が 27.9%、成人が 24.9%だった。障害種別では、7～19 歳では内部障害は約 4 割が週 1 日以上スポーツ・レクリエーションを実施しているのに対し、肢体不自由（車椅子不要）では 13.8%であった(図表 2-32)。

過去 1 年間に実施したスポーツ・レクリエーションの上位種目は、「ウォーキング」「散歩（ぶらぶら歩き）」

過去 1 年間にスポーツ・レクリエーションを実施した人が行った種目は、「ウォーキング」「散歩（ぶらぶら歩き）」の割合が高い(図表 2-36)。

スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ

スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけは、「特に理由はない・なんとなく」が約 4 割だが、障害種別にみると、肢体不自由は「作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・看護師等からの奨め」の割合が他より高い(図表 2-43)。

スポーツ・レクリエーションを行う主な目的は、「健康の維持・増進のため」

スポーツ・レクリエーションを行う目的は、主に「健康の維持・増進のため」であった。障害種別にみると、知的障害・発達障害・精神障害は「気分転換・ストレス解消のため」の割合が約 2 割と他の障害種別より高くなっている(図表 2-47)。

スポーツ実施者は「学校体育を楽しんでいた」割合が高い

「学校体育を楽しんでいたかどうか」が、その後のスポーツ・レクリエーションの実施状況にあたる影響についてみると、学校体育に参加した者のうち、スポーツ実施者は「学校体育を楽しんでいた」割合が非実施者に比べて高い(図表 2-91)。

障害者スポーツ用具は「利用したことがない」が約 8 割

障害者スポーツ用具の利用状況は、「利用したことがない」割合が全体の 8 割である(図表 2-61)。

2 障害児・者のスポーツライフに関する調査

1. 調査概要

1-1 調査目的

本調査は、全国の障害児・者のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況やニーズを把握し、今後の障害児・者へのスポーツ環境の提供に関する基礎情報を得ることを目的とする。

1-2 調査方法及び回収結果

(1) 調査方法

無記名式のインターネット方式

(2) 調査内容

主な調査項目は、以下のとおりである。

- ・障害児・者の基本情報（障害の種類、障害者手帳の保有状況など）
- ・スポーツ・レクリエーションの実施状況（実施種目、頻度、施設、目的など）
- ・スポーツ・レクリエーションの実施における障害
- ・障害者スポーツ用具の利用状況
- ・今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーション
- ・スポーツクラブや同好会・サークルへの加入
- ・過去1年間のスポーツ観戦

(3) 調査対象及び回収結果

インターネット調査会社が保有するリサーチモニターのうち、以下に該当する者を調査対象とした。

- ・障害児・者本人あるいは同居する家族で障害児・者がいる
- ・障害児がいる場合、7歳以上である

該当する回答者は5,560人であった。兄弟、姉妹、第4子以降の子で障害児・者が複数いる場合は、それぞれ年齢が一番上の者についてのみ、回答を依頼した。その結果、回答者本人及び同居する家族内の障害児・者を含めた障害児・者の総数は7,807人であった。

図表 2-1 回答者の居住地

[N=5,560]

居住地	%
北海道地方	5.2%
東北地方	5.1%
関東地方	40.4%
中部地方	14.4%
近畿地方	20.1%
中国地方	4.9%
四国地方	2.5%
九州地方	7.4%

図表 2-2 回答者の年齢

[N=5,560]

年齢	%
19歳以下	1.6%
20～29歳	8.1%
30～39歳	15.7%
40～49歳	24.7%
50～64歳	36.5%
65～74歳	11.1%
75歳以上	2.4%

図表 2-3 回答者の性別

[N=5,560]

性別	%
男性	59.6%
女性	40.0%

(4) 調査期間

令和2年12月18日（金）～令和2年12月24日（木）

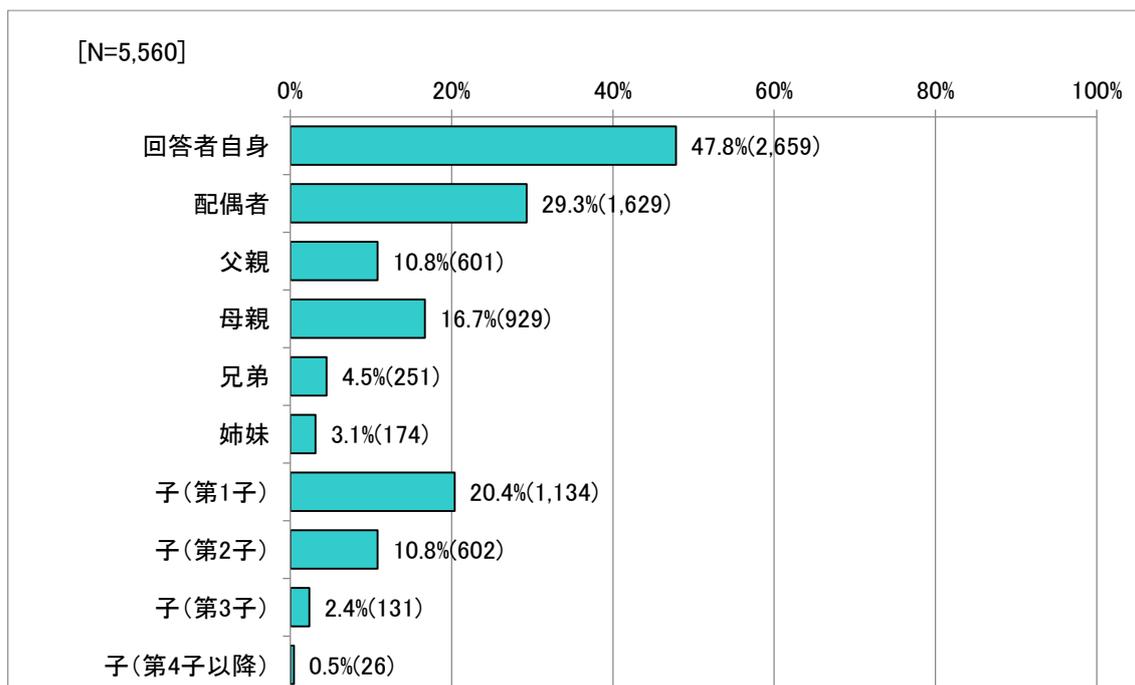
2. 調査結果及び分析

2-1 障害児・者の属性

(1) 本人あるいは同居する家族における障害児・者の有無

回答者本人あるいは同居する家族に障害児・者がいるかについて、「回答者自身」(47.8%)が最も多く、次いで「配偶者」(29.3%)、「子(第1子)」(20.4%)であった。(図表 2-4)。

図表 2-4 本人及び同居する家族における障害児・者の有無 (複数回答)

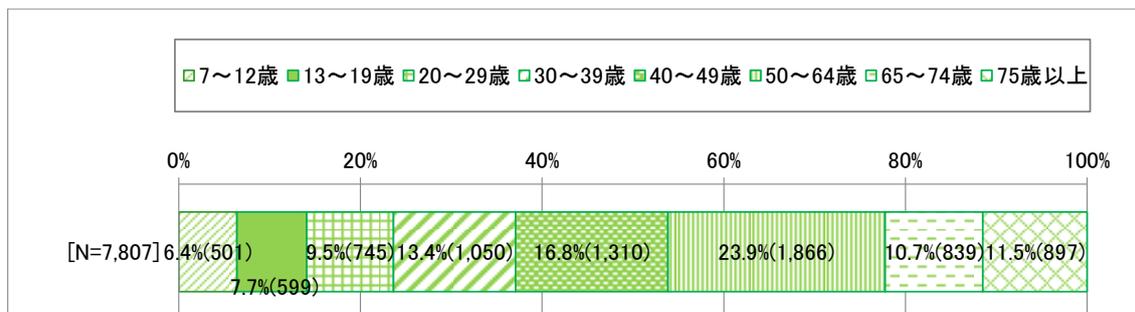


以後の報告では、障害児・者本人及び同居する障害児・者 7,807 人に関する回答結果を示す。

(2) 年齢

年齢は 7～19 歳が 14.1%、20～64 歳が 63.7%、65 歳以上が 22.2%であった (図表 2-5)。

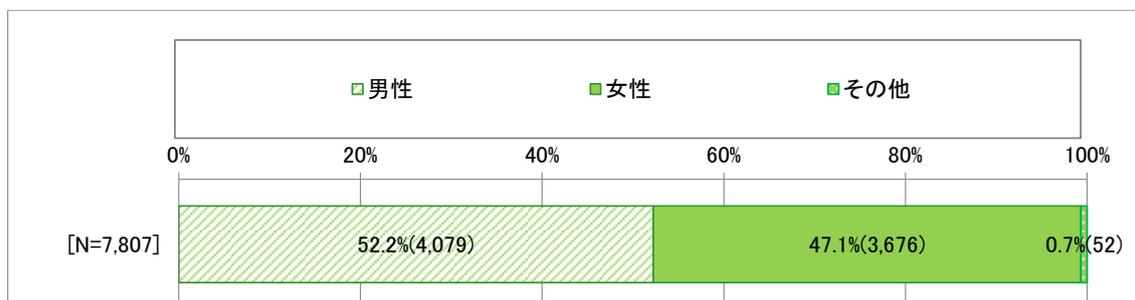
図表 2-5 年齢



(3) 性別

性別は、「男性」が 52.2%、「女性」が 47.1%、「その他」が 0.7%であった (図表 2-6)。

図表 2-6 性別

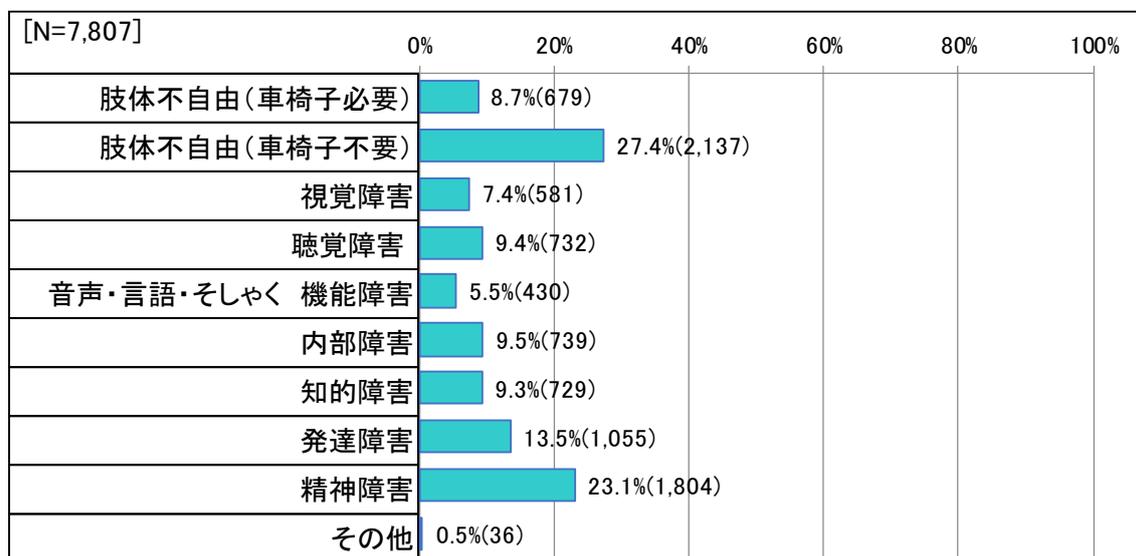


(4) 障害の種類

障害の種類は、「肢体不自由」が最も多く、日常生活で車椅子を必要とする人(8.7%)と必要としない人(27.4%)を合わせると、36.1%となり回答者の3分の1強を占めた。以下、「精神障害」(23.1%)、「発達障害」(13.5%)、「内部障害」(9.5%)、「知的障害」(9.3%)と続く(図表 2-7)。

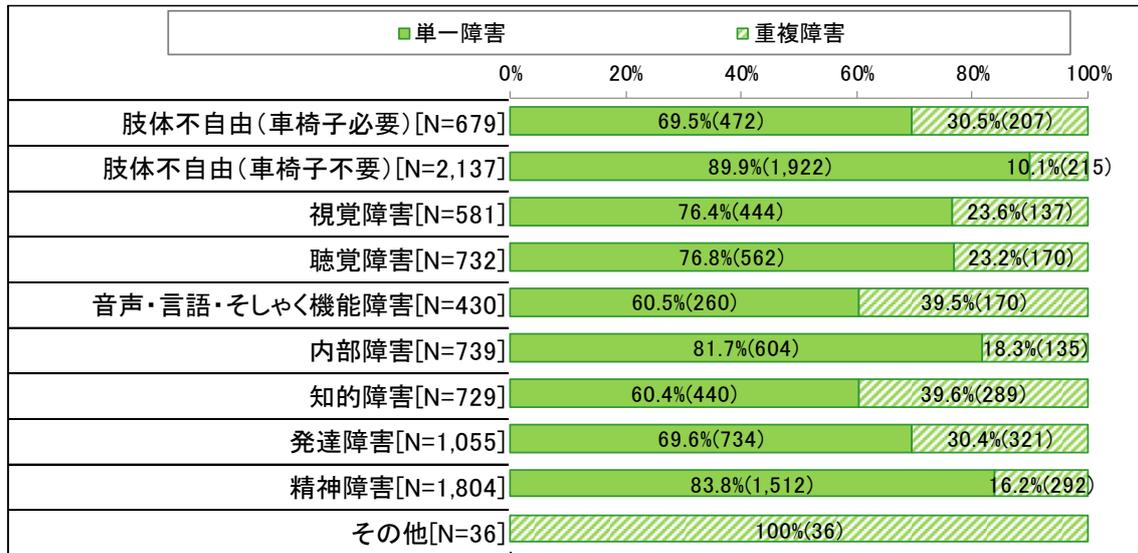
重複障害の割合を障害種別に見ると、障害種別で見た、重複障害の割合は、図表 2-8 のとおり(図表 2-8)。

図表 2-7 障害の種類 (複数回答)



※車椅子必要／不要とは、日常生活で車椅子を必要とする／必要としないこと。(以下同じ)

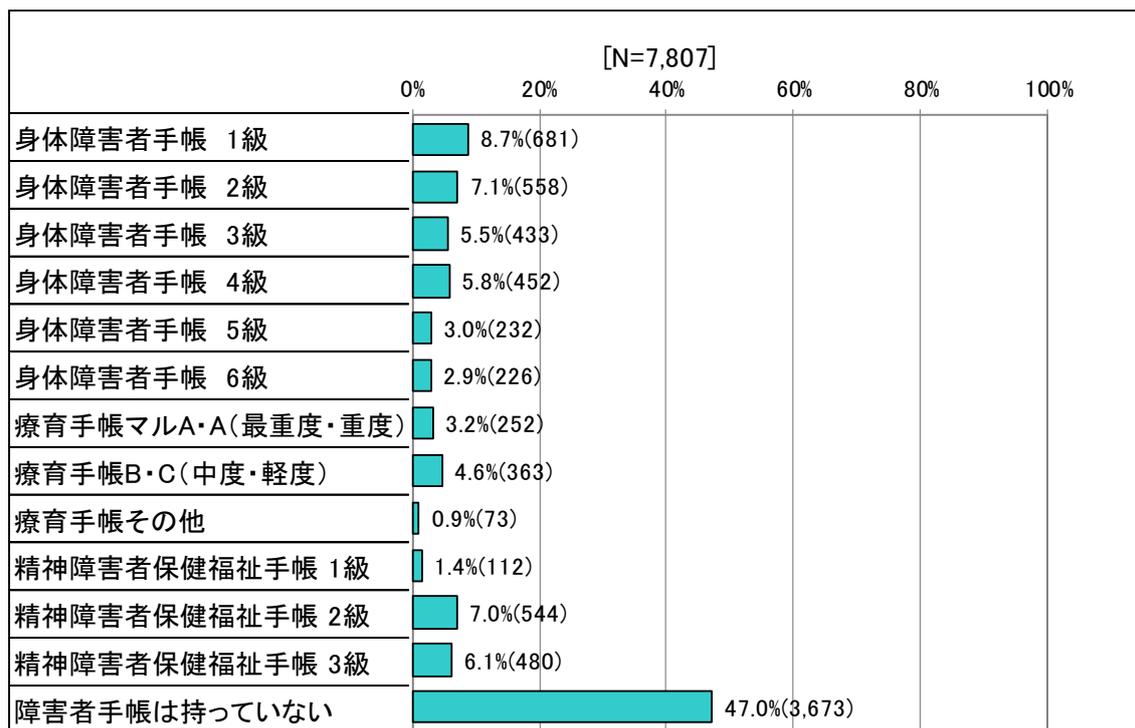
図表 2-8 単一障害・重複障害の比率



(5) 障害者手帳の保有状況

障害者手帳の保有状況について、「障害者手帳は持っていない」(47.0%)であった。障害者手帳を持っている人の中では、「身体障害者手帳 1級」(8.7%)が最も多かった。次いで、「身体障害者手帳 2級」(7.1%)「精神障害者保健福祉手帳 2級」(7.0%)となっている(図表 2-9)。

図表 2-9 障害者手帳の保有状況 (複数回答)



図表 2-10 障害者手帳の保有状況（障害種別）（複数回答） (%)

	(車椅子不自由)	(車椅子不自由)	視覚障害	聴覚障害	音声・言語・ 機能障害	内部障害	知的障害	発達障害	精神障害	その他
	N=679	N=2,137	N=581	N=732	N=430	N=739	N=729	N=1,055	N=1,804	N=36
身体障害者手帳 1級	28.0	5.7	13.3	8.1	14.0	33.6	9.1	3.5	2.0	11.1
身体障害者手帳 2級	16.9	9.5	12.6	12.4	8.8	4.7	6.2	2.3	3.1	16.7
身体障害者手帳 3級	8.4	7.1	6.2	7.7	9.8	8.0	4.8	3.0	2.3	8.3
身体障害者手帳 4級	6.8	9.0	6.4	9.8	7.9	10.7	2.1	0.9	1.2	13.9
身体障害者手帳 5級	4.0	4.2	6.5	3.4	5.8	3.2	2.1	1.6	1.1	2.8
身体障害者手帳 6級	1.5	3.8	5.0	8.6	2.3	2.8	2.2	0.7	0.6	5.6
療育手帳マルA・A(最重度・重度)	4.6	1.3	2.1	1.9	5.1	2.3	23.6	5.8	0.9	0.0
療育手帳B・C(中度・軽度)	1.3	0.7	1.0	1.6	3.0	1.6	32.2	14.6	2.2	0.0
療育手帳その他	0.7	0.4	1.0	0.8	1.4	0.8	3.4	1.9	0.3	0.0
精神障害者保健福祉手帳 1級	1.3	0.4	0.3	0.8	0.7	0.8	2.5	1.7	4.4	0.0
精神障害者保健福祉手帳 2級	2.5	0.6	2.6	1.2	2.1	1.6	3.2	10.0	24.7	13.9
精神障害者保健福祉手帳 3級	1.0	0.9	1.7	1.5	2.3	1.8	2.1	11.3	19.1	2.8
障害者手帳は持っていない	33.1	59.2	46.1	48.1	44.2	33.2	19.6	48.0	41.7	30.6

※重複障害の場合は、該当の障害全ての数値に含む。

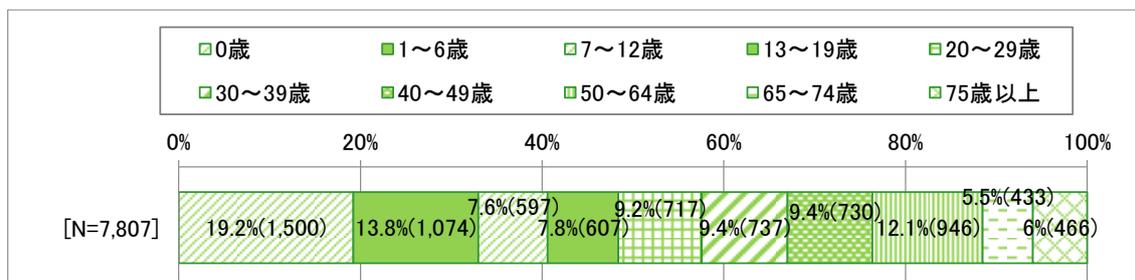
図表 2-11 障害者手帳の保有状況（年齢別）（複数回答） (%)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
	N=1,100	N=745	N=1,050	N=1,310	N=1,866	N=839	N=897
身体障害者手帳 1級	5.6	7.2	7.1	7.7	8.5	10.7	15.6
身体障害者手帳 2級	3.1	7.5	6.1	6.9	8.6	8.9	8.7
身体障害者手帳 3級	3.2	3.9	4.8	4.7	6.0	8.3	8.5
身体障害者手帳 4級	2.6	3.5	5.3	4.4	6.5	10.8	7.9
身体障害者手帳 5級	1.9	4.4	3.2	1.8	3.3	3.9	3.0
身体障害者手帳 6級	2.1	2.3	2.7	2.7	3.0	3.6	4.1
療育手帳マルA・A(最重度・重度)	7.4	9.0	5.0	2.4	0.6	0.5	0.3
療育手帳B・C(中度・軽度)	12.0	12.5	7.5	2.8	0.8	0.2	0.6
療育手帳その他	2.3	1.9	1.7	0.5	0.4	0.0	0.2
精神障害者保健福祉手帳 1級	1.3	1.9	2.1	1.5	1.4	0.5	1.2
精神障害者保健福祉手帳 2級	1.8	6.2	8.9	11.3	10.6	3.9	0.8
精神障害者保健福祉手帳 3級	2.7	7.8	8.1	9.8	7.8	3.1	0.7
障害者手帳は持っていない	57.6	41.5	43.4	46.6	44.5	46.4	49.5

(6) 障害が発生した年齢

障害が発生した年齢は、「0歳」が19.2%、「1～6歳」が13.8%で、出生前・出生時や、小学校就学前に障害が発生した割合が全体の3割強となっている（図表 2-12）。

図表 2-12 障害が発生した年齢



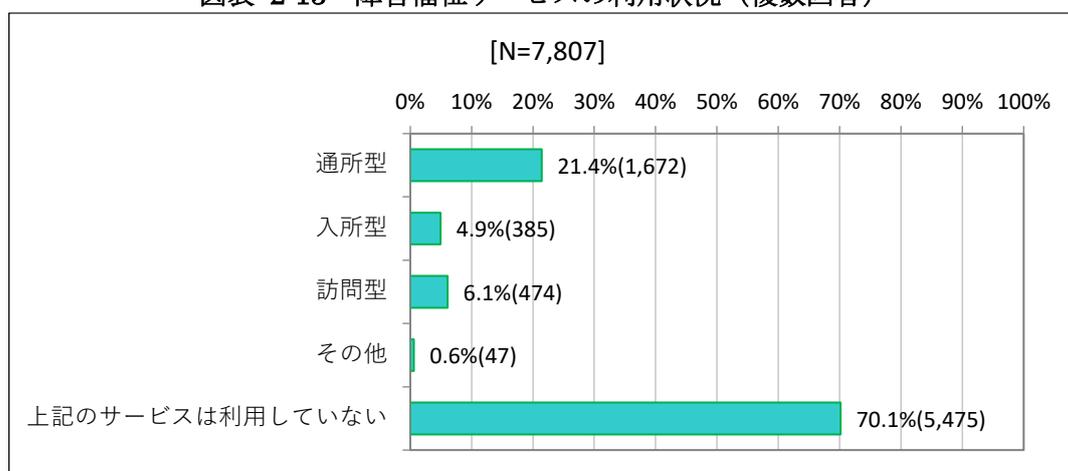
※複数の障害がある場合は、最初に障害が発生した年齢を回答。

(7) 障害福祉サービスの利用状況

障害福祉サービスの利用状況を見ると、「サービスは利用していない」が7割であった。何らかのサービスを利用している割合は全体の約3分の1で、「通所型」が21.4%と最も多い(図表 2-13)。

障害種別にみると、知的障害(45.5%)は通所型サービスを利用している割合が高い(図表 2-14)。

図表 2-13 障害福祉サービスの利用状況 (複数回答)



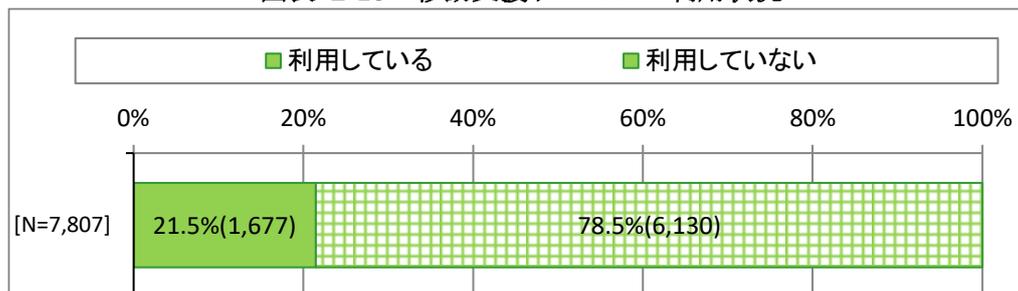
図表 2-14 障害福祉サービスの利用状況 (障害種別) (複数回答) (%)

障害種別	N	通所型 (%)	入所型 (%)	訪問型 (%)	その他 (%)	上記のサービスは利用していない (%)
肢体不自由 (車椅子必要)	N=679	40.1	14.0	19.4	1.5	37.6
肢体不自由 (車椅子不要)	N=2,137	15.2	2.6	4.9	0.2	79.5
視覚障害	N=581	25.3	9.8	9.1	0.2	61.1
聴覚障害	N=732	22.0	7.0	6.7	0.1	68.7
音声・言語・そしゃく機能障害	N=430	33.7	11.4	14.7	0.7	49.5
内部障害	N=739	18.1	5.0	6.8	0.4	73.9
知的障害	N=729	45.5	9.1	7.8	1.2	41.7
発達障害	N=1,055	26.4	3.1	3.6	1.1	68.1
精神障害	N=1,804	19.3	3.3	5.7	0.8	73.4
その他	N=36	36.1	8.3	27.8	5.6	47.2

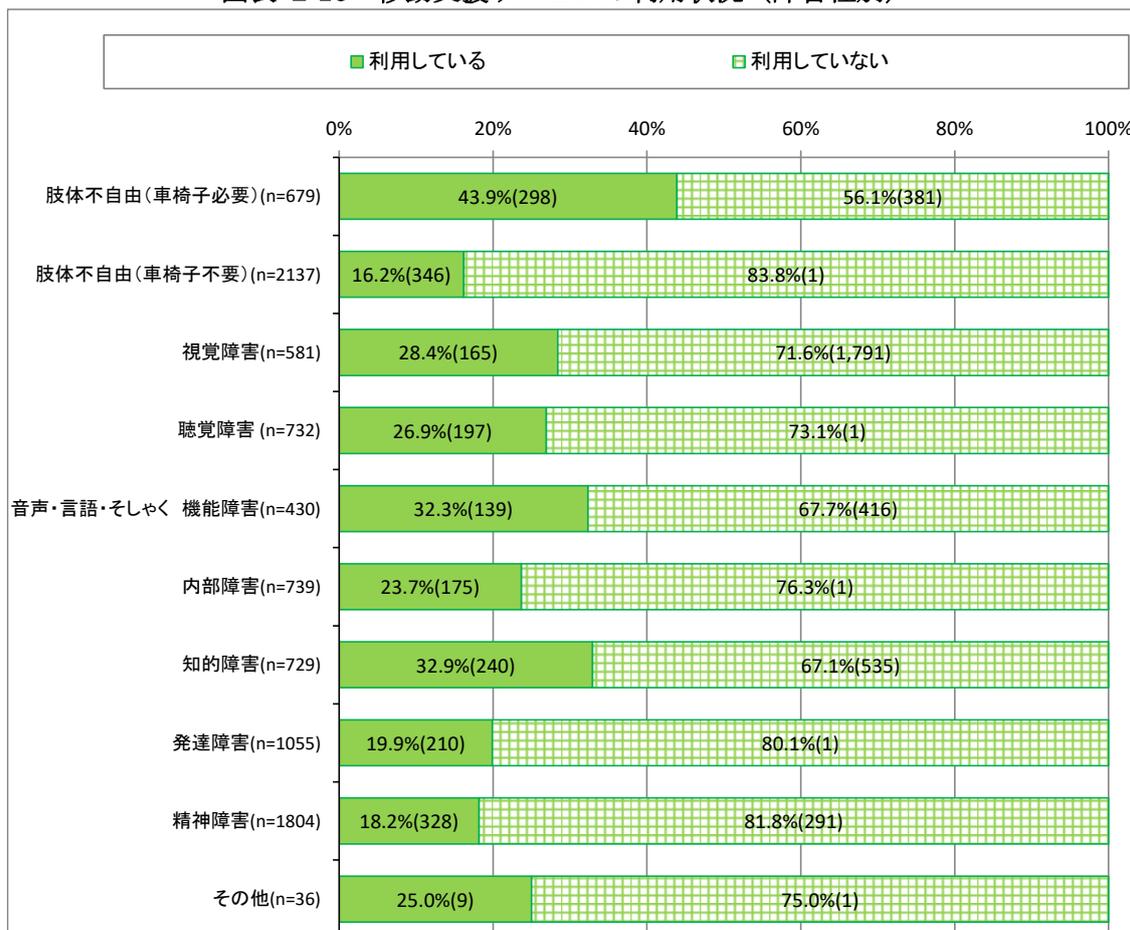
(8) 移動支援に関する福祉サービスの利用状況

移動支援に関する福祉サービスの利用状況を見ると、「利用している」割合は約 2 割となっている(図表 2-15)。障害種別では、「肢体不自由(車椅子必要)」(43.9%)、「知的障害」(32.9%)の利用している割合が高い(図表 2-16)。

図表 2-15 移動支援サービスの利用状況



図表 2-16 移動支援サービスの利用状況(障害種別)

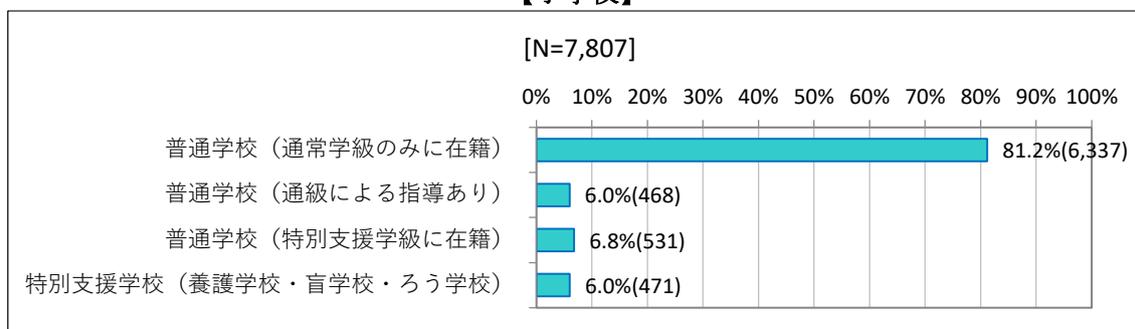


(9) 所属する（していた）学校の種別

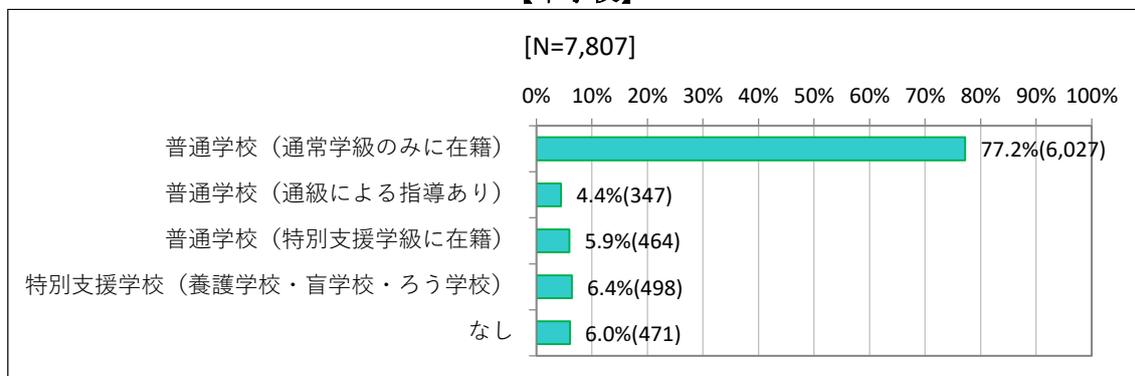
所属する（していた）学校の種別は、小学校・中学校・高等学校において「普通学校（通常学級のみ在籍）」に所属していた割合が約7割～8割と最も多い。高等学校では68.0%と普通学校の割合が小学校の81.2%に比べて低くなっている。「特別支援学校」に所属していた割合は6.0%～7.2%である（図表 2-17）。

障害種別では、「知的障害」は「特別支援学校（養護学校・盲学校・ろう学校）」に所属する（所属していた）割合が他よりも高い（図表 2-18）。

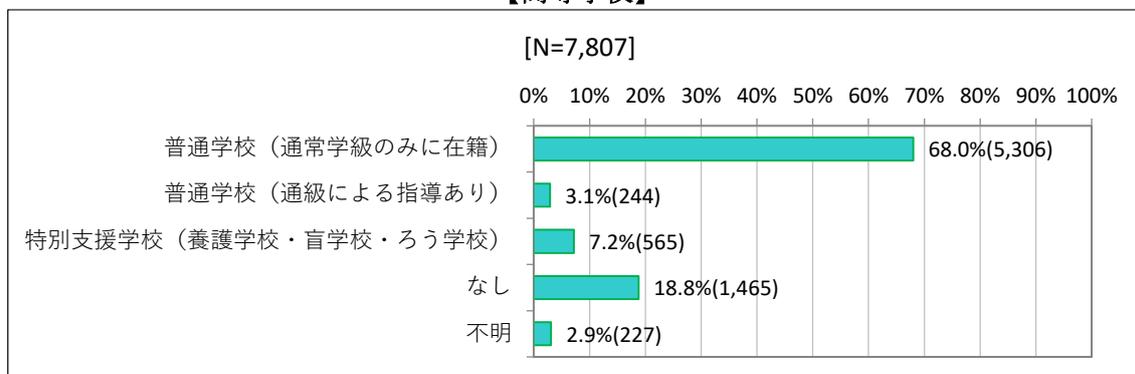
図表 2-17 所属する（していた）学校の種別
【小学校】



【中学校】

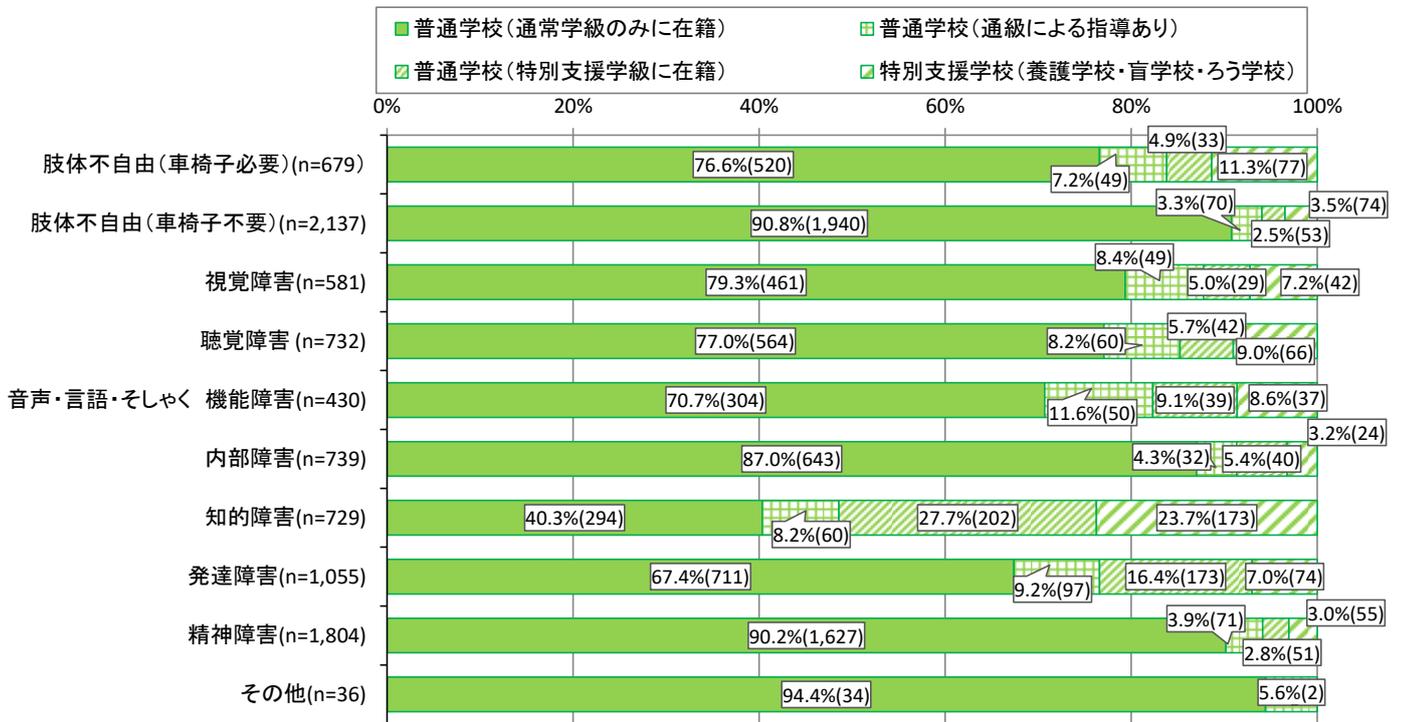


【高等学校】

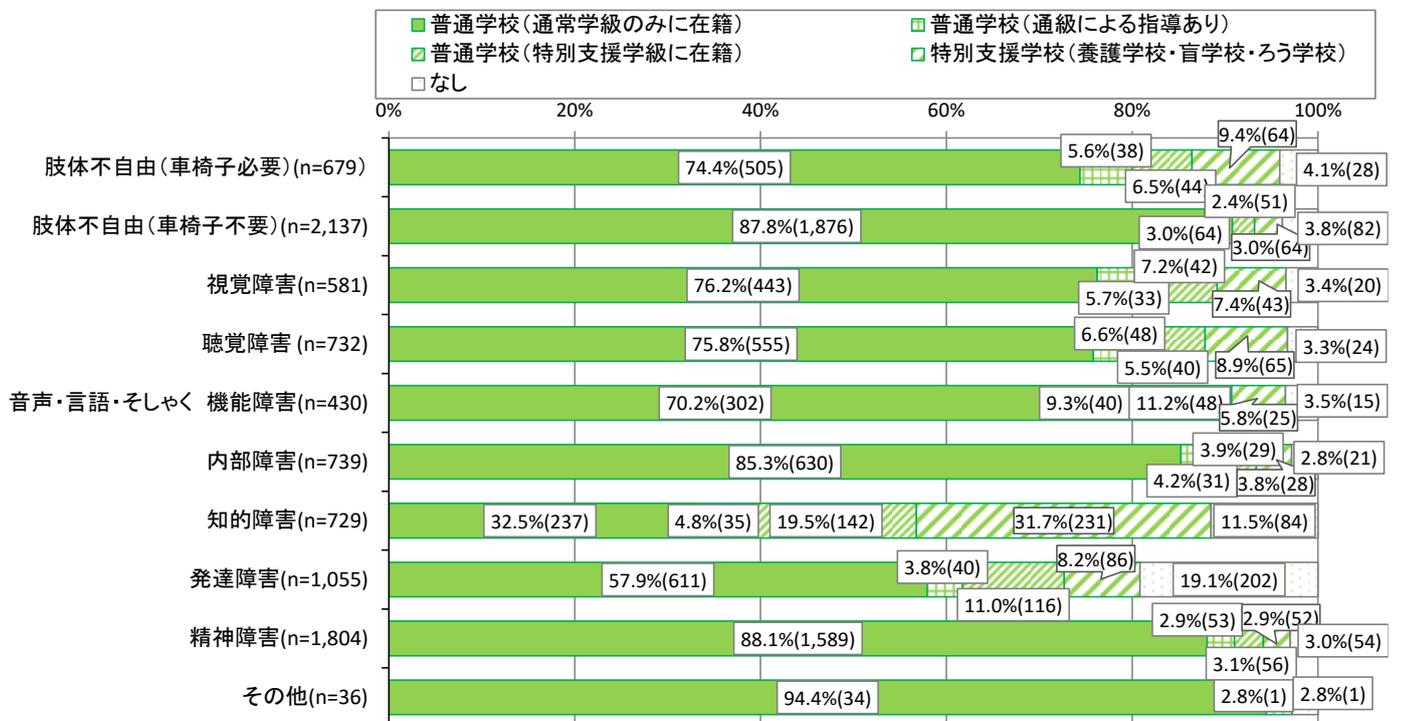


※中学校の「なし」は小学生以下の人、高等学校の「なし」は中学生以下、または高等学校に進学していない人（以下同様）

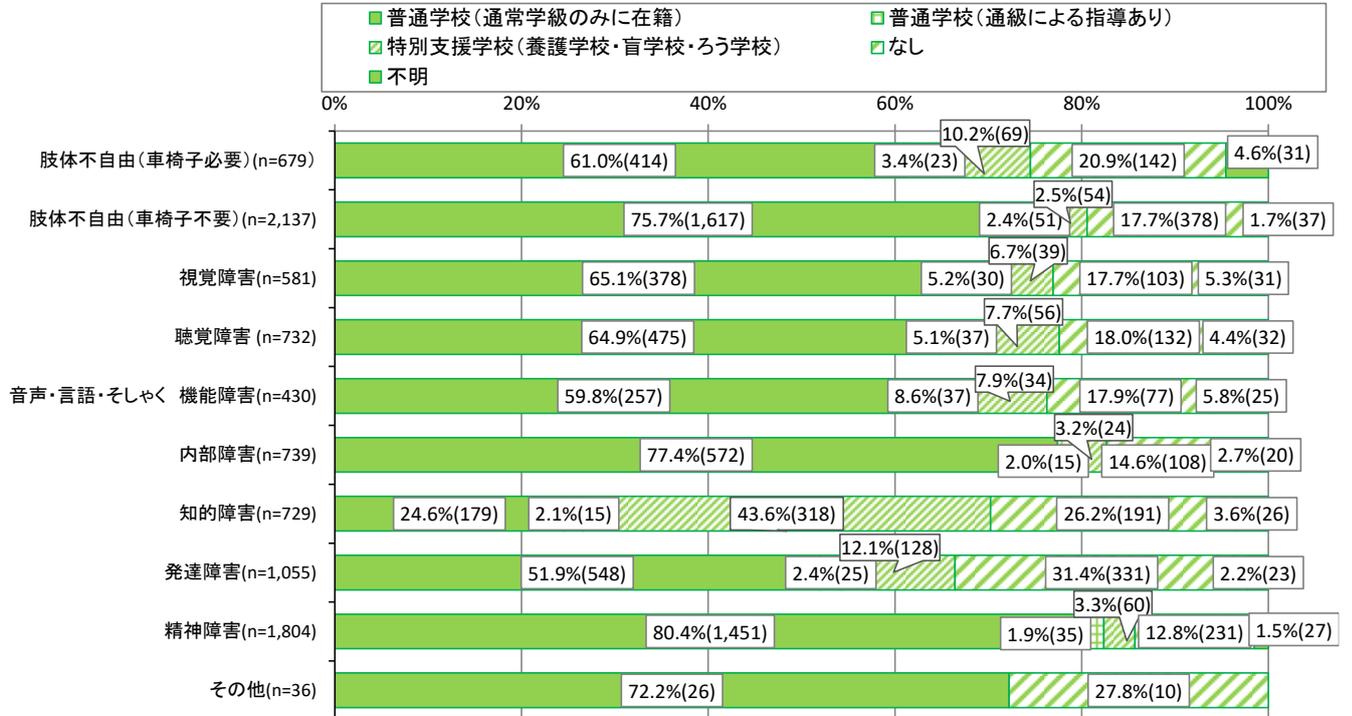
図表 2-18 所属する（していた）学校の種別（障害種別）
【小学校】



【中学校】



【高等学校】

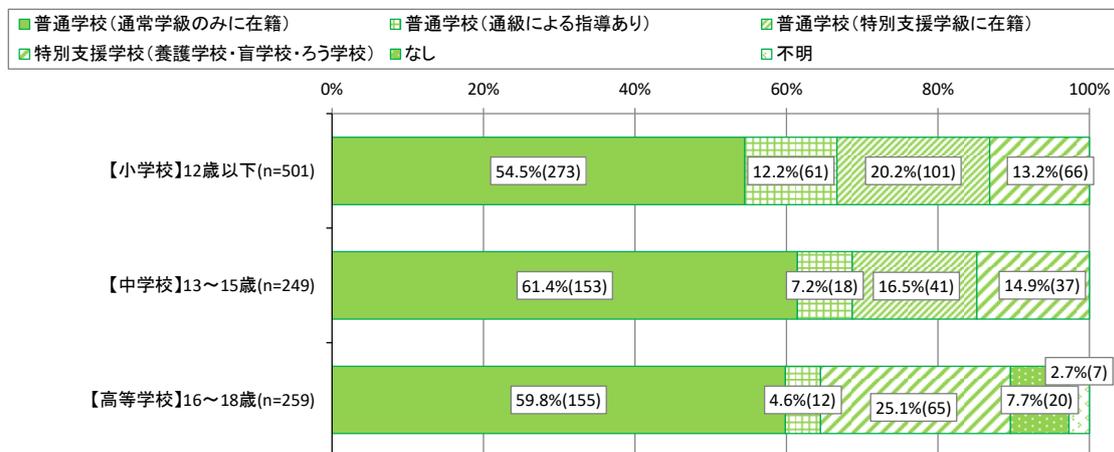


学校種別を下記の通り調査時点の年齢・障害発生年齢別にみると在籍している学校の種別は下記のとおり。

小学校：障害発生年齢が0～12歳で、調査時点で12歳以下の者
 中学校：障害発生年齢が0～15歳で、調査時点で13歳から15歳の者
 高等学校：障害発生年齢が0～18歳で、調査時点で16歳から18歳の者

小学校・中学校・高等学校の全てにおいて、「普通学校（通常学級のみ）に在籍」している割合が半数を超える(図表 2-19)。

図表 2-19 所属する学校の種別（現在の年齢別）（18歳以下のみ）



図表 2-20 所属する（していた）学校の種別（障害種別）
（障害発生年齢 18 歳以下のみ）

【小学校】

(%)

	障害発生年齢	(通常学級のみ)に在籍	(通級による指導あり)	(特別支援学級)に在籍	特別支援学校(養護学校・盲学校・ろう学校)
		普通学校	普通学校	普通学校	
全体	0-6歳[N=2,574]	61.7	9.1	15.0	14.2
	7-15歳[N=887]	71.8	14.4	8.9	4.8
	16-18歳[N=262]	87.0	5.0	3.4	4.6
肢体不自由 (車椅子必要)	0~6歳[N=177]	43.5	13.0	10.7	32.8
	7~15歳[N=79]	60.8	16.5	7.6	15.2
	16~18歳[N=27]	74.1	3.7	14.8	7.4
肢体不自由 (車椅子不要)	0-6歳[N=747]	85.5	3.1	4.0	7.4
	7-15歳[N=146]	74.0	16.4	6.8	2.7
	16-18歳[N=47]	87.2	4.3	2.1	6.4
視覚障害	0-6歳[N=165]	55.8	15.2	9.7	19.4
	7-15歳[N=78]	71.8	15.4	9.0	3.8
	16-18歳[N=30]	83.3	6.7	3.3	6.7
聴覚障害	0-6歳[N=228]	56.1	11.4	11.4	21.1
	7-15歳[N=80]	63.8	21.3	5.0	10.0
	16-18歳[N=26]	92.3	0.0	3.8	3.8
音声・言語・そしゃく 機能障害	0-6歳[N=134]	51.5	15.7	14.2	18.7
	7-15歳[N=63]	50.8	28.6	14.3	6.3
	16-18歳[N=11]	63.6	18.2	9.1	9.1
内部障害	0-6歳[N=132]	61.4	9.1	20.5	9.1
	7-15歳[N=71]	70.4	16.9	8.5	4.2
	16-18歳[N=11]	81.8	0.0	9.1	9.1
知的障害	0-6歳[N=509]	22.8	8.8	36.3	32.0
	7-15歳[N=86]	62.8	11.6	16.3	9.3
	16-18歳[N=13]	76.9	7.7	0.0	15.4
発達障害	0-6歳[N=616]	55.2	9.4	24.7	10.7
	7-15歳[N=193]	72.0	16.1	9.3	2.6
	16-18歳[N=37]	91.9	8.1	0.0	0.0
精神障害	0-6歳[N=282]	64.5	13.5	9.2	12.8
	7-15歳[N=184]	83.2	6.5	7.6	2.7
	16-18歳[N=92]	91.3	4.3	2.2	2.2
その他	0-6歳[N=4]	75.0	25.0	0.0	0.0
	7-15歳[N=2]	100.0	0.0	0.0	0.0
	16-18歳[N=1]	100.0	0.0	0.0	0.0

図表 2-21 所属する（していた）学校の種別（障害種別）
（障害発生年齢 18 歳以下のみ）

【中学校】

(%)

	障害発生年齢	(通常学級のみ 普通学校 に在籍)	(通級による 指導あり) 普通学校	(特別支援学級 に在籍) 普通学校	特別支援学校 (養護学校・ 盲学校・ろう学校)	なし(小学生以下)
全体	0-6歳[N=2,574]	53.2	5.9	10.9	14.9	15.2
	7-15歳[N=887]	62.5	10.3	11.6	6.5	9.1
	16-18歳[N=262]	86.6	4.6	4.2	4.6	0.0
肢体不自由 (車椅子必要)	0-6歳[N=177]	39.5	10.2	13.0	26.0	11.3
	7-15歳[N=79]	50.6	12.7	10.1	16.5	10.1
	16-18歳[N=27]	74.1	0.0	18.5	7.4	0.0
肢体不自由 (車椅子不要)	0-6歳[N=747]	77.6	2.9	4.1	6.0	9.2
	7-15歳[N=146]	67.1	16.4	5.5	2.1	8.9
	16-18歳[N=47]	87.2	6.4	0.0	6.4	0.0
視覚障害	0-6歳[N=165]	47.9	9.7	12.7	19.4	10.3
	7-15歳[N=78]	64.1	12.8	14.1	5.1	3.8
	16-18歳[N=30]	86.7	3.3	3.3	6.7	0.0
聴覚障害	0-6歳[N=228]	52.2	8.3	10.5	19.3	9.6
	7-15歳[N=80]	65.0	15.0	5.0	12.5	2.5
	16-18歳[N=26]	92.3	3.8	0.0	3.8	0.0
音声・言語・そしゃく 機能障害	0-6歳[N=134]	46.3	14.2	14.9	16.4	8.2
	7-15歳[N=63]	54.0	17.5	19.0	3.2	6.3
	16-18歳[N=11]	72.7	9.1	18.2	0.0	0.0
内部障害	0-6歳[N=132]	53.8	6.8	11.4	13.6	14.4
	7-15歳[N=71]	63.4	16.9	11.3	5.6	2.8
	16-18歳[N=11]	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0
知的障害	0-6歳[N=509]	17.1	4.7	21.8	41.5	14.9
	7-15歳[N=86]	39.5	5.8	29.1	16.3	9.3
	16-18歳[N=13]	53.8	7.7	15.4	23.1	0.0
発達障害	0-6歳[N=616]	44.0	3.6	13.8	11.2	27.4
	7-15歳[N=193]	56.0	6.2	14.0	6.7	17.1
	16-18歳[N=37]	94.6	2.7	0.0	2.7	0.0
精神障害	0-6歳[N=282]	56.7	6.4	10.6	11.7	14.5
	7-15歳[N=184]	76.1	4.9	7.6	4.3	7.1
	16-18歳[N=92]	91.3	5.4	1.1	2.2	0.0
その他	0-6歳[N=4]	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	7-15歳[N=2]	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	16-18歳[N=1]	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 2-22 所属する（していた）学校の種別（障害種別）
（障害発生年齢 18 歳以下のみ）

【高等学校】

(%)

	障害発生年齢	(通常学級のみ)に在籍) 普通学校	(通級による指導あり) 普通学校	特別支援学校(養護学校・盲学校・ろう学校)	なし	不明
全体	0-6歳[N=2,574]	44.9	3.5	17.4	30.3	4.0
	7-15歳[N=887]	53.2	8.0	8.8	22.7	7.3
	16-18歳[N=262]	77.5	3.4	3.4	11.1	4.6
肢体不自由 (車椅子必要)	0-6歳[N=177]	32.2	7.3	27.7	27.1	5.6
	7-15歳[N=79]	36.7	5.1	22.8	25.3	10.1
	16-18歳[N=27]	63.0	0.0	7.4	14.8	14.8
肢体不自由 (車椅子不要)	0-6歳[N=747]	66.1	1.6	5.8	24.4	2.1
	7-15歳[N=146]	54.8	15.1	2.1	21.9	6.2
	16-18歳[N=47]	74.5	4.3	2.1	14.9	4.3
視覚障害	0-6歳[N=165]	41.8	6.7	16.4	26.7	8.5
	7-15歳[N=78]	53.8	11.5	10.3	12.8	11.5
	16-18歳[N=30]	73.3	3.3	10.0	6.7	6.7
聴覚障害	0-6歳[N=228]	48.7	5.7	18.9	20.6	6.1
	7-15歳[N=80]	57.5	12.5	10.0	10.0	10.0
	16-18歳[N=26]	76.9	0.0	7.7	7.7	7.7
音声・言語・そしゃく 機能障害	0-6歳[N=134]	40.3	9.7	18.7	23.1	8.2
	7-15歳[N=63]	39.7	17.5	6.3	23.8	12.7
	16-18歳[N=11]	54.5	9.1	9.1	18.2	9.1
内部障害	0-6歳[N=132]	43.2	3.8	9.8	34.1	9.1
	7-15歳[N=71]	60.6	9.9	7.0	16.9	5.6
	16-18歳[N=11]	81.8	0.0	9.1	0.0	9.1
知的障害	0-6歳[N=509]	11.0	2.2	55.0	28.7	3.1
	7-15歳[N=86]	31.4	2.3	31.4	26.7	8.1
	16-18歳[N=13]	38.5	0.0	30.8	23.1	7.7
発達障害	0-6歳[N=616]	36.9	2.4	16.9	42.5	1.3
	7-15歳[N=193]	50.3	3.1	10.4	30.6	5.7
	16-18歳[N=37]	89.2	2.7	2.7	2.7	2.7
精神障害	0-6歳[N=282]	46.1	3.2	15.2	31.9	3.5
	7-15歳[N=184]	62.5	4.3	5.4	23.9	3.8
	16-18歳[N=92]	80.4	4.3	1.1	10.9	3.3
その他	0-6歳[N=4]	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	7-15歳[N=2]	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	16-18歳[N=1]	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2-2 スポーツ・レクリエーションの実施

(1) 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無

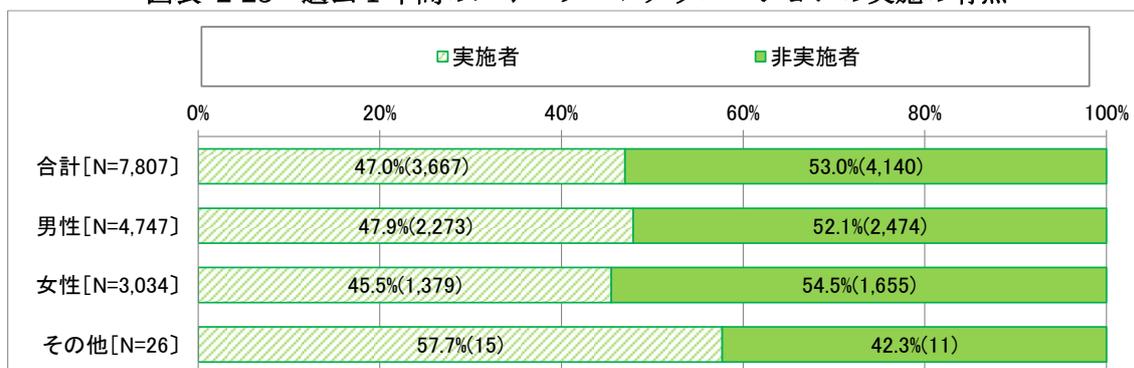
過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施状況を見ると、実施者が47.0%であった。男性のほうが女性よりも実施率がやや高くなっている（図表 2-23）。

障害種別に見ると、「肢体不自由（車椅子必要）」（40.2%）、「肢体不自由（車椅子不要）」（41.0%）の実施率が他と比べ低い（図表 2-24）。

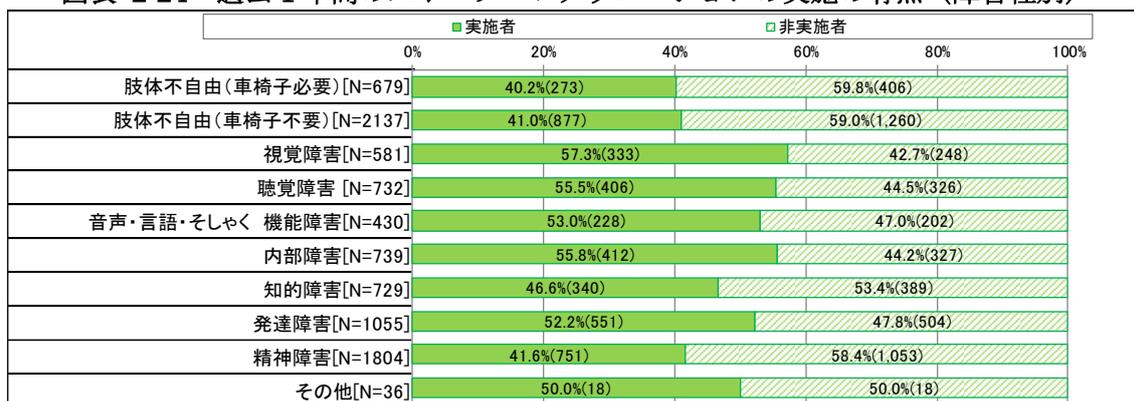
スポーツ・レクリエーションの「実施者」の定義は下記とする。

過去1年間に、何らかのスポーツ・レクリエーションを実施した者を「実施者」とする。※学校の部活動や休み時間の活動は含めるが、学校の授業や学校行事のキャンプやマラソン大会などは含めない。

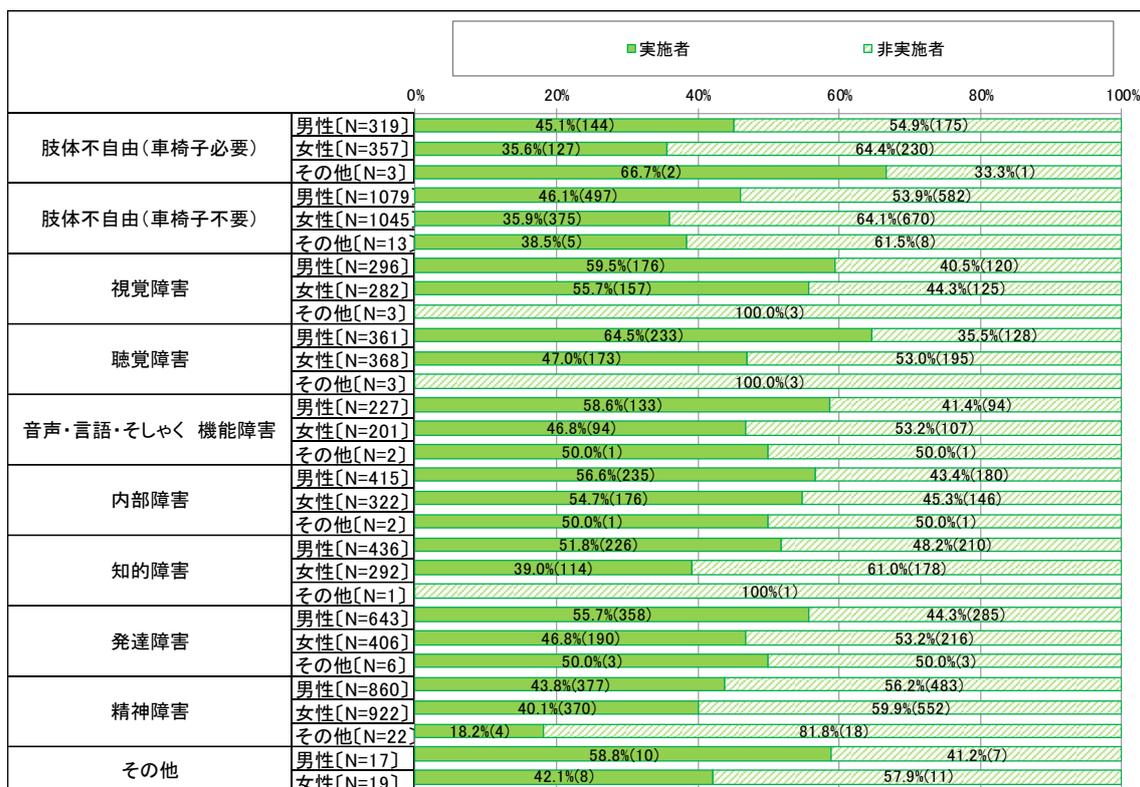
図表 2-23 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無



図表 2-24 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無（障害種別）

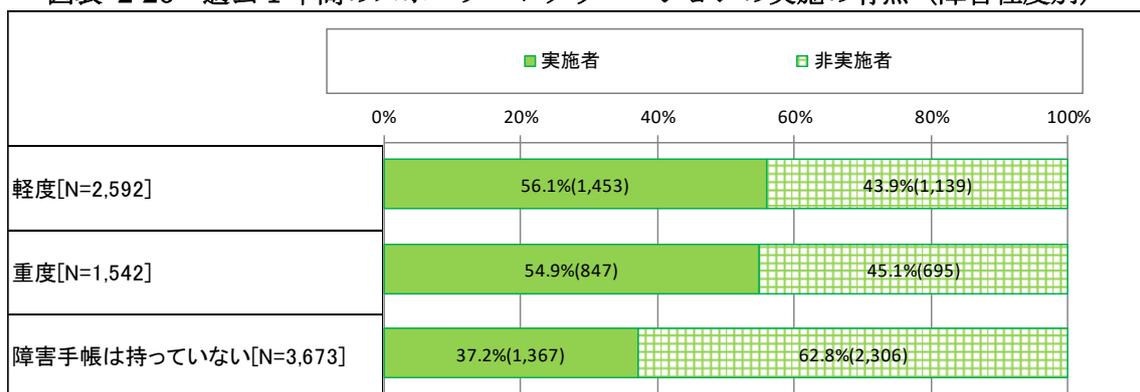


図表 2-25 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無（障害種別・性別）



障害の程度別に見ると、軽度の障害児・者や重度障害児・者では、スポーツ・レクリエーションの実施者が非実施者を上回るが、手帳を持っていない障害児・者では非実施者の割合が高かった(図表 2-26)。

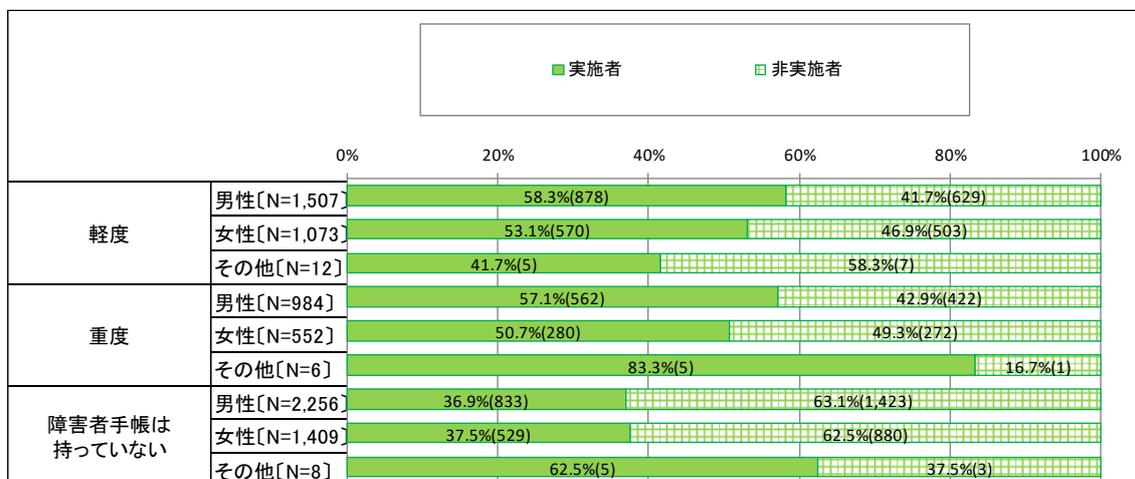
図表 2-26 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無（障害程度別）



※重度／軽度の分類は以下のとおり。(以下同じ)

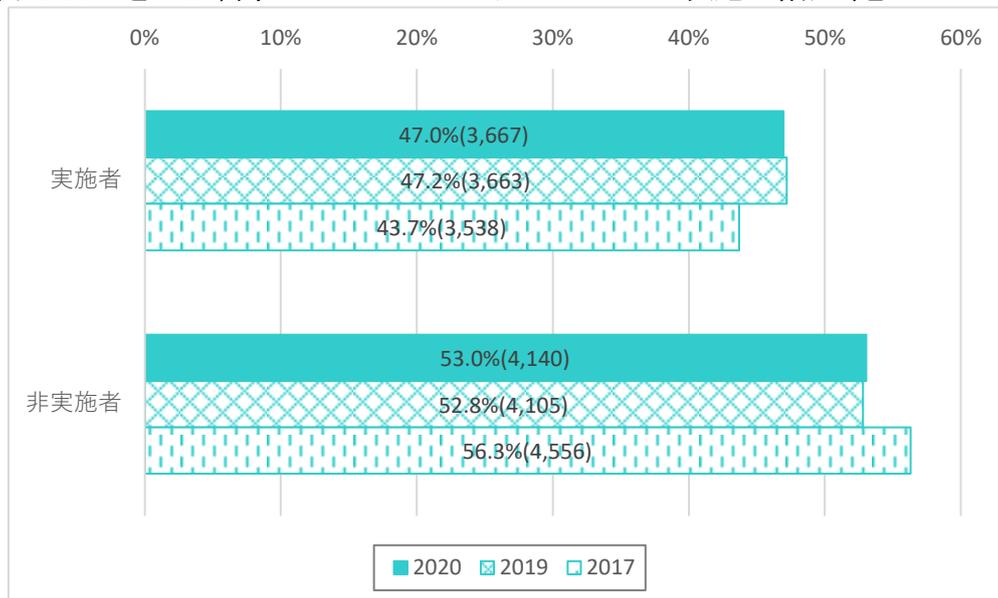
- ・ 重度：身体障害者手帳1級、2級、療育手帳マルA・A、精神障害者福祉手帳1級の保持者
- ・ 軽度：上記以外の障害者手帳保持者

図表 2-27 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無(障害程度別・性別)



2019年度調査と比較すると、実施者の割合は47.2%から47.0%となり、障害者のスポーツ実施者の割合はほぼ横ばいである。新型コロナウイルス感染症の拡大がスポーツ・レクリエーションの実施に影響を与えていた可能性も考えられる。(図表 2-28)。

図表 2-28 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無(過去との比較)



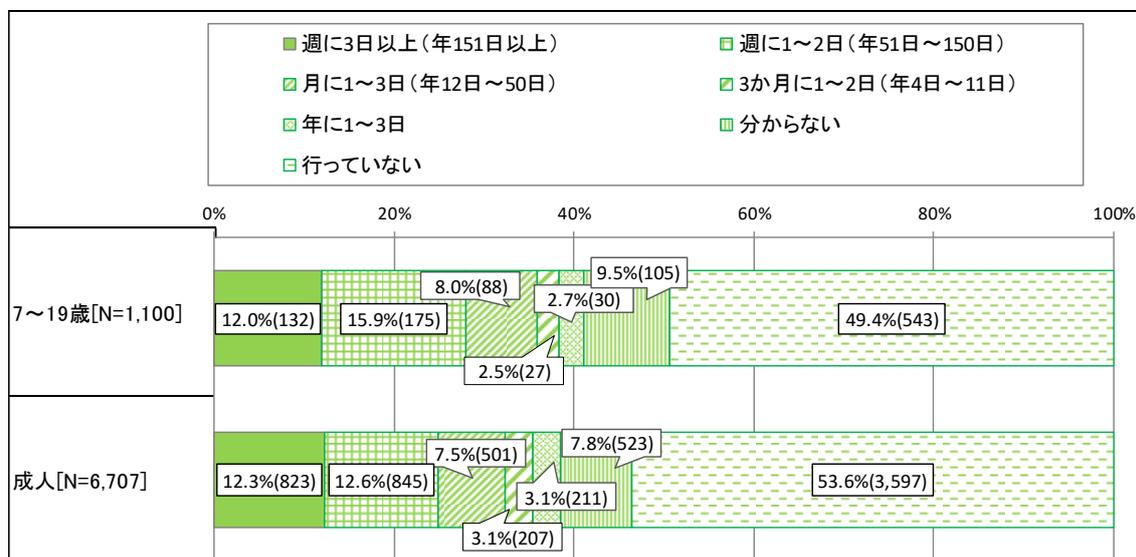
(2) 過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数

過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数について、7～19歳と成人に分けて集計した。7～19歳では「週に3日以上」が12.0%、「週に1～2日」が15.9%と、週1日以上の実施者が27.9%であるのに対して、「行っていない」が49.4%であった。成人では、「週に3日以上」と「週に1～2日」を合わせ週1日以上の実施者が24.9%、「行っていない」が約5割以上を占めた(図表 2-29)。

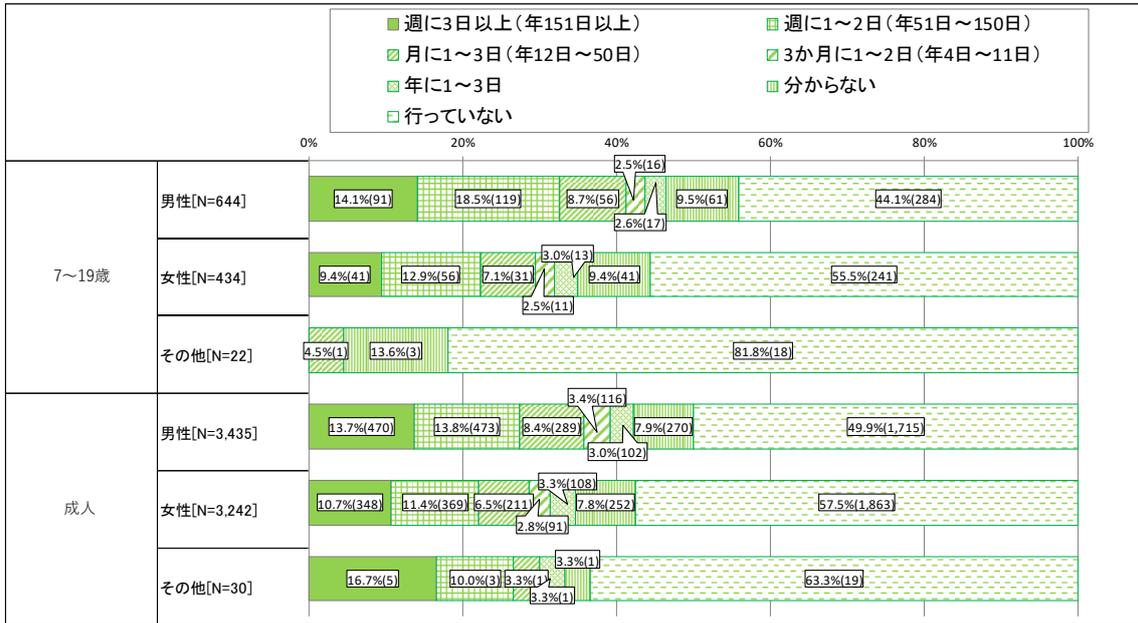
また、男女別では週1日以上の実施者が19歳以下の男性は32.6%、女性は23.8%、成人男性は27.7%、成人女性は22.3%となっており、男性のほうが週1日以上スポーツを実施する割合が高い(図表 2-30)。

週1日以上の実施率を経年比較でみると、7～19歳は2017年(29.8%)から2019年(30.4%)ではわずかに増加したが、2019年と2020年を比較すると2.5ポイント減少している。成人の週1回以上の実施率は、2017年(20.8%)から2019年(25.3%)では4.5ポイント増加したが、2019年と2020年を比較すると25.3%から24.9%とやや減少した(図表 2-31)。

図表 2-29 過去1年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数



図表 2-30 過去1年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数（性別）



図表 2-31 過去1年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数
(障害種別・年度別/7~19歳・成人別) (1/2)

(%)

	調査年度	(年151日以上)	(年515150日)	(週に1日以上 週に3日以上 週に5日以上)	(年12日153日)	(年4日151日)	年に153日	行っていない	分からない	
		(年151日以上)	(年515150日)	(週に1日以上 週に3日以上 週に5日以上)	(年12日153日)	(年4日151日)	年に153日	行っていない	分からない	
全体	7-19歳[N=1,100]	2020	12.0	15.9	27.9	7.5	3.0	3.1	53.0	8.0
	7-19歳[N=1,236]	2019	14.5	15.9	30.4	10.4	3.9	3.2	44.8	7.4
	7-19歳[N=1,394]	2017	13.2	16.4	29.6	11.3	5.0	3.6	43.8	6.7
	7-19歳[N=950]	2015	14.0	17.5	31.5	10.8	4.7	4.3	41.9	6.7
	7-19歳[N=710]	2013	10.0	20.7	30.7	14.1	4.1	6.3	38.6	6.2
	成人[N=6,707]	2020	12.3	12.6	24.9	7.5	3.1	3.1	53.6	7.8
	成人[N=6,532]	2019	12.5	12.8	25.3	8.8	2.9	3.0	54.4	5.7
	成人[N=6,700]	2017	9.8	11.0	20.8	8.4	2.9	3.8	58.9	5.1
	成人[N=5,499]	2015	9.3	9.9	19.2	8.0	3.0	4.0	60.2	5.7
成人[N=4,671]	2013	8.5	9.7	18.2	8.9	4.1	5.0	58.2	5.5	
肢体不自由 (車椅子必要)	7-19歳[N=67]	2020	11.9	17.9	29.8	6.0	3.0	3.0	49.3	9.0
	7-19歳[N=69]	2019	13.0	13.0	26.0	15.9	5.8	4.3	47.8	0.0
	7-19歳[N=72]	2017	6.9	12.5	19.4	11.1	5.6	5.6	58.3	0.0
	7-19歳[N=49]	2015	4.1	6.1	10.2	10.2	4.1	0.0	71.4	4.1
	7-19歳[N=58]	2013	3.4	8.6	12.0	19.0	1.7	5.2	55.2	6.9
	成人[N=612]	2020	10.3	12.6	22.9	6.0	2.6	3.1	60.9	4.4
	成人[N=610]	2019	9.0	8.9	17.9	8.0	2.5	1.6	67.5	2.5
	成人[N=647]	2017	5.9	6.5	12.4	6.5	3.2	2.2	72.8	2.9
	成人[N=606]	2015	5.4	4.8	10.2	6.8	1.3	1.7	76.7	3.3
成人[N=572]	2013	6.1	5.9	12.0	4.9	3.7	3.8	72.2	3.3	
肢体不自由 (車椅子不要)	7-19歳[N=203]	2020	4.4	9.4	13.8	6.9	2.0	2.0	67.5	7.9
	7-19歳[N=186]	2019	8.6	8.1	16.7	3.8	1.6	2.2	71.5	4.3
	7-19歳[N=190]	2017	4.7	11.6	16.3	10.0	2.6	1.6	63.7	5.8
	7-19歳[N=108]	2015	11.1	9.3	20.4	5.6	0.9	0.9	67.6	4.6
	7-19歳[N=78]	2013	3.8	15.4	19.2	7.7	1.3	0.0	64.1	7.7
	成人[N=1,934]	2020	11.6	10.1	21.7	6.2	2.1	2.8	58.1	9.1
	成人[N=1,821]	2019	11.7	11.6	23.3	6.4	1.9	2.4	59.7	6.2
	成人[N=1,721]	2017	9.5	9.7	19.2	6.6	2.5	2.8	64.7	4.2
	成人[N=1,528]	2015	7.7	8.8	16.5	6.2	3.2	3.7	66.0	4.5
成人[N=1,185]	2013	7.0	9.4	16.4	7.3	3.1	4.3	63.5	5.4	
視覚障害	7-19歳[N=54]	2020	16.7	22.2	38.9	7.4	3.7	3.7	38.9	7.4
	7-19歳[N=56]	2019	16.1	17.9	34.0	7.1	1.8	8.9	39.3	8.9
	7-19歳[N=68]	2017	2.9	20.6	23.5	10.3	7.4	4.4	51.5	2.9
	7-19歳[N=35]	2015	17.1	25.7	42.9	2.9	2.9	5.7	42.9	2.9
	7-19歳[N=38]	2013	7.9	13.2	21.1	15.8	2.6	5.3	39.5	15.8
	成人[N=527]	2020	12.9	19.0	31.9	10.1	5.1	3.8	43.1	6.1
	成人[N=540]	2019	13.5	15.4	28.9	9.8	4.4	3.1	47.2	6.5
	成人[N=620]	2017	11.5	14.2	25.7	7.3	3.2	3.4	54.5	6.0
	成人[N=509]	2015	8.3	11.0	19.3	10.0	2.2	4.3	57.0	7.3
成人[N=436]	2013	8.5	10.3	18.8	7.6	5.3	5.7	58.5	4.1	
聴覚障害	7-19歳[N=60]	2020	13.3	18.3	31.6	10.0	3.3	0.0	48.3	6.7
	7-19歳[N=63]	2019	20.6	17.5	38.1	9.5	6.3	1.6	34.9	9.5
	7-19歳[N=90]	2017	20.0	10.0	30.0	15.6	6.7	5.6	33.3	8.9
	7-19歳[N=59]	2015	20.3	16.9	37.3	13.6	6.8	3.4	32.2	6.8
	7-19歳[N=60]	2013	15.0	18.3	33.3	21.7	5.0	3.3	31.7	5.0
	成人[N=672]	2020	14.3	16.7	31.0	10.7	4.0	2.5	44.2	7.6
	成人[N=666]	2019	15.0	17.1	32.1	11.4	4.1	2.4	44.7	5.3
	成人[N=672]	2017	11.0	12.2	23.2	11.3	2.2	4.0	53.9	5.4
	成人[N=566]	2015	11.0	11.1	22.1	8.1	4.4	2.8	55.3	7.2
成人[N=445]	2013	9.0	13.5	22.5	11.0	6.5	5.6	48.1	6.3	

図表 2-31 過去1年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数
(障害種別・年度別/7~19歳・成人別) (2/2)

(%)

	調査年度	(年151日以上)	(年5週に152日)	(週に3日以上152日)	(年1月に153日)	(年3か月に152日)	年に153日	行っていない	分からない	
		(年151日以上)	(年5週に152日)	(週に3日以上152日)	(年1月に153日)	(年3か月に152日)				
音声・言語・そしゃく 機能障害	7-19歳[N=39]	2020	10.3	15.4	25.7	7.7	5.1	2.6	51.3	7.7
	7-19歳[N=60]	2019	18.3	20.0	38.3	8.3	11.7	1.7	35.0	5.0
	成人[N=391]	2020	9.5	17.1	26.6	10.5	4.3	4.1	46.5	7.9
	成人[N=407]	2019	8.1	15.5	23.6	14.5	4.9	5.4	45.5	6.1
内部障害	7-19歳[N=53]	2020	20.8	20.8	41.6	5.7	7.5	5.7	18.9	20.8
	7-19歳[N=57]	2019	15.8	19.3	35.1	15.8	1.8	0.0	47.4	0.0
	成人[N=686]	2020	16.6	15.5	32.1	6.1	2.9	4.2	46.2	8.5
	成人[N=691]	2019	16.1	13.9	30.0	9.4	4.2	2.5	48.2	5.8
知的障害	7-19歳[N=207]	2020	10.6	18.4	29.0	8.7	2.9	1.9	47.8	9.7
	7-19歳[N=276]	2019	15.6	23.6	39.2	15.2	1.8	2.9	32.2	8.7
	7-19歳[N=360]	2017	12.8	19.2	32.0	13.3	7.2	3.9	34.2	9.4
	7-19歳[N=292]	2015	11.3	20.2	31.5	14.0	6.5	3.1	37.0	7.9
	7-19歳[N=224]	2013	9.4	25.4	34.8	14.3	5.4	6.3	34.4	4.9
	成人[N=522]	2020	10.5	12.6	23.1	10.2	2.3	2.5	55.6	6.3
	成人[N=549]	2019	10.6	13.3	23.9	11.7	2.9	4.2	52.1	5.3
	成人[N=653]	2017	7.7	10.4	18.1	10.1	3.4	6.6	54.7	7.2
	成人[N=440]	2015	6.6	12.3	18.9	8.6	3.6	5.7	56.8	6.4
	成人[N=470]	2013	5.7	8.7	14.4	12.8	2.1	8.1	55.5	7.0
発達障害	7-19歳[N=429]	2020	15.2	21.0	36.2	9.1	1.4	3.0	42.2	8.2
	7-19歳[N=547]	2019	19.6	17.7	37.3	9.7	4.0	2.2	38.9	7.9
	7-19歳[N=598]	2017	18.4	19.9	38.3	12.7	5.2	3.5	33.6	6.7
	7-19歳[N=445]	2015	15.3	19.8	35.1	11.2	4.5	5.8	35.5	7.9
	7-19歳[N=335]	2013	11.3	25.7	37.0	13.7	5.1	9.3	31.0	3.9
	成人[N=626]	2020	12.6	10.9	23.5	9.4	3.0	3.2	51.6	9.3
	成人[N=570]	2019	13.3	10.0	23.3	9.5	2.3	3.0	54.9	7.0
	成人[N=542]	2017	10.0	10.3	20.3	11.4	3.3	5.5	54.4	5.0
	成人[N=357]	2015	11.2	11.8	23.0	7.8	3.1	5.9	54.9	5.3
	成人[N=288]	2013	9.0	10.1	19.1	10.4	4.5	5.6	52.8	7.6
精神障害	7-19歳[N=146]	2020	11.0	4.1	15.1	8.2	0.7	1.4	61.6	13.0
	7-19歳[N=149]	2019	13.4	10.7	24.1	8.1	4.0	5.4	46.3	12.1
	7-19歳[N=192]	2017	8.9	11.5	20.4	7.3	1.6	3.6	58.9	8.3
	7-19歳[N=77]	2015	13.0	14.3	27.3	5.2	3.9	3.9	54.5	5.2
	7-19歳[N=76]	2013	7.9	9.2	17.1	7.9	7.9	5.3	53.9	7.9
	成人[N=1,658]	2020	12.5	9.7	22.2	6.5	3.0	2.6	58.1	7.7
	成人[N=1,603]	2019	13.7	12.2	25.9	7.7	1.8	3.2	55.5	5.8
	成人[N=1,734]	2017	11.4	11.6	23.0	8.0	2.1	4.4	57.2	5.2
	成人[N=1,375]	2015	12.1	11.5	23.6	7.9	2.8	4.1	55.2	6.3
	成人[N=1,237]	2013	9.8	9.3	19.1	9.6	3.8	4.4	56.8	6.2
その他(2013~2017は音声・言語・そしゃく機能障害や内部障害を含む)	7-19歳[N=1]	2020	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7-19歳[N=4]	2019	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	7-19歳[N=155]	2017	9.0	13.5	22.5	15.5	8.4	5.2	41.9	6.5
	7-19歳[N=91]	2015	11.0	11.0	22.0	11.0	7.7	5.5	51.6	2.2
	7-19歳[N=80]	2013	5.0	17.5	22.5	17.5	3.8	6.3	42.5	7.5
	成人[N=35]	2020	8.6	17.1	25.7	11.4	2.9	2.9	51.4	5.7
	成人[N=38]	2019	21.1	7.9	29.0	13.2	0.0	2.6	42.1	13.2
	成人[N=1,315]	2017	10.7	11.3	22.0	8.2	3.6	3.1	57.6	5.5
	成人[N=1,037]	2015	10.9	10.3	21.2	8.2	2.9	3.7	58.8	5.2
	成人[N=912]	2013	8.8	9.3	18.1	8.1	3.2	4.4	62.4	3.8

図表 2-32 過去1年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数
(障害種別・性別/7~19歳・成人別) (1/2)

(%)

		性別	(年	(年	(年	(年	年に1~3日	行っていない	分からない
			1週に3日以上)	5週に1~5日)	1月に1~5日)	3か月に1~4日)			
全体	7-19歳	合計[N=1,100]	12.0	15.9	8.0	2.5	2.7	49.4	2.5
		男性[N=644]	14.1	18.5	8.7	2.5	2.6	44.1	9.5
		女性[N=434]	9.4	12.9	7.1	2.5	3.0	55.5	9.4
		その他[N=22]	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	81.8	13.6
	成人	合計[N=6,707]	12.3	12.6	7.5	3.1	3.1	53.6	7.8
		男性[N=3,435]	13.7	13.8	6.5	2.8	3.3	49.9	7.9
女性[N=3,242]		10.7	11.4	6.5	2.8	3.3	57.5	7.8	
	その他[N=30]	16.7	10.0	3.3	0.0	3.3	63.3	3.3	
肢体不自由 (車椅子必要)	7-19歳	合計[N=67]	11.9	17.9	6.0	3.0	3.0	49.3	9.0
		男性[N=35]	20.0	20.0	2.9	5.7	2.9	40.0	8.6
		女性[N=30]	3.3	16.7	6.7	0.0	3.3	63.3	6.7
		その他[N=2]	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	成人	合計[N=612]	10.3	12.6	6.0	2.6	3.1	60.9	4.4
		男性[N=239]	26.4	32.2	15.5	6.7	7.9	0.0	11.3
女性[N=373]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
その他[N=0]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
肢体不自由 (車椅子不要)	7-19歳	合計[N=203]	4.4	9.4	6.9	2.0	2.0	67.5	7.9
		男性[N=97]	4.1	15.5	8.2	2.1	1.0	62.9	6.2
		女性[N=99]	5.1	4.0	6.1	2.0	3.0	70.7	9.1
		その他[N=7]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3
	成人	合計[N=1934]	11.6	10.1	6.2	2.1	2.8	58.1	9.1
		男性[N=811]	27.7	24.2	14.7	4.9	6.8	0.0	21.7
女性[N=1,123]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
その他[N=891]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
視覚障害	7-19歳	合計[N=54]	16.7	22.2	7.4	3.7	3.7	38.9	7.4
		男性[N=28]	21.4	17.9	10.7	3.6	3.6	35.7	7.1
		女性[N=25]	12.0	28.0	4.0	4.0	4.0	40.0	8.0
		その他[N=1]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	成人	合計[N=527]	12.9	19.0	10.1	5.1	3.8	43.1	6.1
		男性[N=300]	22.7	33.3	17.7	9.0	6.7	0.0	10.7
女性[N=227]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
その他[N=260]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
聴覚障害	7-19歳	合計[N=60]	13.3	18.3	10.0	3.3	0.0	48.3	6.7
		男性[N=22]	18.2	13.6	13.6	4.5	0.0	40.9	9.1
		女性[N=37]	10.8	21.6	8.1	2.7	0.0	51.4	5.4
		その他[N=1]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	成人	合計[N=672]	14.3	16.7	10.7	4.0	2.5	44.2	7.6
		男性[N=375]	25.6	29.9	19.2	7.2	4.5	0.0	13.6
女性[N=297]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
その他[N=0]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

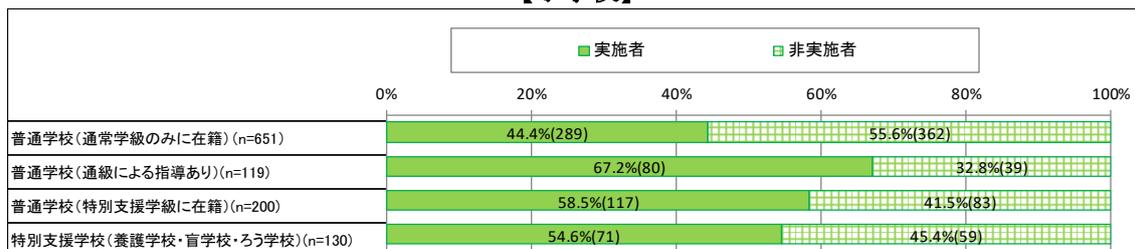
図表 2-32 過去1年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数
(障害種別・性別/7~19歳・成人別) (2/2)

(%)

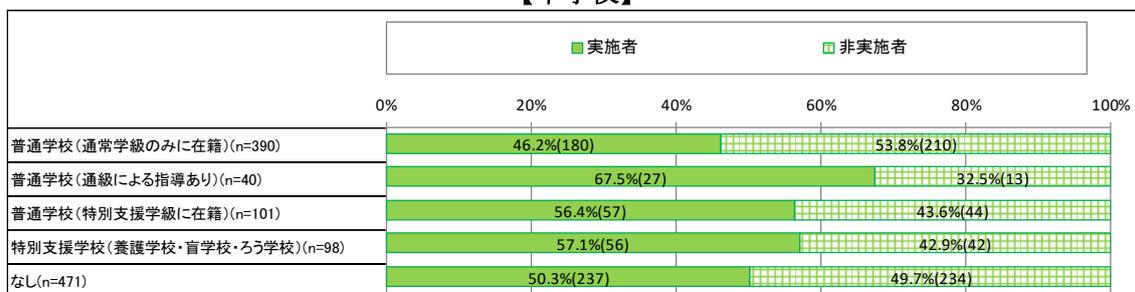
		性別	(年	(年	(年	3	年	行	分
			1	5	1	4			
			週	週	月	か	に	っ	ら
			に	に	に	月	1	て	な
			3	1	1	に	5	い	い
			日	日	日	1	3	な	い
			以	以	以	日	日	い	い
			上	上	上	2	日	な	い
)))))	い	い
音声・言語・そしゃく 機能障害	7-19歳	合計[N=39]	10.3	15.4	7.7	5.1	2.6	51.3	7.7
		男性[N=18]	11.1	22.2	16.7	0.0	0.0	38.9	11.1
		女性[N=21]	9.5	9.5	0.0	9.5	4.8	61.9	4.8
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	成人	合計[N=391]	9.5	17.1	10.5	4.3	4.1	46.5	7.9
		男性[N=209]	17.7	32.1	19.6	8.1	7.7	0.0	14.8
		女性[N=182]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
内部障害	7-19歳	合計[N=53]	20.8	20.8	5.7	7.5	5.7	18.9	20.8
		男性[N=29]	14.3	17.9	10.7	10.7	7.1	21.4	17.9
		女性[N=25]	28.0	24.0	0.0	4.0	4.0	16.0	24.0
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	成人	合計[N=686]	16.6	15.5	6.1	2.9	4.2	46.2	8.5
		男性[N=369]	30.9	28.7	11.4	5.4	7.9	0.0	15.7
		女性[N=317]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
知的障害	7-19歳	合計[N=207]	10.6	18.4	8.7	2.9	1.9	47.8	9.7
		男性[N=143]	12.6	22.4	7.0	2.8	2.1	43.4	9.8
		女性[N=63]	6.3	9.5	12.7	3.2	1.6	57.1	9.5
		その他[N=1]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	成人	合計[N=522]	10.5	12.6	10.2	2.3	2.5	55.6	6.3
		男性[N=232]	23.7	28.4	22.8	5.2	5.6	0.0	14.2
		女性[N=290]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
発達障害	7-19歳	合計[N=429]	15.2	21.0	9.1	1.4	3.0	42.2	8.2
		男性[N=296]	16.9	22.0	10.1	1.4	3.0	49.2	9.1
		女性[N=132]	11.4	18.9	6.8	1.5	3.0	49.2	9.1
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	成人	合計[N=626]	12.6	10.9	9.4	3.0	3.2	51.6	9.3
		男性[N=303]	26.1	22.4	19.5	6.3	6.6	0.0	19.1
		女性[N=323]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
精神障害	7-19歳	合計[N=146]	11.0	4.1	8.2	0.7	1.4	61.6	13.0
		男性[N=68]	14.7	2.9	8.8	0.0	1.5	54.4	17.6
		女性[N=69]	8.7	5.8	8.7	1.4	1.4	65.2	8.7
		その他[N=9]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1
	成人	合計[N=1,658]	12.5	9.7	6.5	3.0	2.6	58.1	7.7
		男性[N=695]	29.9	23.0	15.4	7.2	6.2	0.0	18.3
		女性[N=963]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	7-19歳	合計[N=1]	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		男性[N=1]	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女性[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	成人	合計[N=35]	8.6	17.1	11.4	2.9	2.9	51.4	5.7
		男性[N=17]	17.6	35.3	23.5	5.9	5.9	0.0	11.8
		女性[N=18]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		その他[N=0]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

7-19歳の実施者・非実施者の割合を学校種別でみると、小・中・高等学校の「普通学校（通常学級のみ）に在籍」の場合、非実施者の割合が半数を超えている。普通学校に在籍していると、スポーツに触れる機会が少なくなるという可能性が考えられる(図表 2-33)。

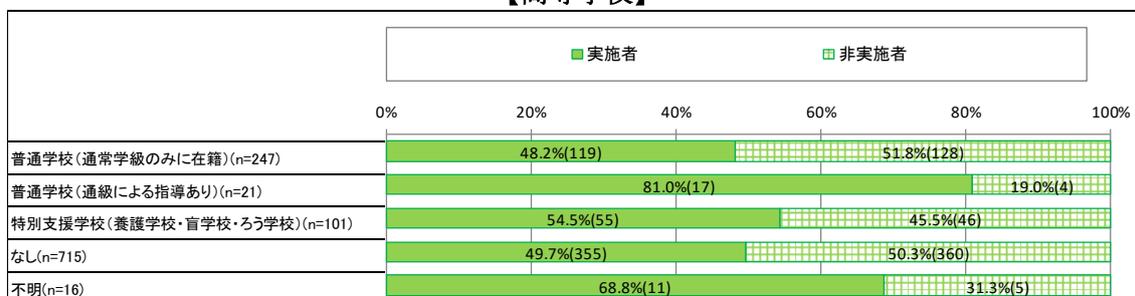
図表 2-33 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無
(7-19歳・学校種別)
【小学校】



【中学校】

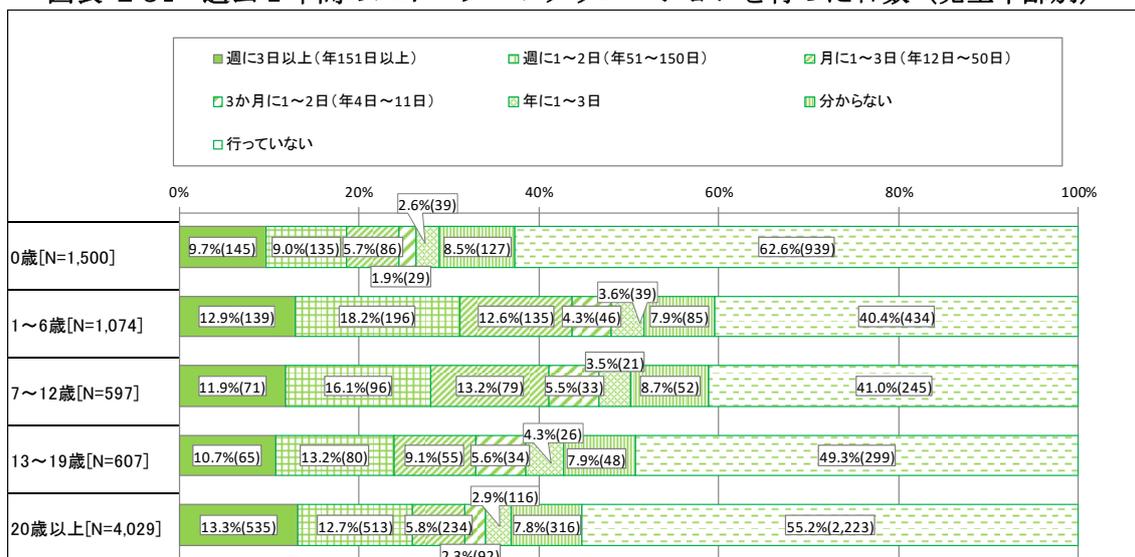


【高等学校】

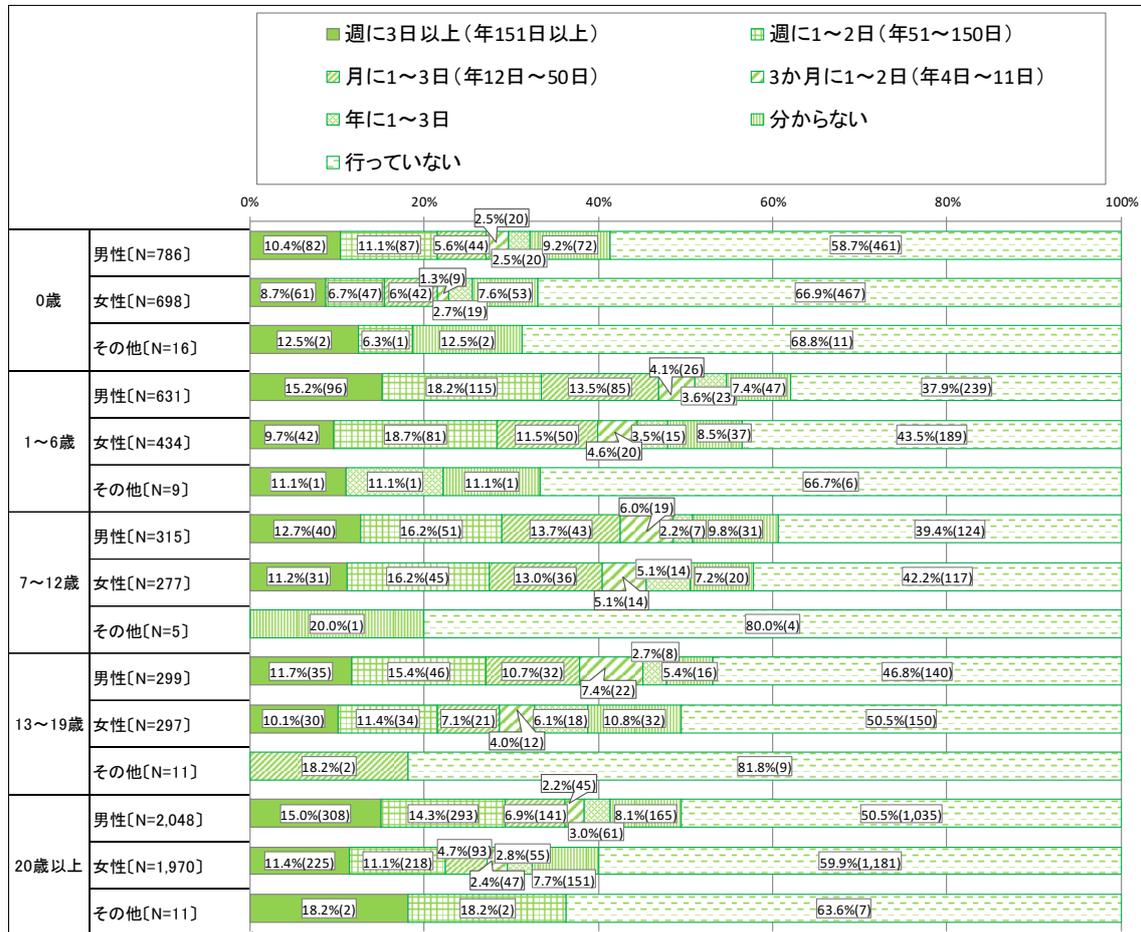


発生年齢別にみると、週1日以上の実施者は「1～6歳」(31.1%)、「7～12歳」(28.0%)、「13～19歳」(23.9%)「20歳以上」(20.6%)、「0歳」(18.7%)の順になっている(図表 2-34)。性別では、発生年齢を問わず男性が週1日以上の実施率が高い(図表 2-35)。

図表 2-34 過去1年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数(発生年齢別)



図表 2-35 過去1年間のスポーツ・レクリエーションを行った日数(発生年齢別・性別)



以下の(3)～(7)は、過去1年間に何らかのスポーツ・レクリエーションを行った3,667人を対象とする。

(3) 過去1年間に行ったスポーツ・レクリエーション

過去1年間にスポーツ・レクリエーションを「行った」と回答した人が、どのようなスポーツ・レクリエーションを行ったかについて、障害種別に上位種目をまとめた。どの障害も、「ウォーキング」の割合が最も高く、「散歩(ぶらぶら歩き)」、「階段昇降」も実施率が高かった。肢体不自由(車椅子必要)は、他の障害に比べて「身体活動を伴うリハビリテーション」の割合が高い(図表 2-36)。

図表 2-37 過去1年間に行ったスポーツ・レクリエーション(障害種別・7~19歳：N=557) (複数回答) (%)

(%)

順位	（車椅子必要） （肢体不自由）		（車椅子不要） （肢体不自由）		視覚障害		聴覚障害		その他 （音声・言語機能障害）		内部障害		知的障害		発達障害		精神障害		その他	
	N=34		N=66		N=33		N=31		N=19		N=43		N=108		N=248		N=56		N=1	
1位	ウォーキング		ウォーキング	42.4	ウォーキング	27.3	ウォーキング	38.7	散歩(ぶらぶら歩き)	26.3	ウォーキング	30.2	ウォーキング	41.7	ウォーキング	34.7	ウォーキング	53.6	散歩(ぶらぶら歩き)	
2位	階段昇降	26.5	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	19.7	散歩(ぶらぶら歩き)	21.2	なわとび	32.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳		散歩(ぶらぶら歩き)	16.3	散歩(ぶらぶら歩き)	38.9	散歩(ぶらぶら歩き)	30.6	散歩(ぶらぶら歩き)	28.6	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	
3位	ポッチャ		散歩(ぶらぶら歩き)		ジョギング/ランニング	18.2	散歩(ぶらぶら歩き)	25.8	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	15.8	ジョギング/ランニング		階段昇降	17.6	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	20.6	階段昇降	17.9	なわとび	
4位	身体活動を伴うハビリエーション	17.6	ジョギング/ランニング	12.1	なわとび	12.1	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	16.1	身体活動を伴うハビリエーション		階段昇降		階段昇降	17.6	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	20.2	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	10.7	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	100.0
5位	散歩(ぶらぶら歩き)		なわとび	7.6	階段昇降		ジョギング/ランニング	12.9	ウォーキング		マラソン/駅伝などのロードレース	14.0	ジョギング/ランニング	16.7	ジョギング/ランニング	18.1	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	8.9	海浴	
6位	ジョギング/ランニング	8.8	陸上競技	6.1	タンハム/ダンス/フラダンス	9.1	スキー		マラソン/駅伝などのロードレース	10.5	なわとび	11.6	なわとび	11.1	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	14.9	ジョギング/ランニング	7.1	キャンプ/オートキャンプ	
7位	【歩く・走る・泳ぐ】水泳		階段昇降		マラソン/駅伝などのロードレース		キャッチボール		サッカー		サッカー	9.3	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	14.1	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等		サッカー	5.4	自転車(BMX含む)/サイクリング	
8位	サッカー(ブラインドサッカー/ハンドサッカー等)	5.9	マラソン/駅伝などのロードレース		陸上競技		つな引き		レスリング/相撲/ボクシング	5.3	野球		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	10.1	ソフトボール	9.7	卓球(ラージボール含む)		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
9位	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等		水中歩行	4.5	陸上競技		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等		水中歩行		ソフトボール		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	8.3	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	9.7	卓球(ラージボール含む)		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
10位	マラソン/駅伝などのロードレース		サッカー		サッカー	6.1	マラソン/駅伝などのロードレース		ソフトボール		野球		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	7.4	ドッジボール	7.7	ポッチャ		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
11位	水中歩行		チアリーディング/バントウリング		バスケットボール		陸上競技		バレーボール/ビーチバレー		バレーボール/ビーチバレー		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	6.5	バスケットボール	7.3	なわとび		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
12位	キャッチボール		アクアエクササイズ		身体活動を伴うハビリエーション		陸上競技		ソフトボール		陸上競技		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
13位	野球		ゲートボール		アクアエクササイズ(【歩く・走る・泳ぐ】水泳/水中歩行/キャッチボール/ソフトボール/野球/ボウリング)		野球		バレーボール/水/水バイク		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
14位	ボウリング		卓球(ラージボール含む)		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
15位	バスケットボール		ドッジボール	3.0	バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	バレーボール(シッティングバレーボール等)		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	ふうせんバレー		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	その他の障害者スポーツ		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	なわとび		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	筋力トレーニング(マシントレーニング)		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	太極拳		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	
	テコンドー/合気道		バスケットボール		バスケットボール		バスケットボール		バレー		バレー		マラソン/駅伝などのロードレース	5.6	釣り	6.5	マラソン/駅伝などのロードレース		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	

図表 2-38 過去1年間に行ったスポーツ・レクリエーション(障害種別・成人：N=3,110) (複数回答) (%)

	(車椅子不自由)		(車椅子不自由)		視覚障害		聴覚障害		音声・言語・聴覚機能		内部障害		知的障害		発達障害		精神障害		その他	
	N=239		N=811		N=300		N=375		N=209		N=369		N=232		N=303		N=695		N=17	
1位	ウォーキング	35.1	ウォーキング	54.1	ウォーキング	47.3	ウォーキング	47.2	ウォーキング	36.4	ウォーキング	57.5	散歩(ぶらぶら歩き)	44.0	ウォーキング	51.5	ウォーキング	59.1	散歩(ぶらぶら歩き)	70.6
2位	散歩(ぶらぶら歩き)	21.3	散歩(ぶらぶら歩き)	37.1	散歩(ぶらぶら歩き)	31.0	散歩(ぶらぶら歩き)	33.1	散歩(ぶらぶら歩き)	23.4	散歩(ぶらぶら歩き)	37.9	ウォーキング	39.7	散歩(ぶらぶら歩き)	32.7	散歩(ぶらぶら歩き)	36.1	ウォーキング	35.3
3位	身体活動を伴うハビリティーション	18.8	階段昇降	20.1	階段昇降	14.0	ジョギング/ランニング	13.9	階段昇降	12.4	階段昇降	22.2	階段昇降	13.8	階段昇降	14.9	階段昇降	16.1	階段昇降	23.5
4位	階段昇降	14.6	ジョギング/ランニング	6.8	ジョギング/ランニング	11.3	階段昇降	13.1	身体活動を伴うハビリティーション	6.7	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	8.7	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	11.6	ジョギング/ランニング	12.9	ジョギング/ランニング	10.8	身体活動を伴うハビリティーション	
5位	ジョギング/ランニング	7.1	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	6.5	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	7.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	6.4	ジョギング/ランニング	6.7	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	8.1	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	11.2	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	11.9	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	9.4	筋力トレーニング(マシントレーニング)	11.8
6位	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	5.0	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	6.2	マラソン・駅伝などのロードレース	5.7	身体活動を伴うハビリティーション	5.1	筋力トレーニング(マシントレーニング)	6.8	ジョギング/ランニング	8.6	ジョギング/ランニング	8.6	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	8.9	自転車(BMX含む)/サイクリング			
7位	筋力トレーニング(マシントレーニング)	4.2	身体活動を伴うハビリティーション	6.0	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	5.3	マラソン・駅伝などのロードレース	4.8	マラソン・駅伝などのロードレース	5.3	ジョギング/ランニング	6.5	身体活動を伴うハビリティーション	6.0	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	6.9	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	7.1	ジョギング/ランニング	
8位	キャッチボール		水中歩行	5.7	筋力トレーニング(マシントレーニング)	5.0	釣り	4.5	水中歩行	5.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	5.7	ボウリング		筋力トレーニング(マシントレーニング)	6.3	ヨーガ/ピラティス	5.3	グラウンド・ゴルフ/パークゴルフ/マレットゴルフ等	
9位	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	3.8	筋力トレーニング(マシントレーニング)	4.8	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	4.0	水中歩行	4.0	チャリディング/バトントワリング	4.1	身体活動を伴うハビリティーション	5.4	ダンス(社交ダンス/フォークダンス/フラダンスなど)	3.9	自転車(BMX含む)/サイクリング	5.0	筋力トレーニング(マシントレーニング)	5.0	ボウリング	
10位	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏 等		筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	4.4	身体活動を伴うハビリティーション	3.7	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	4.8	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	4.1	自転車(BMX含む)/サイクリング	4.1	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏 等	4.6	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏 等	4.7	自転車(BMX含む)/サイクリング	4.7	テニス(硬式テニス)	
11位	アクアエクササイズ		釣り	3.0	ヨーガ/ピラティス	3.3	ゴルフ(コース)	3.5	ヨーガ/ピラティス	3.8	ヨーガ/ピラティス	3.8	水中歩行	3.4	マラソン・駅伝などのロードレース		水中歩行		卓球(ラジボール含む)	
12位	ボウリング		ゴルフ(コース)	2.5	ダンス(社交ダンス/フォークダンス/フラダンスなど)	3.0	筋力トレーニング(マシントレーニング)	4.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	4.3	水中歩行	3.5	卓球(ラジボール含む)	4.3	卓球(ラジボール含む)	4.3	登山/トレッキング/トレイルランニング/ロッククライミング	3.2	テニス(硬いテニス/ソフトテニス 等)	
13位	バレエ		ゴルフ(練習場)	2.3	陸上競技	2.7	アクアエクササイズ		ゴルフ(コース)		ゴルフ(コース)		マラソン・駅伝などのロードレース	3.0	ヨーガ/ピラティス		登山/トレッキング/トレイルランニング/ロッククライミング		バレーボール (シットティングバレーボール/フロアバレーボール)	
14位	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	2.9	ヨーガ/ピラティス	2.3	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏 等	2.3	ゴルフ(練習場)	3.2	【障害者スポーツ】水泳	2.4	ボウリング	3.0	筋力トレーニング(マシントレーニング)	4.0	水中歩行		釣り	2.7	卓球/サウンドテーブルテニス	
15位	チャリディング/バトントワリング	2.5	マラソン・駅伝などのロードレース	2.2	野球	2.3	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	2.3	ダンス(社交ダンス/フォークダンス/フラダンスなど)	2.6	野球	2.7	野球	2.6	野球		身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏 等	2.7	体操(軽い体操/ラジオリレーニング/自重のトレーニング)	5.9
	キャンプ/オートキャンプ				バレーボール/ビーチバレー				身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏 等		【障害者スポーツ】水泳		エアロビクスダンス							乗馬
																				ハイキング/ワンダーフォーゲル/オリエンテーリング
																				スキー
																				クロスカントリースキー/スノーシュー
																				身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏 等
																				その他

図表 2-39 過去1年間に行ったスポーツ・レクリエーション(障害発生年齢別：N=3,667)

(%)

	0歳		1～19歳		20歳以上	
	N=561		N=1,300		N=1,806	
1位	ウォーキング	49.4	ウォーキング	37.8	ウォーキング	57.8
2位	散歩(ぶらぶら歩き)	30.3	散歩(ぶらぶら歩き)	24.1	散歩(ぶらぶら歩き)	38.9
3位	階段昇降	14.6	ジョギング/ランニング	12.4	階段昇降	19.7
4位	ジョギング/ランニング	11.8	階段昇降	12.2	ジョギング/ランニング	8.8
5位	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	9.6	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	11.4	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	6.4
6位	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	6.8	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	7.0	筋カトレニング(ダンベル/自重のトレーニング)	6.3
7位	なわとび		なわとび	6.5	身体活動を伴うリハビリテーション	
8位	筋カトレニング(ダンベル/自重のトレーニング)	5.0	マラソン・駅伝などのロードレース	5.8	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	6.1
9位	身体活動を伴うリハビリテーション	4.6	サッカー	4.4	筋カトレニング(マシントレーニング)	5.3
10位	筋カトレニング(マシントレーニング)	4.3	キャッチボール	3.8	水中歩行	4.0
11位	自転車(BMX含む)/サイクリング	3.9	筋カトレニング(ダンベル/自重のトレーニング)	3.6	自転車(BMX含む)/サイクリング	3.2
12位	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	3.6	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等		ヨーガ/ピラティス	2.9
13位	ヨーガ/ピラティス	3.4	陸上競技	3.5	釣り	2.8
14位	卓球(ラージボール含む)	3.2	野球		ゴルフ(練習場)	2.5
15位	マラソン・駅伝などのロードレース ボウリング	3.0	ヨーガ/ピラティス 自転車(BMX含む)/サイクリング 野球		ゴルフ(コース)	2.3

(4) スポーツ・レクリエーションの実施回数

過去1年間に行ったスポーツ・レクリエーション種目の年平均実施回数の上位30種目をみると、「階段昇降」「筋力トレーニング」「体操（軽い体操／ラジオ体操など）」「ウォーキング」の順となっている(図表 2-40)。

図表 2-40 スポーツ・レクリエーション種目（実施率上位30種目）の年平均実施回数
(回)

種目名	年平均 実施回数
階段昇降[N=573]	189.2
筋力トレーニング[N=174]	162.9
体操(軽い体操／ラジオ体操など)[N=221]	141.9
ウォーキング[N=1792]	130.4
散歩(ぶらぶら歩き)[N=1165]	129.1
筋力トレーニング(マシントレーニング)[N=146]	115.7
身体活動を伴うリハビリテーション[N=149]	95.9
エアロビックダンス[N=34]	91.2
ジョギング／ランニング[N=367]	79.9
ソフトテニス(軟式テニス)[N=27]	78.4
なわとび[N=106]	77.5
剣道／居合道／なぎなた／銃剣道[N=21]	76.2
自転車(BMX含む)／サイクリング[N=98]	74.8
水中歩行[N=109]	72.2
身体活動を伴うゲーム／太鼓／楽器演奏 等[N=78]	71.2
ヨガ／ピラティス[N=109]	70.7
バレーボール／ビーチバレー[N=24]	68.6
バスケットボール[N=43]	64.5
ゆるスポーツ[N=36]	60.4
サッカー[N=71]	57.0
ソフトボール[N=23]	56.9
卓球(ラージボール含む)[N=72]	56.7
テコンドー／合気道[N=16]	55.6
柔道[N=19]	55.3
野球[N=67]	53.3
その他のレクリエーション等[N=16]	52.4
陸上競技[N=62]	50.9
太極拳[N=20]	50.5
【歩く・走る・泳ぐ】水泳[N=282]	50.5
ダンス(社交ダンス／フォークダンス／フラダンスなど)[N=61]	49.8
空手／少林寺拳法[N=11]	47.4

図表 2-41 スポーツ・レクリエーション種目（実施率上位 30 種目）の年平均実施回数
（障害種別：全体 N=3,667）

(回)

順位	（車椅子不自由）		（車椅子不自由）		視覚障害		聴覚障害		音声・言語・機能障害		内部障害		知的障害		発達障害		精神障害		その他	
	N=273		N=877		N=333		N=406		N=228		N=412		N=340		N=551		N=751		N=18	
1位	ウォーキング	114.3	ウォーキング	143.9	ウォーキング	120.6	ウォーキング	140.0	ウォーキング	123.2	ウォーキング	144.2	散歩(ぶらぶら歩き)	114.1	ウォーキング	115.4	ウォーキング	129.3	散歩(ぶらぶら歩き)	141.5
2位	散歩(ぶらぶら歩き)	124.6	散歩(ぶらぶら歩き)	142.5	散歩(ぶらぶら歩き)	115.9	散歩(ぶらぶら歩き)	136.3	散歩(ぶらぶら歩き)	115.2	散歩(ぶらぶら歩き)	118.8	ウォーキング	119.4	散歩(ぶらぶら歩き)	118.6	散歩(ぶらぶら歩き)	134.1	ウォーキング	78.8
3位	身体活動を伴うリハビリテーション	96.9	階段昇降	205.8	階段昇降	173.6	ジョギング/ランニング	58.0	身体活動を伴うリハビリテーション	87.3	階段昇降	217.9	階段昇降	206.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	35.4	階段昇降	182.9	身体活動を伴うリハビリテーション	83.2
4位	階段昇降	121.8	ジョギング/ランニング	70.9	ジョギング/ランニング	76.2	階段昇降	174.5	階段昇降	173.3	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	159.7	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	33.2	ジョギング/ランニング	71.0	ジョギング/ランニング	112.3	階段昇降	286.0
5位	ジョギング/ランニング	71.1	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	58.0	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	42.4	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	69.9	ジョギング/ランニング	52.2	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	196.1	ジョギング/ランニング	95.1	階段昇降	182.0	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	160.9	自転車(BMX含む)/サイクリング	180.0
6位	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	38.9	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	187.5	マラソン・駅伝などのロードレース	28.6	マラソン・駅伝などのロードレース	28.6	筋力トレーニング(マラソン/駅伝などのロードレース)	84.3	ジョギング/ランニング	82.4	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	144.3	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	114.9	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	139.7	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	182.0
7位	ポッチャ	24.9	身体活動を伴うリハビリテーション	93.4	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	111.8	釣り	31.9	マラソン・駅伝などのロードレース	35.4	筋力トレーニング(マラソン/駅伝などのロードレース)	112.9	身体活動を伴うリハビリテーション	84.8	なわとび	66.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	49.9	筋力トレーニング(マラソン/駅伝などのロードレース)	260.0
8位	筋力トレーニング(マラソン/駅伝などのロードレース)	101.8	水中歩行	98.4	筋力トレーニング(マラソン/駅伝などのロードレース)	98.6	身体活動を伴うリハビリテーション	81.4	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	69.6	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	77.9	自転車(BMX含む)/サイクリング	16.3	自転車(BMX含む)/サイクリング	59.9	ヨーガ/ピラティス	84.1	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	78.0
9位	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	58.7	筋力トレーニング(マラソン/駅伝などのロードレース)	135.7	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	156.1	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	194.7	水中歩行	45.9	身体活動を伴うリハビリテーション	119.2	ポッチャ	21.8	サッカー	58.6	筋力トレーニング(マラソン/駅伝などのロードレース)	129.6	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	27.0
10位	キャッチボール	65.1	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	142.0	身体活動を伴うリハビリテーション	86.2	水中歩行	80.4	チアリーディング/バドミントン/ラケットボール	27.1	自転車(BMX含む)/サイクリング	76.3	ボウリング	7.7	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	79.0	自転車(BMX含む)/サイクリング	98.2	ジョギング/ランニング	156.0
11位	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	125.3	釣り	36.4	ダンス(社交ダンス/フォークダンス/フラダンスなど)	25.8	なわとび	63.6	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	89.0	マラソン・駅伝などのロードレース	45.2	なわとび	121.8	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	160.1	水中歩行	51.4	グラウンドゴルフ/パークゴルフ/マレットゴルフ等	2.0
12位	ボウリング	55.4	マラソン・駅伝などのロードレース	18.2	ヨーガ/ピラティス	25.5	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	136.5	ヨーガ/ピラティス	14.6	水中歩行	67.8	マラソン・駅伝などのロードレース	22.3	卓球(ラージボール含む)	61.8	登山/トレッキング/トレイルランニング/ロッククライミング	7.8	テニス(硬式テニス)	60.0
13位	アクアエクササイズ	41.4	ゴルフ(コース)	14.8	陸上競技	22.1	アクアエクササイズ	41.5	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	27.3	ヨーガ/ピラティス	49.9	水中歩行	73.2	キャッチボール	45.2	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	77.8	なわとび	12.0
14位	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	120.6	ヨーガ/ピラティス	115.5	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	71.3	ゴルフ(コース)	19.5	ゴルフ(コース)	12.8	ゴルフ(コース)	13.8	卓球(ラージボール含む)	8.5	野球	69.8	身体活動を伴うリハビリテーション	108.2	その他	156.0
15位	パレエ	36.8	ゴルフ(練習場)	30.9	野球	7.4	筋力トレーニング(マラソン/駅伝などのロードレース)	177.2	サッカー	71.8	キャンプ/オートキャンプ	35.0	バスケットボール	74.0	パドミントン	23.2	卓球(ラージボール含む)	36.7	その他の障害者スポーツ(アーチェリー/フライングディスク/ボウリング/パドミントン/乗馬 等)	52.0

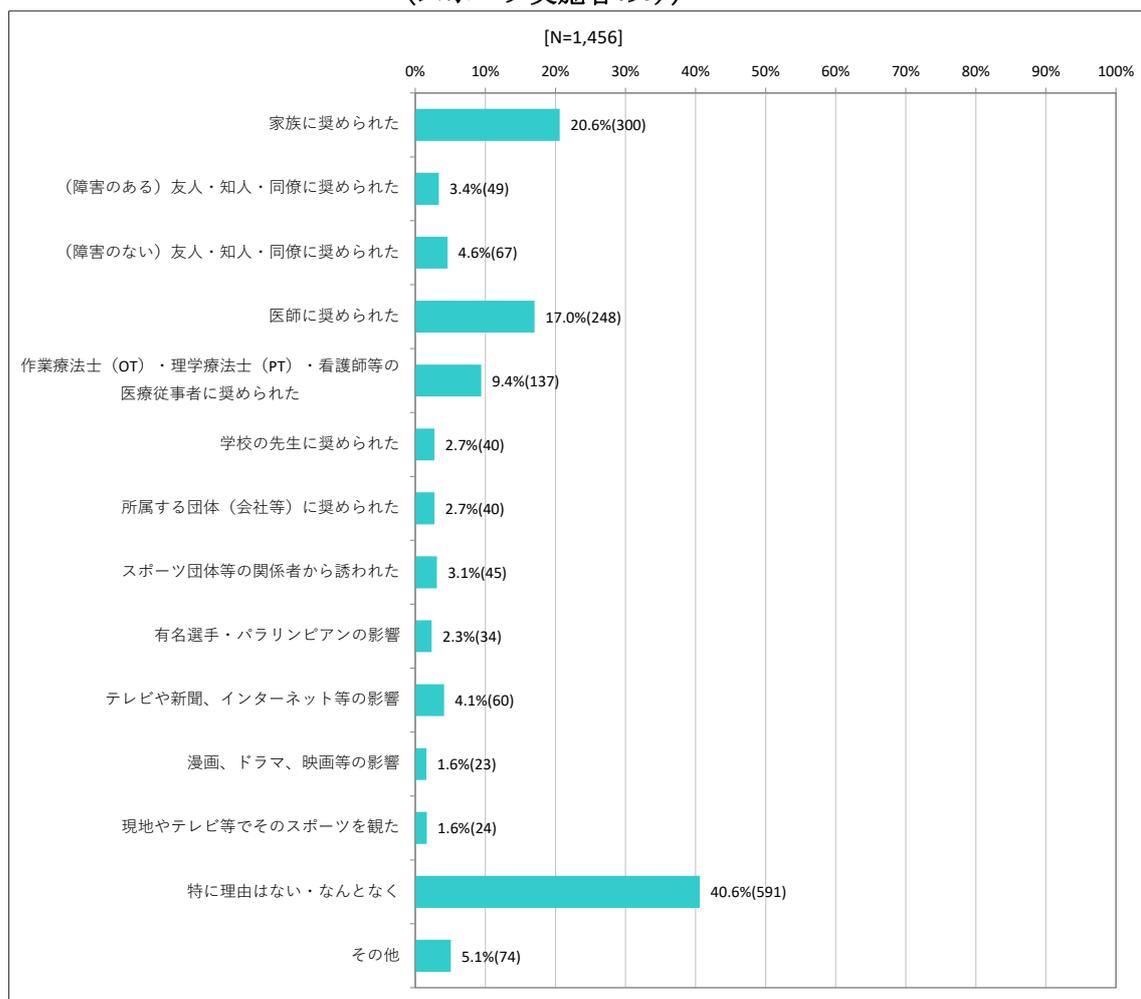
(5) スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ

障害発生後にスポーツ・レクリエーションを始めたきっかけは、「特に理由はない・なんとなく」が 40.6%と最も多く、続いて「家族に奨められた」(20.6%)、「医師に奨められた」(17.0%)が多くなっている(図表 2-42)。

障害種別にみると、肢体不自由(車椅子必要)(26.3%)、発達障害(25.2%)は、他よりも「家族に奨められた」の割合が高い。また、肢体不自由(車椅子必要)は、「作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・看護師等の医療従事者に奨められた」(22.5%)の割合が他よりも高い(図表 2-43)。肢体不自由(車椅子必要)の場合、医療関係者に奨められることが、その後のスポーツ実施のきっかけとなっていることがわかる。

障害発生年齢別では、発生年齢が 1～12 歳までは「学校の先生に奨められた」割合が他よりもやや高くなっている(図表 2-44)。

図表 2-42 スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ(複数回答)
(スポーツ実施者のみ)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-43 スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ（複数回答）
（障害種別／スポーツ実施者のみ）

(%)

		家族に奨められた	(障害のある)友人・知人・同僚に奨められた	(障害のない)友人・知人・同僚に奨められた	医師に奨められた	作業療法士(OJ)・理学療法士(OJ)・看護師等の医療従事者に奨められた	学校の先生に奨められた	所属する団体(会社等)に奨められた	スポーツ団体等の関係者から誘われた	有名選手・パリンピアンの影響	テレビや新聞・インターネット等の影響	漫画、ドラマ、映画等の影響	現地やテレビ等でそのスポーツを観た	特に理由はない・なんとなく	その他
肢体不自由 (車椅子必要)	N=78	26.9	5.1	7.7	14.1	21.8	9.0	6.4	6.4	2.6	2.6	2.6	5.1	16.7	1.3
肢体不自由 (車椅子不要)	N=366	19.4	3.6	3.6	19.9	12.3	2.2	0.8	3.8	0.8	3.0	1.4	0.8	42.3	5.7
視覚障害	N=126	20.6	4.0	5.6	12.7	11.9	4.0	4.8	4.0	1.6	4.0	1.6	3.2	35.7	4.8
聴覚障害	N=140	21.4	5.0	7.9	15.7	7.1	1.4	1.4	2.1	2.9	7.1	2.1	2.1	42.1	2.9
音声・言語・ そしゃく機能障	N=80	15.0	5.0	10.0	16.3	8.8	2.5	2.5	3.8	3.8	12.5	2.5	2.5	27.5	2.5
内部障害	N=172	16.3	4.1	5.2	25.0	12.2	2.3	4.1	2.9	1.7	1.7	0.6	0.6	34.3	9.3
知的障害	N=52	23.1	1.9	7.7	5.8	3.8	9.6	9.6	3.8	5.8	7.7	3.8	0.0	36.5	0.0
発達障害	N=161	25.5	1.2	3.1	11.8	6.8	2.5	2.5	1.2	3.1	6.8	3.1	2.5	46.0	5.6
精神障害	N=445	18.2	2.2	3.8	19.8	6.5	1.1	2.2	1.8	2.2	4.0	0.7	1.1	48.1	6.1
その他	N=9	0.0	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	44.4	0.0

※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-44 スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ（複数回答）
（障害発生年齢別／スポーツ実施者のみ）

(%)

		家族に奨められた	(障害のある)友人・知人・同僚に奨められた	(障害のない)友人・知人・同僚に奨められた	医師に奨められた	作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・看護師等の医療従事者に奨められた	学校の先生に奨められた	所属する団体(会社等)に奨められた	スポーツ団体等の関係者から誘われた	有名選手・パリンピンの影響	テレビや新聞・インターネット等の影響	漫画、ドラマ、映画等の影響	現地やテレビ等でのスポーツを観た	特に理由はない・なんとなく	その他
0歳	N=193	20.2	1.6	1.6	6.7	4.1	1.6	3.6	1.6	1.6	4.1	2.1	0.5	52.8	4.7
1～6歳	N=143	21.0	8.4	10.5	11.9	11.2	8.4	2.8	7.0	5.6	4.9	4.9	2.1	21.0	2.1
7～12歳	N=103	20.4	3.9	9.7	8.7	9.7	9.7	12.6	7.8	6.8	2.9	2.9	2.9	25.2	4.9
13～19歳	N=145	31.0	3.4	6.9	13.1	8.3	4.8	3.4	6.2	4.1	4.8	0.7	2.8	34.5	1.4
20～29歳	N=226	21.7	2.2	5.8	22.6	9.3	1.8	2.2	2.2	2.2	4.4	0.9	1.8	41.6	5.3
30～39歳	N=200	18.5	2.0	3.0	17.5	4.5	1.0	1.5	2.5	1.5	6.5	2.0	4.5	49.5	9.5
40～49歳	N=207	16.9	3.4	2.9	21.3	14.0	0.5	0.5	1.0	0.5	1.9	1.0	0.0	46.4	3.9
50～64歳	N=196	16.8	4.6	2.0	23.0	12.2	0.5	1.0	1.0	0.5	3.6	0.0	0.0	42.3	6.6
65～74歳	N=35	31.4	0.0	0.0	37.1	17.1	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	25.7	2.9
75歳以上	N=8	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0

※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

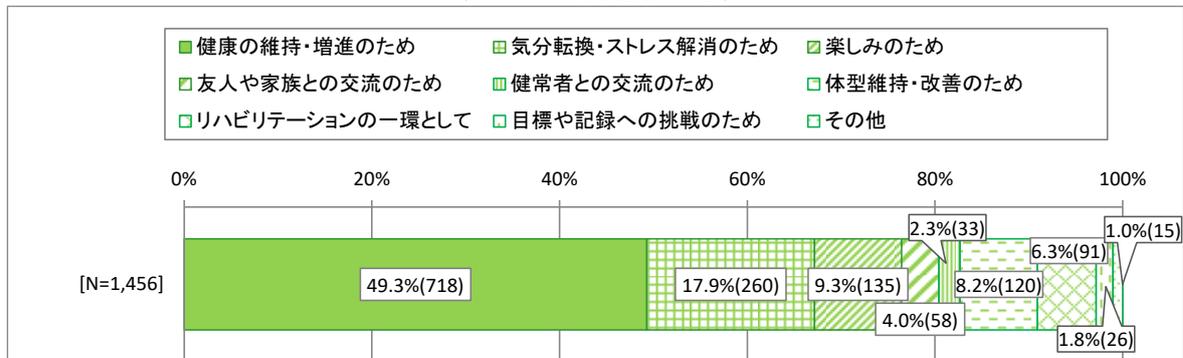
(6) スポーツ・レクリエーションを実施する主な目的

スポーツ・レクリエーションを実施する主な目的については、「健康の維持・増進のため」(49.3%)が最も多く、次いで「気分転換・ストレス解消のため」(17.9%)、「楽しみのため」(9.3%)であった(図表 2-45)。

性別に見ると、「健康維持・増進のため」が男性で高く、「気分転換・ストレス解消のため」及び「体型維持・改善のため」が女性で高くなった(図表 2-46)。

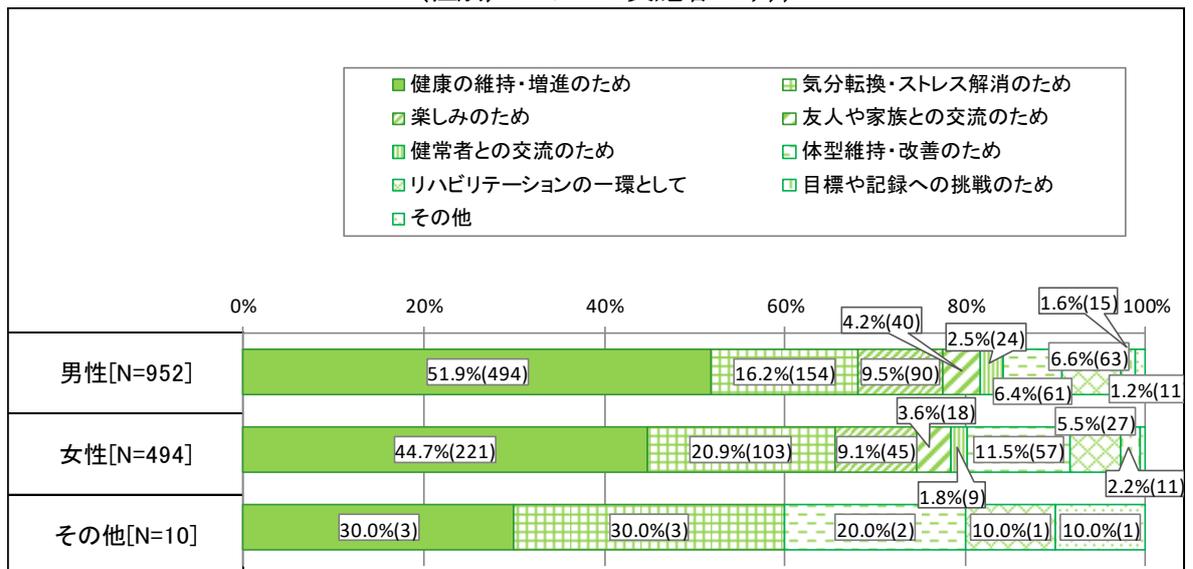
障害種別にみると、知的障害・発達障害・精神障害は「気分転換・ストレス解消のため」の割合が約2割と他の障害種別より高くなっている(図表 2-47)。

図表 2-45 スポーツ・レクリエーションを実施する主な目的
(スポーツ実施者のみ)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した

図表 2-46 スポーツ・レクリエーションを実施する主な目的
(性別/スポーツ実施者のみ)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

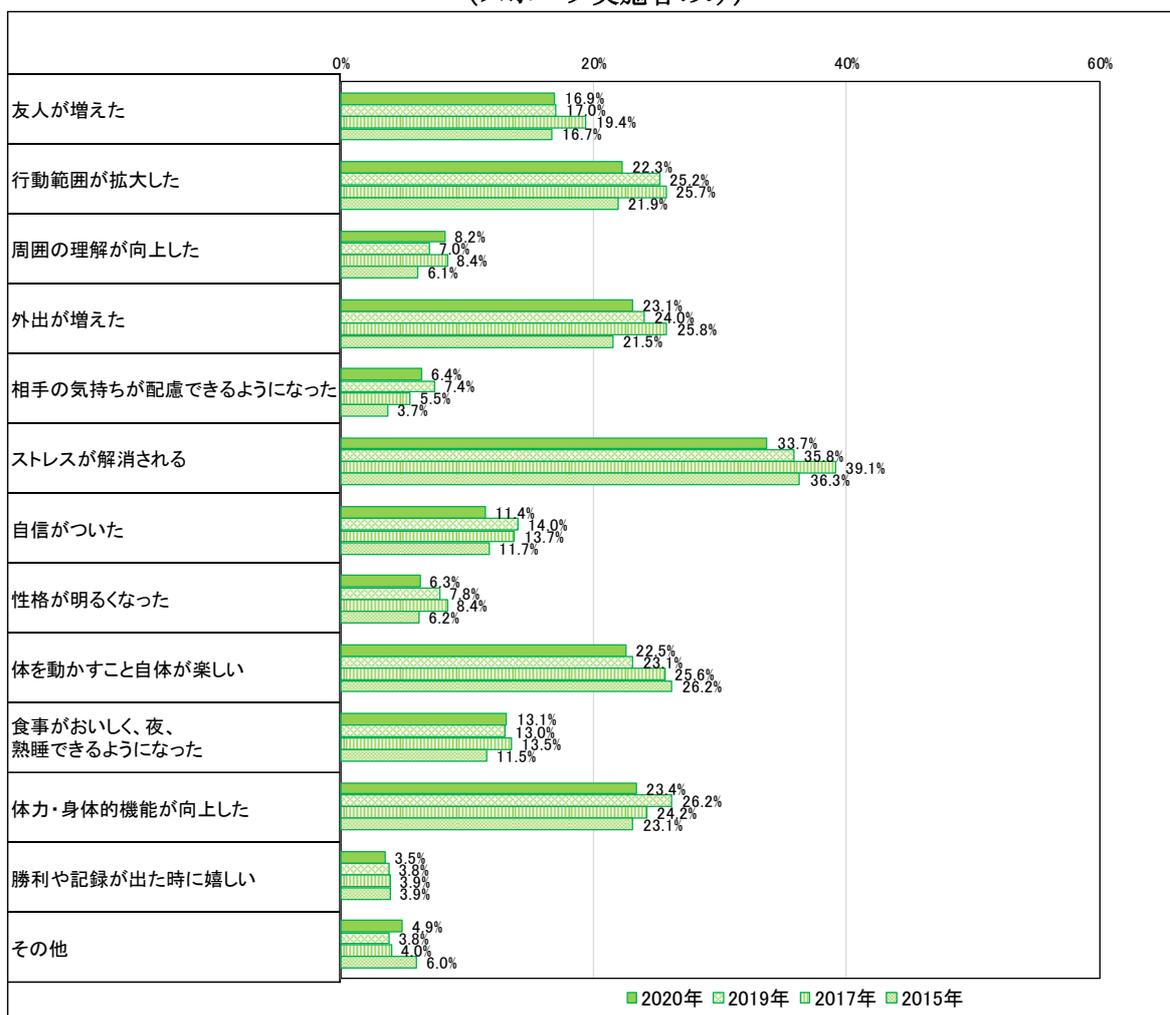
図表 2-47 スポーツ・レクリエーションを実施する主な目的（障害種別）（年度比較）
（スポーツ実施者のみ）（％）

		調査年度	健康の維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	楽しむため	友人や家族との交流のため	健常者との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他
肢体不自由 (車椅子必要)	N=80	2020	48.8	17.5	11.3	5.0	2.5	5.0	7.5	2.5	0.0
	N=69	2019	47.8	15.9	7.2	7.2	2.9	1.4	17.4	0.0	0.0
	N=67	2017	31.3	23.9	14.9	4.5	6.0	1.5	14.9	3.0	0.0
	N=51	2015	31.4	21.6	13.7	5.9	2.0	2.0	19.6	3.9	0.0
	N=61	2013	26.2	13.1	18.0	8.2	3.3	4.9	21.3	4.9	0.0
肢体不自由 (車椅子不要)	N=367	2020	53.1	10.6	7.4	3.3	0.8	5.4	15.5	3.0	0.8
	N=337	2019	49.9	12.2	6.5	3.3	0.3	7.7	15.7	2.7	1.8
	N=308	2017	43.8	14.3	8.8	5.5	1.9	3.9	17.2	1.9	2.6
	N=266	2015	33.8	17.3	7.5	7.1	1.1	5.6	24.8	1.9	0.8
	N=273	2013	36.7	16.5	11.0	6.8	0.4	3.0	22.8	2.1	0.8
視覚障害	N=126	2020	54.0	15.1	8.7	8.7	3.2	7.1	1.6	0.8	0.8
	N=120	2019	61.7	14.2	5.8	4.2	0.8	5.8	4.2	2.5	0.8
	N=128	2017	47.7	13.3	10.9	11.7	0.8	5.5	6.3	3.1	0.8
	N=114	2015	34.2	28.9	9.6	8.8	1.8	6.1	7.9	1.8	0.9
	N=92	2013	38.0	23.9	10.9	8.7	0.0	6.5	7.6	3.3	1.1
聴覚障害	N=140	2020	57.1	15.7	7.9	5.0	4.3	4.3	2.9	2.1	0.7
	N=149	2019	53.0	16.1	7.4	5.4	5.4	6.7	2.7	3.4	0.0
	N=133	2017	48.9	18.0	13.5	7.5	0.8	6.8	2.3	1.5	0.8
	N=117	2015	39.3	21.4	16.2	4.3	1.7	3.4	7.7	5.1	0.9
	N=110	2013	36.4	29.1	15.5	7.3	0.0	6.4	1.8	3.6	0.0
音声・言語・そしゃく 機能障害	N=80	2020	38.8	25.0	15.0	1.3	5.0	5.0	10.0	0.0	0.0
	N=80	2019	46.3	12.5	10.0	6.3	8.8	7.5	8.8	0.0	0.0
内部障害	N=174	2020	50.0	16.1	6.9	4.0	3.4	11.5	6.9	0.0	1.1
	N=185	2019	56.2	14.6	6.5	5.9	1.1	7.6	4.9	1.6	1.6
知的障害	N=53	2020	32.1	20.8	13.2	5.7	3.8	15.1	3.8	1.9	3.8
	N=52	2019	48.1	19.2	9.6	3.8	11.5	0.0	3.8	3.8	0.0
	N=64	2017	42.2	28.7	3.1	6.3	0.0	4.7	1.6	10.9	3.1
	N=18	2015	33.3	27.8	16.7	0.0	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0
	N=13	2013	30.8	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7	15.4	0.0
発達障害	N=163	2020	47.9	20.9	9.2	2.5	2.5	10.4	1.2	3.7	1.8
	N=141	2019	41.1	22.0	10.6	2.8	2.1	12.1	4.3	2.8	2.1
	N=128	2017	39.1	25.8	13.3	5.5	1.6	9.4	2.3	0.8	2.3
	N=82	2015	35.4	22.0	15.9	3.7	1.2	7.3	12.2	2.4	0.0
	N=46	2013	45.7	26.7	4.3	6.5	0.0	4.3	8.7	4.3	0.0
精神障害	N=445	2020	47.6	22.2	8.5	2.7	1.3	11.7	2.9	1.1	1.8
	N=500	2019	44.8	24.6	6.8	1.6	0.2	13.6	4.4	2.4	1.6
	N=475	2017	37.7	22.7	10.5	5.9	0.6	11.8	6.5	1.3	2.9
	N=411	2015	39.7	28.7	6.1	4.4	0.2	9.7	8.5	1.7	1.0
	N=322	2013	34.2	30.7	8.1	5.6	1.2	9.0	8.4	1.6	1.2
その他(音声・ 言語・そしゃく機能 障害や 内部障害を含む)	N=9	2020	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1
	N=13	2019	46.2	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0
	N=272	2017	39.7	17.6	11.4	6.3	2.2	9.2	9.2	2.2	2.2
	N=227	2015	39.6	22.0	11.5	9.7	1.3	2.6	9.3	2.6	1.3
	N=186	2013	39.2	21.0	11.8	6.5	1.1	3.8	14.0	1.1	1.6

(7) スポーツ・レクリエーションをやってよかったこと

スポーツ・レクリエーションをやってよかったことについては、「ストレスが解消される」(33.7%)の割合が最も高く、次いで「体力・身体的機能が向上した」(23.4%)、「外出が増えた」(23.1%)であった(図表 2-48)。

図表 2-48 スポーツ・レクリエーションをやってよかったこと (複数回答)
(スポーツ実施者のみ)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-49 スポーツ・レクリエーションをやってよかったこと（複数回答）（障害種別）（スポーツ実施者のみ）（%）

調査年度	友人が増えた	行動範囲が拡大した	周囲の理解が向上した	外出が増えた	相手の気持ちが配慮できるようになった	ストレスが解消される	自信がついた	性格が明るくなった	体を動かすこと自体が楽しい	食事がおいしく、夜、熟睡できるようになった	体力・身体的機能が向上した	勝利や記録が出た時に嬉しい	その他	
肢体不自由 （車椅子必要）	2020[N=80]	25.0	23.8	21.3	25.0	12.5	23.8	12.5	8.8	11.3	6.3	12.5	1.3	1.3
	2019[N=69]	33.3	24.6	5.8	18.8	18.8	18.8	13.0	8.7	7.2	2.9	18.8	1.4	0.0
	2017[N=67]	41.8	19.4	11.9	23.9	9.0	17.9	6.0	4.5	13.4	6.0	11.9	3.0	4.5
	2015[N=51]	31.4	21.6	9.8	27.5	5.9	15.7	5.9	9.8	9.8	5.9	9.8	2.0	2.0
肢体不自由 （車椅子不要）	2020[N=367]	18.8	24.8	7.9	22.9	4.9	27.0	12.3	6.3	22.3	13.6	30.2	3.5	6.5
	2019[N=337]	20.8	28.5	8.3	22.6	4.2	32.0	14.5	6.8	22.0	11.9	27.9	3.9	3.9
	2017[N=308]	22.4	27.9	8.4	24.4	5.8	31.8	13.3	7.8	26.3	13.0	27.6	3.2	3.9
	2015[N=266]	20.7	21.1	5.3	21.4	4.1	28.9	12.0	4.9	25.6	10.2	27.4	4.9	8.3
視覚障害	2020[N=126]	17.5	26.2	12.7	23.8	9.5	27.8	5.6	5.6	19.0	10.3	21.4	2.4	2.4
	2019[N=120]	20.0	21.7	13.3	17.5	15.8	26.7	17.5	6.7	20.0	15.0	17.5	0.8	1.7
	2017[N=128]	23.4	24.2	7.8	21.1	2.3	34.4	9.4	7.0	19.5	10.2	26.6	3.9	3.1
	2015[N=114]	22.8	27.2	10.5	24.6	5.3	35.1	10.5	7.0	23.7	14.9	15.8	2.6	1.8
聴覚障害	2020[N=140]	25.7	23.6	13.6	20.0	5.7	29.3	13.6	6.4	20.7	12.9	25.0	5.0	2.1
	2019[N=149]	22.1	33.6	15.4	25.5	9.4	37.6	18.8	13.4	30.2	14.1	29.5	4.7	2.0
	2017[N=133]	25.6	30.8	10.5	24.1	4.5	42.9	15.8	12.0	28.6	10.5	18.0	3.8	2.3
	2015[N=117]	16.2	22.2	5.1	14.5	5.1	41.9	9.4	4.3	30.8	8.5	20.5	6.0	3.4
音声・言語・そ しゃく 機能障害	2020[N=80]	15.0	21.3	11.3	23.8	10.0	32.5	11.3	8.8	13.8	13.8	16.3	2.5	1.3
	2019[N=80]	18.8	20.0	2.5	23.8	10.0	27.5	16.3	6.3	17.5	11.3	28.8	2.5	2.5
内部障害	2020[N=174]	15.5	19.5	6.3	25.3	1.7	35.1	10.9	4.6	27.0	16.7	29.3	2.3	4.0
	2019[N=185]	16.8	20.0	3.2	23.2	3.2	36.2	10.3	4.3	22.7	16.8	35.1	3.8	3.8
知的障害	2020[N=53]	24.5	17.0	9.4	17.0	7.5	22.6	18.9	11.3	15.1	17.0	20.8	3.8	5.7
	2019[N=52]	15.4	26.9	1.9	15.4	19.2	32.7	7.7	13.5	28.8	13.5	5.8	1.9	1.9
	2017[N=64]	20.3	21.9	4.7	21.9	10.9	37.5	12.5	7.8	20.3	10.9	15.6	7.8	0.0
	2015[N=18]	44.4	33.3	5.6	22.2	11.1	27.8	11.1	11.1	33.3	5.6	11.1	5.6	11.1
発達障害	2020[N=163]	12.9	20.2	4.3	24.9	6.3	40.9	10.8	5.8	25.4	13.3	22.0	4.3	7.9
	2019[N=141]	12.1	27.7	8.5	22.7	14.2	37.6	15.6	11.3	23.4	12.8	27.0	6.4	5.0
	2017[N=128]	14.8	24.2	11.7	26.6	7.8	41.4	15.6	9.4	25.8	13.3	23.4	4.7	3.1
	2015[N=82]	17.1	22.0	3.7	17.1	2.4	36.6	12.2	7.3	24.4	12.2	20.7	6.1	6.1
精神障害	2020[N=445]	11.5	20.2	6.7	22.1	7.4	46.6	14.1	6.7	27.0	14.7	26.4	4.3	6.7
	2019[N=500]	10.2	24.6	6.2	30.4	5.8	42.6	15.8	9.0	27.6	15.0	26.2	5.8	6.2
	2017[N=475]	15.2	26.1	8.4	32.0	6.3	43.2	15.6	10.7	29.7	16.2	25.1	4.8	4.6
	2015[N=411]	11.9	23.6	5.1	24.8	2.7	43.1	12.9	7.1	26.8	13.6	24.8	3.6	8.0
その他(2017,2015 は音声・言語・そ しゃく機能障害や 内部障害を含む)	2020[N=9]	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	66.7	11.1	11.1
	2019[N=13]	7.7	23.1	15.4	38.5	0.0	38.5	0.0	15.4	15.4	23.1	30.8	7.7	7.7
	2017[N=272]	16.9	24.6	5.5	21.0	3.7	43.0	15.4	8.1	25.7	12.9	28.3	4.0	6.3
	2015[N=227]	13.7	23.3	7.0	18.9	3.1	38.8	13.2	4.0	29.5	12.3	24.7	1.8	3.5

※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-50 スポーツ・レクリエーションをやってよかったこと（複数回答）（障害種別）【重度】（スポーツ実施者のみ）

(%)

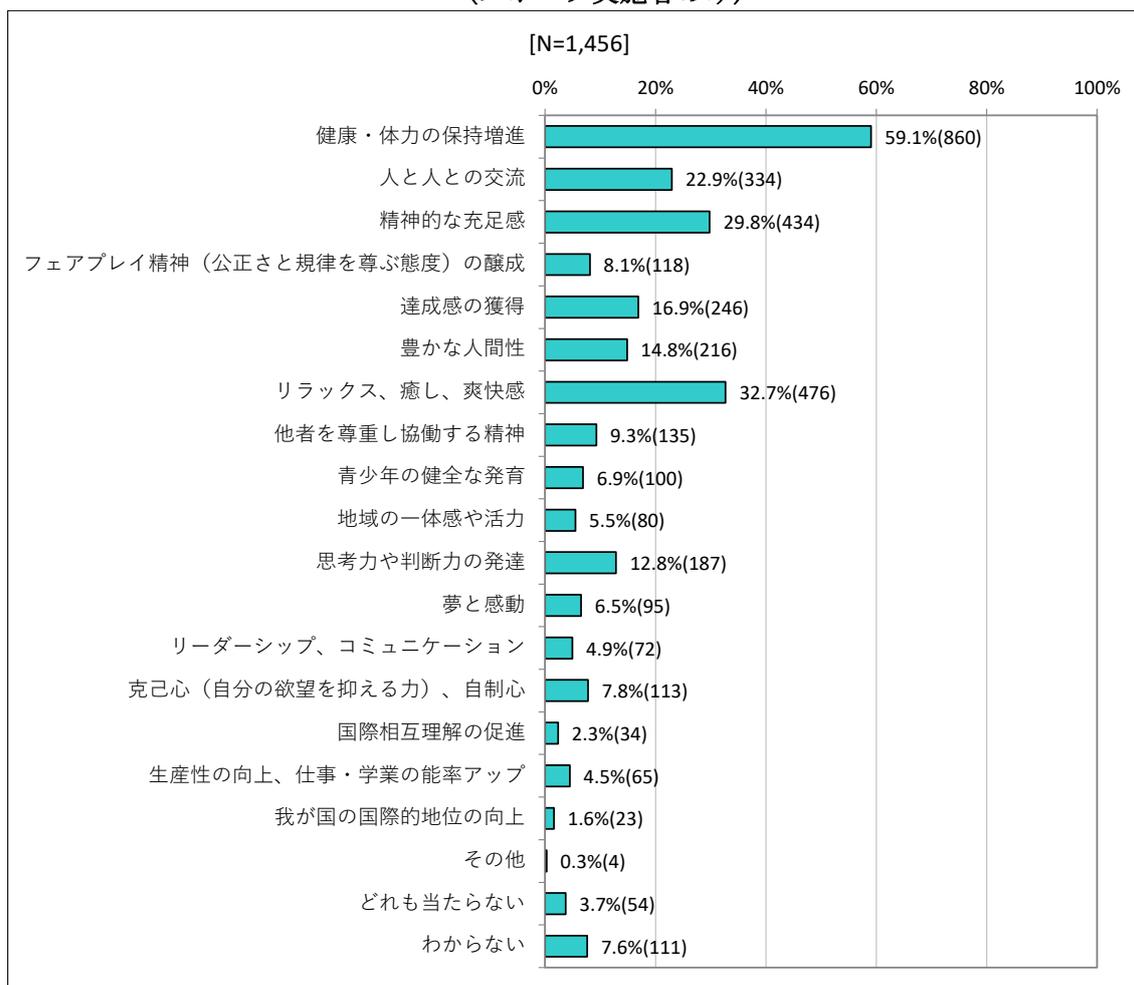
	調査年度	友人が増えた	行動範囲が拡大した	周囲の理解が向上した	外出が増えた	相手の気持ちが配慮できるようになった	ストレスが解消される	自信がかった	性格が明るくなった	体を動かすこと自体が楽しい	食事がおいしく、夜、熟睡できるようになった	体力・身体的機能が向上した	勝利や記録が出た時に嬉しい	その他
肢体不自由 (車椅子必要)	2020[N=42]	23.8	28.6	31.0	31.0	16.7	16.7	21.4	11.9	11.9	7.1	19.0	2.4	0.0
	2019[N=38]	34.2	28.9	0.0	21.1	10.5	21.2	15.8	5.3	7.9	0.0	26.3	0.0	0.0
	2017[N=39]	48.7	17.9	10.3	30.8	10.3	17.9	10.3	5.1	15.4	10.3	15.4	2.6	5.1
	2015[N=28]	35.7	32.1	14.3	35.7	3.6	17.9	3.6	3.6	10.7	3.6	14.3	0.0	0.0
肢体不自由 (車椅子不要)	2020[N=84]	22.6	27.4	9.5	32.1	7.1	31.0	11.9	6.0	15.5	11.9	33.3	3.6	4.8
	2019[N=79]	20.3	32.9	8.9	26.6	6.3	24.1	11.4	6.3	17.7	13.9	30.4	3.8	3.8
	2017[N=66]	24.2	36.4	16.7	28.8	10.6	22.7	19.7	10.6	25.8	9.1	28.8	4.5	7.6
	2015[N=66]	16.7	19.7	3.0	22.7	4.5	24.2	9.1	1.5	18.2	7.6	31.8	4.5	12.1
視覚障害	2020[N=39]	17.9	33.3	10.3	33.3	12.8	33.3	5.1	10.3	23.1	12.8	30.8	2.6	0.0
	2019[N=27]	18.5	29.6	18.5	18.5	25.9	25.9	25.9	14.8	18.5	15.8	18.5	0.0	0.0
	2017[N=32]	25.0	21.9	9.4	31.3	6.3	40.6	12.5	3.1	25.0	9.4	25.0	6.3	0.0
	2015[N=33]	36.4	27.3	12.1	12.1	3.0	18.2	12.1	3.0	18.2	15.2	18.2	6.1	6.1
聴覚障害	2020[N=37]	43.2	35.1	21.6	27.0	5.4	32.4	16.2	8.1	21.6	8.1	24.3	5.4	2.7
	2019[N=28]	25.0	39.3	21.4	25.0	10.7	35.7	14.3	10.7	28.6	14.3	39.9	0.0	0.0
	2017[N=31]	38.7	51.6	22.6	32.3	6.5	45.2	22.6	16.1	32.3	16.1	35.5	6.5	0.0
	2015[N=28]	28.6	32.1	10.7	14.3	3.6	46.4	7.1	3.6	32.1	3.6	21.4	7.1	7.1
音声・言語・そしゃく 機能障害	2020[N=20]	15.0	15.0	20.0	40.0	10.0	40.0	25.0	15.0	30.0	15.0	20.0	50.0	0.0
	2019[N=23]	21.7	26.1	4.3	26.1	8.7	26.1	13.0	0.0	13.0	13.0	21.7	0.0	4.3
内部障害	2020[N=86]	12.8	24.4	2.3	23.3	0.0	31.4	10.5	1.2	24.4	15.1	32.6	1.2	3.5
	2019[N=93]	14.0	21.5	3.2	25.8	3.2	39.8	8.6	3.2	26.9	18.3	10.0	3.2	2.2
知的障害	2020[N=9]	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0
	2019[N=11]	9.1	18.2	0.0	18.2	45.5	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	2017[N=13]	30.8	30.8	0.0	0.0	15.4	38.5	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0
	2015[N=5]	60.0	80.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0
発達障害	2020[N=14]	35.7	21.4	21.4	28.6	7.1	28.6	14.3	21.4	28.6	21.4	35.7	7.1	7.1
	2019[N=13]	23.1	30.8	15.4	23.1	38.5	23.1	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0
	2017[N=9]	55.6	22.2	44.4	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
	2015[N=31]	12.9	38.7	6.5	22.6	0.0	29.0	9.7	12.9	16.1	16.1	12.9	0.0	6.5
精神障害	2020[N=28]	21.4	25.0	10.7	21.4	7.1	50.0	14.3	10.7	39.3	14.3	21.4	7.1	0.0
	2019[N=25]	20.0	40.0	16.0	16.0	16.0	48.0	16.0	8.0	16.0	16.0	16.0	8.0	0.0
	2017[N=38]	42.1	28.9	15.8	23.7	10.5	28.9	15.8	13.2	10.5	10.5	13.2	5.3	7.9
	2015[N=167]	11.4	26.3	6.0	29.9	2.4	43.1	13.8	9.0	25.7	15.6	23.4	3.0	9.0
その他(音声・言語・そしゃく機能障害や 内部障害を含む)	2020[N=4]	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0
	2019[N=6]	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	2017[N=100]	18.0	23.0	4.0	24.0	2.0	46.0	16.0	4.0	25.0	15.0	36.0	4.0	7.0
	2015[N=92]	9.8	21.7	8.7	20.7	3.3	40.2	16.3	5.4	26.1	17.4	30.4	2.2	2.2

※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

(8) 運動・スポーツがもたらすと考えられるもの

障害のある人にとって、運動・スポーツが何をもたらすと考えるかについてたずねると、「健康・体力の保持増進」(59.1%)が約6割と、最も高かった。次いで、「リラックス、癒し、爽快感」(32.7%)、「精神的な充足感」(29.8%)となっている。

図表 2-51 運動・スポーツがもたらすと考えられるもの（複数回答）
（スポーツ実施者のみ）



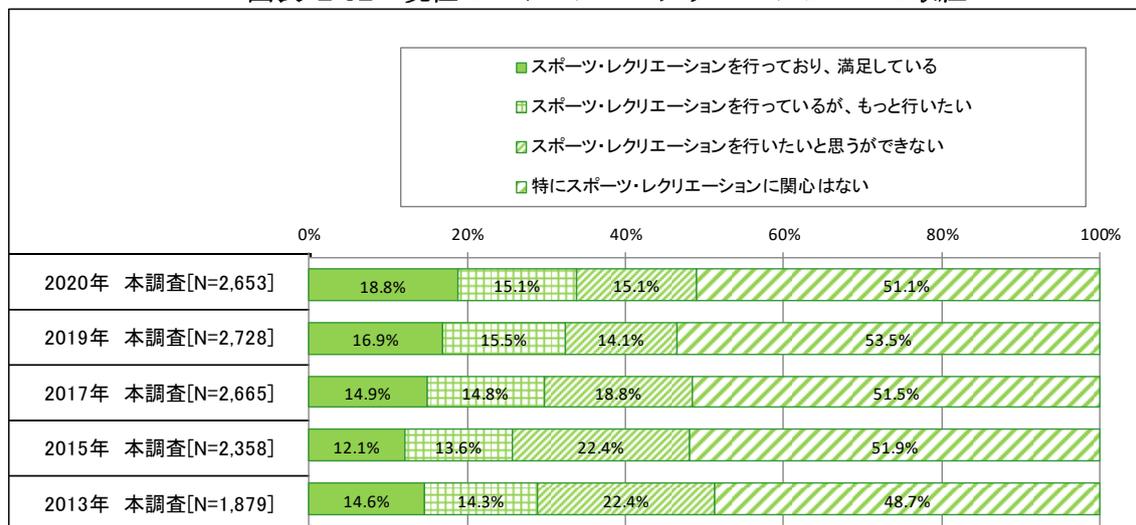
※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

(9) 現在のスポーツ・レクリエーションへの取組

現在のスポーツ・レクリエーションへの取組については、「特にスポーツ・レクリエーションに関心はない」(51.1%)と回答した割合が約半数となり、最も高い。次いで「スポーツ・レクリエーションを行っており、満足している」が18.8%であった。経年で比較すると、「スポーツ・レクリエーションを行っており、満足している」割合は2015年以降、少しずつ増加している(図表 2-52)。

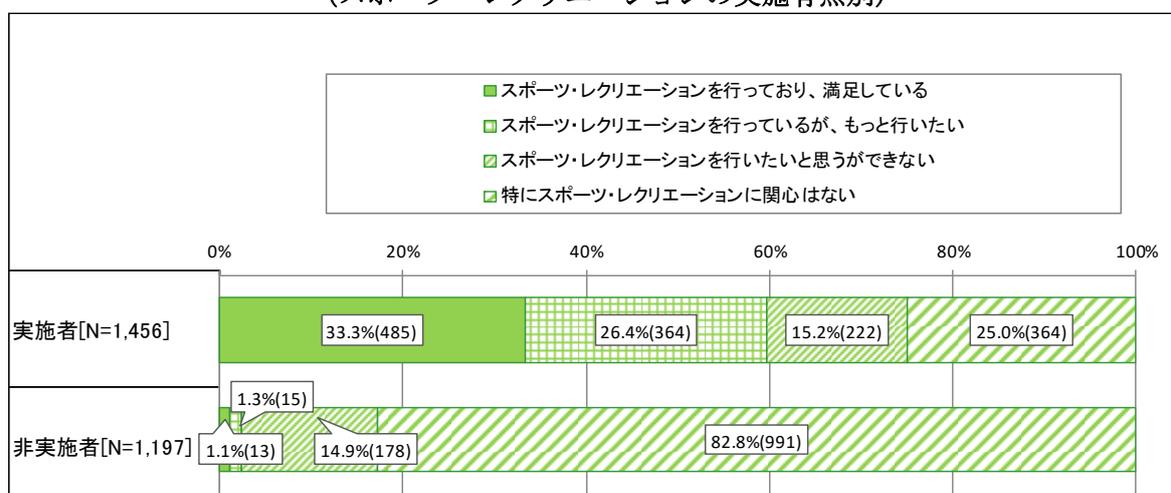
過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施有無別にみると、非実施者では「特にスポーツ・レクリエーションに関心はない」が82.8%となり、実施者よりも無関心層の割合が高いことがわかる(図表 2-53)。

図表 2-52 現在のスポーツ・レクリエーションへの取組



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

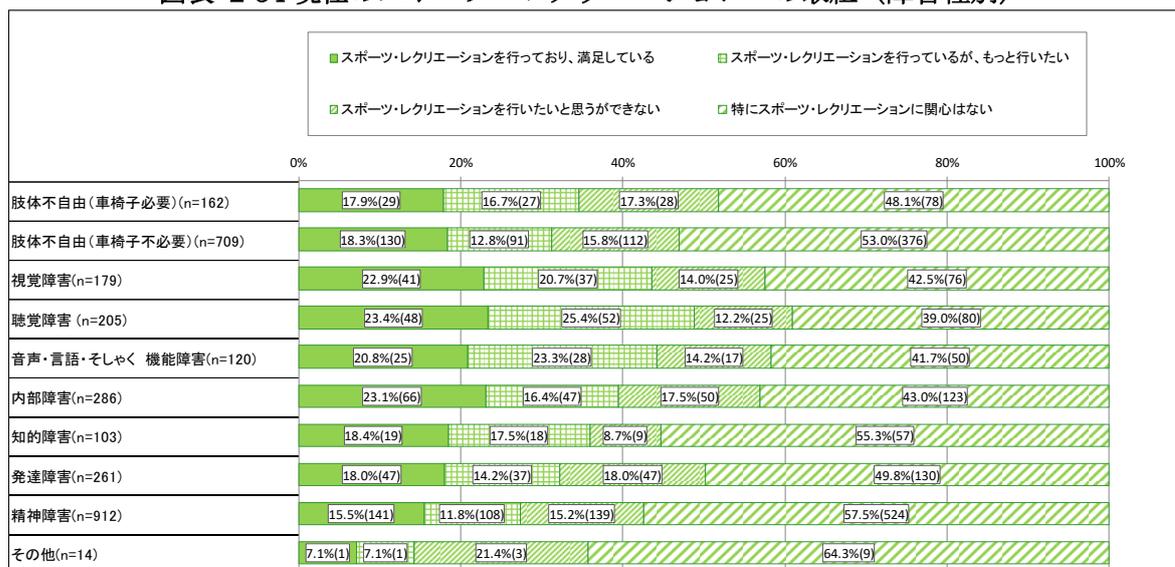
図表 2-53 現在のスポーツ・レクリエーションへの取組
(スポーツ・レクリエーションの実施有無別)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。
 ※実施者の中に「スポーツ・レクリエーションを行いたいと思うができない」「特にスポーツ・レクリエーションに関心はない」、また非実施者の中に、「スポーツ・レクリエーションを行っており、満足している」「スポーツを行っているが、もっと行いたい」と回答した人がいる。矛盾した回答であるが、比較の参考として、そのまま掲載した。

障害種別に見ると、全障害において「特にスポーツ・レクリエーションに関心はない」無関心層の割合が高く、発達障害(18.0%)、内部障害(17.5%)、肢体不自由(車椅子必要)(17.3%)、においては「スポーツ・レクリエーションを行いたいと思うができない」の割合が他よりもやや高い(図表 2-54)。

図表 2-54 現在のスポーツ・レクリエーションへの取組 (障害種別)

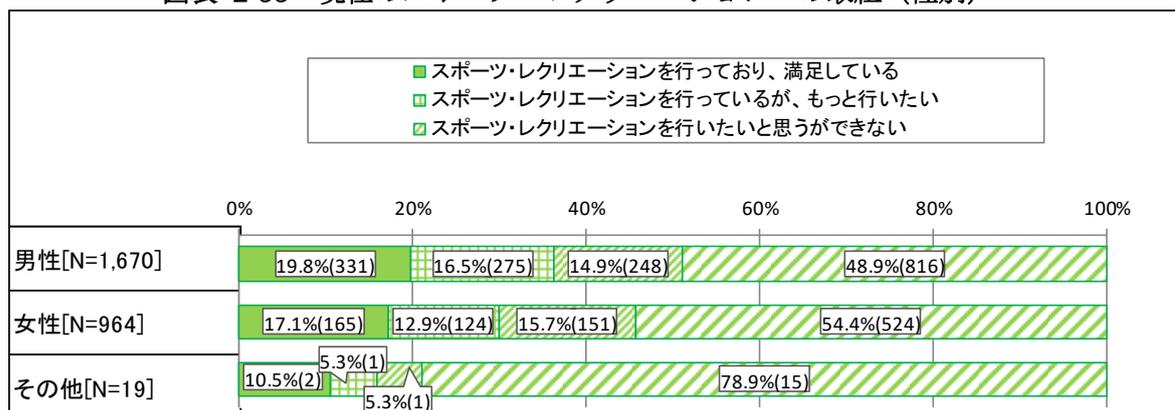


※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

男女別に見ると、男性のほうが「スポーツ・レクリエーションを行っており、満足している」割合が19.8%と女性の17.1%よりもやや高い。また、「特にスポーツ・レクリエーションに関心はない」割合は女性の方が54.4%と男性よりも高い(図表 2-55)。

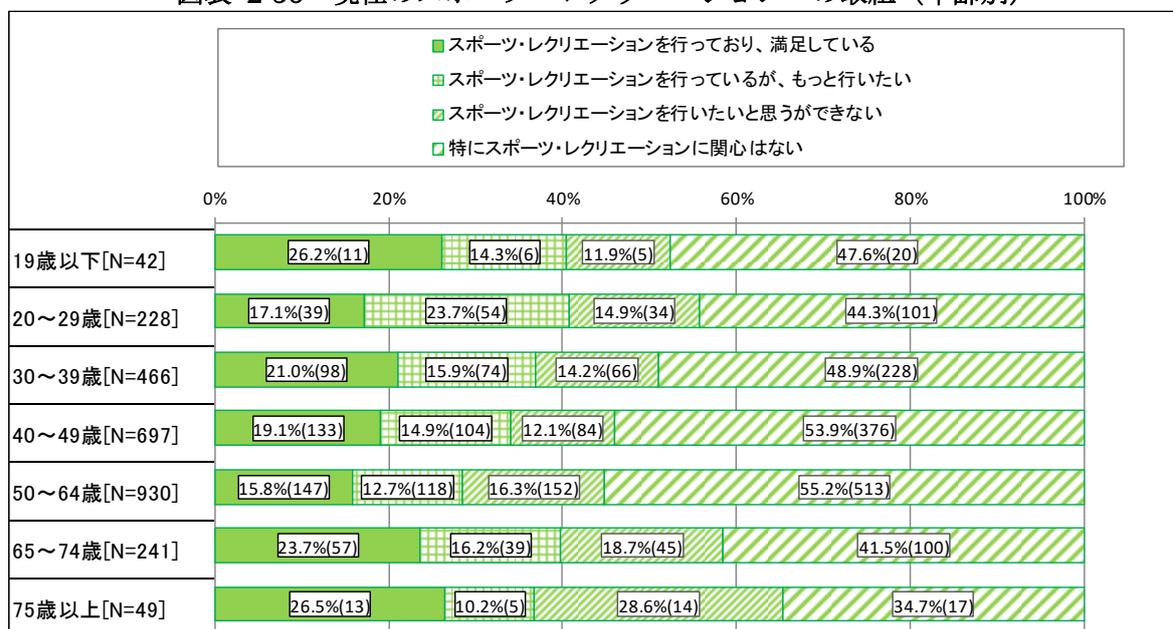
年齢別に見ると、19歳以下は「スポーツ・レクリエーション行っており、満足している」割合が26.2%と高い。また65歳以上も満足している割合が2割以上となっている(図表 2-56)。

図表 2-55 現在のスポーツ・レクリエーションへの取組 (性別)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-56 現在のスポーツ・レクリエーションへの取組 (年齢別)

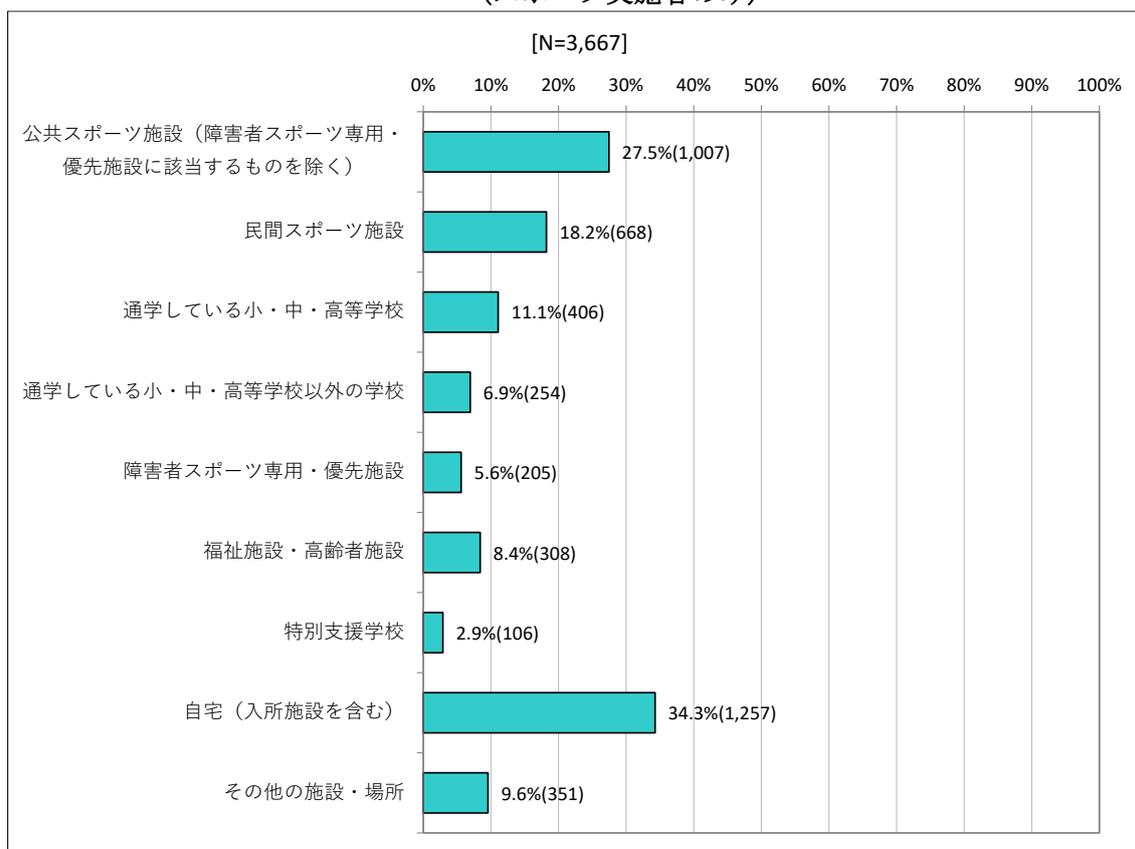


※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

(10) スポーツ・レクリエーションを行う施設

スポーツ・レクリエーションを行っている施設についてみると、「自宅（入所施設を含む）」が34.3%と最も割合が高かった(図表 2-57)。障害種別でみると、「肢体不自由（車椅子必要）」は「公共スポーツ施設（障害者スポーツ専用・優先施設に該当するものを除く）」の割合が33.0%と他よりも高い(図表 2-58)。

図表 2-57 スポーツ・レクリエーションを行っている施設（複数回答）
（スポーツ実施者のみ）



図表 2-58 スポーツ・レクリエーションを行っている施設（障害種別）（複数回答）
（スポーツ実施者のみ）

(%)

		公共スポーツ施設（障害者スポーツ専用・優先施設に該当するものを除く）	民間スポーツ施設	通学している小・中・高等学校	通学している小・中・高等学校以外の学校	障害者スポーツ専用・優先施設	福祉施設・高齢者施設	特別支援学校	自宅（入所施設を含む）	その他の施設・場所
全体	N=3,667	27.5	18.2	11.1	6.9	5.6	8.4	2.9	34.3	9.6
肢体不自由(車椅子必要)	N=273	33.0	18.3	12.8	9.2	9.2	21.2	6.2	20.5	4.4
肢体不自由(車椅子不要)	N=877	28.7	19.4	7.0	5.8	5.0	8.1	1.3	36.5	8.3
視覚障害	N=333	24.3	17.7	16.2	14.1	9.3	7.2	3.3	29.7	8.7
聴覚障害	N=406	28.3	22.7	11.6	7.6	7.9	9.4	2.2	32.8	7.9
音声・言語・そしゃく機能障害	N=228	20.6	16.7	18.9	12.7	10.1	16.2	2.6	25.0	4.8
内部障害	N=412	23.1	20.6	9.0	7.8	4.9	7.5	2.7	37.4	11.2
知的障害	N=340	28.5	13.5	10.6	7.9	5.0	19.7	10.3	31.5	8.5
発達障害	N=551	29.4	16.3	20.9	4.9	3.4	8.2	4.4	34.3	9.3
精神障害	N=751	25.3	14.1	4.0	4.3	4.1	7.1	1.6	43.8	15.3
その他	N=18	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	16.7	0.0	66.7	22.2

図表 2-59 スポーツ施設までの移動手段（障害種別）（複数回答）
（スポーツ実施者のみ）

(%)

		N=273	N=877	N=333	N=406	N=228	N=412	N=340	N=551	N=751	N=18
		肢体不自由 （車椅子必要）	肢体不自由 （車椅子不要）	視覚障害	聴覚障害	音声言語そしゃく 機能障	内部障害	知的障害	発達障害	精神障害	その他
公共スポーツ施設 （障害者スポーツ専用・優先施設に該当するものを除く）	（自力で）公共交通手段で移動した	60.0	60.7	50.6	49.6	48.9	46.3	32.0	40.1	60.5	100.0
	（自力で）自家用車で移動した	24.4	30.6	38.3	39.1	31.9	38.9	16.5	27.8	33.2	50.0
	家族・友人等に送迎してもらった	20.0	13.9	17.3	19.1	21.3	17.9	39.2	29.6	9.5	50.0
	移動に関する支援を利用した	11.1	4.8	6.2	0.9	4.3	4.2	20.6	10.5	2.1	50.0
	その他	0.0	2.4	4.9	0.9	0.0	4.2	4.1	3.1	3.2	0.0
民間スポーツ施設	（自力で）公共交通手段で移動した	36.0	51.8	40.7	39.1	36.8	35.3	43.5	41.1	47.2	50.0
	（自力で）自家用車で移動した	52.0	36.5	55.9	42.4	44.7	51.8	21.7	36.7	44.3	50.0
	家族・友人等に送迎してもらった	18.0	14.7	10.2	23.9	23.7	14.1	37.0	35.6	13.2	50.0
	移動に関する支援を利用した	8.0	3.5	1.7	2.2	2.6	3.5	8.7	3.3	2.8	50.0
	その他	0.0	5.9	1.7	2.2	0.0	3.5	0.0	2.2	3.8	50.0
通学している小・中・高等学校	（自力で）公共交通手段で移動した	34.3	39.3	38.9	44.7	30.2	16.2	36.1	53.0	43.3	0.0
	（自力で）自家用車で移動した	48.6	52.5	46.3	40.4	41.9	35.1	16.7	24.3	36.7	0.0
	家族・友人等に送迎してもらった	17.1	13.1	22.2	17.0	25.6	48.6	44.4	25.2	13.3	0.0
	移動に関する支援を利用した	8.6	1.6	11.1	2.1	4.7	5.4	8.3	1.7	3.3	0.0
	その他	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	10.4	3.3	0.0
通学している小・中・高等学校以外の学校	（自力で）公共交通手段で移動した	28.0	39.2	23.4	19.4	17.2	12.5	40.7	51.9	25.0	0.0
	（自力で）自家用車で移動した	52.0	41.2	59.6	67.7	34.5	40.6	18.5	29.6	34.4	0.0
	家族・友人等に送迎してもらった	16.0	23.5	17.0	25.8	44.8	46.9	40.7	18.5	34.4	0.0
	移動に関する支援を利用した	12.0	2.0	4.3	12.9	6.9	6.3	7.4	7.4	9.4	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0
障害者スポーツ専用・優先施設	（自力で）公共交通手段で移動した	24.0	31.8	32.3	21.9	17.4	40.0	11.8	31.6	29.0	50.0
	（自力で）自家用車で移動した	48.0	34.1	58.1	34.4	34.8	25.0	29.4	36.8	32.3	50.0
	家族・友人等に送迎してもらった	32.0	27.3	32.3	43.8	43.5	40.0	41.2	26.3	45.2	50.0
	移動に関する支援を利用した	24.0	6.8	19.4	9.4	8.7	10.0	17.6	10.5	19.4	100.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
福祉施設・高齢者施設	（自力で）公共交通手段で移動した	3.4	16.9	20.8	26.3	13.5	29.0	22.4	20.0	26.4	0.0
	（自力で）自家用車で移動した	10.3	14.1	37.5	10.5	10.8	16.1	7.5	20.0	13.2	0.0
	家族・友人等に送迎してもらった	31.0	21.1	25.0	18.4	29.7	22.6	37.3	44.4	18.9	33.3
	移動に関する支援を利用した	55.2	53.5	20.8	42.1	56.8	45.2	46.3	35.6	47.2	66.7
	その他	10.3	7.0	4.2	5.3	2.7	3.2	4.5	2.2	7.5	33.3
特別支援学校	（自力で）公共交通手段で移動した	29.4	54.5	36.4	44.4	16.7	36.4	31.4	41.7	16.7	0.0
	（自力で）自家用車で移動した	23.5	27.3	54.5	11.1	50.0	18.2	22.9	20.8	33.3	0.0
	家族・友人等に送迎してもらった	35.3	36.4	36.4	33.3	0.0	72.7	40.0	29.2	50.0	0.0
	移動に関する支援を利用した	41.2	18.2	9.1	22.2	33.3	9.1	17.1	29.2	8.3	0.0
	その他	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の施設・場所	（自力で）公共交通手段で移動した	8.3	30.1	48.3	25.0	18.2	28.3	27.6	27.5	28.7	25.0
	（自力で）自家用車で移動した	8.3	26.0	17.2	25.0	9.1	30.4	3.4	15.7	18.3	25.0
	家族・友人等に送迎してもらった	33.3	11.0	6.9	6.3	27.3	4.3	34.5	21.6	7.0	25.0
	移動に関する支援を利用した	41.7	6.8	0.0	6.3	9.1	0.0	10.3	5.9	3.5	0.0
	その他	25.0	37.0	34.5	46.9	36.4	41.3	34.5	35.3	49.6	50.0

図表 2-60 スポーツ施設での実施日数(障害種別)
(スポーツ実施者のみ)

(%)

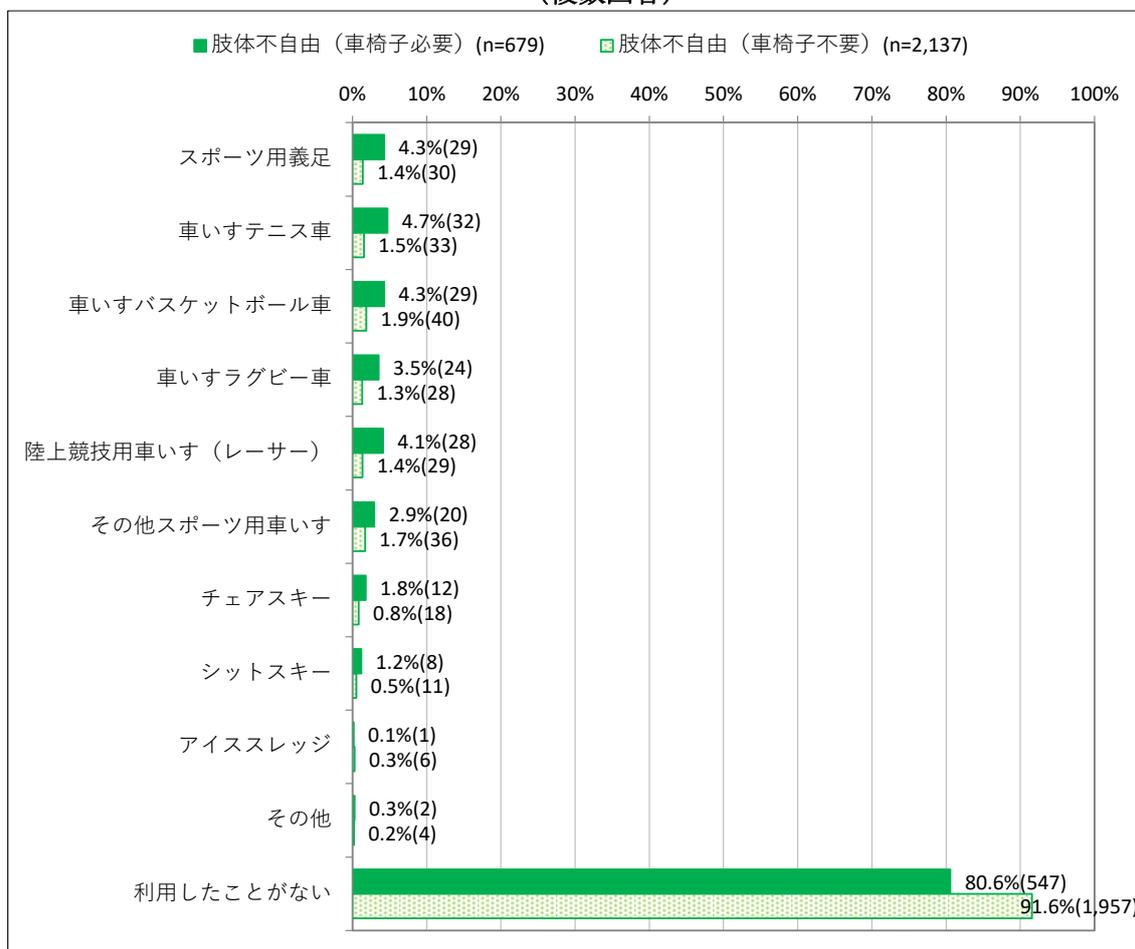
		N=273	N=877	N=333	N=406	N=228	N=412	N=340	N=551	N=751	N=18
		(車椅子不自由) (車椅子不要)	(肢体不自由) (車椅子不要)	視覚障害	聴覚障害	その他 (音声・言語・ そらぐ機能障害)	内部障害	知的障害	発達障害	精神障害	その他
公共スポーツ施設 (障害者スポーツ専用・優先施設に該当するものを除く)	週に3日以上(年151日以上)	20.0	12.3	9.9	17.4	10.6	17.9	7.2	9.3	13.2	0.0
	週に1~2日(年51日~150日)	33.3	27.8	34.6	30.4	25.5	30.5	21.6	22.8	28.9	50.0
	月に1~3日(年12日~50日)	15.6	27.4	19.8	26.1	19.1	22.1	36.1	24.7	26.8	0.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	8.9	9.1	11.1	10.4	23.4	6.3	13.4	13.6	11.1	50.0
	年に1~3日	11.1	11.9	18.5	9.6	12.8	15.8	13.4	17.3	12.6	0.0
	分からない	11.1	11.5	6.2	6.1	8.5	7.4	8.2	12.3	7.4	0.0
民間スポーツ施設	週に3日以上(年151日以上)	8.0	16.5	10.2	14.1	7.9	12.9	6.5	6.7	14.2	0.0
	週に1~2日(年51日~150日)	48.0	24.7	30.5	26.1	31.6	37.6	23.9	36.7	27.4	0.0
	月に1~3日(年12日~50日)	20.0	25.9	30.5	34.8	31.6	31.8	34.8	32.2	31.1	50.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	10.0	12.9	5.1	10.9	7.9	8.2	15.2	10.0	10.4	50.0
	年に1~3日	8.0	13.5	16.9	9.8	15.8	5.9	8.7	11.1	10.4	0.0
	分からない	6.0	6.5	6.8	4.3	5.3	3.5	10.9	3.3	6.6	0.0
通学している小・中・高等学校	週に3日以上(年151日以上)	5.7	14.8	7.4	8.5	7.0	8.1	2.8	22.6	20.0	0.0
	週に1~2日(年51日~150日)	48.6	23.0	35.2	27.7	20.9	32.4	27.8	34.8	13.3	0.0
	月に1~3日(年12日~50日)	25.7	23.0	18.5	34.0	37.2	16.2	25.0	16.5	26.7	0.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	8.6	14.8	16.7	4.3	11.6	18.9	13.9	6.1	10.0	0.0
	年に1~3日	8.6	11.5	14.8	19.1	11.6	13.5	5.6	5.2	13.3	0.0
	分からない	2.9	13.1	7.4	6.4	11.6	10.8	25.0	14.8	16.7	0.0
通学している小・中・高等学校以外の学校	週に3日以上(年151日以上)	8.0	3.9	4.3	3.2	3.4	3.1	7.4	0.0	3.1	0.0
	週に1~2日(年51日~150日)	20.0	17.6	14.9	9.7	10.3	9.4	7.4	25.9	21.9	0.0
	月に1~3日(年12日~50日)	32.0	25.5	40.4	29.0	37.9	21.9	33.3	44.4	34.4	0.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	8.0	25.5	8.5	29.0	17.2	28.1	18.5	7.4	15.6	0.0
	年に1~3日	12.0	13.7	12.8	6.5	10.3	12.5	11.1	3.7	9.4	0.0
	分からない	20.0	13.7	19.1	22.6	20.7	25.0	22.2	18.5	15.6	0.0
通学している小・中・高等学校以外の学校	週に3日以上(年151日以上)	12.0	11.4	3.2	6.3	8.7	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	週に1~2日(年51日~150日)	28.0	34.1	19.4	31.3	26.1	40.0	29.4	21.1	25.8	0.0
	月に1~3日(年12日~50日)	12.0	20.5	29.0	46.9	34.8	20.0	58.8	42.1	22.6	50.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	20.0	11.4	25.8	6.3	8.7	15.0	5.9	10.5	16.1	50.0
	年に1~3日	24.0	6.8	6.5	3.1	8.7	15.0	5.9	15.8	19.4	0.0
	分からない	4.0	15.9	16.1	6.3	13.0	5.0	0.0	10.5	16.1	0.0
障害者スポーツ専用・優先施設	週に3日以上(年151日以上)	12.0	11.4	3.2	6.3	8.7	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	週に1~2日(年51日~150日)	28.0	34.1	19.4	31.3	26.1	40.0	29.4	21.1	25.8	0.0
	月に1~3日(年12日~50日)	12.0	20.5	29.0	46.9	34.8	20.0	58.8	42.1	22.6	50.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	20.0	11.4	25.8	6.3	8.7	15.0	5.9	10.5	16.1	50.0
	年に1~3日	24.0	6.8	6.5	3.1	8.7	15.0	5.9	15.8	19.4	0.0
	分からない	4.0	15.9	16.1	6.3	13.0	5.0	0.0	10.5	16.1	0.0
福祉施設・高齢者施設	週に3日以上(年151日以上)	12.1	18.3	4.2	13.2	18.9	19.4	17.9	4.4	15.1	66.7
	週に1~2日(年51日~150日)	41.4	35.2	45.8	28.9	24.3	48.4	31.3	28.9	43.4	0.0
	月に1~3日(年12日~50日)	15.5	25.4	12.5	31.6	32.4	16.1	14.9	31.1	15.1	0.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	10.3	8.5	0.0	7.9	5.4	9.7	11.9	15.6	7.5	33.3
	年に1~3日	10.3	2.8	20.8	2.6	2.7	6.5	7.5	15.6	5.7	0.0
	分からない	10.3	9.9	16.7	15.8	16.2	0.0	16.4	4.4	13.2	0.0
特別支援学校	週に3日以上(年151日以上)	0.0	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	17.1	8.3	8.3	0.0
	週に1~2日(年51日~150日)	41.2	9.1	18.2	33.3	16.7	18.2	17.1	25.0	16.7	0.0
	月に1~3日(年12日~50日)	11.8	9.1	27.3	22.2	50.0	36.4	17.1	33.3	8.3	0.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	17.6	27.3	0.0	22.2	0.0	27.3	11.4	8.3	16.7	0.0
	年に1~3日	11.8	18.2	9.1	0.0	33.3	9.1	8.6	8.3	8.3	0.0
	分からない	17.6	18.2	27.3	22.2	0.0	9.1	28.6	16.7	41.7	0.0
自宅(入所施設を含む)	週に3日以上(年151日以上)	26.8	26.3	21.2	29.3	26.3	35.7	28.0	20.6	29.5	0.0
	週に1~2日(年51日~150日)	37.5	17.8	26.3	24.8	26.3	26.0	27.1	24.3	21.3	25.0
	月に1~3日(年12日~50日)	10.7	13.4	14.1	11.3	14.0	9.7	20.6	20.6	12.5	33.3
	3か月に1~2日(年4日~11日)	3.6	5.0	8.1	10.5	0.0	3.2	4.7	5.3	5.8	16.7
	年に1~3日	7.1	9.4	7.1	5.3	10.5	7.8	4.7	8.5	8.2	8.3
	分からない	14.3	28.1	23.2	18.8	22.8	17.5	15.0	20.6	22.8	16.7
その他の施設・場所	週に3日以上(年151日以上)	25.0	35.6	17.2	31.3	0.0	47.8	24.1	31.4	29.6	25.0
	週に1~2日(年51日~150日)	33.3	27.4	34.5	31.3	36.4	17.4	31.0	19.6	20.0	75.0
	月に1~3日(年12日~50日)	16.7	11.0	20.7	28.1	9.1	21.7	17.2	21.6	27.0	0.0
	3か月に1~2日(年4日~11日)	8.3	4.1	17.2	6.3	9.1	2.2	6.9	7.8	11.3	0.0
	年に1~3日	8.3	6.8	0.0	0.0	27.3	6.5	10.3	13.7	4.3	0.0
	分からない	8.3	15.1	10.3	3.1	18.2	4.3	10.3	5.9	7.8	0.0

(11) 障害者スポーツ用具の利用の有無

車椅子や義足等の個人利用の障害者スポーツ用具の利用経験について、障害種別を「肢体不自由」に絞ってみると、「利用したことがない」割合が8割を超える結果となった。スポーツ用車椅子等の用具を必要とする障害者スポーツを経験したことのある障害者は少ないということが伺える。

利用経験がある人についてみると、障害者スポーツ用具「肢体不自由（車椅子必要）」では「車いすテニス車」（4.7%）、「スポーツ用義足」（4.3%）、「車いすバスケットボール車」（4.3%）となっている（図表 2-61）。

図表 2-61 障害者スポーツ用具の利用の有無（障害種別：肢体不自由のみ）
（複数回答）

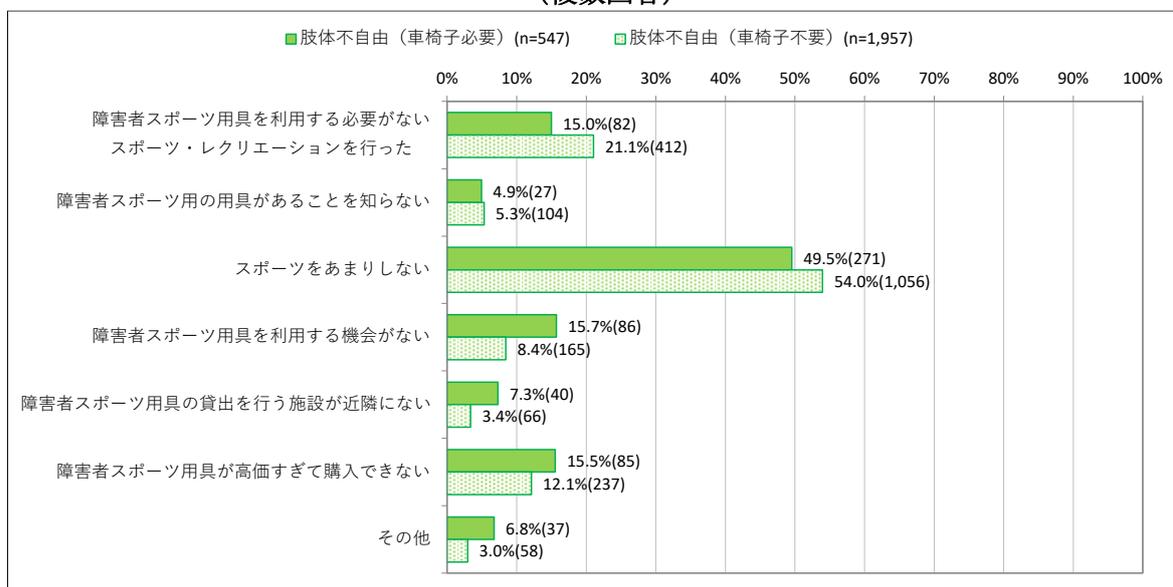


(12) 障害者スポーツ用具を利用したことがない理由

障害種別が肢体不自由で、障害者スポーツ用具を利用したことがない理由は、「スポーツをあまりしない」割合が肢体不自由（車椅子不要）で49.5%、肢体不自由（車椅子必要）で54.0%と最も高い。その他の理由では、肢体不自由（車椅子必要）では「障害者スポーツ用具を利用する機会がない」（15.7%）、「障害者スポーツ用具が高価すぎて購入できない」（15.5%）の順に高い。

肢体不自由（車椅子不要）では、「障害者スポーツ用具を利用する必要がないスポーツ・レクリエーションを行った」が約2割である(図表 2-62)。

図表 2-62 障害者スポーツ用具を利用したことがない理由
(障害種別：肢体不自由／障害者スポーツ用具を利用したことがない人のみ)
(複数回答)



図表 2-63 障害者スポーツ用具を利用したことがない理由
 (年齢別：肢体不自由／障害者スポーツ用具を利用したことがない人のみ)
 (複数回答)

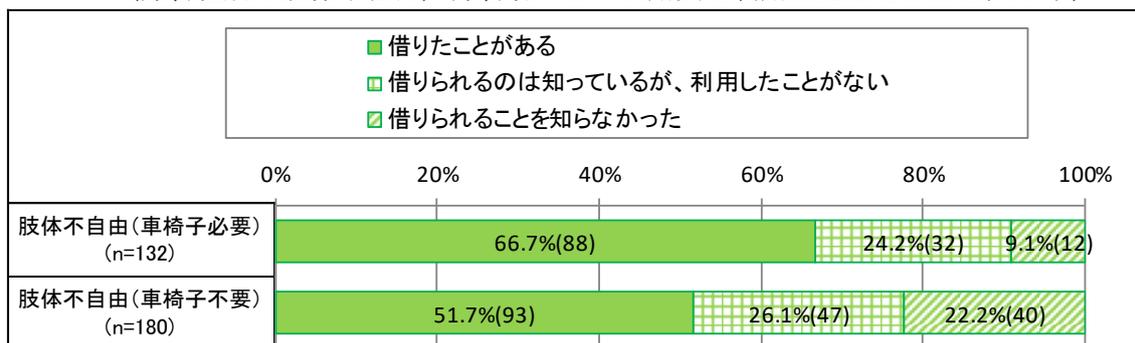
(%)

		障害者スポーツ用具を利用する必要がない スポーツ・レクリエーションを行った	障害者スポーツ用の用具が あることを知らない	スポーツをあまりしない	障害者スポーツ用具を 利用する機会がない	障害者スポーツ用具の 貸出を行う施設が近隣にない	障害者スポーツ用具が 高価すぎて購入できない	その他
7～12歳	N=100	22.0	8.0	39.0	8.0	2.0	22.0	1.0
13～19歳	N=123	27.6	5.7	43.1	8.1	5.7	13.8	1.6
20～29歳	N=149	25.5	6.0	36.9	8.7	4.0	20.1	4.7
30～39歳	N=205	19.5	6.3	43.9	7.3	6.8	18.0	1.5
40～49歳	N=342	21.3	5.6	54.1	5.8	5.6	13.2	1.8
50～64歳	N=663	19.3	4.8	53.5	10.1	4.4	13.3	4.5
65～74歳	N=382	18.8	6.8	50.5	12.0	4.2	12.0	5.8
75歳以上	N=540	16.1	3.1	66.1	13.3	2.4	6.9	4.4

(13) 障害者スポーツ用具を借りた経験の有無

サンプル数は少ないが（肢体不自由の2割程度）、障害種別が肢体不自由で障害者スポーツ用具を利用したことがある人に、用具を借りた経験について聞くと、「借りたことがある」は肢体不自由（車椅子必要）で66.7%となっている(図表 2-64)。

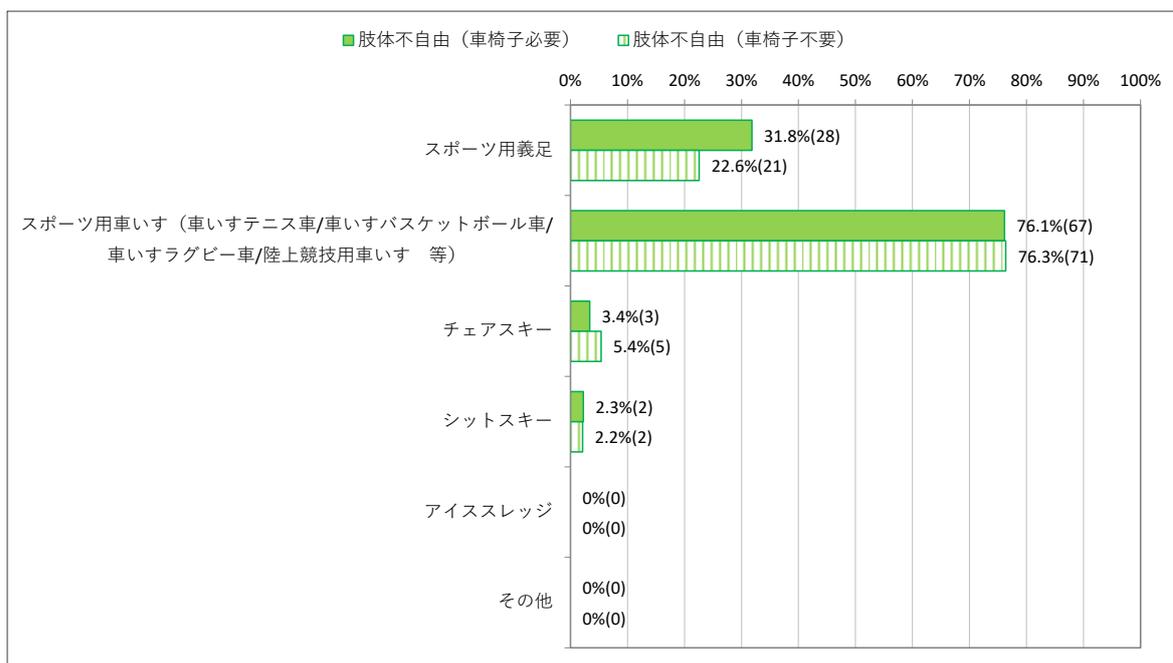
図表 2-64 障害者スポーツ用具を借りた経験の有無
(障害種別：肢体不自由／障害者スポーツ用具を利用したことがある人のみ)



(14) 借りたことのある障害者スポーツ用具

サンプル数は少ないが、障害種別が肢体不自由で、障害者スポーツ用具を借りたことがある人が借りたスポーツ用具の種類についてみると、スポーツ用車いす（車いすバスケットボール車、車いすラグビー車等）が7割を超えている。（図表 2-65）。

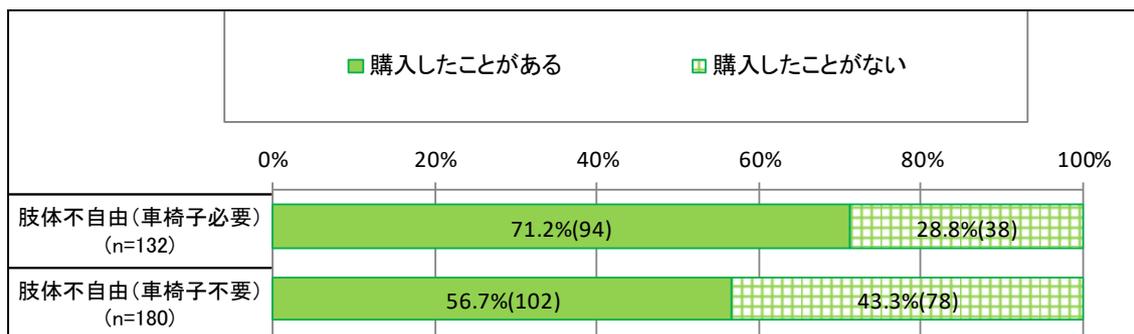
図表 2-65 借りたことのある障害者スポーツ用具
 (障害種別：肢体不自由／障害者スポーツ用具を借りたことがある人のみ)
 (複数回答)



(15) 障害者スポーツ用具の購入経験の有無

障害種別が肢体不自由で、障害者スポーツ用具を利用したことがある人の障害者スポーツ用具の購入経験について、肢体不自由（車椅子必要）では「購入したことがある」が約7割と高い（図表 2-66）。

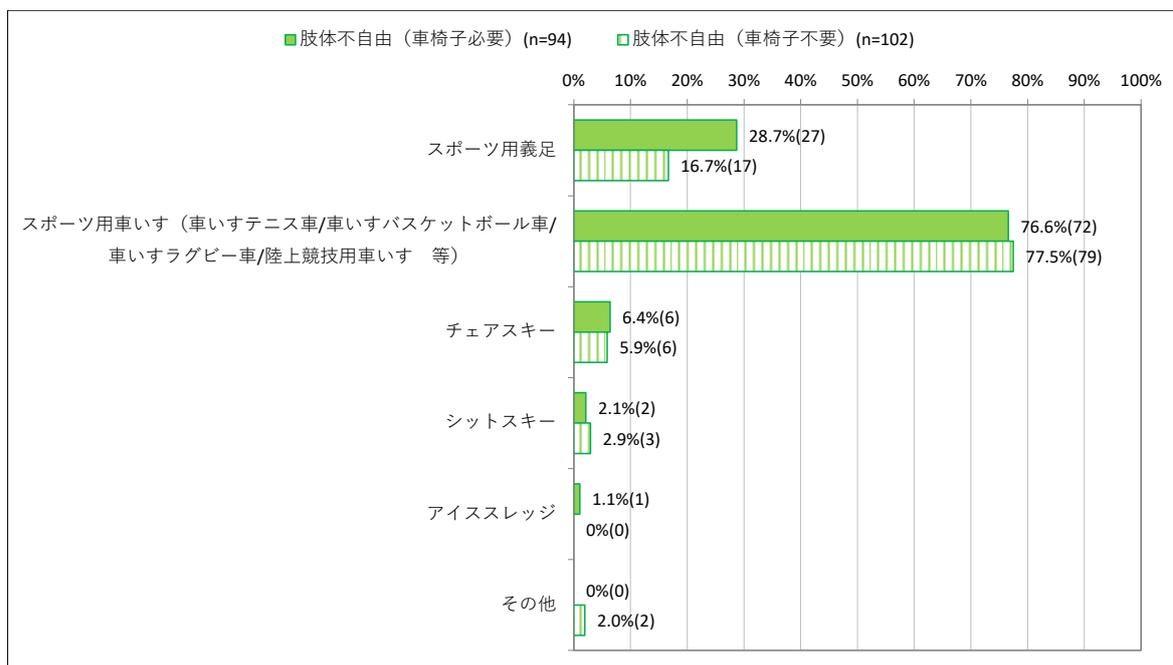
図表 2-66 障害者スポーツ用具の購入経験の有無
(障害種別：肢体不自由／障害者スポーツ用具を利用したことがある人のみ)



(16) 購入したことがある障害者スポーツ用具

サンプル数は少ないが、障害種別が肢体不自由で、障害者スポーツ用具の購入経験者が購入した障害者スポーツ用具の種類をみると、肢体不自由（車椅子必要）では「スポーツ用義足」(28.7%)、肢体不自由（車椅子不要）では「車いすバスケットボール車」(26.5%)、が高い(図表 2-67)。

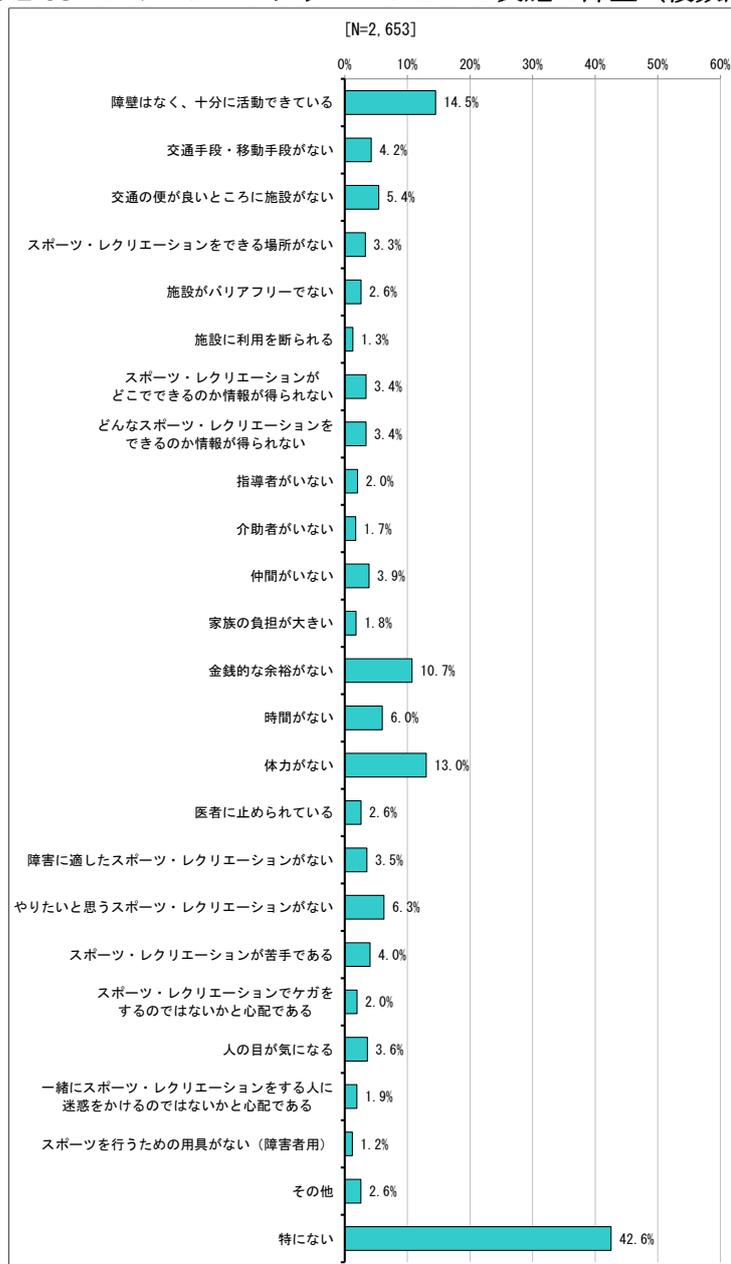
図表 2-67 購入したことがある障害者スポーツ用具
(障害種別：肢体不自由／障害者スポーツ用具の購入経験者のみ)
(複数回答)



(17) スポーツ・レクリエーションの実施の障壁

スポーツ・レクリエーションの実施において障壁となっているものについて尋ねたところ、「特にない」が42.6%であった。次いで、「障壁はなく、十分に活動できている」が14.5%である。障壁があると回答した中では、「体力がない」(13.0%)が最も多い(図表 2-68)。

図表 2-68 スポーツ・レクリエーションの実施の障壁 (複数回答)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者である場合に限定した。

スポーツの実施・非実施別に見ると、「障壁はなく、十分に活動できている」、「交通の便が良いところに施設がない」、「時間がない」の順に、実施者の割合が高い。また、「体力がない」、「金銭的な余裕がない」は非実施者の割合が高い。非実施者では「特にない」が6割強と高くなっており、スポーツを実施していない人は、実施において障壁があるというよりは、スポーツ・レクリエーションそのものに関心を持っていない人が多いことが伺える(図表 2-69)。

図表 2-69 スポーツ・レクリエーションの実施の障壁
(スポーツ実施/非実施別) (複数回答)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-70 スポーツ・レクリエーションの実施の障壁（障害種別）（複数回答）

(%)

	肢体不自由 (車椅子必要)	肢体不自由 (車椅子不要)	視覚障害	聴覚障害	音声・言語その他 機能障害	内部障害	知的障害	発達障害	精神障害	その他	
	N=164	N=711	N=179	N=207	N=120	N=288	N=107	N=266	N=914	N=14	
1位	体力がない	15.9 体力がない	12.7 体力がない	15.1 障壁はなく、十分に活動できている	20.3 障壁はなく、十分に活動できている	16.7 体力がない	19.1 障壁はなく、十分に活動できている	8.4 体力がない	14.7 障壁はなく、十分に活動できている	15.5 やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	28.6
2位	交通手段・移動手段がない	14.0 障壁はなく、十分に活動できている	11.4 障壁はなく、十分に活動できている	体力がない	12.1 交通の便が良いところに施設がない	11.7 障壁はなく、十分に活動できている	17.4 交通手段・移動手段がない	障壁はなく、十分に活動できている	14.3 体力がない	特にない	21.4
3位	スポーツ・レクリエーションがどこでできるのか情報が得られない	9.8 金銭的な余裕がない	10.1 金銭的な余裕がない	12.3 金銭的な余裕がない	8.2 体力がない	9.2 金銭的な余裕がない	10.4 体力がない	7.5 金銭的な余裕がない	13.5 金銭的な余裕がない	14.3 金銭的な余裕がない/医者に止められている/障害に適したスポーツ・レクリエーションが苦手である/スポーツ・レクリエーションでケガをするのではないかと心配である/スポーツを行うための用具がない(障害者用)	14.3
4位	交通の便が良いところに施設がない	やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	6.9 交通の便が良いところに施設がない	8.9 交通の便が良いところに施設がない	スポーツ・レクリエーションが苦手である	7.5 時間がない	7.6 金銭的な余裕がない	時間がない	11.3 時間がない	7.1 時間がない	14.3
5位	スポーツ・レクリエーションをできる場所がない/施設がバリアフリーでない/金銭的な余裕がない/障害に適したスポーツ・レクリエーションがない	8.5 交通の便が良いところに施設がない	5.8 交通手段・移動手段がない	8.4 スポーツ・レクリエーションが苦手である/人の目が気になる	5.8 金銭的な余裕がない/時間がない	5.0 医者に止められている	7.3 やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	5.6 やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない/スポーツ・レクリエーションが苦手である/人の目が気になる	7.9 やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	7.0 特にない	50.0
	特にない	37.2 特にない	44.7 特にない	34.1 特にない	35.7 特にない	31.7 特にない	33.7 特にない	57.9 特にない	41.7 特にない	45.5 特にない	50.0

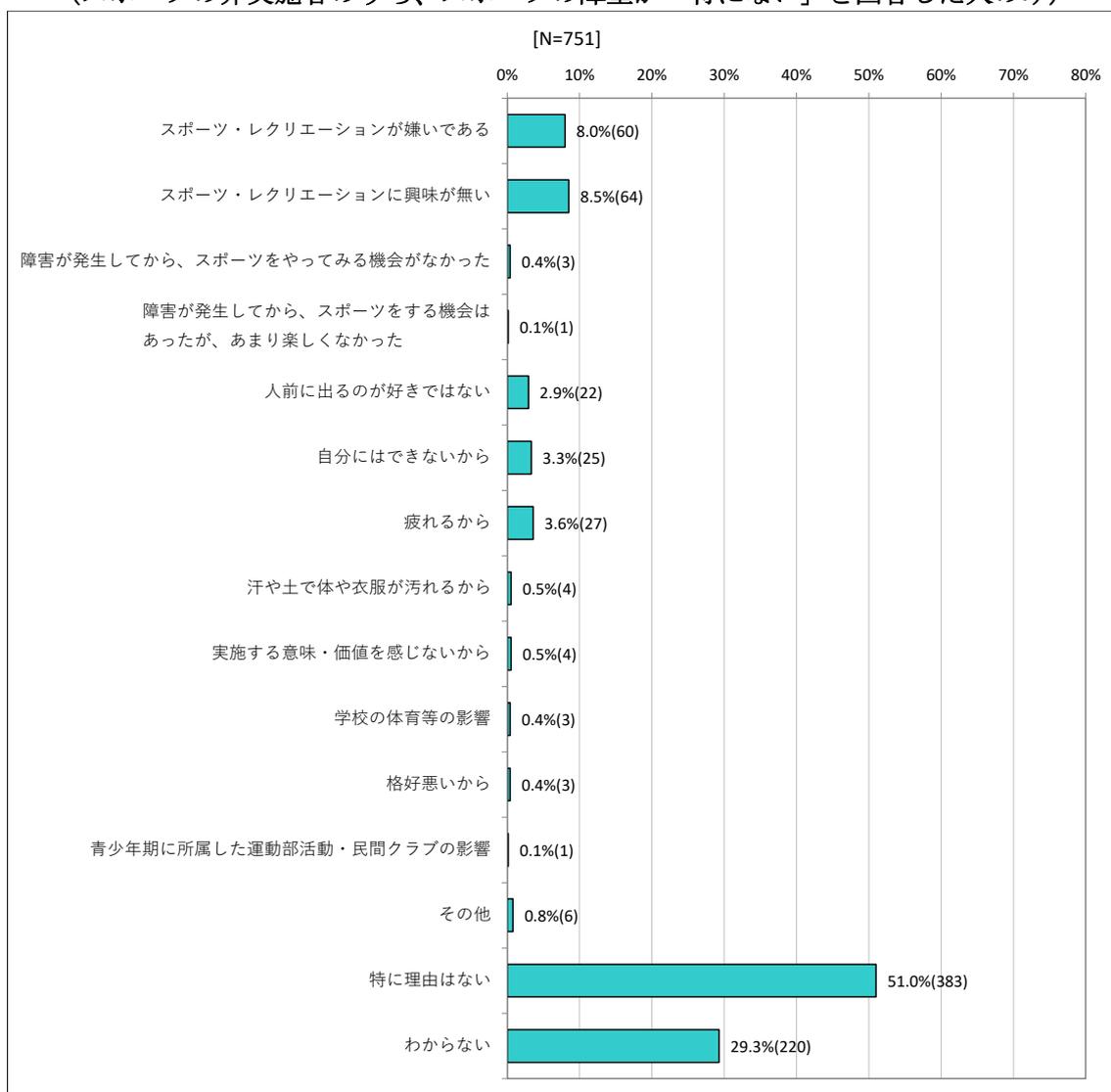
※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

(18) スポーツ・レクリエーションを実施しない理由

スポーツの非実施者はスポーツの障壁が「特にない」と回答した割合が6割強と高いことから、それらの方に対し、スポーツを実施しない理由を更に聞いた。

その結果、「特に理由はない」(51.0%)、「わからない」(29.3%)の順に高く、これまでの経験やスポーツの好き嫌いが理由ではなく、特に理由もなくスポーツを実施していない、スポーツに関心がないことがわかる。

図表 2-71 スポーツ・レクリエーションを実施しない理由（複数回答）
（スポーツの非実施者のうち、スポーツの障壁が「特にない」と回答した人のみ）



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-72 スポーツ・レクリエーションを実施しない理由（複数回答）（障害種別）
 （スポーツの非実施者のうち、スポーツの障壁が「特にない」と回答した人のみ）

(%)

		スポーツ・レクリエーションが嫌いだ	スポーツ・レクリエーションに興味がない	障害が発生してからスポーツをやってみる機会がなかった	障害が発生してから、入会する機会があったがあまり楽しくなかった	人前に行くのが好きではない	自分にはきびいから	疲れるから	汗や土で体や衣服が汚れるから	実施する意味・価値を感じないから	学校の体育等の影響	格好悪いから	運動部活動時間などの影響	その他	特に理由はない	わからない
肢体不自由 (車椅子必要)	N=47	2.1	6.4	0.0	0.0	0.0	6.4	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	42.6	42.6
肢体不自由 (車椅子不要)	N=215	5.1	5.6	0.5	0.0	0.5	3.3	2.3	0.0	0.5	0.5	0.9	0.0	0.0	50.7	34.4
視覚障害	N=30	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	10.0	6.7	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	50.0	23.3
聴覚障害	N=41	4.9	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.1	31.7
音声・言語・そしゃく機能障害	N=28	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.4	46.4
内部障害	N=62	9.7	14.5	3.2	0.0	3.2	4.8	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.1	16.1
知的障害	N=41	7.3	7.3	2.4	0.0	4.9	2.4	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	46.3	39.0
発達障害	N=59	13.6	15.3	0.0	0.0	6.8	1.7	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	1.7	1.7	49.2	28.8
精神障害	N=285	11.2	9.8	0.0	0.4	5.6	3.2	4.2	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4	1.1	50.9	24.9
その他	N=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

(19) 今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーション

今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーション（現在行っているスポーツ・レクリエーションを含む）については、どの障害においても「特にない」割合が高かった。「ウォーキング」「散歩（ぶらぶら歩き）」など、現在実施している割合が高い種目が、今後行いたいと思うスポーツでも上位に入っている。

図表 2-73 今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーション (障害種別・N=2,653)

(%)

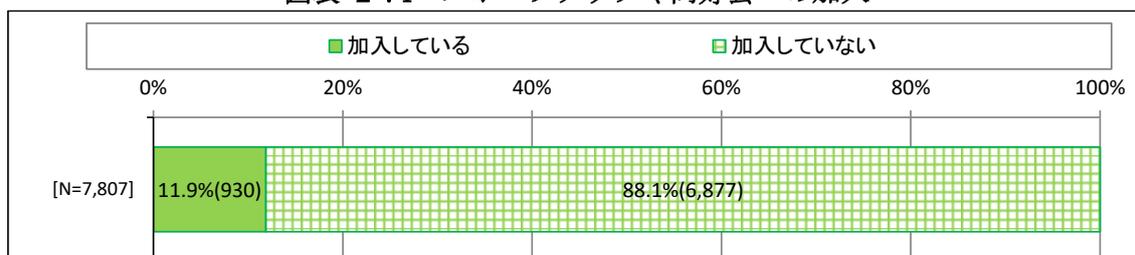
	(車椅子不自由) N=162	(肢体不自由) N=709	視覚障害		聴覚障害		その他 音声・言語・ 機能障害 N=120	内部障害		知的障害	発達障害	精神障害		その他 N=14						
			N=179	N=205	N=286	N=103		N=261	N=912											
1位	散歩(ぶらぶら歩き)	16.0	ウォーキング	28.8	ウォーキング	31.3	ウォーキング	31.2	ウォーキング	22.5	ウォーキング	32.9	ウォーキング	19.4	ウォーキング	32.6	ウォーキング	27.1	散歩(ぶらぶら歩き)	42.9
2位	ウォーキング	11.7	散歩(ぶらぶら歩き)	22.3	散歩(ぶらぶら歩き)	21.2	散歩(ぶらぶら歩き)	24.4	散歩(ぶらぶら歩き)	18.3	散歩(ぶらぶら歩き)	22.4	散歩(ぶらぶら歩き)	15.5	散歩(ぶらぶら歩き)	23.4	散歩(ぶらぶら歩き)	18.6	ウォーキング	35.7
3位	ジョギング/ランニング	8.0	階段昇降	8.9	ジョギング/ランニング	12.8	階段昇降	12.2	ジョギング/ランニング	10.8	階段昇降	8.0	階段昇降	7.8	ジョギング/ランニング	11.1	ジョギング/ランニング	7.6	階段昇降	14.3
4位	筋力トレーニング(マシントレーニング)	7.4	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	6.2	階段昇降	11.7	ジョギング/ランニング	10.7	マラソン・駅伝などのロードレース	7.5	筋力トレーニング(マシントレーニング)	7.7	ジョギング/ランニング	6.5	階段昇降	10.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	7.3	筋力トレーニング(マシントレーニング)	
5位	身体活動を伴うリハビリテーション	6.8	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	6.1	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	7.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	7.3	階段昇降	5.0	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	7.3	マラソン・駅伝などのロードレース		6.5	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	10.0	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	6.6	自転車(BMX含む)/サイクリング
6位	階段昇降	6.2	水中歩行	5.9	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	5.9	筋力トレーニング(マシントレーニング)	5.9	筋力トレーニング(マシントレーニング)	5.0	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	7.3	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	6.5		筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	9.6	階段昇降	6.5	ジョギング/ランニング/陸上競技/グラウンド・ゴルフ/パークゴルフ/マレットゴルフ等/ボウリング/テニス(車いすテニス/ブラインドテニス等)/卓球/サウンドテーブルテニス/陸上競技(視覚障害者音
7位	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	3.7	筋力トレーニング(マシントレーニング)	5.2	筋力トレーニング(マシントレーニング)	6.7	釣り	4.9	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)	4.2	ジョギング/ランニング	6.3	サッカー		4.9	ヨーガ/ピラティス	6.9	ヨーガ/ピラティス	5.3	ゴルフ/マレットゴルフ等/ボウリング/テニス(車いすテニス/ブラインドテニス等)/卓球/サウンドテーブルテニス/陸上競技(視覚障害者音
8位	筋力トレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)		体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	3.8	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	5.6	登山/トレッキング/トレイルランニング/ロッククライミング	4.4	陸上競技	5.2	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	5.2	ヨーガ/ピラティス	3.9		登山/トレッキング/トレイルランニング/ロッククライミング	6.1	筋力トレーニング(マシントレーニング)	4.8	源走/スラローム/ジャベリックスロー/ピンバグ投等)/その他の障害者スポーツ(アーチェリー/フライングディスク/ボウリング/パドミントン/乗馬/チェアスキー/バيسキー/シットスキー等)/
9位	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	3.1	ジョギング/ランニング	3.7	自転車(BMX含む)/サイクリング	5.0	水中歩行	4.4	【歩く・走る・泳ぐ】水泳	4.9	野球	4.9	野球		3.9	筋力トレーニング(マシントレーニング)	6.5	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)	4.7	源走/スラローム/ジャベリックスロー/ピンバグ投等)/その他の障害者スポーツ(アーチェリー/フライングディスク/ボウリング/パドミントン/乗馬/チェアスキー/バيسキー/シットスキー等)/
10位	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)		釣り	3.5	マラソン・駅伝などのロードレース	5.0	水中歩行	4.4	ボウリング	4.9	自転車(BMX含む)/サイクリング	4.9	自転車(BMX含む)/サイクリング	2.9		水の中歩行	6.1	水の中歩行	4.7	源走/スラローム/ジャベリックスロー/ピンバグ投等)/その他の障害者スポーツ(アーチェリー/フライングディスク/ボウリング/パドミントン/乗馬/チェアスキー/バيسキー/シットスキー等)/
11位	ゆるスポーツ	ヨーガ/ピラティス	2.8	陸上競技	3.9	自転車(BMX含む)/サイクリング	3.9	ダンス(社交ダンス/フォークダンス/フラダンスなど)	3.3	ヨーガ/ピラティス	4.5	フットサル	2.9		自転車(BMX含む)/サイクリング	4.1	自転車(BMX含む)/サイクリング	4.1	体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)/ダンス(社交ダンス/フラダンスなど)/スキー/バダイビング/乗馬/釣り/登山/トレッキング/ロッククライミング/ハイキング/ワンダーフォーゲル/オリエンテーリング/スキー/クロスカントリースキー/スノーシュー/身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等/身体活動を伴うリハビリテーション	
12位	陸上競技	身体活動を伴うリハビリテーション		2.8		なわとび		3.9		キャンプ/オートキャンプ	3.9	ヨーガ/ピラティス	4.2	陸上競技/アクアエクササイズ/水中歩行/ソフトボール/ソフトテニス(軟式テニス)/卓球(ラージボール含む)/バドミントン/ゴルフボール/【障害者スポーツ】水泳/エアロビクス/体操(軽い体操/ラジオ体操/運動遊びなど)/筋力トレーニング(マシントレーニング)/マシントレーニング(ダンベル/自重のトレーニング)/太極拳/キャンプ/オートキャンプ/釣り/スキー/その他	4.5	フットサル	2.9	自転車(BMX含む)/サイクリング	4.1	自転車(BMX含む)/サイクリング
13位	水中歩行	2.5	キャンプ/オートキャンプ	2.3	ヨーガ/ピラティス	2.3	ハイキング/ワンダーフォーゲル/オリエンテーリング	3.9	自転車(BMX含む)/サイクリング	3.5	ゴルフ(練習場)	3.5	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	1.9	水中歩行	4.6	卓球(ラージボール含む)	2.5	源走/スラローム/ジャベリックスロー/ピンバグ投等)/その他の障害者スポーツ(アーチェリー/フライングディスク/ボウリング/パドミントン/乗馬/チェアスキー/バيسキー/シットスキー等)/	
14位	チャアレーディング/バントワリング	自転車(BMX含む)/サイクリング	2.1	トランポリン	3.4	スキー	スキー	アーチェリー/弓道/射撃/クレー射撃	3.1	マラソン・駅伝などのロードレース	3.1	マラソン・駅伝などのロードレース	3.1		マラソン・駅伝などのロードレース	3.4	スキー	3.4	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等	2.4
15位	スクーバダイビング	ゴルフ(コース)/ゴルフ(練習場)(障害者スポーツ)水泳/登山/トレッキング/トレイルランニング/ロッククライミング		2.1		キャンプ/オートキャンプ	3.4	マラソン・駅伝などのロードレース	3.4	マラソン・駅伝などのロードレース	3.1	マラソン・駅伝などのロードレース	3.1	マラソン・駅伝などのロードレース	3.1	マラソン・駅伝などのロードレース	3.4	スキー	3.4	身体活動を伴うゲーム/太鼓/楽器演奏等
	特になし	47.5	特になし	46.1	特になし	30.7	特になし	34.1	特になし	35.0	特になし	40.9	特になし	56.3	特になし	42.9	特になし	50.3	特になし	57.1

※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者が障害児・者の場合に限定した。

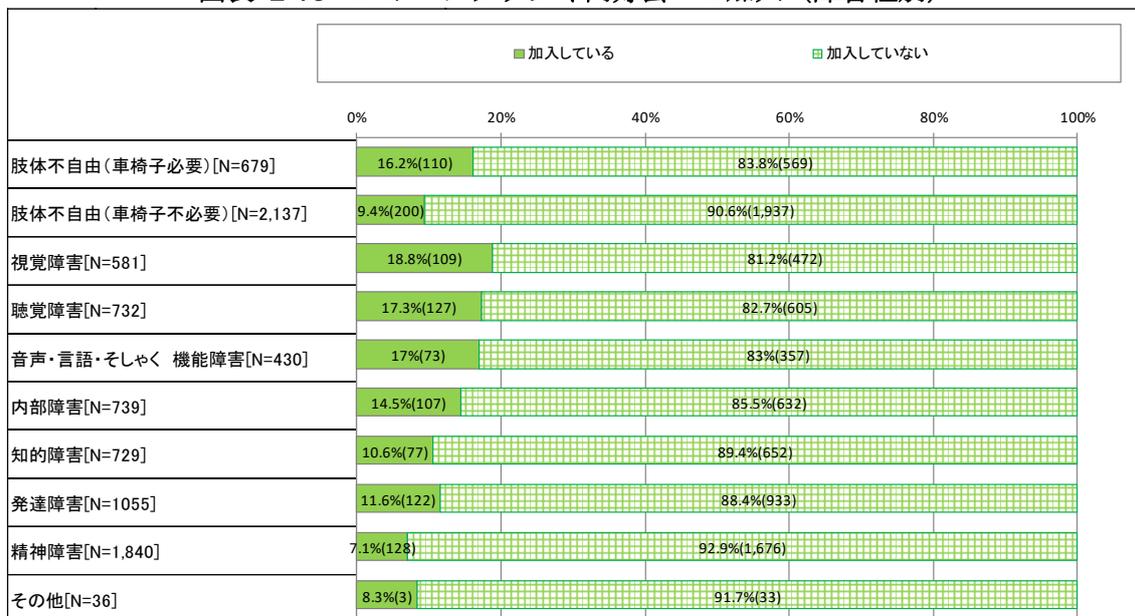
(20) スポーツクラブや同好会・サークルへの加入

スポーツクラブや同好会・サークルに加入しているかについて尋ねたところ、「加入している」は11.9%であった(図表 2-74)。障害種別にみると、視覚障害では18.8%、聴覚障害では17.3%、音声・言語・そしゃく機能障害では17.0%が加入していた(図表 2-75)。

図表 2-74 スポーツクラブや同好会への加入

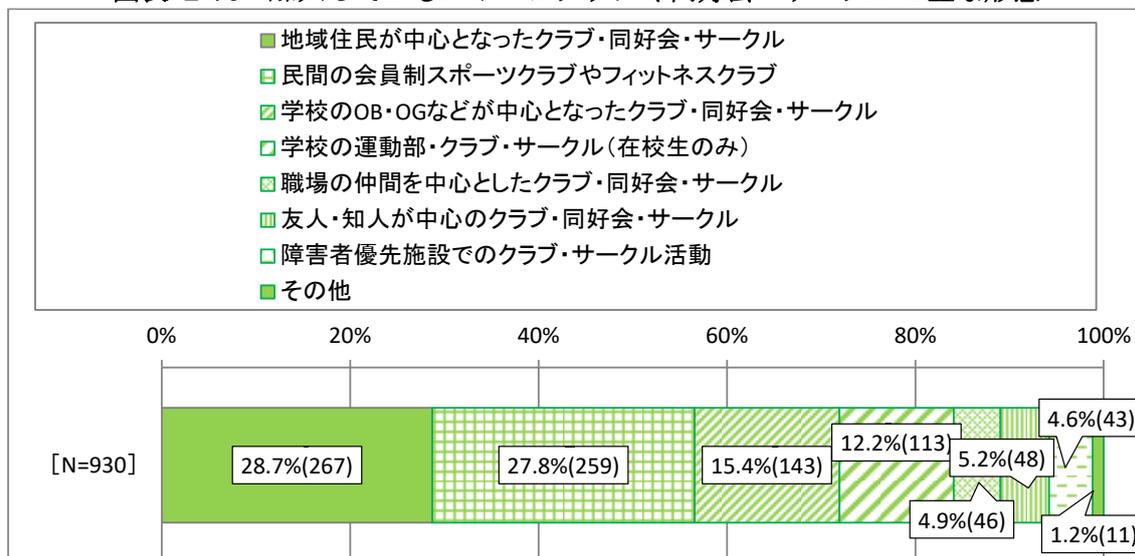


図表 2-75 スポーツクラブや同好会への加入（障害種別）



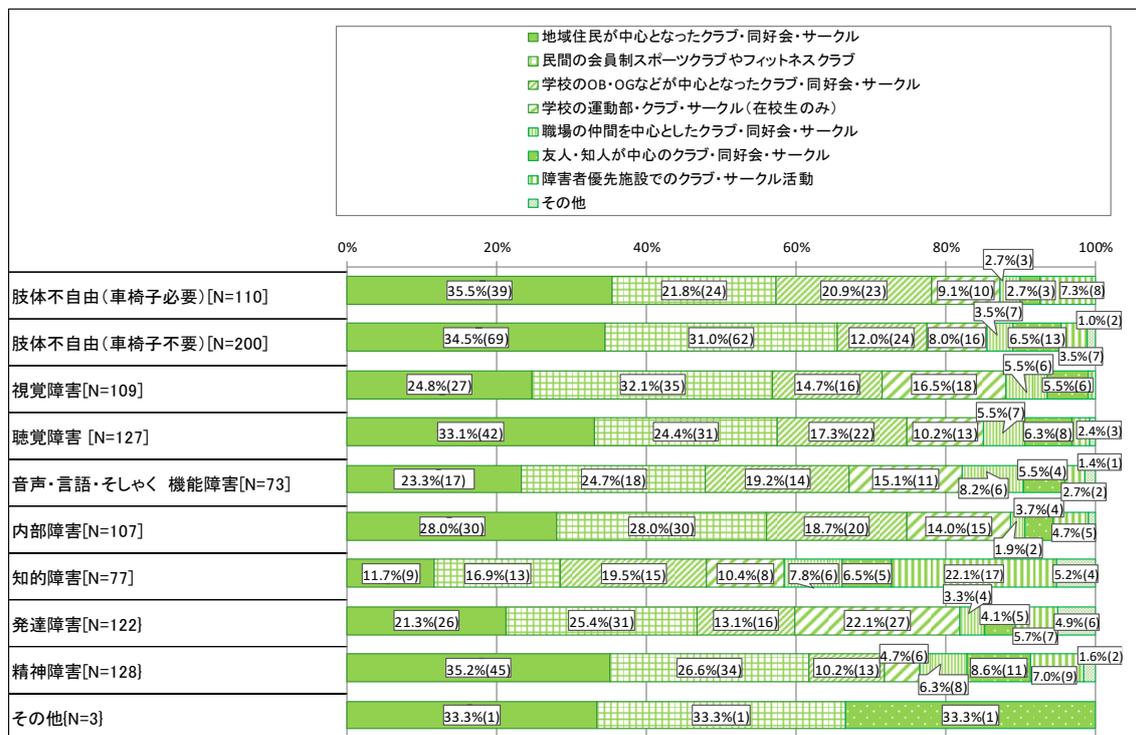
加入しているスポーツクラブや同好会・サークルの主な形態についてみると、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル」(28.7%)、「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」(27.8%)が多い(図表 2-76)。

図表 2-76 加入しているスポーツクラブや同好会・サークルの主な形態

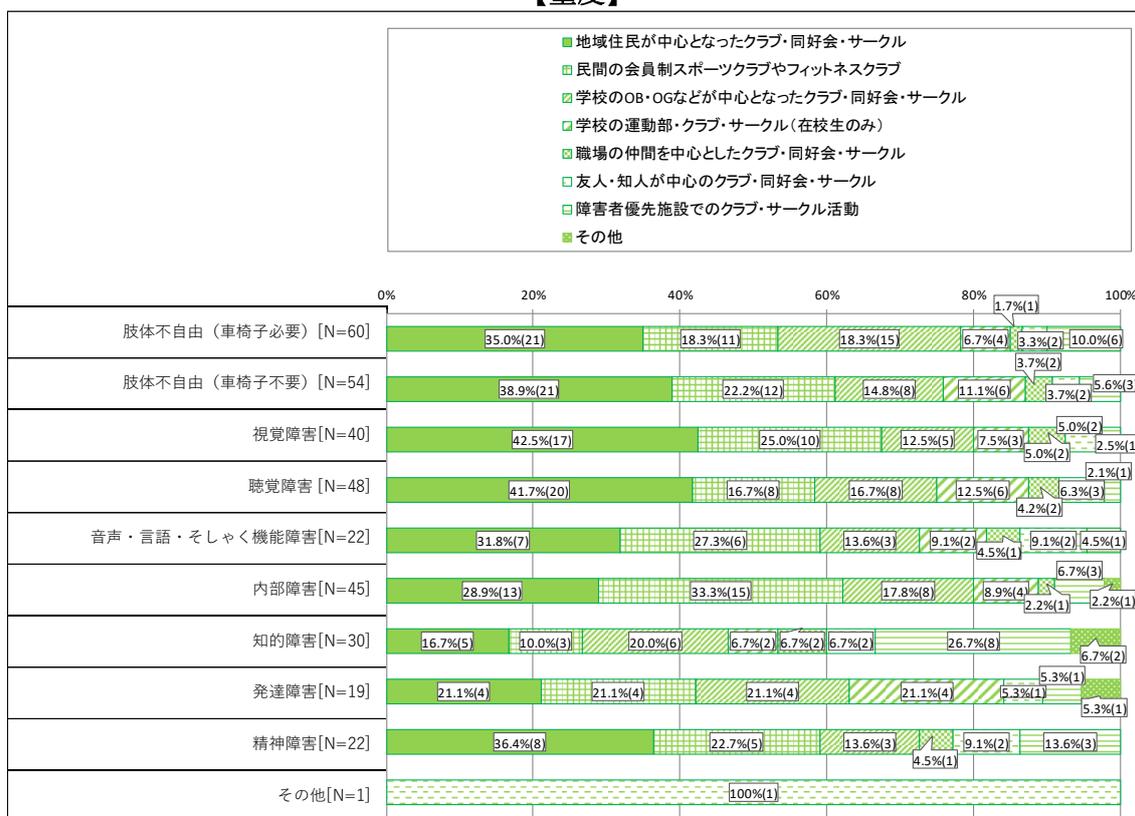


障害種別にみると、精神障害では「地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル」が35.2%と高く、肢体不自由では「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」（車椅子必要31.0%）（車椅子不要32.1%）が他の障害に比べて高い(図表 2-77)。

図表 2-77 加入しているスポーツクラブや同好会・サークルの主な形態（障害種別）

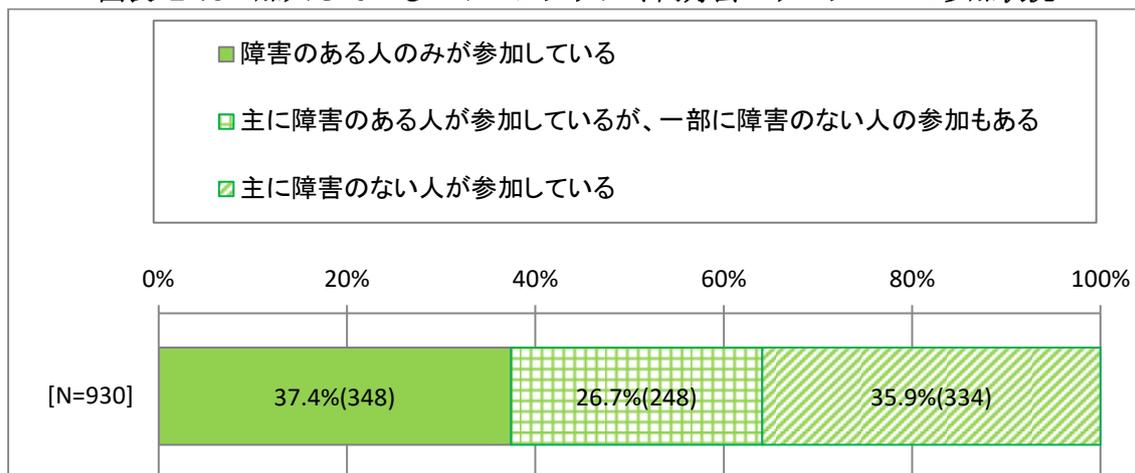


図表 2-78 加入しているスポーツクラブや同好会・サークルの主な形態（障害種別）
【重度】



加入しているスポーツクラブや同好会・サークルへの障害者の参加状況についてみると、「障害のある人のみが参加している」は37.4%で、「主に障害のある人が参加しているが、一部に障害のない人の参加もある」(26.7%)と合わせると6割を越える(図表2-79)。

図表 2-79 加入しているスポーツクラブや同好会・サークルへの参加状況



(21) 過去1年間のスポーツ観戦の有無

過去1年間のスポーツ観戦の有無をみると、「観戦した種目はない」の割合が約6割～8割と高いが、直接観戦した種目はどの障害種別でも「プロ野球(NPB)」が最も割合が高くなっている。

図表 2-80 過去1年間のスポーツ観戦の有無(複数回答)(障害種別)【直接観戦】 (%)

直接観戦	(車椅子必要) 肢体不自由	(車椅子不要) 肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	音声・言語・そしゃく 機能障害	内部障害	知的障害	発達障害	精神障害	その他
	N=679	N=2,137	N=581	N=732	N=430	N=739	N=729	N=1,055	N=1,804	N=36
プロ野球(NPB)	15.3	16.7	17.2	16.8	16.3	17.9	11.4	15.8	15.2	2.8
メジャーリーグ(アメリカ大リーグ)	3.5	2.3	3.3	3.3	3.7	3.5	1.2	1.6	1.3	2.8
高校野球	4.4	5.5	5.9	6.4	4.0	7.3	3.4	4.5	4.8	2.8
アマチュア野球(大学、社会人など)	3.2	2.2	3.8	4.2	4.2	3.0	1.4	1.3	1.3	2.8
Jリーグ(J1、J2、J3)	4.1	3.6	5.2	5.3	4.0	3.5	4.9	6.3	3.8	8.3
海外プロサッカー(欧州、南米など)	2.1	1.5	3.4	2.5	3.3	2.3	1.4	2.0	1.4	2.8
サッカー日本代表試合(五輪代表含む)	2.7	1.6	2.8	2.0	3.0	2.8	0.8	1.7	1.4	2.8
サッカー日本女子代表試合(なでしこジャパン)	1.5	0.7	2.1	2.6	2.8	2.2	1.1	1.2	0.7	2.8
サッカー(高校、大学、JFLなど)	0.7	1.2	1.9	1.8	2.1	1.5	1.6	1.0	1.2	2.8
プロバスケットボール(Bリーグ)	1.3	0.5	1.0	1.4	1.2	0.8	1.5	1.3	1.2	2.8
海外プロバスケットボール(NBAなど)	1.2	0.3	0.7	0.7	1.2	0.5	0.1	0.8	0.8	2.8
バスケットボール(高校、大学など)	0.9	0.6	0.7	0.7	1.6	0.8	0.4	0.8	0.3	5.6
バレーボール(日本代表試合)	0.4	0.5	0.9	1.8	0.7	1.1	0.3	0.7	0.4	2.8
バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)	0.9	0.4	0.9	0.5	0.7	1.8	0.3	0.7	0.6	2.8
大相撲	3.2	2.8	4.6	4.1	1.9	4.3	0.8	1.4	1.8	2.8
マラソン・駅伝	1.3	2.2	3.8	4.1	1.6	2.6	1.4	2.0	2.3	5.6
ラグビー	1.2	1.3	1.7	1.4	1.9	1.9	0.7	1.0	1.2	2.8
プロテニス	0.9	0.7	1.5	1.4	0.9	1.4	0.4	1.0	0.4	2.8
プロゴルフ	1.5	1.2	1.7	2.0	1.6	0.7	0.4	0.8	0.8	2.8
フィギュアスケート	0.9	0.6	1.2	1.4	1.9	1.5	0.3	0.5	0.9	2.8
格闘技(ボクシング、総合格闘技など)	0.6	0.9	1.9	1.1	1.6	1.6	0.7	0.9	1.3	2.8
F1やNASCARなど自動車レース	1.0	0.4	1.0	1.0	0.9	0.9	0.5	0.9	0.8	2.8
その他1	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.9	0.4	0.6	0.4	0.0
その他2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
観戦した種目はない	72.5	73.8	65.2	66.8	64.2	67.4	80.0	72.8	76.5	88.9

図表 2-81 過去1年間のスポーツ観戦の有無（複数回答）（障害種別）【テレビ観戦】

(%)

テレビ	肢体不自由 (車椅子必要)	肢体不自由 (車椅子不要)	視覚障害	聴覚障害	音声・言語・そしゃく 機能障害	内部障害	知的障害	発達障害	精神障害	その他
	N=679	N=2,137	N=581	N=732	N=430	N=739	N=729	N=1,055	N=1,804	N=36
プロ野球(NPB)	27.1	30.0	26.7	31.4	27.7	35.0	19.5	24.2	27.8	30.6
メジャーリーグ(アメリカ大リーグ)	8.1	11.1	10.7	13.7	9.8	13.4	5.3	6.8	10.1	16.7
高校野球	13.5	17.2	15.8	20.8	12.1	20.3	9.7	12.1	17.5	22.2
アマチュア野球(大学、社会人など)	3.7	4.4	4.5	6.3	4.7	5.3	2.5	2.7	3.4	5.6
Jリーグ(J1、J2、J3)	7.5	9.4	9.8	10.0	7.0	11.0	7.3	9.6	10.2	11.1
海外プロサッカー(欧州、南米など)	4.6	6.0	6.0	7.2	5.3	7.4	3.0	4.8	5.5	0.0
サッカー-日本代表試合(五輪代表含む)	8.5	9.5	7.7	12.7	8.4	13.8	5.2	8.7	11.5	5.6
サッカー-日本女子代表試合(なでしこジャパン)	4.6	6.6	7.1	8.9	7.0	10.7	3.8	5.1	7.5	2.8
サッカー(高校、大学、JFLなど)	2.9	4.5	4.5	5.1	3.5	6.0	2.7	3.7	4.9	5.6
プロバスケットボール(Bリーグ)	2.7	2.9	2.8	4.6	2.6	4.1	2.3	2.7	3.5	0.0
海外プロバスケットボール(NBAなど)	1.5	2.2	2.9	3.7	3.3	3.4	1.5	1.9	2.8	0.0
バスケットボール(高校、大学など)	1.0	1.4	1.9	2.6	1.4	2.7	1.1	1.9	2.1	0.0
バレーボール(日本代表試合)	4.1	5.1	5.3	8.1	4.4	7.3	2.9	4.0	7.2	5.6
バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)	1.8	2.8	3.4	4.0	1.6	4.5	1.2	1.9	3.6	2.8
大相撲	20.0	21.0	17.9	23.6	17.0	24.8	10.7	10.7	17.8	44.4
マラソン・駅伝	13.1	17.9	14.5	22.4	12.6	24.4	9.1	11.6	15.4	27.8
ラグビー	7.1	9.4	6.4	9.8	7.2	12.9	3.7	6.4	8.6	2.8
プロテニス	5.4	8.9	8.1	10.5	7.0	11.6	3.3	4.6	8.1	8.3
プロゴルフ	6.3	9.5	8.3	11.6	7.0	11.1	2.9	3.3	7.2	2.8
フィギュアスケート	9.7	13.2	10.2	14.9	8.8	16.8	6.4	9.3	14.1	8.3
格闘技(ボクシング、総合格闘技など)	4.3	6.4	6.9	7.7	5.3	6.6	3.8	5.0	7.9	8.3
F1やNASCARなど自動車レース	1.8	3.2	3.1	4.0	2.6	4.2	1.1	3.0	4.8	2.8
その他1	0.7	0.4	0.3	0.3	0.5	2.3	0.7	0.9	0.7	0.0
その他2	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0
その他3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
観戦した種目はない	52.3	52.1	46.1	42.3	45.3	39.9	66.1	59.5	56.7	41.7

図表 2-82 過去1年間のスポーツ観戦の有無（複数回答）（障害種別）
【インターネット観戦】

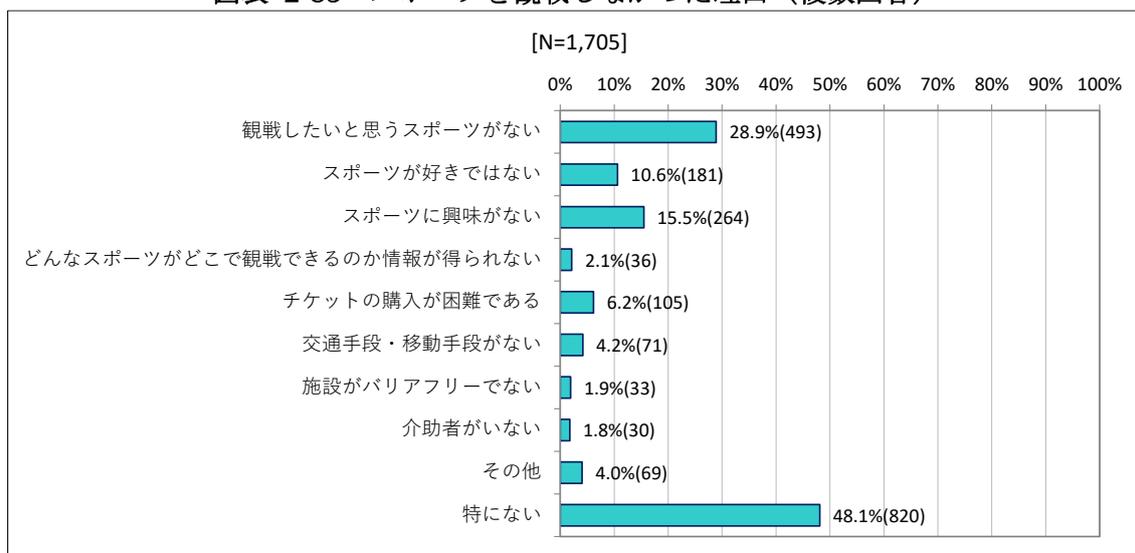
(%)

インターネット	肢体不自由 (車椅子必要)	肢体不自由 (車椅子不要)	視覚障害	聴覚障害	音声・言語・そしゃく 機能障害	内部障害	知的障害	発達障害	精神障害	その他
	N=679	N=2,137	N=581	N=732	N=430	N=739	N=729	N=1,055	N=1,804	N=36
プロ野球(NPB)	12.2	8.7	10.5	11.2	11.2	11.0	4.8	8.1	8.6	0.0
メジャーリーグ(アメリカ大リーグ)	2.7	2.4	3.1	3.1	3.5	3.5	1.5	1.6	1.3	0.0
高校野球	4.3	2.5	3.6	4.6	3.3	3.9	1.9	2.5	2.1	2.8
アマチュア野球(大学、社人など)	1.3	1.3	2.8	3.3	3.5	2.2	0.5	0.9	1.0	0.0
Jリーグ(J1、J2、J3)	3.1	2.5	4.8	4.8	2.6	2.2	1.4	3.0	2.2	5.6
海外プロサッカー(欧州、南米など)	2.9	1.7	4.0	3.6	3.3	2.3	1.2	2.6	1.8	0.0
サッカー日本代表試合(五輪代表含む)	2.8	1.6	3.3	3.1	3.3	2.4	0.8	2.2	1.3	2.8
サッカー日本女子代表試合(なでしこジャパン)	1.2	1.2	2.2	1.2	2.8	2.3	1.1	1.0	0.6	0.0
サッカー(高校、大学、JFLなど)	1.2	0.9	0.9	2.2	2.8	1.1	0.7	0.9	0.7	0.0
プロバスケットボール(Bリーグ)	1.0	0.7	1.5	1.8	2.3	1.5	0.8	0.9	0.7	0.0
海外プロバスケットボール(NBAなど)	0.9	0.7	1.9	1.9	1.6	0.8	1.2	1.2	0.6	0.0
バスケットボール(高校、大学など)	0.6	0.6	1.0	1.2	2.3	0.5	0.4	0.4	0.3	0.0
バレーボール(日本代表試合)	0.6	0.5	1.9	0.8	0.9	0.5	0.5	0.5	0.4	0.0
バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)	0.3	0.3	1.2	0.5	1.2	0.4	0.4	0.5	0.3	0.0
大相撲	2.1	1.7	1.9	1.8	1.6	2.6	0.5	1.4	1.0	0.0
マラソン・駅伝	1.2	1.3	1.5	1.5	1.4	0.9	0.7	0.8	0.9	2.8
ラグビー	0.9	0.8	1.5	1.2	1.4	0.8	0.4	1.1	0.7	0.0
プロテニス	1.0	1.4	1.7	1.8	2.6	1.9	0.4	1.2	1.1	0.0
プロゴルフ	1.3	1.0	1.7	2.2	2.1	1.4	0.5	0.9	0.9	0.0
フィギュアスケート	1.0	1.0	1.0	1.1	1.6	1.5	0.5	1.1	1.1	0.0
格闘技(ボクシング、総合格闘技など)	1.0	1.3	1.9	0.5	1.6	0.7	1.4	1.0	1.0	0.0
F1やNASCARなど自動車レース	1.5	1.2	1.4	1.4	1.2	1.4	0.7	1.6	0.8	0.0
その他1	0.3	0.4	0.2	0.0	0.0	0.5	0.3	0.3	0.3	0.0
その他2	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
その他3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
観戦した種目はない	74.1	80.5	68.5	71.6	68.4	73.3	86.1	79.8	82.2	88.9

(22) 観戦しなかった理由

過去 1 年間にスポーツを直接観戦しなかった人に、その理由について尋ねると、「特
ない」が半数近くを占めるが、それ以外の理由としては「観戦したいと思うスポーツがな
い」(28.9%)が約 3 割と最も高い。続いて「スポーツに興味がない」が 15.5%となっ
ており、スポーツへの関心の低さが伺える。

図表 2-83 スポーツを観戦しなかった理由 (複数回答)



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-84 スポーツを観戦しなかった理由 (複数回答) (障害種別) (%)

		観戦したいと思うスポーツがない	スポーツが好きではない	スポーツに興味がない	どんなスポーツがどこで観戦できるのか情報が得られない	チケットの購入が困難である	交通手段・移動手段がない	施設がバリアフリーでない	介助者がいない	その他	特にな
肢体不自由 (車椅子必要)	N=96	17.7	10.4	10.4	4.2	7.3	12.5	11.5	9.4	2.1	50.0
肢体不自由 (車椅子不要)	N=451	26.2	5.8	9.8	0.9	6.2	5.3	2.9	3.1	5.5	53.0
視覚障害	N=101	29.7	6.9	9.9	4.0	5.0	6.9	2.0	5.0	7.9	44.6
聴覚障害	N=116	29.3	7.8	11.2	1.7	3.4	4.3	1.7	1.7	4.3	50.0
音声・言語・そしゃく機能障害	N=61	23.0	6.6	8.2	0.0	1.6	4.9	4.9	1.6	6.6	55.7
内部障害	N=176	33.5	13.6	19.3	1.7	8.5	2.8	1.7	1.1	4.0	43.2
知的障害	N=73	21.9	9.6	13.7	2.7	6.8	0.0	0.0	1.4	1.4	65.8
発達障害	N=179	33.0	20.1	29.6	2.8	6.1	4.5	0.6	0.6	2.8	37.4
精神障害	N=638	33.4	14.1	19.7	2.0	7.2	2.7	0.3	0.2	3.8	43.1
その他	N=10	10.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	20.0	30.0

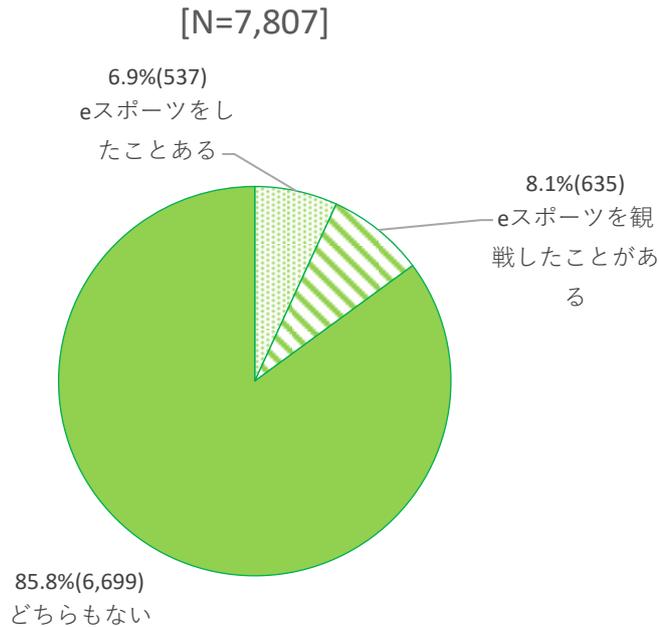
※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

2-3 その他

(1) eスポーツの経験

eスポーツの経験についてみると、「eスポーツをしたことがある」は6.9%、「eスポーツを観戦したことがある」は8.1%で、まだeスポーツの経験者は少ないことがわかる(図表 2-85)。

図表 2-85 eスポーツの経験 (複数回答)



図表 2-86 eスポーツの経験 (複数回答) (障害種別)

(%)

障害種別	N	eスポーツをしたことがある (%)	eスポーツを観戦したことがある (%)	どちらもない (%)
肢体不自由(車椅子必要)	N=679	11.3	9.3	81.0
肢体不自由(車椅子不要)	N=2,137	5.4	5.1	90.2
視覚障害	N=581	11.7	12.4	77.6
聴覚障害	N=732	11.2	10.7	79.4
音声・言語・そしゃく機能障害	N=430	10.5	15.8	75.1
内部障害	N=739	7.0	8.1	85.9
知的障害	N=729	4.5	4.8	91.4
発達障害	N=1,055	5.1	8.2	87.3
精神障害	N=1,804	4.3	7.6	88.7
その他	N=36	2.8	5.6	91.7

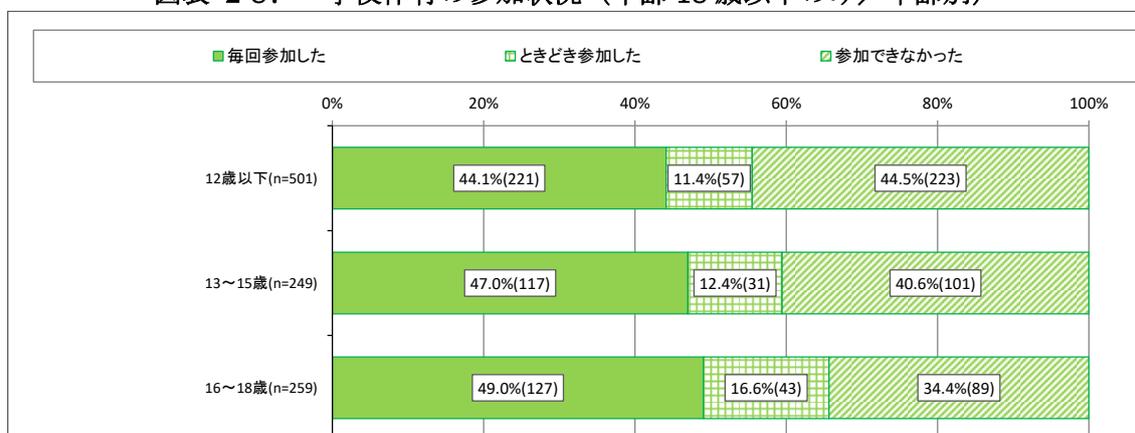
(2) 学校体育の参加状況

学校体育の参加状況について、現在、小学校・中学校・高等学校に在籍する年齢別で見ると、「毎回参加した」割合は46.0%である(図表 2-87)。

同様に各学校に在籍する年齢別に、学校種別で見ると、小学校・中学校・高等学校の全てにおいて、「普通学校(通常学級のみ)に在籍」は「参加できなかった」割合が高い(図表 2-88)。

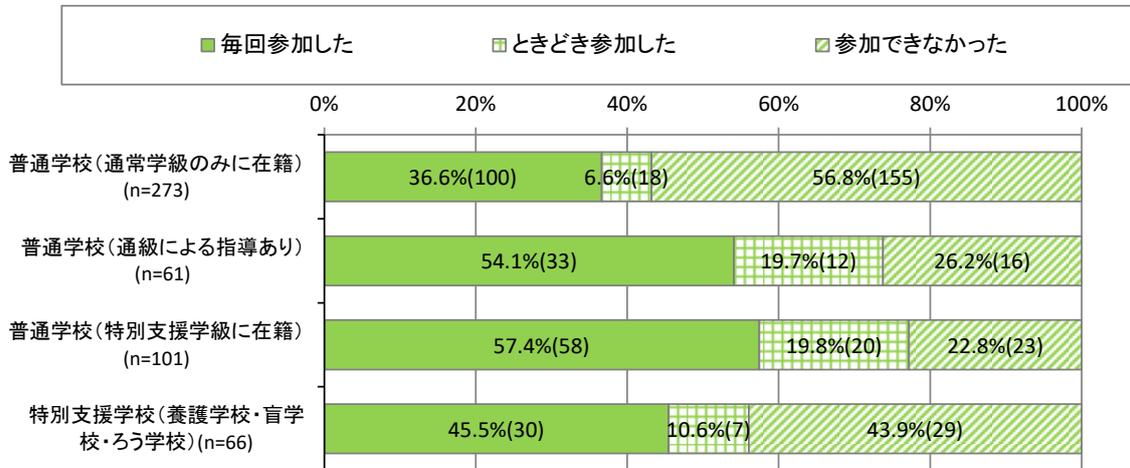
障害種別では、知的障害・発達障害は「毎回参加した」割合がどの年齢別でも高い。また、肢体不自由(車椅子必要)は12歳以下で「参加できなかった」割合が高く、肢体不自由(車椅子不要)はどの年齢も「参加できなかった」割合が高い(図表 2-89)。

図表 2-87 学校体育の参加状況(年齢18歳以下のみ/年齢別)

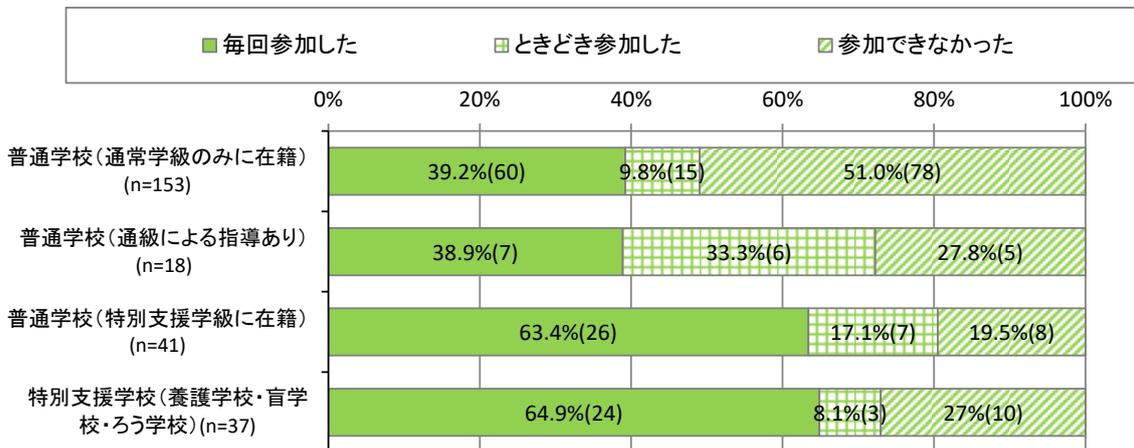


図表 2-88 学校体育の参加状況（年齢 18 歳以下のみ／学校種別）

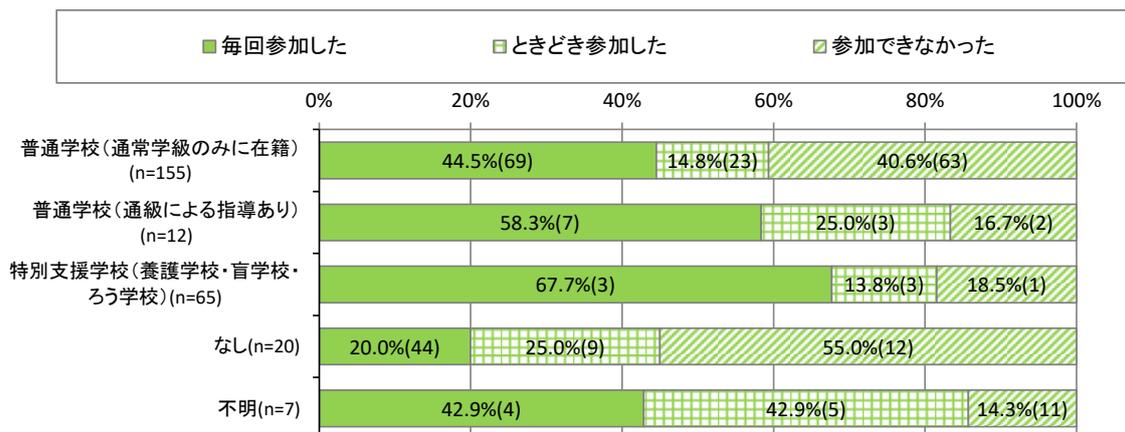
【小学校】（年齢 12 歳以下）



【中学校】（年齢 13～15 歳）



【高等学校】（年齢 16～18 歳）



図表 2-89 学校体育の参加状況（年齢 18 歳以下のみ）（障害種別） (%)

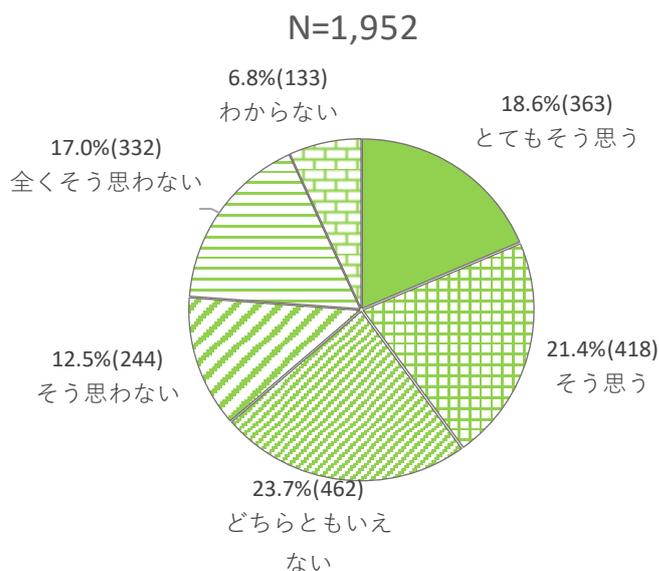
	年齢	毎回参加した	ときどき参加した	参加できなかった
全体	12歳以下(n=501)	44.1	11.4	44.5
	13～15歳(n=249)	47.0	12.4	40.6
	16～18歳(n=259)	49.0	16.6	34.4
肢体不自由（車椅子必要）	12歳以下(n=30)	20.0	13.3	66.7
	13～15歳(n=15)	40.0	33.3	26.7
	16～18歳(n=14)	35.7	21.4	42.9
肢体不自由（車椅子不要）	12歳以下(n=89)	24.7	3.4	71.9
	13～15歳(n=49)	18.4	18.4	63.3
	16～18歳(n=51)	27.5	9.8	62.7
視覚障害	12歳以下(n=21)	19.0	14.3	66.7
	13～15歳(n=15)	40.0	26.7	33.3
	16～18歳(n=15)	46.7	26.7	26.7
聴覚障害	12歳以下(n=25)	28.0	16.0	56.0
	13～15歳(n=14)	57.1	7.1	35.7
	16～18歳(n=16)	18.8	25.0	56.3
音声・言語・そしゃく 機能障害	12歳以下(n=15)	40.0	13.3	46.7
	13～15歳(n=10)	30.0	20.0	50.0
	16～18歳(n=10)	40.0	40.0	20.0
内部障害	12歳以下(n=21)	33.3	14.3	52.4
	13～15歳(n=13)	53.8	15.4	30.8
	16～18歳(n=14)	42.9	35.7	21.4
知的障害	12歳以下(n=88)	54.5	19.3	26.1
	13～15歳(n=43)	69.8	2.3	27.9
	16～18歳(n=52)	63.5	13.5	23.1
発達障害	12歳以下(n=216)	65.3	10.6	24.1
	13～15歳(n=89)	61.8	5.6	32.6
	16～18歳(n=52)	68.5	13.5	18.0
精神障害	12歳以下(n=57)	28.1	17.5	54.4
	13～15歳(n=29)	41.4	6.9	51.7
	16～18歳(n=42)	38.1	19.0	42.9
その他	12歳以下(n=1)	100.0	0.0	0.0
	13～15歳(n=0)	0.0	0.0	0.0
	16～18歳(n=0)	0.0	0.0	0.0

(3) 学校体育を楽しんでいたか

小学校・中学校・高等学校で学校体育に参加していた人が学校の体育の授業を楽しんでいたかどうかの割合をみると、「楽しんでいた（とてもそう思う＋そう思う）」割合は4割であり、「楽しんでいない（そう思わない＋全くそう思わない）」の割合(29.5%)よりも高い。

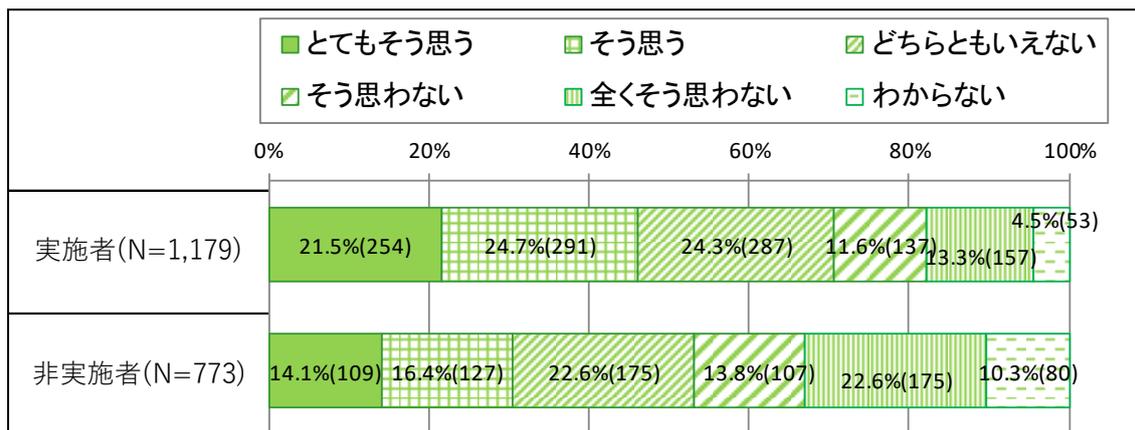
スポーツの実施者と非実施者別にみると、実施者では「とてもそう思う」「そう思う」の割合が2割以上と、非実施者よりも高い。また、非実施者では「全くそう思わない」の割合が22.6%で実施者よりも高く、学校体育を楽しんだ場合、その後のスポーツ実施に影響があると考えられる。

図表 2-90 学校体育を楽しんでいたか（学校体育に参加していたと回答した人のみ）



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

図表 2-91 学校体育を楽しんでいたか（スポーツの実施・非実施別）



※スポーツ・レクリエーションへの意識に関する設問のため、対象を回答者本人が障害児・者の場合に限定した。

**障害児・者のスポーツライフに関する調査
アンケート調査項目**

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
SQ-1	あなたの性別をお答えください。 (1つ選択)	○男性 ○女性 ○その他	図表 2-3	全体 : 5,560
SQ-2	あなたの年齢をお答えください。 (数値記入) ※半角数字でご記入ください。	**歳	図表 2-2	全体 : 5,560
S1	あなたの居住地域をお知らせください。郵便番号をご入力ください。※郵便番号を入力し、検索をかけると自動で住所が入力されます。 ☆都道府県 (1つ選択) ▼選択してください ☆郵便番号 (半角数字/ハイフン区切り) 例) 150-0002 郵便番号から住所入力 ☆市区町村 例) 渋谷区渋谷 ※郵便番号をお忘れの場合、市区町村名までご記入ください。		図表 2-1	全体 : 5,560
S2	あなた、あるいはあなたが同居するご家族で障害のある方はいますか。(複数選択可) ※以下の項目は、障害のある方それぞれについて、お答えください。	<input type="checkbox"/> あなたご自身 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 父親 <input type="checkbox"/> 母親 <input type="checkbox"/> 兄弟 <input type="checkbox"/> 姉妹 <input type="checkbox"/> お子様 (第1子) <input type="checkbox"/> お子様 (第2子) <input type="checkbox"/> お子様 (第3子) <input type="checkbox"/> お子様 (第4子以降) <input type="checkbox"/> 上記の中で障害のある方は いない	図表 2-4	全体 : 5,560
※以下の項目は、障害のある方それぞれについて、お答えください。 兄弟、姉妹、第4子以降で障害のあるお子様が複数いる場合は、 <u>年齢が一番上の方についてのみ</u> お答えください。				
S3	ご家族で障害のある方の年齢をお答えください。(それぞれ数値記入) ※半角数字でご記入ください。	年齢 **歳	図表 2-5	全体 : 7,807
Q1	ご家族で障害のある方の性別をお答えください。(それぞれ1つずつ選択)	○男性 ○女性 ○その他	図表 2-6	全体 : 7,807
Q2	ご家族で障害のある方の種類をお答えください。(それぞれ複数選択可) ※予備調査のご協力ありがとうございます。	○肢体不自由 (日常生活で車椅子を必要とする)	図表 2-7	全体 : 7,807

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
	これより本調査に移ります。 今回の調査は、「障害児・者のスポーツライフに関する調査」になります。引き続きご協力お願い致します。	○肢体不自由 （日常生活で車椅子を必要としない） ○聴覚障害 ○視覚障害 ○音声・言語・そしゃく機能障害 ○内部障害 ○知的障害 ○発達障害 ○その他		
予備調査のご協力ありがとうございます。これより本調査に移ります。 「障害児・者のスポーツライフに関する調査」になります。引き続きご協力お願い致します。				
Q3	障害のある<S2 の回答>は次の障害福祉サービスを利用していますか。（複数選択可）	○通所型 ○入所型 ○訪問型 ○その他 ○上記のサービスは利用していない	図表 2-13 図表 2-14	全体： 7,807
Q4	障害のある<S2>は移動の支援に関する福祉サービスを利用していますか。（1つ選択） ※障害者の <u>交通に関する助成は除きます</u> （鉄道・バス等の運賃割引、有料道路、タクシー利用券の給付など）。	○利用している ○利用していない	図表 2-15 図表 2-16	全体： 7,807
Q5	障害のある<S2>は、障害者手帳はお持ちですか。（複数選択可）	○障害者手帳 1級 ○障害者手帳 2級 ○障害者手帳 3級 ○障害者手帳 4級 ○障害者手帳 5級 ○障害者手帳 6級 ○療育手帳（みどりの手帳・愛の手帳・愛護手帳）マル A・A（最重度・重度） ○療育手帳（みどりの手帳・愛の手帳・愛護手帳）B・C（中度・軽度） ○療育手帳（みどりの手帳・愛の手帳・愛護手帳）その他 ○精神障害者保健福祉手帳 1級 ○精神障害者保健福祉手帳 2級 ○精神障害者保健福祉手帳 3級	図表 2-9 図表 2-10 図表 2-11	全体： 7,807

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
		○障害者手帳は持っていない		
Q6	障害のある<S2>は何歳から障害がありますか。 複数の障害がある方は、最初に障害が発生した年齢をお答えください。（1つ選択）		図表 2-12	全体： 7,807
Q7	障害のある<S2>が所属する（所属していた）学校の種別についてお答えください。 ※種別の異なる学校に転校した場合は、 <u>卒業した学校の種別</u> についてお答えください。	【小学校】 ○普通学校（通常学級のみ に在籍） ○普通学校（通級による指導あり） ○普通学校（特別支援学級に在籍） ○特別支援学校（養護学校・盲学校・ろう学校） 【中学校】 ○普通学校（通常学級のみ に在籍） ○普通学校（通級による指導あり） ○普通学校（特別支援学級に在籍） ○特別支援学校（養護学校・盲学校・ろう学校） 【高等学校】 ○普通学校（通常学級のみ に在籍） ○普通学校（通級による指導あり） ○普通学校（特別支援学級に在籍） ○特別支援学校（養護学校・盲学校・ろう学校） ○なし	図表 2-17 図表 2-18 図表 2-19 図表 2-20 図表 2-21 図表 2-22	全体： 7,807
Q8	障害のある<S2>は、過去 1 年の間にどのようなスポーツ・レクリエーションを行いましたか。（複数選択可） ※学校の部活動や休み時間の活動は含めますが、学校の授業や学校行事のキャンプやマラソン大会などは含めません。 ※e スポーツは含めません。	※p.103 参照	図表 2-36 図表 2-37 図表 2-38 図表 2-39	全体： 7,807
Q9	Q8でお答えになったスポーツ・レクリエーション種目について、以下の項目にお答えください。複数の種目をお答えになった方は、 <u>実施回数の多いものを 5 つまで選んでお答えください。</u> ※頻度は、「年」を選んだ場合「1～365」回、「月」を選んだ場合「1～31」回、「週」を選んだ場合「1～7」回の範囲でお答えください。	Q8のスポーツ・レクリエーション種目 ○年（**回） ○月（**回） ○週（**回）	図表 2-40 図表 2-41	スポーツ実施者： 3,667

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
Q10	障害のある<S2>がスポーツ・レクリエーションを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。(1つ選択)	<input type="radio"/> 週に3日以上(年151日以上) <input type="radio"/> 週に1~2日(年51日~150日) <input type="radio"/> 月に1~3日(年12日~50日) <input type="radio"/> 3か月に1~2日(年4日~11日) <input type="radio"/> 年に1~3日 <input type="radio"/> 分からない	図表 2-34 図表 2-35	スポーツ実施者 : 3,667
Q11 【新規】	障害のある<S2>が障害発生後にスポーツ・レクリエーションを始めたきっかけはどのようなものですか。(複数選択可)	<input type="radio"/> 家族に奨められた <input type="radio"/> (障害のある) 友人・知人・同僚に奨められた <input type="radio"/> (障害のない) 友人・知人・同僚に奨められた <input type="radio"/> 医師に奨められた <input type="radio"/> 作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・看護師等の医療従事者に奨められた <input type="radio"/> 学校の先生に奨められた <input type="radio"/> 所属する団体(会社等)に奨められた <input type="radio"/> スポーツ団体等の関係者から誘われた <input type="radio"/> 有名選手・パラリンピアンの影響 <input type="radio"/> テレビや新聞、インターネット等の影響 <input type="radio"/> 漫画、ドラマ、映画等の影響 <input type="radio"/> 現地やテレビ等でそのスポーツを観た <input type="radio"/> 特に理由はない・なんとなく <input type="radio"/> その他(自由記述)	図表 2-42 図表 2-43 図表 2-44	スポーツ実施者 : 3,667
Q12	障害のある<S2>がスポーツ・レクリエーションを実施する目的はどのようなものですか。 ※主な目的(複数選択可) ※最も重視する目的(1つ選択)	<input type="radio"/> 健康の維持・増進のため <input type="radio"/> 気分転換・ストレス解消のため <input type="radio"/> 楽しみのため <input type="radio"/> 友人や家族との交流のため <input type="radio"/> 健常者との交流のため <input type="radio"/> 体型維持・改善のため <input type="radio"/> リハビリテーションの一環として <input type="radio"/> 目標や記録への挑戦のため	図表 2-45 図表 2-46 図表 2-47	スポーツ実施者 : 3,667

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
		○その他（自由記述）		
Q13	障害のある<S2>がスポーツ・レクリエーションをやってよかったことはどのようなものですか。（複数選択可）	<input type="radio"/> 友人が増えた <input type="radio"/> 行動範囲が拡大した <input type="radio"/> 周囲の理解が向上した <input type="radio"/> 外出が増えた <input type="radio"/> 相手の気持ちが配慮できるようになった <input type="radio"/> ストレスが解消される <input type="radio"/> 自信がついた <input type="radio"/> 性格が明るくなった <input type="radio"/> 体を動かすこと自体が楽しい <input type="radio"/> 食事がおいしく、夜、熟睡できるようになった <input type="radio"/> 体力・身体的機能が向上した <input type="radio"/> 勝利や記録が出たときに嬉しい <input type="radio"/> その他（自由記述）	図表 2-48 図表 2-49 図表 2-50	スポーツ実 施者： 3,667
Q14 【新規】	障害のある人にとって、運動・スポーツは何をもたらすと考えますか。該当するものを選択してください。（複数選択可）	<input type="radio"/> 健康・体力の保持増進 <input type="radio"/> 人と人との交流 <input type="radio"/> 精神的な充足感 <input type="radio"/> フェアプレイ精神（公正さと規律を尊ぶ態度）の醸成 <input type="radio"/> 達成感の獲得 <input type="radio"/> 豊かな人間性 <input type="radio"/> リラックス、癒し、爽快感 <input type="radio"/> 他者を尊重し協働する精神 <input type="radio"/> 青少年の健全な発育 <input type="radio"/> 地域の一体感や活力 <input type="radio"/> 思考力や判断力の発達 <input type="radio"/> 夢と感動 <input type="radio"/> リーダーシップ、コミュニケーション <input type="radio"/> 克己心（自分の欲望を抑える力）、自制心 <input type="radio"/> 国際相互理解の促進 <input type="radio"/> 生産性の向上、仕事・学業の能率アップ <input type="radio"/> 我が国の国際的地位の向上 <input type="radio"/> その他（自由記述） <input type="radio"/> どれも当たらない	図表 2-51	スポーツ実 施者： 3,667

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
		○わからない		
Q15	障害のある<S2>の、現在のスポーツ・レクリエーションへの取り組みについて、最も近いものを選んでください。（1つ選択）	○スポーツ・レクリエーションを行っており、満足している ○スポーツ・レクリエーションを行っているが、もっと行いたい ○スポーツ・レクリエーションを行いたいと思うができない ○特にスポーツ・レクリエーションに関心はない	図表 2-52 図表 2-53 図表 2-54 図表 2-55 図表 2-56	全体： 7,807
Q16	障害のある<S2>はスポーツ・レクリエーションをどこで行っていますか。（複数選択可）	○①公共スポーツ施設（⑤に該当するものを除く。） ○②民間スポーツ施設 ○③通学している小・中・高等学校 ○④③以外の学校 ○⑤障害者スポーツ専用・優先施設 ○⑥福祉施設・高齢者施設 ○⑦特別支援学校 ○⑧自宅（入所施設を含む） ○⑨その他の施設・場所（自由記述）	図表 2-57 図表 2-58	スポーツ実施者： 3,667
Q17	障害のある<S2>は、スポーツ施設（スポーツ・レクリエーション実施場所）まで、どのように移動しましたか。（それぞれ複数選択可） ※Q16の選択肢	○（自力で）公共の交通手段で移動した ○（自力で）自家用車で移動した ○家族・友人等に送迎してもらった ○移動に関する支援を利用した ○その他（自由記述）	図表 2-59	スポーツ実施者： 3,667
Q18	障害のある<S2>が下記の施設でスポーツ・レクリエーションを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。（それぞれ1つずつ選択） ※Q16の選択肢	○週に3日以上（年151日以上） ○週に1～2日（年51日～150日） ○月に1～2日（年12日～50日） ○3か月に1～2日（年4日～11日） ○年に1～3日 ○分からない	図表 2-60	スポーツ実施者： 3,667
Q19	障害のある<S2>は、障害者スポーツ用の用具（スポーツ用車	○利用したことがある	図表 2-61	全体： 7,807

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
	いす、スポーツ用義足等、個人用の用具）を利用したことがありますか。 ※利用したことがある場合は用具の種類を選択してください。（複数選択可）	⇒選択肢（p.106）から選択 ○利用したことがない		
Q20 【新規】	※Q19で「利用したことがない」と回答した人のみ 障害のある<S2>が、障害者スポーツ用具（スポーツ用車いす、スポーツ用義足等、個人用の用具）を利用したことがない理由についてお答えください。（複数選択可）	○障害者スポーツ用具を利用する必要がないスポーツ・レクリエーションを行った ○障害者スポーツ用の用具があることを知らない ○スポーツをあまりしない ○障害者スポーツ用具を利用する機会がない ○障害者スポーツ用具の貸出を行う施設が近隣にない ○障害者スポーツ用具が高価すぎて購入できない ○その他（自由記述）	図表 2-62	※Q19で「利用したことがない」と回答した人のみ
Q21 【新規】	※Q19で「利用したことがある」と回答した人のみ 障害のある<S2>は、自治体や施設等から、障害者スポーツ用具（スポーツ用車いす、スポーツ用義足等、個人用の用具）を借りたことがありますか。（1つ選択）	○借りたことがある ⇒選択肢（p.106）から選択 ○借りられるのは知っているが、利用したことがない ○借りられることを知らなかった	図表 2-64	※Q19で「利用したことがある」と回答した人のみ
Q22 【新規】	※Q19で「利用したことがある」と回答した人のみ 障害のある<S2>は、障害者スポーツ用具（スポーツ用車いす、スポーツ用義足等、個人用の用具）を購入したことがありますか。（1つ選択）	○購入したことがある ⇒選択肢（p.106）から選択 ○購入したことがない	図表 2-66	※Q19で「利用したことがある」と回答した人のみ
Q23	障害のある<S2>の、スポーツ・レクリエーションの実施において障壁となっているものは何ですか。（複数選択可） ※スポーツ・レクリエーションを実施している場合はその課題、実施していない場合はその理由としてあてはまるものをお答えください。	○障壁はなく、十分に活動できている ○交通手段・移動手段がない ○交通の便が良いところに施設がない ○スポーツ・レクリエーションをできる場所がない ○施設がバリアフリーでない ○施設に利用を断られる ○スポーツ・レクリエーションがどこでできるのか情報が得られない ○どんなスポーツ・レクリエーションをできるのか情報が得られない	図表 2-68 図表 2-69	全体： 7,807

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
		<ul style="list-style-type: none"> ○指導者がいない ○介助者がいない ○仲間がいない ○家族の負担が大きい ○金銭的な余裕がない ○時間がない ○体力がない ○医者に止められている ○障害に適したスポーツ・レクリエーションがない ○やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない ○スポーツ・レクリエーションが苦手である ○スポーツ・レクリエーションでケガをするのではないかと心配である ○人の目が気になる ○一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である ○スポーツを行うための用具がない（障害者用） ○その他（自由記述） ○特にない 		
Q24 【新規】	Q8で「この1年間にスポーツ・レクリエーションは行わなかった」と回答し、Q23で「特にない」と回答した人のみ スポーツ・レクリエーションを実施しない理由についてお答えください。	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ・レクリエーションが嫌いである ○スポーツ・レクリエーションに興味が無い ○障害が発生してから、スポーツをやってみる機会がなかった ○障害が発生してから、スポーツをする機会があったが、あまり楽しなかった ○人前に出るのが好きではない ○自分にはできないから ○疲れるから ○汗や土で体や衣服が汚れるから ○実施する意味・価値を感じないから ○学校の体育等の影響 ○格好悪いから 	図表 2-70 図表 2-71	Q8で「この1年間にスポーツ・レクリエーションは行わなかった」と回答し、Q23で「特にない」と回答した人のみ

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
		<input type="radio"/> 青少年期に所属した運動部活動・民間クラブの影響 <input type="radio"/> その他（自由記述） <input type="radio"/> 特に理由はない <input type="radio"/> わからない		
Q25	障害のある<S2>は、現在行っているスポーツ・レクリエーションも含めて、今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーションがありますか。（複数選択可）	Q8と同じ選択肢	図表 2-73	全体： 7,807
Q26	障害のある<S2>は、現在、スポーツクラブや同好会・サークルに加入していますか。（1つ選択）	<input type="radio"/> 加入している <input type="radio"/> 加入していない	図表 2-74 図表 2-75	全体： 7,807
Q27	障害のある<S2>が加入している、そのスポーツクラブや同好会・サークルは、主にどのような人たちの集まりですか。（1つ選択） ※複数のスポーツクラブ・同好会・サークルに所属している場合は、最も多く参加しているものについてお答えください。	<input type="radio"/> 地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル <input type="radio"/> 民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ <input type="radio"/> 学校のOB・OGなどが中心となったクラブ・同好会・サークル <input type="radio"/> 学校の運動部・クラブ・サークル（在校生のみ） <input type="radio"/> 職場の仲間を中心としたクラブ・同好会・サークル <input type="radio"/> 友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル <input type="radio"/> 障害者優先施設でのクラブ・サークル活動 <input type="radio"/> その他（自由記述）	図表 2-76 図表 2-77 図表 2-78	全体： 7,807
Q28	障害のある<S2>が加入している、そのスポーツクラブや同好会・サークルの、障害者の参加状況についてお答えください。（1つ選択）	<input type="radio"/> 障害のある人のみが参加している <input type="radio"/> 主に障害のある人が参加しているが、一部に障害のない人の参加もある <input type="radio"/> 主に障害のない人が参加している	図表 2-79	※Q27でスポーツクラブに加入していると回答した人のみ
Q29	障害のある<S2>は、過去1年間にスポーツを観戦したことがありますか？（それぞれ複数選択可） ※観戦した種目がない場合は、末尾の「観戦した種目はない」を選択してください。	<input type="radio"/> 直接スポーツの試合を観戦したことがある <input type="radio"/> テレビでスポーツの試合を観戦したことがある <input type="radio"/> インターネットでスポーツの試合を観戦したことがある プロ野球（NPB） メジャーリーグ（アメリカ大リーグ） 高校野球	図表 2-80 図表 2-81 図表 2-82	全体： 7,807

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
		アマチュア野球（大学、社会人など） Jリーグ（J1、J2、J3） 海外プロサッカー（欧州、南米など） サッカー-日本代表試合（五輪代表含む） サッカー-日本女子代表試合（なでしこジャパン） サッカー（高校、大学、JFLなど） プロバスケットボール（Bリーグ） 海外プロバスケットボール（NBAなど） バスケットボール（高校、大学など） バレーボール（日本代表試合） バレーボール（高校、大学、Vリーグなど） 大相撲 マラソン・駅伝 ラグビー プロテニス プロゴルフ フィギュアスケート 格闘技（ボクシング、総合格闘技など） F1 や NASCAR など自動車レース その他 1（自由記述） その他 2（自由記述） その他 3（自由記述） 観戦した種目はない		
Q30	「観戦した種目はない」と回答した場合におたずねします。障害のある<S2>が、観戦しなかった理由としてあてはまるものをお答えください。（複数選択可）	<input type="radio"/> 観戦したいと思うスポーツがない <input type="radio"/> スポーツが好きではない <input type="radio"/> スポーツに興味がない <input type="radio"/> どんなスポーツがどこで観戦できるのか情報が得られない <input type="radio"/> チケットの購入が困難である <input type="radio"/> 交通手段・移動手段がない <input type="radio"/> 施設がバリアフリーでない	図表 2-83 図表 2-84	全体 : 5,606

設問番号	設問	選択肢	対応図表	回答者数
		<input type="radio"/> 介助者がいない <input type="radio"/> その他（自由記述） <input type="radio"/> 特にない		
Q31	障害のある<S2>は、e スポーツをしたことがありますか。（複数選択可）	<input type="radio"/> e スポーツをしたことある <input type="radio"/> e スポーツを観戦したことがある <input type="radio"/> どちらもない	図表 2-85 図表 2-86	全体 : 7,807
Q32	障害のある<S2>の小学校・中学校・高等学校の体育の授業の参加状況についてお答えください。体育の授業には参加していますか（していましたか）。（1つ選択）（見学は参加に含めません）	<input type="radio"/> 毎回参加した <input type="radio"/> ときどき参加した <input type="radio"/> 参加できなかった	図表 2-87 図表 2-88 図表 2-89	全体 : 7,807
Q33 【新規】	障害のある<S2>は、学校の体育の授業を楽しんでいますか（楽しんでいましたか）。	<input type="radio"/> とてもそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない <input type="radio"/> 全くそう思わない <input type="radio"/> 体育の授業に参加していない <input type="radio"/> わからない	図表 2-90 図表 2-91	全体 : 7,807

過去 1 年間に行ったスポーツ・レクリエーション

【歩く・走る・泳ぐ】※車椅子利用を含む

- ウォーキング
- 階段昇降
- 散歩（ぶらぶら歩き）
- ジョギング／ランニング
- マラソン・駅伝などのロードレース
- 陸上競技
- アクアエクササイズ
- 水泳
- 水中歩行

【球技やチームスポーツなど】

- キャッチボール
- ソフトボール
- 野球
- グラウンド・ゴルフ／パークゴルフ／マレットゴルフ等
- ゴルフ（コース）
- ゴルフ（練習場）
- ゲートボール
- ボウリング
- サッカー
- フットサル
- フットベースボール（キックベース）
- ソフトテニス（軟式テニス）
- テニス（硬式テニス）
- 卓球（ラージボール含む）
- ドッジボール
- ハンドボール
- バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール／ビーチバレー
- ソフトバレーボール
- ラグビー／アメリカンフットボール／タグラグビー
- グラウンドホッケー／ラクロス

【障害者スポーツ】

- ソフトボール／グラウンドソフトボール
- テニス（車いすテニス／ブラインドテニス 等）
- バスケットボール／車いすバスケットボール
- フェンシング／車いすフェンシング

- ゴールボール
- バレーボール（シットイングバレーボール／フロアバレーボール 等）
- 卓球バレー
- 卓球／サウンドテーブルテニス
- ティーボール
- サッカー（ブラインドサッカー／ハンドサッカー／CP サッカー／アンプティサッカー／ロービジョンフットサル 等）
- ふうせんバレー
- ボッチャ
- 陸上競技（視覚障害者音源走／スラローム／ジャベリックスロー／ビーンバッグ投 等）
- 水泳
- フットベースボール
- その他の障害者スポーツ（アーチェリー／フライングディスク／ボウリング／バドミントン／乗馬／チェアスキー・バイスキー／シットスキー 等）

【ロープを使うスポーツ】

- つな引き
- なわとび

【体操・ダンス・トレーニング】

- エアロビックダンス
- 体操（軽い体操／ラジオ体操／運動遊びなど）
- ダンス（社交ダンス／フォークダンス／フラダンスなど）
- チアリーディング／バトントワリング
- ヨーガ／ピラティス
- バレエ
- 筋カトレーニング（マシントレーニング）
- 筋カトレーニング（ダンベル／自重のトレーニング）
- トランポリン

【武道・格闘技など】

- 空手／少林寺拳法
- 柔道
- 太極拳
- レスリング／相撲／ボクシング
- テコンドー／合気道
- 剣道／居合道／なぎなた／銃剣道

【海・マリンスポーツ】

- 海水浴
- スクーバダイビング
- ボート／漕艇／カヌー／カヤック／ラフティング
- ヨット／水上スキー／ウェイクボード／水上バイク／ジェットスキー
- サーフィン／ボディボード／ボードセーリング／ウィンドサーフィン

【野外・アウトドアスポーツ】

- キャンプ／オートキャンプ
- 自転車（BMX 含む）／サイクリング
- ローラースケート／インラインスケート／一輪車
- 乗馬
- 釣り
- 登山／トレッキング／トレイルランニング／ロッククライミング
- フリークライミング／ボルダリング
- ハイキング／ワンダーフォーゲル／オリエンテーリング
- グライダー／ハンググライダー／パラグライダー／スカイダイビング

【ウィンタースポーツ】

- アイススケート／アイスホッケー／カーリング
- スキー
- スノーボード
- クロスカントリースキー／スノーシュー

【その他のスポーツ等】

- アーチェリー／弓道／射撃／クレー射撃
- その他のスポーツ（ティールボール／フライングディスク／インディアカ／スポーツチャンバラ／ユニカール／アルティメット／キンボール／シャフルボード／ペタンク、ダーツ／スポーツ吹き矢 等）
- その他のレクリエーション等

【その他の運動】

- 身体活動を伴うゲーム／太鼓／楽器演奏 等
 - 身体活動を伴うリハビリテーション
 - ゆるスポーツ
 - その他（自由記述）
- この1年間にスポーツ・レクリエーションは行わなかった
※Q8
- 特にない
※Q25

利用したことのある障害者スポーツ用具

- スポーツ用義足
- 車いすテニス車
- 車いすバスケットボール車
- 車いすラグビー車
- 陸上競技用車いす（レーサー）
- その他スポーツ用車いす
- チェアスキー
- シットスキー
- アイススレッジ
- その他（自由記述）

3 障害者スポーツ施設等における障害者スポーツ用具の保有・貸出状況等の調査

主な調査結果

貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況については、「保有している」が54.2%を占めた

貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況については、「保有している」が54.2%、「保有していない」が44.6%（図表 3-3）。属性種別にみると、団体では約7割が「保有している」と回答している（図表 3-4）。

貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由は、「利用希望がない（少ない）ため」の割合が高い

貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由は、「利用希望がない（少ない）ため」が最も多い（44.3%）（図表 3-5）。属性種別でみると、施設では約半数の51.5%の回答だが、団体の場合は17.6%にとどまっている（図表 3-6）。

障害者スポーツ用具の使用方法的指導状況については「行っている」が58.8%、障害者スポーツ用具のメンテナンス状況については、「行っている」が7割以上

障害者スポーツ用具の使用方法的指導状況は、施設の方が団体よりも「行っている」の回答が多い（図表 3-16）。一方、障害者スポーツ用具のメンテナンス状況は、施設・団体とも実施率はほぼ同数である（図表 3-22）。

貸出情報の周知方法については、「周知していない（問い合わせがあった場合のみ対応している）」が半数以上(54.6%)を占め、属性別では施設（64.9%）が団体（40.0%）を上回っている

「周知していない」以外で最も多かった方法は、「HPに掲載している」（38.1%）であった（図表 3-27）。属性別でみると、団体では55.0%だが施設では26.3%と、団体の方がHPをより活用している傾向がみられた（図表 3-28）。

障害者スポーツ用具の貸出における問題点については「保管場所の確保が難しい」の割合が最も高い

障害者スポーツ用具の貸出における問題点について、「保管場所の確保が難しい」以外では、「スポーツ用具が高額のため、予算不足」（42.3%）、「メンテナンスの負担が大きい（人材、費用面等）」（40.2%）が多かった（図表 3-29）。

3 障害者スポーツ施設等における障害者スポーツ用具の 保有・貸出状況等の調査

1. 調査概要

1-1 調査目的

スポーツ車椅子、スポーツ義足等の用具を利用してスポーツを実施することを希望する障害者を対象に、これらの障害者スポーツ用具の地域の保有資源を有効活用してスポーツを実施できる仕組みを構築するため、障害者スポーツ施設やスポーツ団体等における、スポーツ車椅子、スポーツ義足等の用具の利用を希望する障害者を対象とした用具をシェアする仕組みの有無について明らかにすることを目的とする。

1-2 調査方法及び回収結果

(1) 調査方法

メール（電子媒体）による配布・回収

(2) 調査内容

主な調査項目は、以下のとおりである。

- ・保有している主な障害者スポーツ用具の種類及び台数
- ・貸出用として提供するために保有している障害者スポーツ用具の種類及び台数
- ・その他用具利用希望者に対して講じている支援等の措置の概要

(3) 調査対象及び回収結果

発送数と回収結果は以下のとおり。

- ・団体（障害者スポーツ団体と、都道府県・指定都市の障がい者スポーツ協会）：137件
（有効回答数 57 件）
- ・施設（障害者専用スポーツ施設、都道府県・指定都市管轄のスポーツ施設）：276件
（有効回答数 120 件）

合計 413 件に発送し、有効回答数は合計 177 件であった。

図表 3-1 回答者団体の所在地

[N=177]

所在地	%
北海道地方	2.3%
東北地方	7.9%
関東地方	23.2%
中部地方	26.6%
近畿地方	16.9%
中国地方	5.6%
四国地方	3.4%
九州・沖縄地方	14.1%

図表 3-2 回答者の所属

[N=177]

種別	%
スポーツ施設 （障害者優先施設）	36.7%
スポーツ施設 （一般施設）	18.6%
自治体（スポーツ部局、 福祉担当課）	12.4%
競技団体	13.0%
障がい者スポーツ協会	19.2%

(4) 調査期間

令和3年1月8日（金）～令和3年1月22日（金）

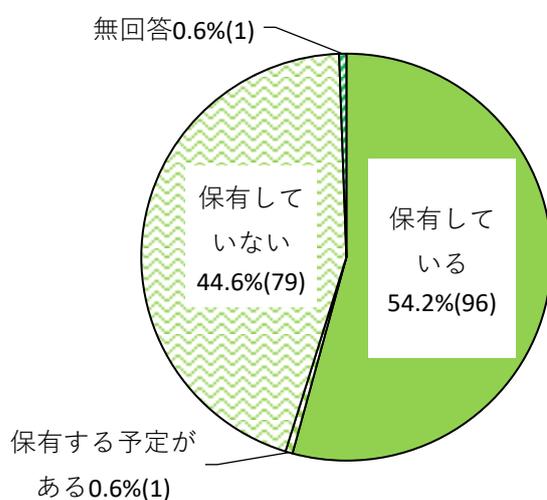
2. 調査結果及び分析

2-1 障害者スポーツ用具の貸出について

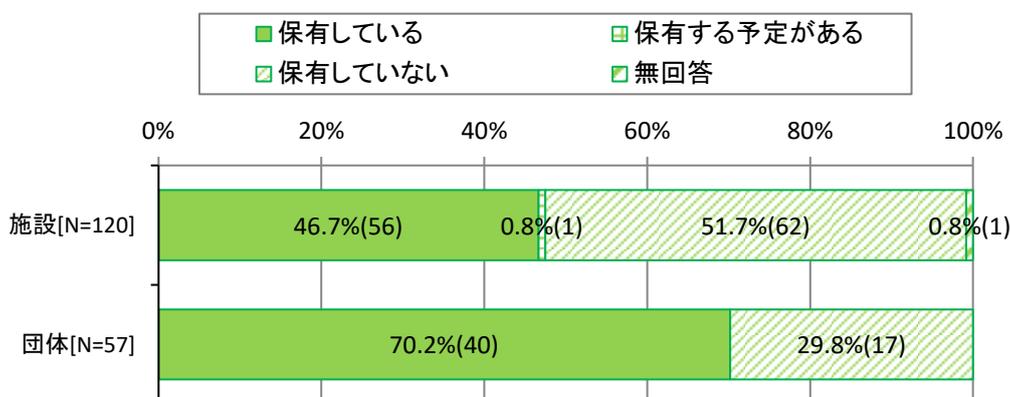
(1) 貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況

貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況については、「保有している」が54.2%、「保有していない」が44.6%であった。なお、「保有する予定がある」の回答は0.6%にとどまっている（図表 3-3）。障害者スポーツ用具の貸出を行っている施設・団体等を属性種別にみると、団体では約7割が「保有している」と回答している（図表 3-4）。

図表 3-3 貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況（n=177）



図表 3-4 貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況（属性種別）

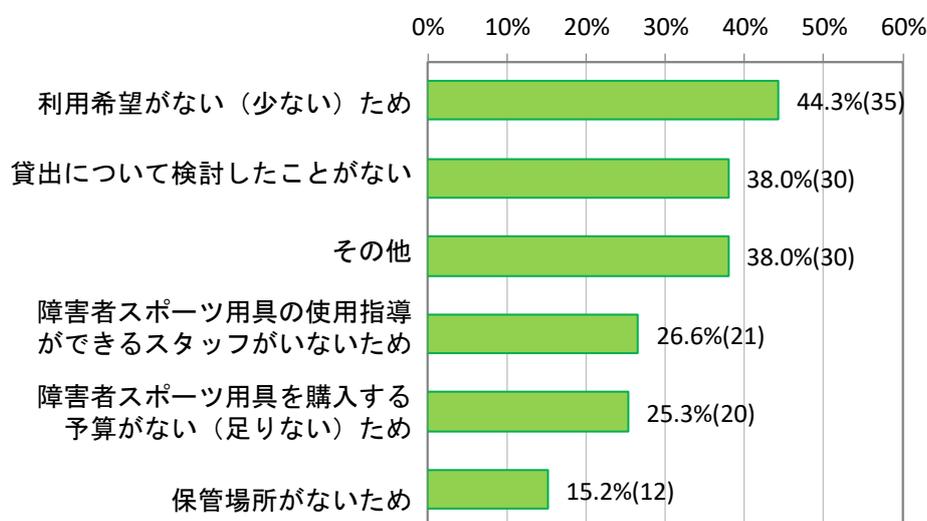


※属性種別は、障害者スポーツ用具の貸出を行っているスポーツ施設・自治体を「施設」、競技団体・障がい者スポーツ協会は「団体」として集計した。（以下同様）
 ※自治体については、調査票を自治体へ送付したところ、回答の多くがその自治体の管轄する施設からのものと重複したため、「施設」に分類した。

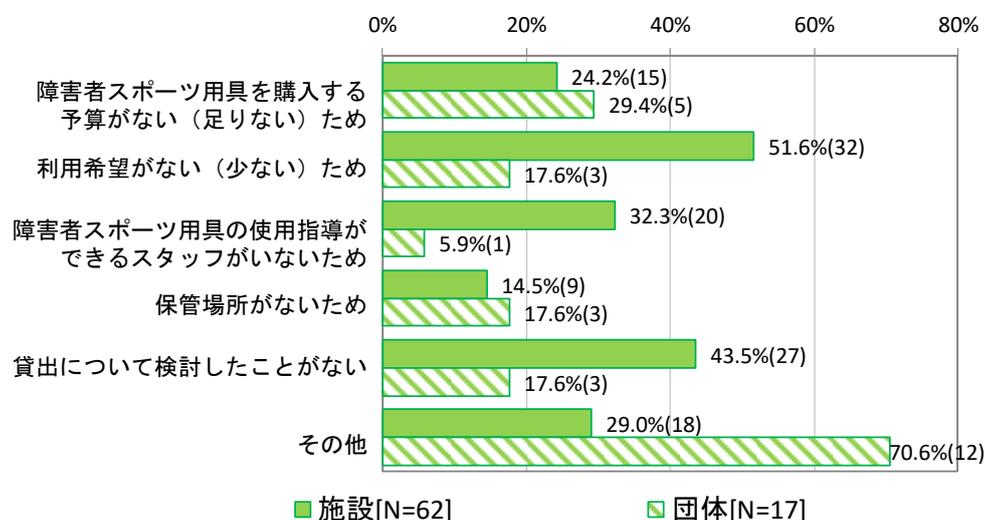
(2) 貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由

貸出用の障害者スポーツ用具を保有していないと回答した施設・団体にその理由を尋ねると、「利用希望がない（少ない）ため」が最も多く（44.3%）、次いで「貸出について検討したことがない」と「その他」が同率（38.0%）であった（図表 3-5）。属性種別でみると、施設では「利用希望がない（少ない）ため」が約半数の 51.5%を占め、最も割合が高い。一方、団体の場合は 17.6%にとどまっている（図表 3-6）。

図表 3-5 貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由（複数回答）（n=79）



図表 3-6 貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由（複数回答）（属性種別）



【貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由「その他」（主なもの）】

- ・各自が持参している
- ・利用してもらうための広報、広聴の準備が不十分である。目下取組中。
- ・知的障害者スポーツにおいては、健常者スポーツとの用具の違いはあまりないため
- ・当競技では競技専用の個人用具（車椅子・義足）は必須でないため、個人所有分（日常も利用）のみ
- ・対象者は知的障害のため器具は不要
- ・スポーツ用具は、障害者に限らず利用者ご自身が準備するものであると考えているため
- ・競技特性上、貸出に適應する用具はない
- ・健常者と同じ用具しか使わないので特段障害者用の用具は無いため
- ・障害者スポーツに関する事業を委託しているため
- ・現在、車いすバスケットの利用はあるが、全ての車椅子が個人所有で、保管のみ当会館でしている。障害者優先施設ではあるが、障害者スポーツ用具の貸出に関する要望は、毎年調査をするが要望は無い。
- ・活動場所が狭いため車椅子での活動が推進しにくい
- ・市の備品設置の予定がないため
- ・競技特性上、専用車椅子はなく該当者の日常使用用具の利用可能なため
- ・障害者の利用を優先しているが、一般の方の利用が多い施設のため
- ・総合型クラブとしては指定管理を受けていない為
- ・行政や市スポーツ協会が用具を保有しており、それを借用して事業を行うことができるため。
- ・施設の管理者は保有しておりますが、私共は施設を保有しておらず、使用料を払って施設を借用している為

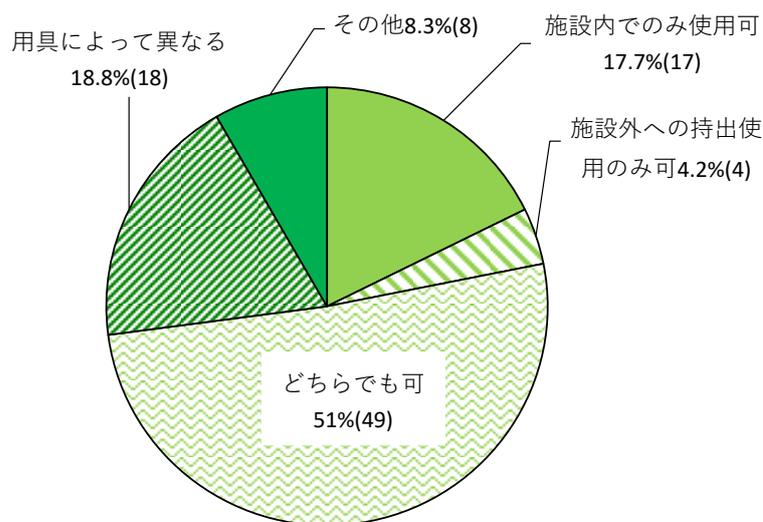
- ・障害者に対応した施設の構造となっていない
- ・競技種目及び選手毎にオーダーメイドが必要なため
- ・備品の貸出を制限しているため
- ・同一敷地内に障害者スポーツ協会があり、施設利用者に対して障害者スポーツ用具の貸出をしているため
- ・用具だけを貸し出すことは想定しておらず出前講座等で用具と人を派遣している

以降は障害者スポーツ用具の貸出を行っている施設・団体（97件）の回答結果について掲載する。

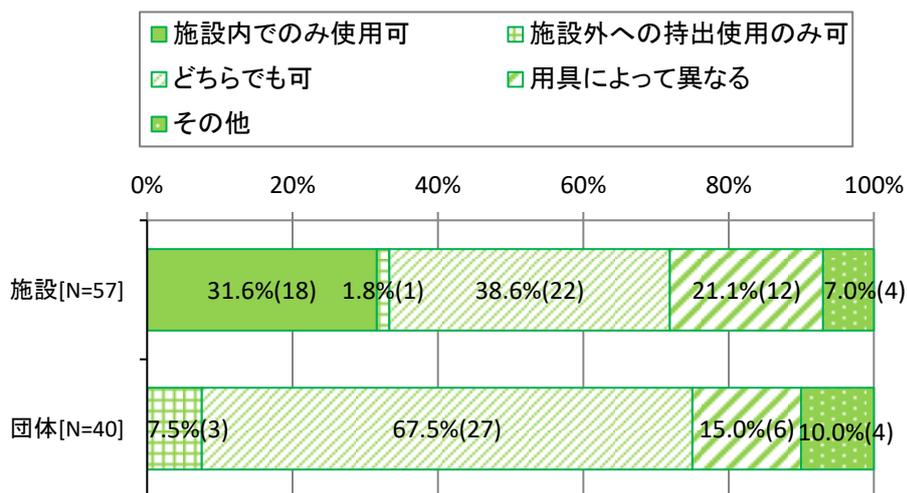
(3) 障害者スポーツ用具の貸出条件

障害者スポーツ用具の貸出条件については、回答の半数以上が施設内の使用、施設外への持出使用の「どちらでも可」としている（図表 3-7）。属性種別でみると、団体は「どちらでも可」の割合が 67.5%と高い。（図表 3-8）。

図表 3-7 障害者スポーツ用具の貸出条件 (n=97)



図表 3-8 障害者スポーツ用具の貸出条件（属性種別）



【障害者スポーツ用具の貸出条件「その他」(主なもの)】

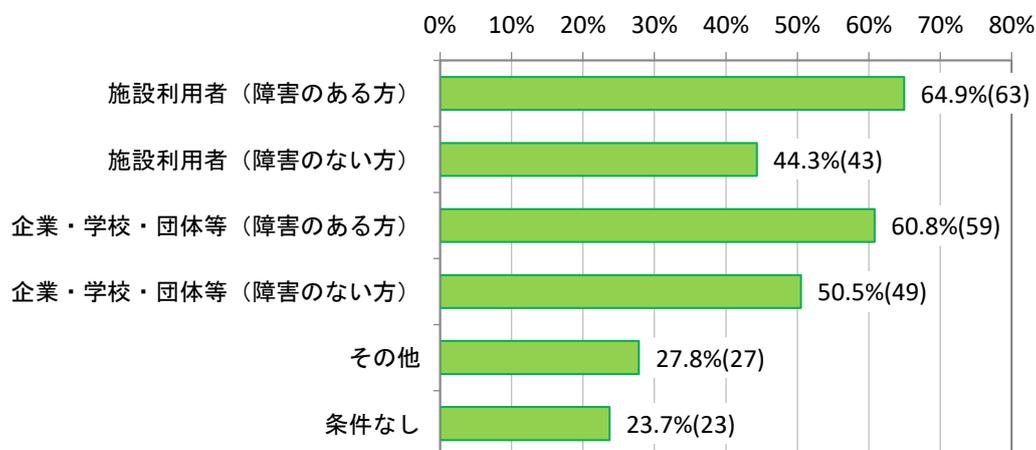
- ・①県内に現住所を有する個人又は団体であること、②使用目的が、障害者スポーツの普及・啓発に関する活動等であること、③営利を目的とした活動等ではないこと
- ・団体保有の施設なし
- ・使用目的を確認した上で判断(持ち出し可)
- ・基本的には施設内でのみ使用可ですが、場合によっては施設外での使用に貸し出すこともある
- ・協会が認定しているスポーツ教室に、常時貸し出ししている用具がある。
- ・県スポーツ振興事業団の各体育施設内又は、県関係施設内での使用のみ可
- ・市が主催する事業、障害者スポーツイベント・体験会等での使用
- ・原則施設内で貸出しますが、所定の手続きにより館外貸出可能

(4) 障害者スポーツ用具の貸出対象者

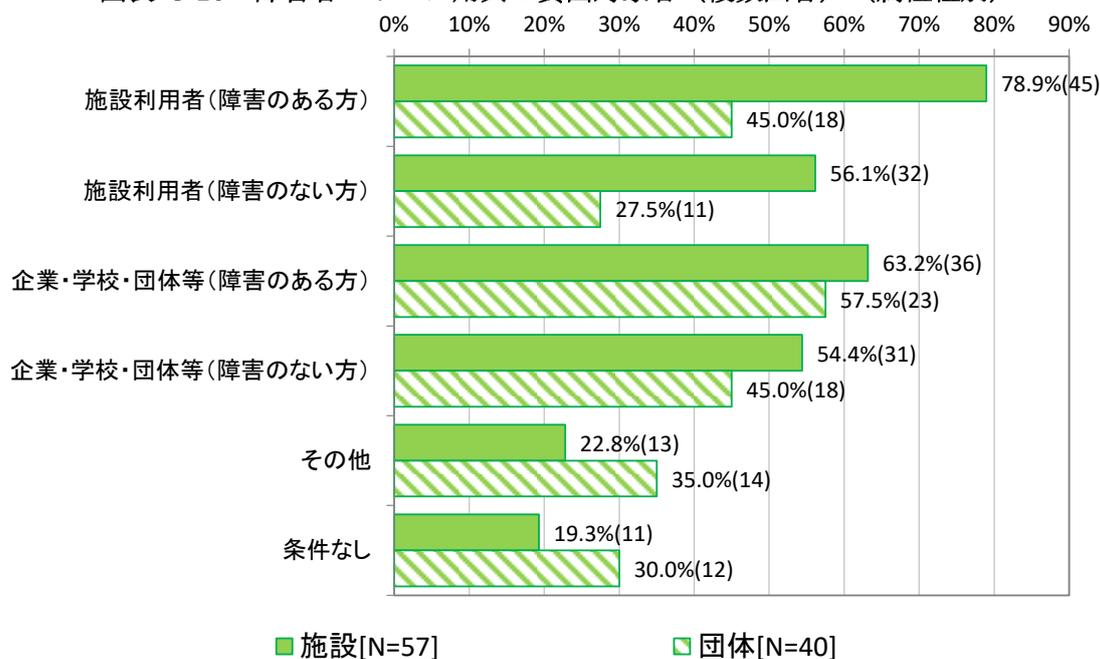
障害者スポーツ用具の貸出対象者については「施設利用者（障害のある方）」（64.9%）の割合が最も高く、次いで「企業・学校・団体等（障害のある方）」（60.8%）であった。「施設利用者」、「企業・学校・団体等」いずれの場合も「障害のある方」を対象としている傾向がみられる。（図表 3-9）。

属性種別でみると、施設では「施設利用者（障害のある方）」が約 8 割を占める（図表 3-10）。

図表 3-9 障害者スポーツ用具の貸出対象者（複数回答）（n=97）



図表 3-10 障害者スポーツ用具の貸出対象者（複数回答）（属性種別）



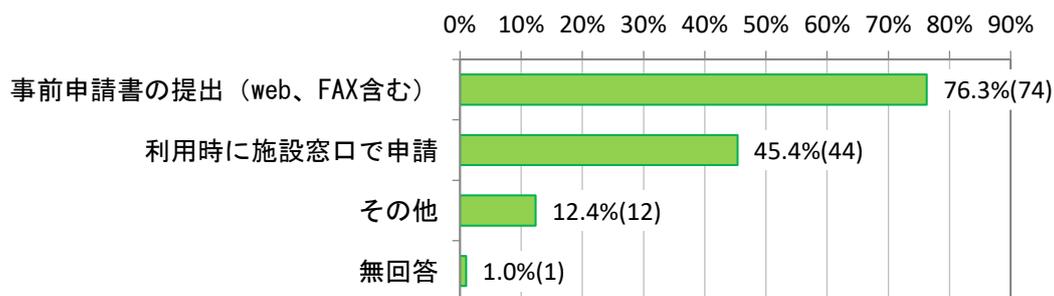
【障害者スポーツ用具の貸出対象者「その他」】

- ・研修会・講習会・イベント等について貸出を許可している
- ・賛同していただいているスポンサー企業 行政など
- ・原則、①障害者、②障害者福祉サービス等を行う施設、③福祉関係団体、④行政・教育関係機関
※但し、一部の用具については、使用時に専門的知識を有する指導者を配置することを条件
- ・県在住・在勤
- ・普及・啓発、競技会等で必要があると判断した場合
- ・スポーツ協会の会員
- ・バスケット車・陸上競技用レーサー車等については用具の使用に精通した指導者の存在が条件となる
- ・アーチェリーやライフルの用具については協会で認めた管理者が必要
- ・用具の使用に精通した指導者や、取扱担当者について事前に確認する
- ・チェアスキーに関しては、施設利用者
- ・連盟の普及事業を実施する際に貸出
- ・申請内容により貸出を決定。例：企業の営利目的には、貸出をしない
- ・学校、競技団体等で使用の目的、状況をうかがって可否の判断
- ・障害者本人・関係団体のほか、障害者スポーツを支援・指導する人・団体にも可としている
- ・各競技団体、公式協会等
- ・県スポーツ振興事業団の各体育施設又は、県関係施設利用者
- ・市主催事業を実施する者、市内に所在する法人及び団体等
- ・用具の使用に精通した指導者や責任者との内容確認により貸出要件を追加することがある
- ・障害者スポーツの普及・啓発活動に使用する目的が条件となる
- ・使用目的とともに安全に指導できる方がいるなどの事前確認・検討を行い該当する方への貸出
- ・非営利の団体等に限る
- ・施設外への貸出は不可。競技用車椅子については、施設が指定した指導者の存在が条件となる

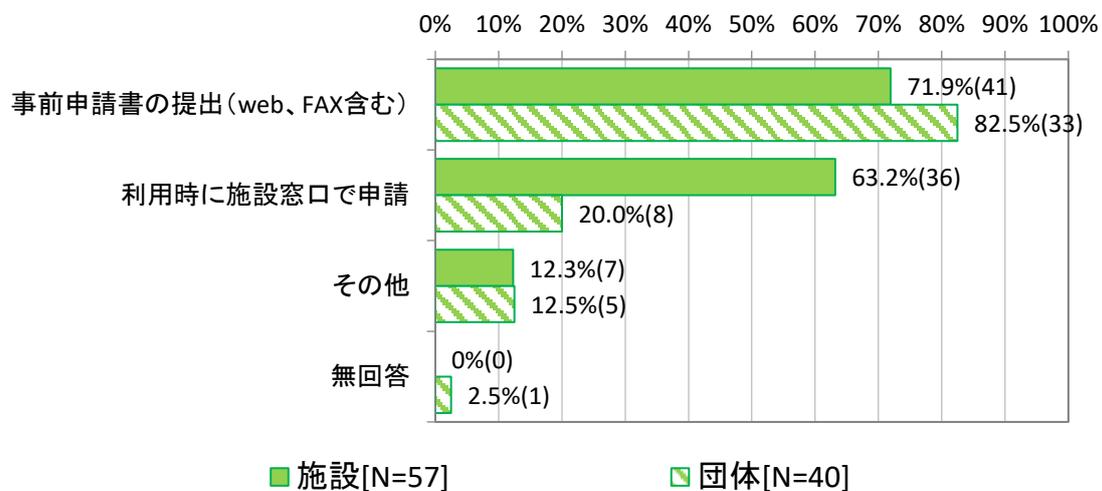
(5) 障害者スポーツ用具の貸出手続き

障害者スポーツ用具の貸出手続きについては「事前申請書の提出（web、FAX 含む）」（76.3%）の割合が高い。また、「利用時に施設窓口で申請」は 45.4%となっている（図表 3-11）。

図表 3-11 障害者スポーツ用具の貸出手続き（複数回答）（n=97）



図表 3-12 障害者スポーツ用具の貸出手続き（複数回答）（属性種別）



【障害者スポーツ用具の貸出手続き「その他」】

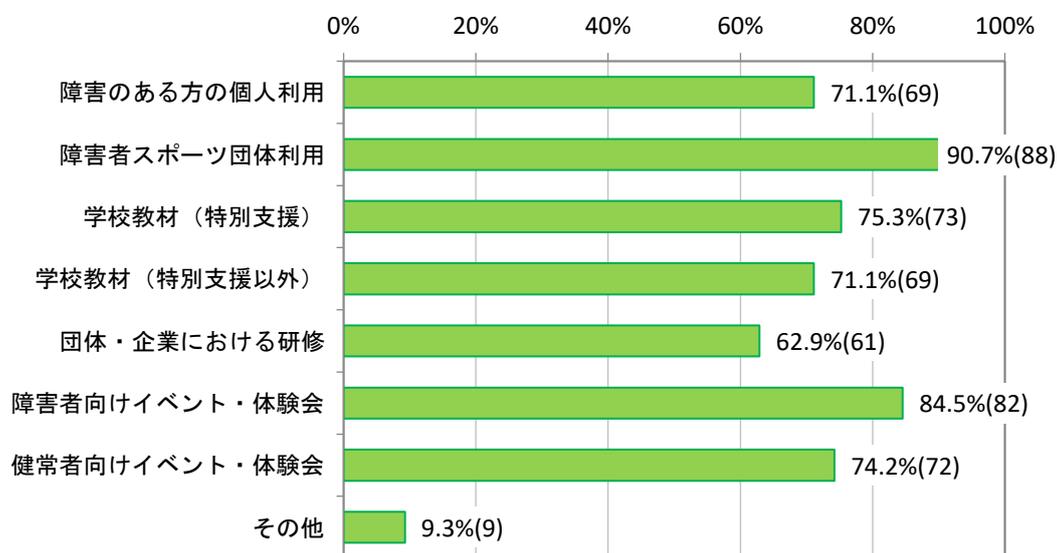
- ・道具の在庫確認連絡後、事前申請書の提出（FAX・メール可）
- ・事務室で使いたい、と言ってくれれば、施設内で自由に使える
- ・事前に電話やメール等で相談、先約がなければ予約 OK、貸出当日に申請書を提出
- ・メール、HP 問合せフォーム、電話にて団体に問い合わせ
- ・普及事業申し込みの際に確認
- ・①（事前申請書の提出（web、FAX 含む））、②（利用時に施設窓口で申請）と、電話での申し込みも可
- ・電話、メール、FAX での事前予約が多い
- ・事前、当日に係わらず、申し出があれば対応する
- ・施設内の場合は、利用前に事務所に報告。施設外の場合は、借用書の提出

(6) 貸出する障害者スポーツ用具の利用目的

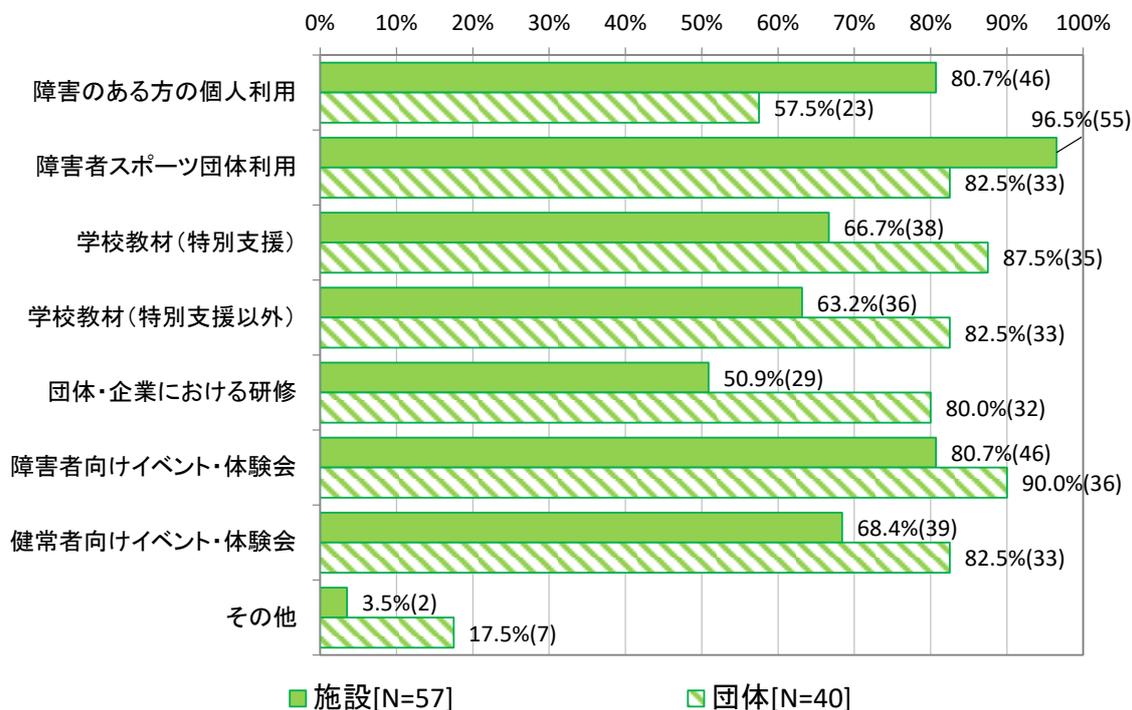
貸出する障害者スポーツ用具の利用目的として、「障害者スポーツ団体利用」が 90.7%、次いで「障害者向けイベント・体験会」が 84.5%であった。一方で「健常者向けのイベント・体験会」や「学校教材（特別支援以外）」の回答も 7 割を超えており、貸出用の障害者スポーツ用具は、障害のある方以外にも広く利用されている傾向にある（図表 3-13）。

属性種別でみると、「障害のある方の個人利用」について、施設では 80.7%である一方、団体では 57.5%にとどまっている（図表 3-14）。

図表 3-13 貸出する障害者スポーツ用具の利用目的（複数回答）（n=97）



図表 3-14 貸出する障害者スポーツ用具の利用目的（属性種別）



【貸出用障害者スポーツ用具の利用目的「その他」】

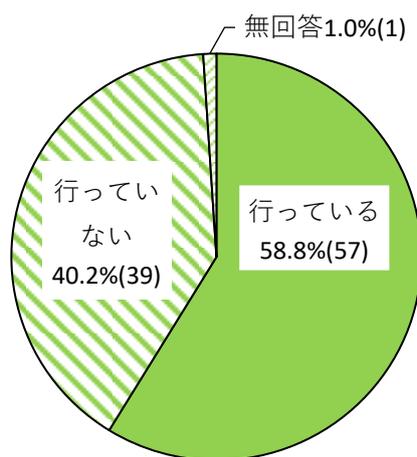
- ・PR/展示用
- ・テレビ、新聞社等取材用、自治体展示など
- ・スポーツ協会の会員（個人・団体）の利用
- ・市町村主催（イベント・体験会）
- ・展示／撮影用 等
- ・チェアスキーについては障害者向けイベント・体験会のみ
- ・あくまで障害者優先。
- ・スポーツの普及促進のほか、スポーツ種目・用具の工夫のため
- ・その他、障害者スポーツの振興に関する活動と当センターが認めるもの

2-2 障害者スポーツ用具の貸出しに関するスタッフの確保について

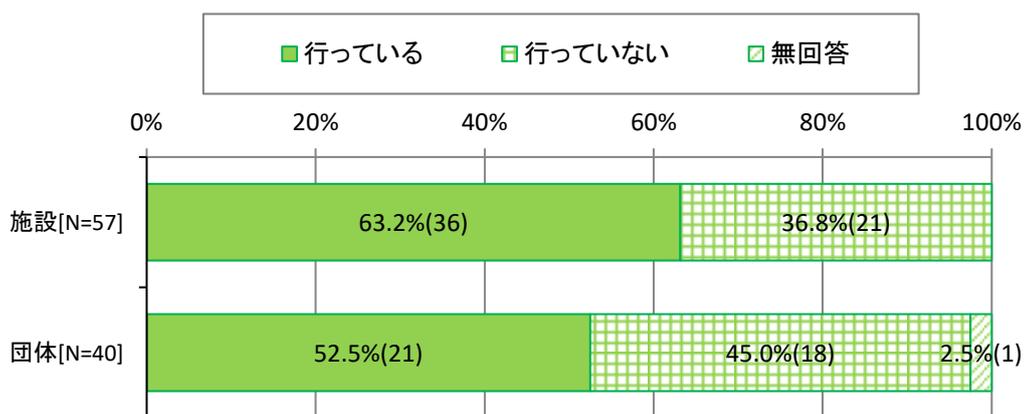
(1) 障害者スポーツ用具の使用方法的指導状況

障害者スポーツ用具の使用方法的指導状況については、「行っている」が58.8%、「行っていない」が40.2%であった（図表 3-15）。

図表 3-15 障害者スポーツ用具の使用方法的指導状況（n=97）



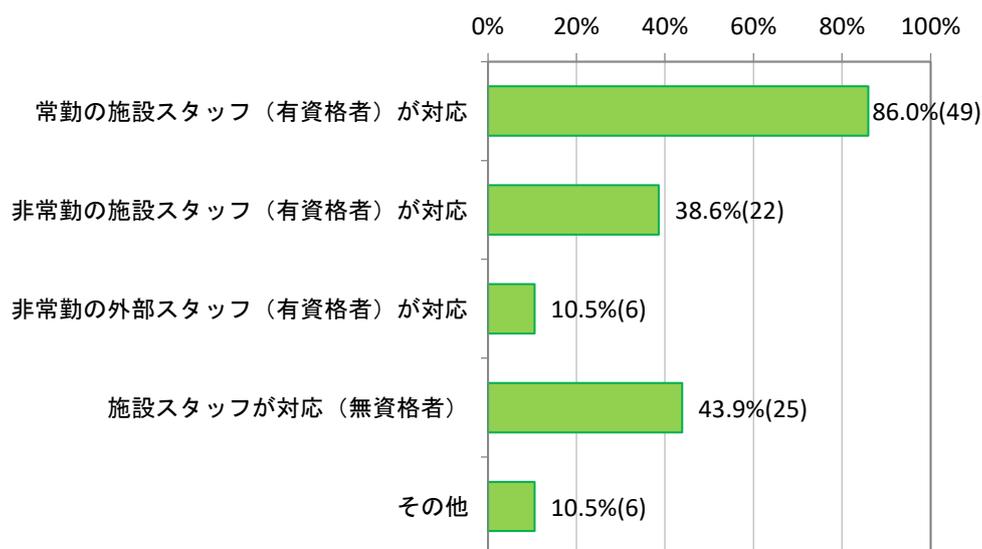
図表 3-16 障害者スポーツ用具の使用方法的指導状況(属性種別)



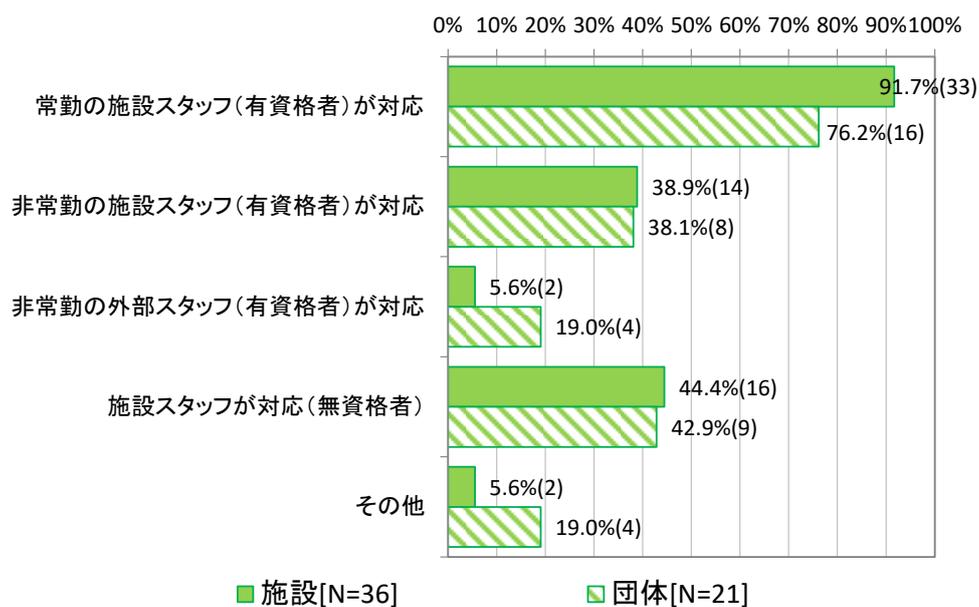
(2) 使用方法の指導を行うスタッフの雇用形態

使用方法の指導を行うスタッフの雇用形態は、「常勤の施設スタッフ（有資格者）が対応」（86.0%）の割合が最も高い（図表 3-17）。属性種別でみると、施設では約 9 割が「常勤の施設スタッフ（有資格者）が対応」と回答している（図表 3-18）。

図表 3-17 使用方法の指導を行うスタッフの雇用形態（複数回答）（n=57）



図表 3-18 使用方法の指導を行うスタッフの雇用形態（属性種別）



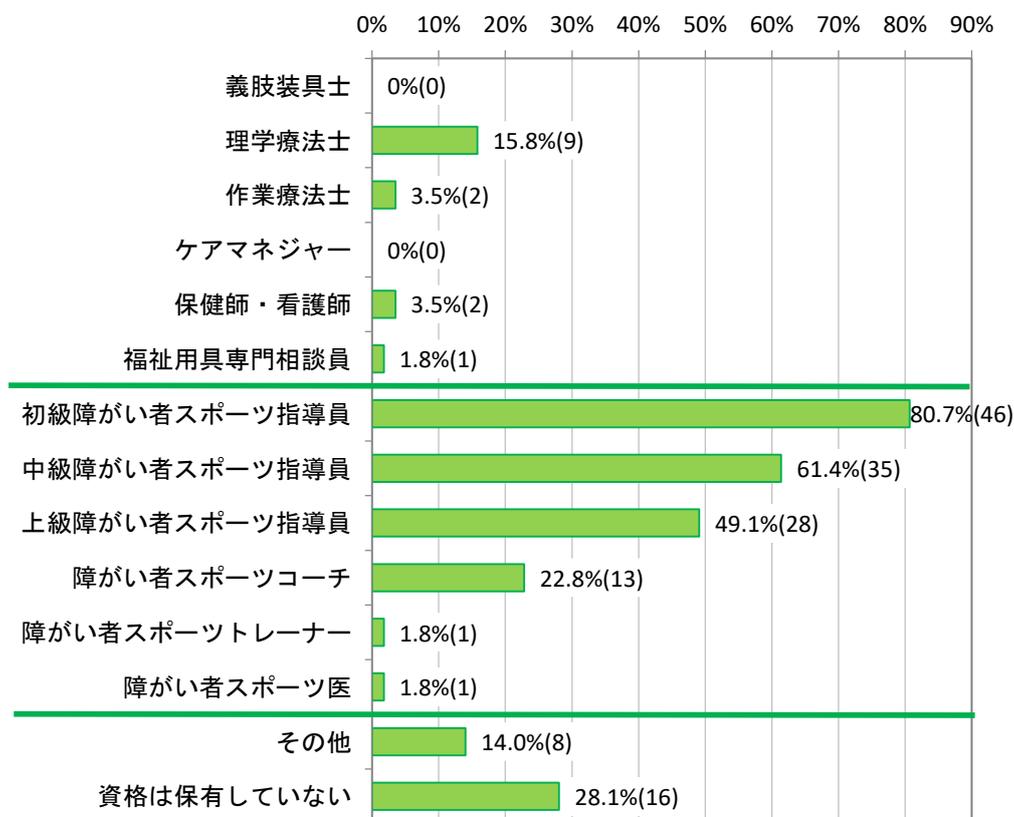
【使用方法の指導を行うスタッフの雇用形態「その他」】

- ・資格が定まっていない 競技経験者に依存している
- ・臨時職員が対応
- ・スポーツ協会の会計年度任用職員
- ・使用方法の指導が必要な場合のみ
- ・車いす選手または立位選手、スタッフが対応
- ・（雇用をしていない）競技者・競技団体関係者による指導

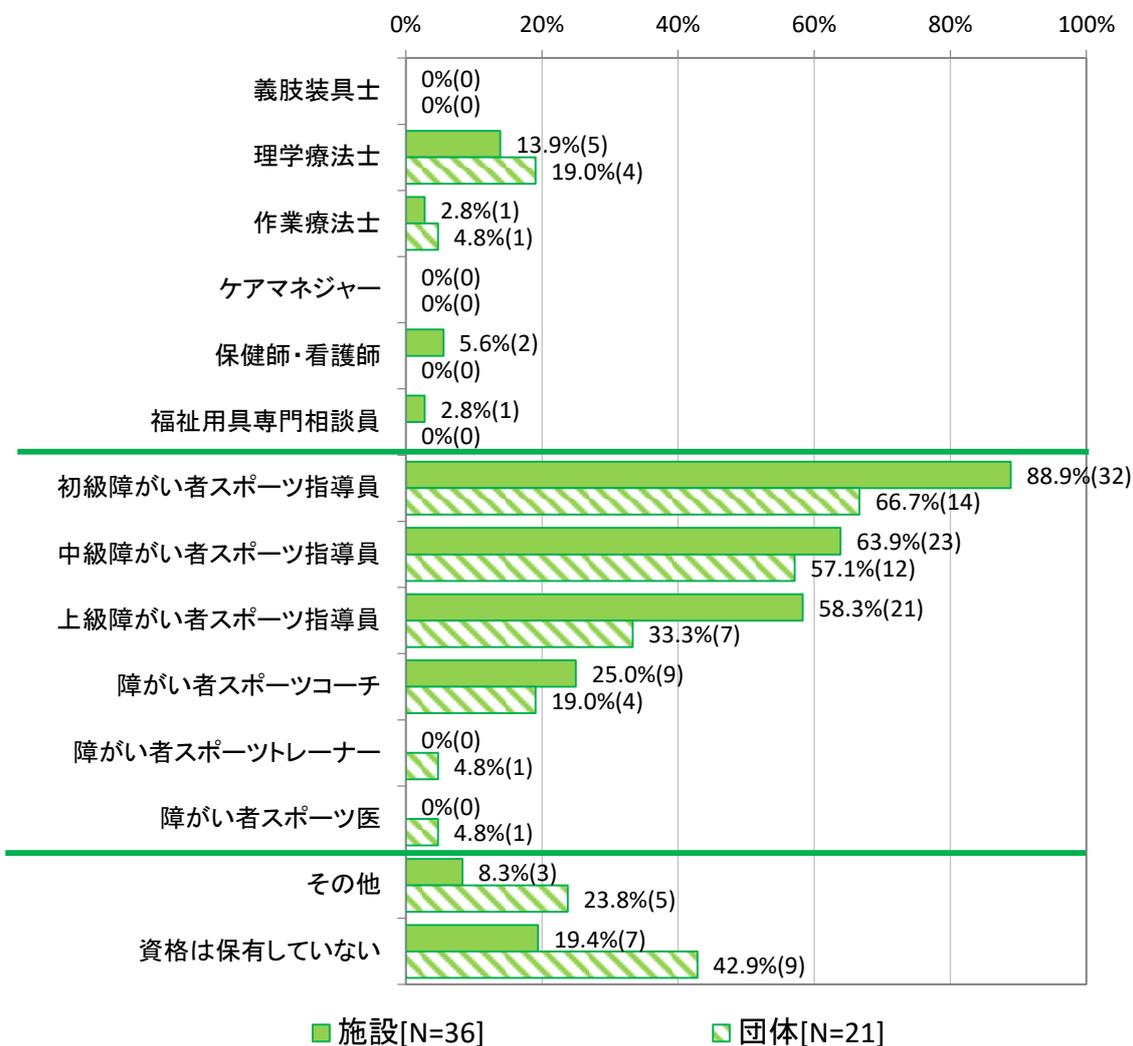
(3) 使用方法の指導を行うスタッフの保有資格

使用方法の指導を行うスタッフの保有資格では、「障がい者スポーツ指導員」の資格保有者が多く、「初級障がい者スポーツ指導員」の割合が最も高い（80.7%）。一方で、障がい者スポーツ医や、理学療法士、作業療法士等の医療関係者の割合はかなり低いことがわかった（図表 3-19）。

図表 3-19 使用方法の指導を行うスタッフの保有資格（複数回答）（n=57）



図表 3-20 使用方法の指導を行うスタッフの保有資格（属性種別）



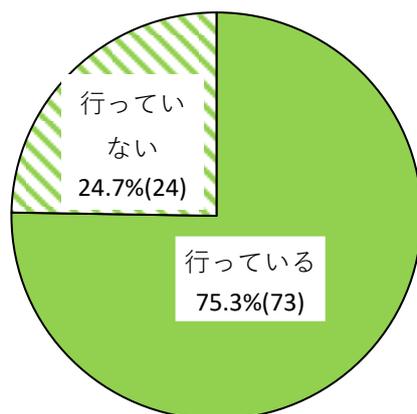
【使用方法の指導を行うスタッフの保有資格「その他」】

- ・柔道整復師・教員・医師・健常者スポーツコーチ・スポーツ指導員 など
- ・特別の資格というものが制度としてない
- ・スポーツプログラマー・水泳指導管理士・体育施設管理士
- ・教員免許（中学校・高等学校・特別支援）
- ・教員免許（保健体育）、水泳指導管理士、上級体育施設管理士、トレーニング指導士
- ・健康運動指導士・健康運動実践指導者・スポーツリーダー
- ・選択肢のうち初級・中級障がい者スポーツ指導員を除き、外部にお願いしての対応となる。

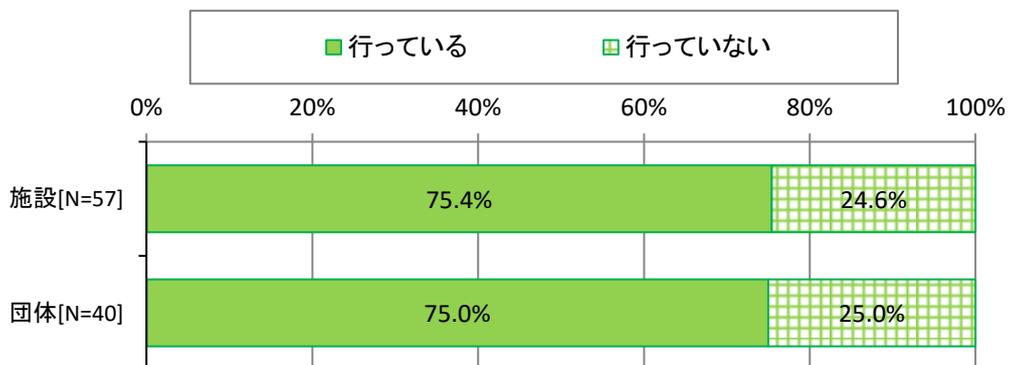
(4) 障害者スポーツ用具のメンテナンス状況

障害者スポーツ用具のメンテナンス状況については、「行っている」が7割以上である（図表 3-21）。

図表 3-21 障害者スポーツ用具のメンテナンス状況（n=97）



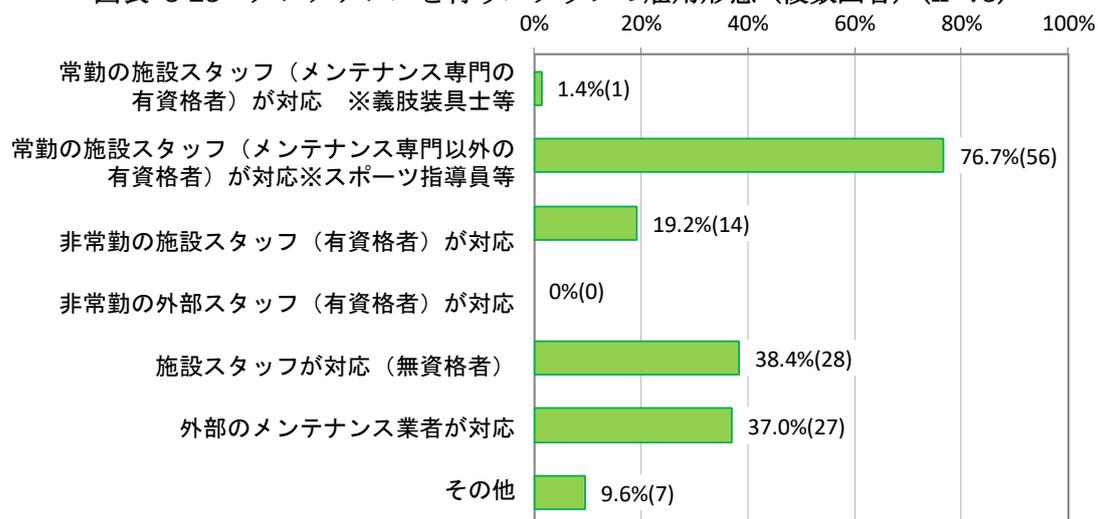
図表 3-22 障害者スポーツ用具のメンテナンス状況（属性種別）



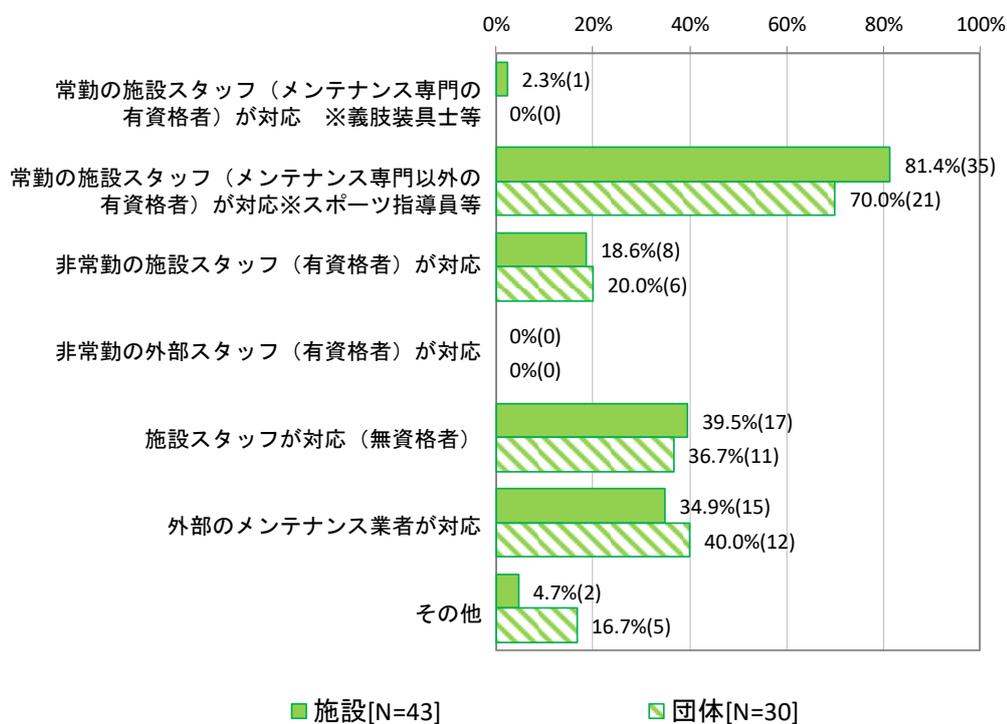
(5) メンテナンスを行うスタッフの雇用形態

メンテナンスを行うスタッフの雇用形態は「常勤の施設スタッフ（メンテナンス専門以外の有資格者）が対応 ※スポーツ指導員等」（76.7%）の割合が最も高い（図表 3-23）。

図表 3-23 メンテナンスを行うスタッフの雇用形態（複数回答）（n=73）



図表 3-24 メンテナンスを行うスタッフの雇用形態（属性種別）



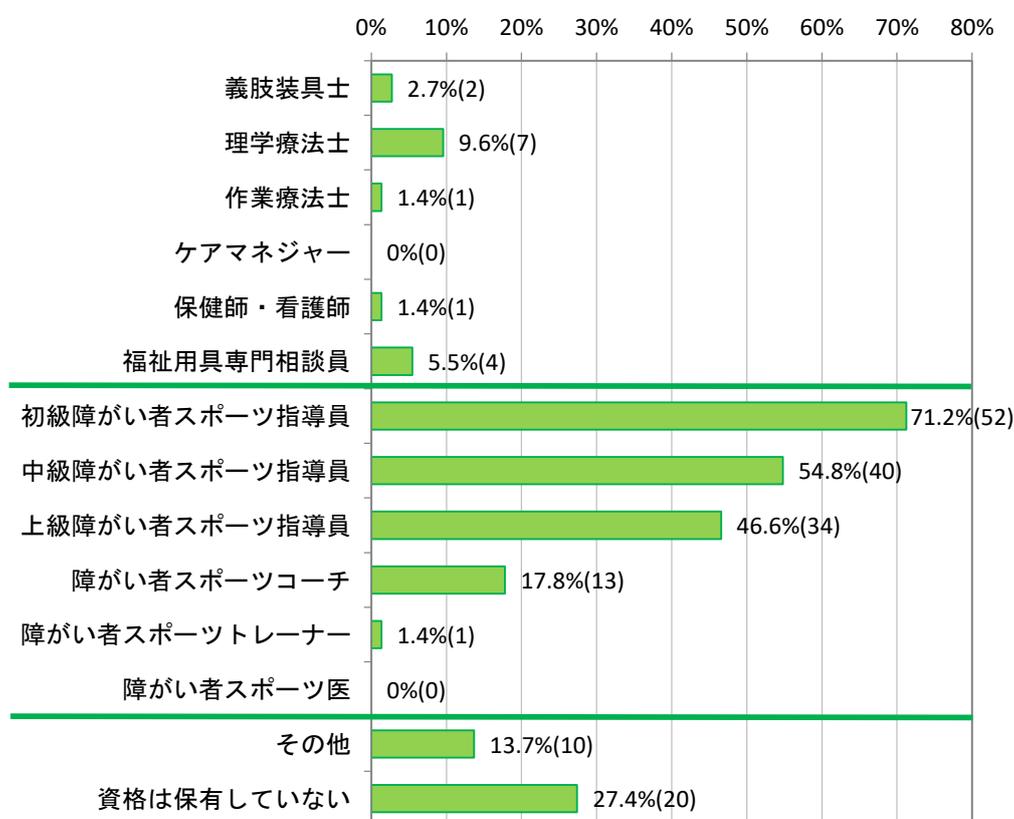
【メンテナンスを行うスタッフの雇用形態「その他」】

- ・障害者自身が対応を余儀なくされている（スタッフの不足）
- ・臨時職員が対応
- ・スポーツ協会の会計年度任用職員
- ・修理が必要な場合は、業者に依頼して有料で修理してもらう。
- ・常勤スタッフが対応できないメンテナンス・修理は外部業者等に依頼

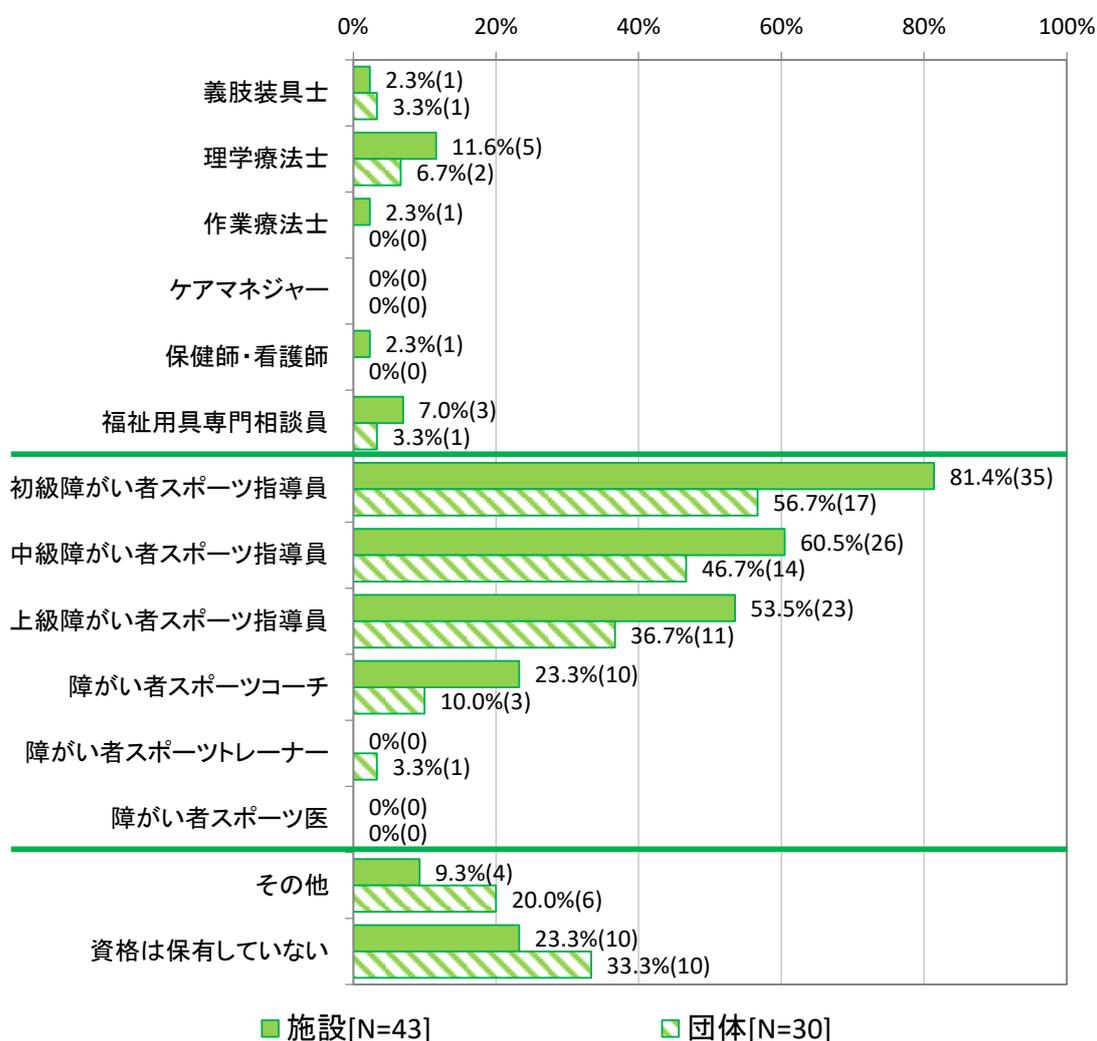
(6) メンテナンスを行うスタッフの保有資格

メンテナンスを行うスタッフの保有資格では、「初級障がい者スポーツ指導員」の割合が最も高い(71.2%)。次いで、「障がい者スポーツ指導員」の「中級」(54.8%)、「上級」(46.6%)となっている。上位3つは前述の「(3) 使用方法の指導を行うスタッフの保有資格(図表3-19)」と同じ結果となった。また、理学療法士、作業療法士、保健師・看護師等の医療関係者の割合はかなり低いことがわかった(図表3-25)。

図表 3-25 メンテナンスを行うスタッフの保有資格(複数回答) (n=73)



図表 3-26 メンテナンスを行うスタッフの保有資格（属性種別）



【メンテナンスを行うスタッフの保有資格「その他」】

- ・福祉・住環境コーディネーター
- ・柔道整復師・教員・医師・健常者スポーツコーチ・スポーツ指導員 など
- ・メンテナンスの資格というものがない
- ・車椅子販売業者
- ・教員免許（中学校・高等学校・特別支援）
- ・教員免許（保健体育）、水泳指導管理士、上級体育施設管理士、トレーニング指導士
- ・施設設備管理業者
- ・メーカー等への外注
- ・用具製作者

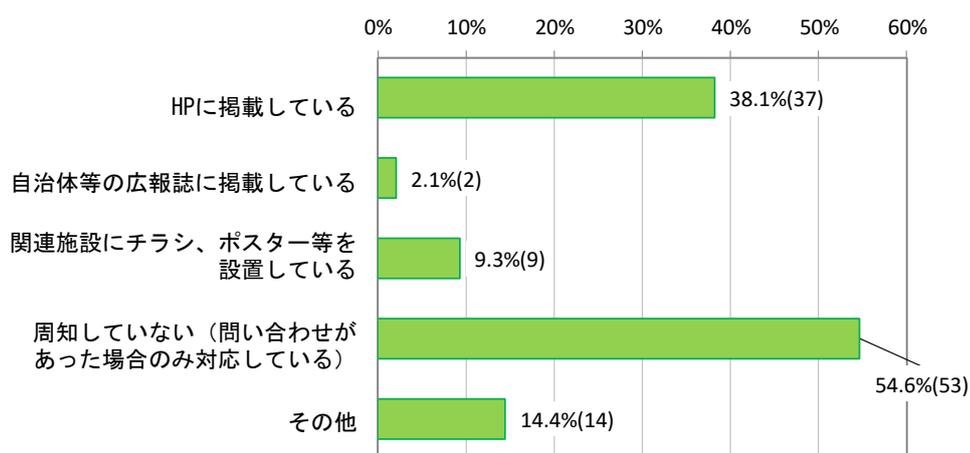
2-3 貸出の周知方法、課題等について

(1) 貸出情報の周知方法

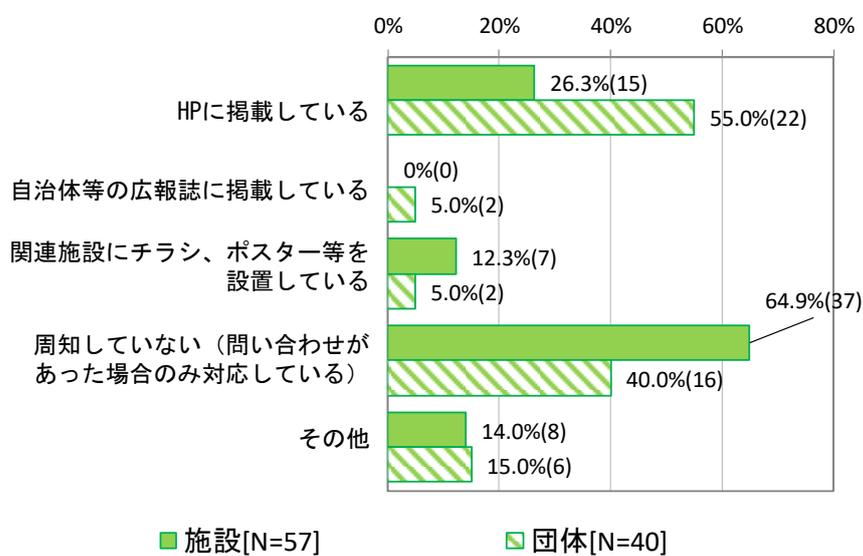
貸出情報の周知方法については、半数以上(54.6%)が「周知していない(問い合わせがあった場合のみ対応している)」と回答している。周知している中で最も多かった方法は、「HPに掲載している」(38.1%)であり、紙媒体での周知よりもHPの方が広く利用されていることがわかる(図表 3-27)。

属性別にみると、「周知していない(問い合わせがあった場合のみ対応している)」については施設(64.9%)が団体(40.0%)を上回る回答結果となっている。また、「HPに掲載している」は、団体では55.0%だが施設では26.3%にとどまっており、団体の方がより積極的にHPを活用している傾向にあるといえる(図表 3-28)。

図表 3-27 貸出情報の周知方法(複数回答)(n=97)



図表 3-28 貸出情報の周知方法（属性種別）



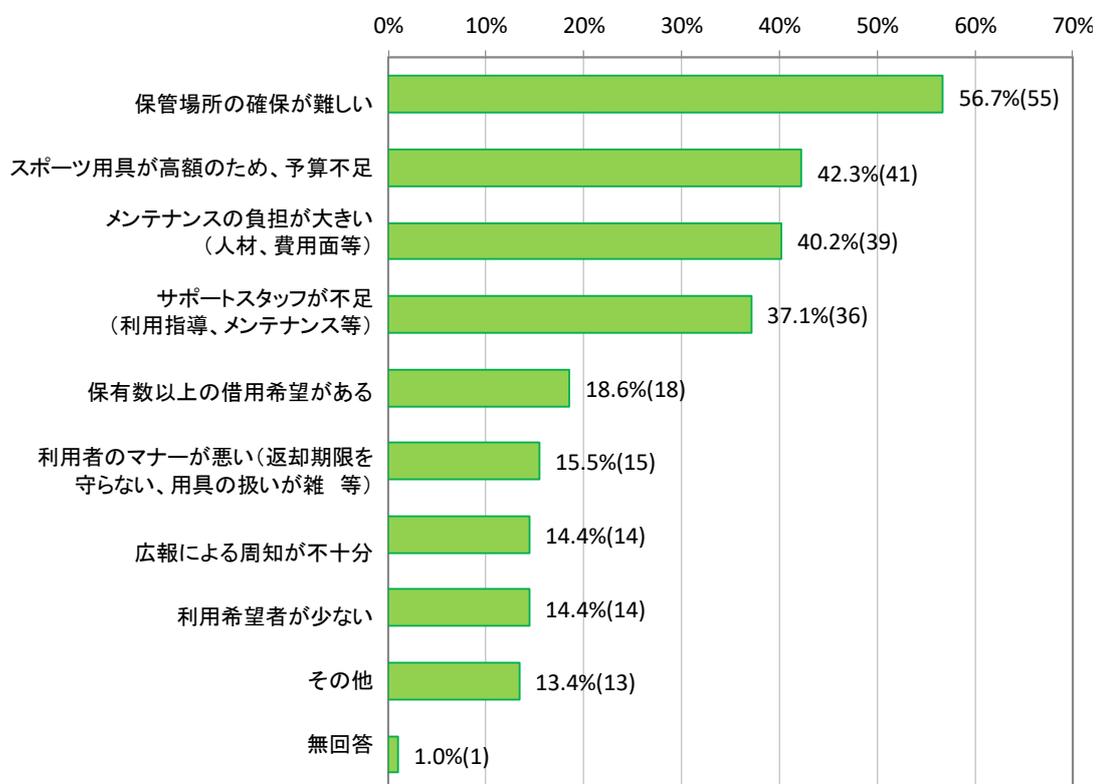
【貸出情報の周知方法「その他」】

- ・特別支援学校授業等で周知。
- ・協会誌に記載
- ・学校や支援センター等に伺った際に周知している。
- ・教育委員会等案内、周知。
- ・普及事業申込みの際に確認している
- ・会議や主催事業等でインフォメーションしている
- ・検討中（県関係部局と周知方法について協議中）
- ・障害者スポーツの指導・普及活動時やイベント時に紹介している
- ・説明会を行う際、資料を配付している
- ・施設見学や利用登録時に説明している

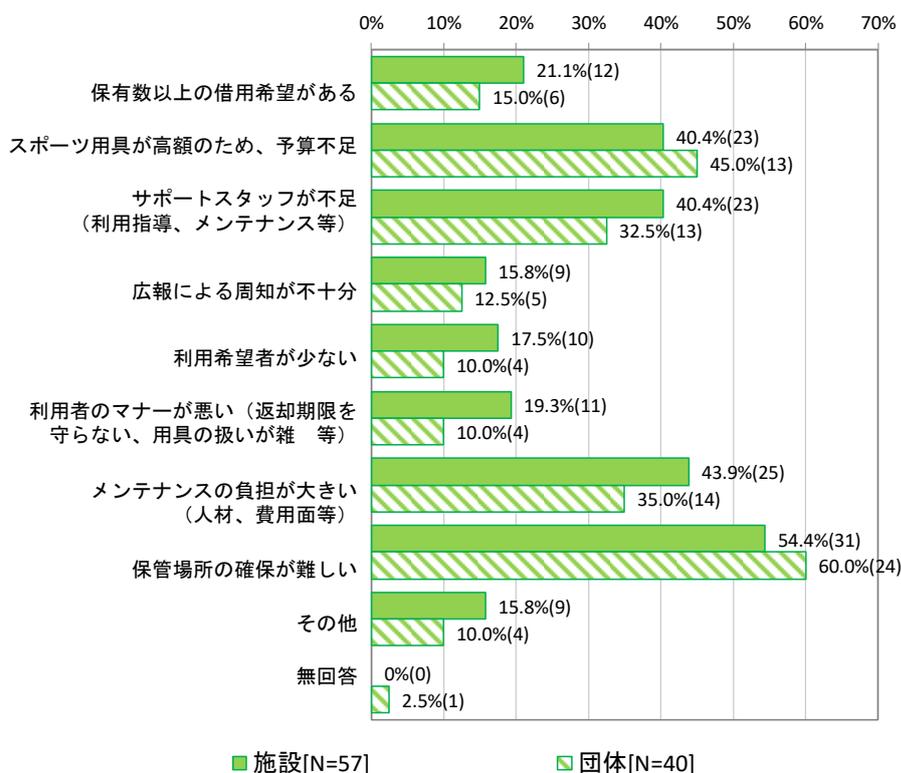
(2) 障害者スポーツ用具の貸出における問題点

障害者スポーツ用具の貸出における問題点は、「保管場所の確保が難しい」(56.7%)の割合が最も高い。次いで「スポーツ用具が高額のため、予算不足」(42.3%)、「メンテナンスの負担が大きい(人材、費用面等)」(40.2%)と続く。「保有数以上の借用希望がある」といった利用者に関する問題は2割以下となっていて、場所、財政、人員の不足といった施設側の状況が問題となっている傾向があるとわかる(図表 3-29)。

図表 3-29 障害者スポーツ用具の貸出における問題点(複数回答)(n=97)



図表 3-30 障害者スポーツ用具の貸出における問題点（属性種別）



【貸出における問題点「その他」】

- ・メンテナンス・破損修理等に係る予算の確保が難しい。最新機種への買い替え等が難しい。
- ・車いすバスケットで体育館を使用した場合、床面の劣化が激しく、板の目が剥がれてくる。
- ・障害者向けのスポーツレクリエーション教室等参加者が非常に少ない。
- ・特に問題は生じていない
- ・速やかなメンテナンスの難しい用具があります（例：電動車椅子サッカー用車椅子）
- ・現在は問題はないが、借用の需要が増えれば予算措置も必要になる。
- ・タイプが古い
- ・用具使用時（特に初心者）に、事故・2次障害が起こる可能性の理解と対策（指導）
- ・利用者の導線と保管場所が合っていない
- ・事務所の開設時間外の搬入出の相談への対応

(3) 障害者スポーツ用具の貸出に関する今後の課題・展望、意見等（自由記述）

障害者スポーツ用具の貸出に関する今後の課題・展望、意見等を聞いたところ、以下のような回答があった。用具や備品の購入・メンテナンス・買い替え予算の捻出が困難という意見が多かったが、全体として積極的に障害者スポーツ用具の貸出をしていきたいという意見が目立った。

【今後の課題（主なもの）】

【予算】

- ・指定管理者制度による年間予算が決まっているため、用具の故障やメンテナンスに費用がかかる。故障が続くと予算の関係上、修理が追いつかず、貸出備品台数が制限される。
- ・障害者スポーツ用品の貸出は、頻繁にあるわけではないので、備えていない用品がある。また、障害者スポーツの用品は高額で予算がつかない。
- ・もっと保有台数があれば、障害者の利用だけでなく、地域や一般の学校等での障害者スポーツの理解のための学習やイベント等で、より障害者や障害者スポーツへの理解が深まると考えるが、予算がなく導入できていない。
- ・現在保有している用具等は、県からの借用物品が多く、永年の使用で傷みが多い。予算不足で更新がなかなかできない。
- ・競技用車椅子は競技種目によってサイズ、価格が異なる為、実際に試合が行える台数を確保しようと考えると、予算と保管場所の確保が難しく、利用者からの要望との折り合いが課題である。

【人材】

- ・用具貸出もさることながら、スポーツ種目を広報、指導できる人材の状況（養成等）についても調査を行ってほしい。
- ・貸出を行っているのは、基本的には消耗品であるが、生産している業者が特定されている他、大量には対応していないので、本格的な貸出をするには、貸出物品の品ぞろえ、使い方を指導できる者の確保が課題となる。展示用貸出であれば問題はない。
- ・メンテナンスに於いてスタッフ不足
- ・パラスポーツの認知が進むにつれて、外部への用具貸出希望が増えています。今後、そのようなニーズに答えていくためには、さらなる用具の準備とともに、対応するマンパワーを充実させていく必要があります。
- ・用具の使用に精通した指導者の存在が今後の課題である。パラスポの体験等の事業が増え、貸出が増えている。メンテと確認作業のスタッフと時間の確保が困難になってくる。

【用具】

- ・使用頻度が高く、消耗が激しく、こまめな点検やメンテナンスが必要になる。（競技用車椅子）
- ・スポーツ用車椅子等、用具によっては借用希望が重なり対応できない場合がある。
- ・現在は、保有数も少なく利用希望がほとんどないが、利用者が増えた場合、用具の費用（購入・メンテナンス）、取扱いの説明、保管場所確保などの課題が考えられる。

【ニーズの把握・貸出等の周知】

- ・身近な地域における障害者スポーツの推進が大きな課題である。
- ・障害者スポーツの魅力の発信の仕方や貸出の周知方法が課題。選手発掘も兼ねて小中学校を訪問し、当協会の事業の紹介や用具の貸出について周知している。最近は小学校で障害者スポーツの授業があるようで、小学校からポッチャの貸出希望が増えている。
- ・障害者スポーツ用具の貸出について、HPに掲載するため業者に発注しているところであるが、掲載によってまずは障害者スポーツ用具に対するニーズを把握する必要があると考えている。
- ・障害のある方の希望やニーズを把握しきれていない。現在は、ポッチャ、フライングディスク、カローリングなどのレクリエーション的に実施可能なスポーツ用具の貸出が中心となっているが、キンボールなど更にレクリエーション的要素の高いものには取り組めておらず、用具も保有していない。今後、スポーツを行うきっかけ作りとして活用できるよう、新しい分野に広げていく必要があると考えています。
- ・貸し出す用具の個数や種類も少ないことは課題である。が、加えて県障スポ協会自体が（福祉団体との兼務職員）任意団体であり、組織の充実と用具を使用する身近な運動施設が身近にあると良いとして、要望や工夫をしている。しかし、利用者へのニーズに適切に対応できるような組織体制が課題である。

【展望、意見等（主なもの）】

【現状】

- ・価格の低下と競技の認知度が健常者の団体も含めて低いためそもそも貸出の依頼が少ない。そのため貸出はイベントの有るごとにスタッフが持ち出している。認知されることが重要であると考えている。パラリンピック以降も認知度を高めていきたい。
- ・①保有している機材の持ち運びが難しいため、体験会等の指定の場所での貸出は可能ですが、機材だけの貸出は積極的には行っていません。②機材の調整に技術が必要なため貸出しても利用者が自らの力で使用出来る状態には出来ません。
- ・車椅子は基本的に個人持ちであるが、当施設で初めて体験するというような時に使われる場合がある。また外部での障害者スポーツ体験会のような時にお貸しすることがあるが、相当古いタイプのもので、まったく知らない人が目にするものであれば、インパクトが弱い。
- ・障害のある当事者が、競技導入当初より高価な用具を購入することは負担となるため、導入として使用できるよう貸出を行っている。もちろん障害のない方の理解促進にも活用して欲しいが、こちらの件数の方が多くなった場合、本来の主旨から逸脱してしまうため、どのように優先順位を設定するか検討が必要である。（現在は、優先順位はなく、申込受付順）

【普及・啓発・促進に向けて】

- ・施設内において、スポーツ用具を使った障害者や健常者、地域の方との交流イベントを増やしていきたい。
- ・用具の貸出希望は多い。今後も広く貸出ができるように、広報等検討したい。
- ・古くなったスポーツ用具も多いため、予算内で買い換えできるものは対応していきたい。また、競技会種目の練習を目的とするスポーツ用具の貸出は、実施可能な場所の確保が十分でないために貸出率が低い。センターでの開催は難しいため、用具と共に職員が出向き対応している。今後「場所」と「協力者」などの整備を行い、貸出率を向上させていきたい。
- ・競技普及、スポーツ振興に関する貢献であれば、貸出をすることについては積極的に考えています。これまでも健常アスリートの講習会、街や企業のイベント、学校教育、メディアの撮影用等お貸してきました。ただし、用具によっては希少で高額なものがあり、破損や利用者の怪我などの懸念があったため、目的によりお断りすることもございました。現時点では、貸出の条件やルールを明確に設定できていないため情報掲載は控えています。諸条件が整った際には『HP 等へは貸出のご案内』として表記する予定です。
- ・「障害者スポーツ用具貸出可能施設であること」についての周知、保有している用具でできる障害者スポーツの指導者の育成及び資格等の取得を推進し、県内地域で障害者スポーツ教室等を計画し、開催することを通じて障害者スポーツを振興していく。
- ・当センターの用具は、原則的に施設内での貸出のみで行なっている。外部への貸出の依頼があった場合は、その都度協議を行い、施設内での貸出に支障がない範囲で行っている。貸出頻度や数も多いため、備品の管理（メンテナンス）や保管場所について課題もある。当センターの母体で、用具貸出に関する相談を実施しているため、そちらと連携し実施しており、貸出用具活用からの障害者スポーツ振興により結び付けていきたい。
- ・競技用車椅子等の種類や台数を増やすとともに、車椅子以外の障害者スポーツ用具の充実も図っていく。障害者スポーツ用具の貸出しを行っていることを HP 等で積極的に広報することにより、障害者スポーツの活動機会の拡大と理解促進を図っていく。車椅子等のメンテナンスに係る専門スタッフの配置が望まれる。
- ・特定の人だけでなく、健常者、障害者ともに障害者スポーツに興味を持ってもらいたい。そのために用具の使用方法やルールについてスタッフへの講習会などがあれば、積極的に利用者へ教室の参加など声掛けがしやすくなると思います。

障害者スポーツ用具の貸出状況調査
アンケート調査項目

設問番号	設問	選択肢	対応図表
S1	施設情報、回答者情報をご記入ください (ご回答をとりまとめたいただいた方の連絡先をご記入ください) ☆都道府県(1つ選択) ▼選択してください ☆施設名 ☆種別 ☆住所 ☆部署名 ☆ご役職 ☆お名前 ☆電話番号 ☆メールアドレス	☆種別 ①スポーツ施設(障害者優先施設) ②スポーツ施設(一般施設) ③自治体(スポーツ部局、福祉担当課) ④競技団体 ⑤障がい者スポーツ協会 ⑥その他	図表 3-1 図表 3-2
S2	貴施設について、施設の種類と数をお答えください。 (あてはまる番号すべてに○をつけ、施設数をご記入ください)	①体育館 ②陸上競技場 ③野球場・ソフトボール場 ④球技場(サッカー・ラグビー等で使用) ⑤多目的運動場 ⑥水泳プール(屋内・屋外) ⑦庭球場 ⑧柔剣道場(武道場) ⑨ゲートボール・クローケー場 ⑩トレーニング室 ⑪アーチェリー場 ⑫遊戯室(プレイルーム) ⑬その他	
Q1	貴施設では、貸出用の障害者スポーツ用具を保有していますか。(1つ選択)	①保有している ②保有する予定がある ③保有していない	図表 3-3 図表 3-4
Q2	※Q1で「③保有していない」と回答した人のみ 貴施設で障害者スポーツ用具の貸出用の障害者スポーツ用具を保有していない理由をお答えください。(複数選択可)	①障害者スポーツ用具を購入する予算がない(足りない)ため ②利用希望がない(少ない)ため ③障害者スポーツ用具の使用指導ができるスタッフがいないため ④保管場所がないため ⑤貸出について検討したことが	図表 3-5 図表 3-6

設問番号	設問	選択肢	対応図表
		ない ⑥その他	
Q3	※Q1で「①保有している」「②保有する予定がある」と回答された人はQ3以降の設問に回答 ※予定の人はわかる範囲で回答 貴施設の障害者スポーツ用具の貸出条件についてお答えください。(1つ選択)	①施設内でのみ使用可 ②施設外への持出使用のみ可 ③どちらでも可 ④用具によって異なる ⑤その他	図表 3-7 図表 3-8
Q4	貴施設の障害者スポーツ用具の貸出対象者についてお答えください。(複数選択可)	①施設利用者(障害のある方) ②施設利用者(障害のない方) ③企業・学校・団体等(障害のある方) ④企業・学校・団体等(障害のない方) ⑤その他 ⑥条件なし	図表 3-9 図表 3-10
Q5	障害者スポーツ用具の貸出手続きについてお答えください。(複数選択可)	①事前申請書の提出(web、FAX含む) ②利用時に施設窓口で申請 ③その他	図表 3-11 図表 3-12
Q6	貸出する障害者スポーツ用具の利用目的についてお答えください。(複数選択可)	①障害のある方の個人利用 ②障害者スポーツ団体利用 ③学校教材(特別支援) ④学校教材(特別支援以外) ⑤団体・企業における研修 ⑥障害者向けイベント・体験会 ⑦健常者向けイベント・体験会 ⑧その他	図表 3-13 図表 3-14
Q7	貸出用具の種類、保有数についてお答えください。	別シートに記入	
Q8-1	障害者スポーツ用具の使用方の指導を行っていますか。(1つ選択) 行っている場合は、スタッフの雇用形態と保有資格について回答してください。	①行っている ②行っていない	図表 3-15 図表 3-16
Q8-2	※Q8-1で「①行っている」と回答した人はQ8-2、Q8-3を回答 使用方の指導を行うスタッフの雇用形態についてお答えください。(複数選択可)	①常勤の施設スタッフ(有資格者)が対応 ②非常勤の施設スタッフ(有資格者)が対応	図表 3-17 図表 3-18

設問番号	設問	選択肢	対応図表
		③非常勤の外部スタッフ（有資格者）が対応 ④施設スタッフが対応（無資格者） ⑤その他	
Q8-3	使用方法の指導を行うスタッフの保有資格についてお答えください。（複数選択可）	①義肢装具士 ②理学療法士 ③作業療法士 ④ケアマネジャー ⑤保健師・看護師 ⑥福祉用具専門相談員 ⑦初級障がい者スポーツ指導員 ⑧中級障がい者スポーツ指導員 ⑨上級障がい者スポーツ指導員 ⑩障がい者スポーツコーチ ⑪障がい者スポーツトレーナー ⑫障がい者スポーツ医 ⑬その他 ⑭資格は保有していない	図表 3-19 図表 3-20
Q9-1	障害者スポーツ用具のメンテナンスを行っていますか。 （1つ選択） 行っている場合は、スタッフの雇用形態と保有資格について回答してください。	①行っている ②行っていない	図表 3-21 図表 3-22
Q9-2	※Q8-1で「①行っている」と回答した人はQ9-2、Q9-3を回答 メンテナンスを行うスタッフの雇用形態についてお答えください。 （複数選択可）	①常勤の施設スタッフ（メンテナンス専門の有資格者）が対応 ※義肢装具士等 ②常勤の施設スタッフ（メンテナンス専門以外の有資格者）が対応 ※スポーツ指導員等 ③非常勤の施設スタッフ（有資格者）が対応 ④非常勤の外部スタッフ（有資格者）が対応 ⑤施設スタッフが対応（無資格者） ⑥外部のメンテナンス業者が対応 ⑦その他	図表 3-23 図表 3-24
Q9-3	メンテナンスを行うスタッフの保有資格についてお答えください。 （複数選択可）	①義肢装具士 ②理学療法士	図表 3-25 図表 3-26

設問番号	設問	選択肢	対応図表
		③作業療法士 ④ケアマネジャー ⑤保健師・看護師 ⑥福祉用具専門相談員 ⑦初級障がい者スポーツ指導員 ⑧中級障がい者スポーツ指導員 ⑨上級障がい者スポーツ指導員 ⑩障がい者スポーツコーチ ⑪障がい者スポーツトレーナー ⑫障がい者スポーツ医 ⑬その他 ⑭資格は保有していない	
Q10	貸出情報の周知方法についてご回答ください。 (複数選択可)	①HPに掲載している ②自治体等の広報誌に掲載している ③関連施設にチラシ、ポスター等を設置している ④周知していない(問い合わせがあった場合のみ対応している) ⑤その他	図表 3-27 図表 3-28
Q11	障害者スポーツ用具の貸出における問題点についてご回答ください。(複数選択可)	①保有数以上の借用希望がある ②スポーツ用具が高額のため、予算不足 ③サポートスタッフが不足(利用指導、メンテナンス等) ④広報による周知が不十分 ⑤利用希望者が少ない ⑥利用者のマナーが悪い(返却期限を守らない、用具の扱いが雑等) ⑦メンテナンスの負担が大きい(人材、費用面等) ⑧保管場所の確保が難しい ⑨その他	図表 3-29 図表 3-30
Q12	貴施設における障害者スポーツ用具の貸出しに関する、今後の課題・展望、ご意見等(自由記述)		

Q7 貸出用具の種類、保有数

<該当種目> (施設での実施の可否、競技場・コート(面)数を回答)

◎夏季

陸上：トラック

○直線コース

○周回コース

○スラローム

陸上：フィールド：跳躍

○走高跳

○幅跳(走・立・三段)

陸上：フィールド：投てき

○円盤投

○砲丸投

○ソフトボール投

○やり投げ

○こん棒投

○ビーンバグ投

陸上：フィールド：ロード

○マラソン

水泳

○競泳

○飛込

○水球

○アーティスティックスイミング

ソフトボール

グランドソフトボール

車いすソフトボール

グランドソフトボール

車いすソフトボール

サッカー

5人制サッカー(ブラインドサッカー)

7人制サッカー(CPサッカー)

アンブティサッカー

電動車いすサッカー

フットベースボール

車いすテニス

ブラインドテニス

バドミントン

ボッチャ

ゴールボール

バレーボール
シットイングバレーボール
フロアバレーボール
バスケットボール
車いすバスケットボール
車いすハンドボール
車いすフェンシング
車いすラグビー
車いすダンス
アダプテッドエアロビック
卓球
サウンドテーブルテニス
卓球バレー
柔道
空手
テコンドー
パワーリフティング/ウェイトリフティング
アーチェリー
フライングディスク

射撃

- ライフル射撃
- ピストル射撃
- クレー射撃

スポーツウェルネス吹矢

ボウリング
車いすビリヤード
ローンボウルズ
ゴルフ
自転車
馬術
トライアスロン
ビーチバレー
カヌー
ボート
セーリング

◎冬季

スキー
スノーボード
アイスホッケー（アイススレッジホッケー）
車いすカーリング
バイアスロン

◎マルチスポーツ車いす

<用具名> (保有数と貸出の可否を回答)

レーサー (台)

車椅子 (台)

下腿義足 (脚)

上腿義足 (脚)

チェアスキー (台)

シットスキー (台)

バイスキー (台)

アイスレッジ (台)

その他 ※ (例) フェンシング用具一式、アーチェリー用具一式、射撃用具一式、立位用アウトリガー等 用具名を記載

4 障害者スポーツ用具の貸出状況調査 ヒアリング調査結果

障害者スポーツ用具の貸出状況の実態を把握するため、アンケート結果をもとに、zoom または書面（メール）にてヒアリング調査を実施した。対象施設・自治体は以下のとおり。

- ・長野県障がい者福祉センター「サンアップル」
- ・広島県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センターおりづる
- ・釧路市障害者教養文化体育施設 サン・アビリティーズくしろ
- ・千葉市
- ・大阪府立障がい者交流促進センター ファインプラザ大阪

（調査手法（zoom/書面）別に、所在地（都道府県）の北から順に掲載）

1-1 長野県障がい者福祉センター「サンアップル」

(1) 施設の概要

長野県障がい者福祉センター「サンアップル」は、スポーツ施設と文化施設を有する本館と、サテライト施設として、看護大学のプール棟を事務所として借用し、障害のある方を対象にプールを開放している「サンスポート駒ヶ根」、地域に事務所を置き地域の体育施設等で活動を行う「サンスポートまつもと」、「サンスポート佐久」、さらに、本館「サンアップル」に併設の「サンスポートながの」があり、本館と、サテライト4か所を長野県内に設置している。



体育館



プール

長野県障がい者福祉センター「サンアップル」提供資料

(2) 障害者スポーツ用具の保有状況

障害者スポーツ用具の貸出は、開所当時の20年前から実施している。用具の種類は開始当初は少なかったが、徐々に数を増やしていった。令和3年4月からは貸出備品を増量予定である。現在チェアスキー、バイスキー、ボッチャ、ニュースポーツ等の貸出をしているが、今後は障害のある方ない方問わず、幅広い用具の貸出を行う。

貸出用具の決定については、センターや各サテライト施設での利用者ニーズ、今後を予測し認知され、広めていきたい競技やレクリエーション用具（独自の自作用具）も選択肢に入れていく。

令和3年現在は、全国的にもボッチャが盛んに取り組まれているので健常者からもニーズが高い。しかしボッチャ以外にも多くの種目があるということを知ってほしいと考えている。また、近隣の市町村や関係団体の用具の保有・貸出状況も考慮して、用具を決定している。

4月からは、競技用車いす、ブラインドサッカーボール、ゴールボール、アキュラシー競

技（ディスクとゴール）等、また、ムーブメント教室（(8) ②ムーブメント教室 参照）時に使用するパラバルーン（パラシュート）についても貸出予定である。用具は既に保有しているものと新たに貸出用に購入したのものがある。

これまでは障害のある団体、個人を中心に貸出を行っていたが、令和3年4月からはパラスポーツ種目等に興味をもち体験を希望する方、また交流型事業も盛んに取り組まれている中、貸出の対象を健常者団体にも広げていく。



貸出用具（車いす）

長野県障がい者福祉センター「サンアップル」提供資料

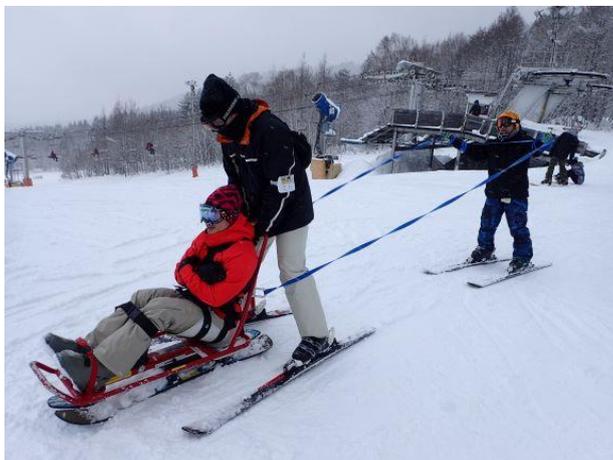
(3) 貸出条件・利用者

これまで、多くの用具は本館にて使用していた。例えば、競技用車いすの貸出は、利用の際に競技用車いすを所持していない方への貸出、または、持参したが故障した場合の要請に対応することがあった。

貸出期間は原則5日間とし、貸出の前に申請書への記入、注意事項の確認を行う。申請はFAX、電話、メールでの事前申し込みが多く、センターへの来所当日に貸出を希望する人はあまりいない。

バイスキーについては、安全な滑走のためにドライバーの技術が必要であることから、ドライバー経験のない方への貸出は不可としている。ある程度技術がある方（サンアップルで実施しているバイスキー講習会の参加者、または他で使用経験がある人）を条件としている。

用具の貸出にはサンアップルの職員（障害者スポーツ指導員の資格を持っている）が立ち会う。バイスキーについては専門の職員が対応する。



バイスキー講習会練習風景

長野県障がい者福祉センター「サンアップル」提供資料

(4) 貸出時の使用方法指導・メンテナンス

車いすやバイスキーは基本的には職員がメンテナンスをするが、大きな故障があれば業者に依頼する。用具は全て返却の際に申請書を基に職員と借用団体が共に個数等を確認、借用した団体からの自己申告（破損について）等を受けることもある。返却の際に職員が完了サインをして終了となる。

買い替えのタイミングは用具の種類、貸出回数の頻度にもよって異なるため、その都度、状態を確認して、必要な場合に買い替えを行う。修繕、買い替えはセンターの予算で対応しているが、高額な用具は買い替えの予算がつかないことが多い。そのため、こまめにメンテナンスを行い、早い段階で対応できるようにしている。

(5) 周知方法

貸出情報は過去にホームページに掲載していたこともあるが、昨今コロナの情報を多く掲載していた関係で縮小・一時削除していた。今後は、貸出用具の拡大に伴い、再びホームページへの掲載、および令和3年4月中に貸出可能な用具の案内を県内全域に配布する予定である。

(6) 課題・問題点

障害者スポーツ用具の貸出に関する情報が必要な人に届けられていない現状が課題である。

(7) 必要な支援・今後の展望等

障害者スポーツ用具の貸出状況に余裕があるため、多くの方に貸出を行っていることを知ってもらいたい。貸出自体は各団体で始めてきているようであるが、各々で発信しているためそれぞれのつながりがないことから、必要な方に情報が届けられるようなネットワークの構築が望まれる。また、用具は貸出だけではなく、利用方法や楽しみ方もあわせて伝えなければ継続して取り組むには至らないと考える。そのため、用具を貸し出す際、依頼に応じて指導員が出張し、用具を使用する対象者に合わせた工夫を加えている。

(8) その他（出張スポーツ事業、ムーブメント教室）

① 出張スポーツ事業

サテライト施設では独自の体育施設を保有していないため、近隣の市町村の施設を借用したり、教育、福祉、スポーツ関係団体からの依頼に応じて「出張スポーツ事業」を行っている。出張スポーツ教室では、職員がスポーツ用具を持参し団体の要望に応じた運動支援指導を行っている。その際には、用具の使い方、楽しみ方を伝えている。その結果、自主的に借りにきて企画した事業の中で用具を使い、後に購入に至ることもある。

② ムーブメント教室

重度身体障害、知的障害の方を中心に遊びを通して身体の使い方を学ぶことを目的として、「ムーブメント教室」を実施している。日本ムーブメント教育・療法協会に職員が学び、資格を取得した者又は養成講習会を受講した者が対応している。

1-2 広島県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センターおりづる

(1) 施設概要

スポーツ交流センターおりづるは、広島県立リハビリテーションセンターに併設されており、身体障害者福祉センターA型に属し、主に障害者のスポーツ振興事業を行っている。障害者は無料、一般の方は利用券を購入してプールやアリーナを利用可能である。スポーツのほか、文化的活動が行えるよう会議室、調理室等といった設備がある。

施設の利用者の比率については曜日によって異なり、平日は障害者、土日は子供連れの方など一般の方の利用割合が多い。全体では障害者の利用の方が多い傾向にある。

リハビリテーションセンターの入院患者については、同センター医師からの許可証があればリハビリ目的で、無料で施設を利用できる。



プール



アリーナ



トレーニング室



卓球室

スポーツ交流センターおりづる HP : <https://www.rehab-hiroshima.org/orizuru/gaiyo/>

(2) 障害者スポーツ用具の保有状況

テニス用車椅子 7 台とバスケットボール用車椅子 15 台（車いすツインバスケットボールも同じものを使用）、計 22 台を保有しており、貸出を実施している。



貸出用具

スポーツ交流センターおりづる提供資料

一般の小学校等でスポーツ用車椅子を体験できる外部派遣事業（地域派遣事業）を実施しており、職員が車椅子を学校に持って行き、使用方法を説明して子供たちに体験してもらっている。また、小学校や大学から授業の一環でおりづるに来てもらうこともある。

(3) 貸出条件・利用者について

貸出条件は特になく、一般の方も利用可能である。利用者は団体が多く、個人でバスケットボール用車椅子やテニス用車椅子を借りる人はあまりいない。

貸出期限は 1 回につき 1 週間程度で返却としていて、外部への持ち出しも可能となっている。貸出料金は無料で、台数制限は設けておらず、その日に貸出可能な台数を借りることができる。実際に大会に使うために複数台借りに来る団体もいる。

車いすテニスクラブの場合、近くの大学の学生と一緒にプレーするために借りに来ていることがある（介助者は車椅子を持っていないので借りに来ている）。そのほか、障害者個人が新しく車椅子を作りたい場合に、試してみたいと借りに来るケースもある。

(4) 貸出時の使用方法指導・メンテナンス

おりづるの場合、貸出用障害者スポーツ用具の利用者は施設の常連の団体が大多数を占

めている。団体を手伝うボランティア（学生等）が代々使用方法を引き継いでいるので、基本の操作方法は伝わっているため、職員が使用方法を指導するケースはあまりない。

メンテナンスは施設スタッフが対応している。普段は空気圧の確認など基本の動作チェックや器具清掃を行い、破損があれば業者へ依頼している。

(5) 周知方法

施設を利用する常連の、主に団体が借りることが多いため、特に周知していない。また、派遣事業の依頼を受け、電話で調整する時に、障害者スポーツ用具貸出の実施について知らせている。

(6) 課題・問題点

貸出用具について、貸出期限を過ぎても返却されず、他の利用希望者が借りられなかったことがあった。延長したい場合は借りてから 1 週間後に一度返却し、追加でもう 1 週間借りることとしている。貸出の申込書に利用期限は明記されており、口頭でも伝えている。

また、返却時の用具のメンテナンスは、貸出利用者のモラルに委ねているが、使用状態により、用具の損傷は否めない。

保管場所についても課題となっており、スペースに余裕がないためこれ以上用具の数を増やすことは厳しい状況にある。スポーツ協会が同じ事務所内にあり保管場所が同じであるため、それぞれの用具が混合しないように注意が必要である。

(7) 必要な支援・今後の展望等

現在、小学校への派遣事業でも大人用の車椅子を使っているため、子供用の車椅子があればよりスポーツを楽しんでもらえると考えている。

1-3 釧路市障害者教養文化体育施設 サン・アビリティーズくしろ

(1) 施設概要

サン・アビリティーズくしろ¹は、障害のある方の社会参加や障害者スポーツの振興の促進を通じ、障害のある方の機能の回復および向上ならびに健康の増進、障害者の文化および教養の向上などを目的とした施設である。利用可能な障害者スポーツ種目については車いすバスケットボール、ボッチャ、盲人卓球、フライングディスクなどとなっている。

また、サン・アビリティーズくしろでは車いすバスケットボールチームが活動している（(8) 参照）。



体育館（アリーナ）

釧路市 HP（サン・アビリティーズくしろ（釧路市障害者教養文化体育施設））：
https://www.city.kushiro.lg.jp/kenfuku/fukushi/shougaiha_f/shien/page00015.html

¹ 【参考】社会福祉法人釧路市社会福祉協議会 HP（指定管理者）：<http://www.kushiro-city-shakyo.or.jp>

(2) 障害者スポーツ用具の保有状況

貸出用具として、バスケットボール用車椅子を 2 台保有している。学校等への総合学習の一環として利用する目的で、障害者スポーツにご理解いただいているボランティアの団体から寄贈された。そのほかボッチャ等も貸し出している。



貸出用具（バスケットボール用車椅子）
サン・アビリティーズくしろ提供資料



貸出用具（ボッチャ）
サン・アビリティーズくしろ提供資料

(3) 貸出条件・利用者

施設職員が用具取扱い等を指導する場合、立会いができる場合は、用具の施設外への持ち出し使用も可能としている。基本的に学校等への貸出（施設職員指導及び立会いが条件）が主となっているが、サン・アビリティーズくしろを利用しての障がい者スポーツ指導員講習会などにも貸し出している。

ボッチャの用具貸出については、要請があれば職員が出向いて直接指導もしている。

(4) 貸出時の使用方法指導・メンテナンス

障害を抱えていても基本的にできないスポーツはないとの考えで指導、普及を図っている。指導については施設所属の初級及び中級障がい者スポーツ指導員に加え、車いすバスケットボールサークルのメンバーからも側面的協力を受けている（年間 10 回前後、小中学校の総合学習の授業（車いすバスケットボール）での協力参加（試合形式時それぞれのチームで生徒と一緒に参加））。メンテナンスについても同様となっている。障害者スポーツ指導には有資格者が対応すべきであり、可能な限り従事スタッフが障がい者スポーツ指導員資格を有するべきと考えている。一方で、中・上級障がい者スポーツ指導員資格取得にはある程度の時間が必要となり、主業務との兼ね合いが懸念される。

(5) 周知方法

総合学習の一環として長く活動し、広く周知されていることから、特段の周知はしていない。

(6) 課題・問題点

バスケットボール用車椅子の絶対数が少ないことからゲーム方式の対応ができない状況である。財政面も考慮しながら徐々に増やしていきたいと考えている。

(7) 必要な支援・今後の展望等

釧路市では釧路市湿原車いすマラソン大会（健常者も参加）をはじめ身体障害者スポーツ大会及び ID スポーツ大会などを 30 年以上にわたり実施してきたが、実施にあたっては手話通訳者、学生、町内会、ロータリークラブ、企業等からなどの物心両面にわたる協力が不可欠であり、今後も継続した支援をお願いしていきたい。

展望としては、バスケットボール用車椅子を現有 2 台に加え 3 台程度増やしたい。また、近年、障害者はもとより子供から高齢者まで誰でも楽しめるボッチャの人気の高まっている。サン・アビリティーズくしろでもボッチャ体験教室を開催しており、障害者スポーツのより一層の普及に努めていきたい。

(8) その他（車いすバスケットボールチーム「釧路 FREEZZ」について）

サン・アビリティーズくしろを練習拠点として週 2 回活動、年間 5 回ほど北海道の試合に参加している。チームの代表者は 1998 年長野パラリンピックスレッジスピードレースで当時の世界新記録を更新するなど 3 つの金メダルと 1 つの銀メダルを獲得した武田豊氏で、女子メンバーには同じく長野パラリンピック同種目で銅メダルを獲得した河島明美氏も所属する釧路管内唯一の車いすバスケットボールチームでもある。活動歴史も永く 30 年を有に超えており、息の長い活動を続けている。市内外の学校等への総合学習時においても車いすバスケットボールの魅力や普及拡大に協力している。

また、車いすバスケットボール女子チームでは日本で最初に誕生し、東京では唯一の女子チーム「GRACE (グレイス)」とは釧路での合同合宿を毎年行っており、合宿を通して車いすバスケットボールの普及と周知を図っている。

1-4 千葉市

(1) 概要

千葉市では東京 2020 大会の開催を機に、障害者と健常者が共にスポーツを楽しむまちを目指し、障害者のスポーツ参加促進や身近な地域でのパラスポーツ普及に力を注いでいる。また、スポーツ振興基金を創出し、千葉ポートアリーナをはじめとした市内 6 区の拠点体育館へパラスポーツ競技用具を整備するとともに市民への貸出を行っている。



バスケットボール用車椅子 左：大人用 右：子供用

千葉市 HP : <https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/sports/parasportskasidasi.html>

(2) 障害者スポーツ用具の保有状況

千葉市は世界的に有名な競技用車椅子メーカーの本社があるほか、車いすバスケットボールや車いすラグビーのチームが市内を拠点に活動するなど、元来車いすスポーツに馴染みの深い都市であった。千葉ポートアリーナを車いすバスケットボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点として指定するとともに、車いすスポーツの国際大会を誘致し観戦機会をするほか、車いすスポーツを一つの切り口として多くの方にパラスポーツに関心をもってもらうため競技用車椅子を整備した。

また、千葉市はパラリンピックの競技開催都市として、開催競技であり団体競技として多くの方が楽しめる「ゴールボール」、「シッティングバレーボール」についても競技用具を購入した。

その他、障害の有無や年齢などに関係なく誰もが楽しめるボッチャにも着目し、パラスポーツへの関心を高める有効なツールとしてボッチャ用具と簡易コートを整備している。



ボッチャ競技用具



ボッチャ簡易コート

千葉県 HP : <https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/sports/parasportskasidasi.html>

(3) 貸出条件・利用者

できるだけ多くの市民に使用してもらえるよう、使用料を無料としており、市外の他自治体からの貸出要望も多いが、市民利用を最優先としている。市民のparasportsと接するきっかけづくりとしての体験を主眼としていることから、競技者が大会に出場するための使用は許可していない。また、基金からの拠出であることから営利での利用を禁じている。

全ての用具について、使用場所を限定していることはない。自宅でも、公民館でも利用者の希望の場所で利用可能である。ただし、運搬は利用者自身で行うこととしている。

地元のボッチャサークルでの貸出や企業の研修、企業運動会での利用もある。個人利用はほとんどなく、団体やチームでの利用が多い。

(4) 貸出時の使用方法指導・メンテナンス

使用方法については依頼があれば保管施設で職員が説明している。メンテナンスも保管施設の職員が貸出前、貸出後に目視で確認している。万が一破損があった場合、原因者が利用者の場合は利用者負担、そうでない場合はスポーツ振興課で修理費を負担している。

競技のルールや指導の要望がある場合には市内、県内の競技団体に指導を依頼できる体制を整えている。講師 1 人あたり 5,000 円、依頼者負担としている。用具は破損が必要と判明した時点で修理を実施しているが、定期的なメンテナンスを実施する考えはない。

(5) 周知方法

千葉市のホームページに掲載、また貸出を行っている千葉市内 6 区の拠点体育館で広報ポスターを掲示している。興味を持ってもらった施設利用者がすぐに使えるよう、手続きを簡素化している。

(6) 課題・問題点

現在、健常者体験向けの用具整備は一巡したと考えており、今年度と来年度は市内障害者スポーツの拠点となっている施設にヒアリングを実施し、障害者からの要望に応える形で用具整備を行っている。今年度は車椅子用卓球台、来年度は障害者用ボッチャ用具（握力がない競技者用のオーダーメイド用具）。パラリンピック終了まではパラスポーツへの関心は高いと思われるが、パラリンピック以降、一気に関心が薄れると予想している。そんな中、人気の高いボッチャ以外の用具をどのように活用するのが課題となる。

具体的には車いすスポーツ未体験の障害者に一定期間、あるいは無期限での車椅子貸出実施、揃えた種目で市民大会を開催することで興味関心を維持することで用具活用につなげたい。

(7) 必要な支援・今後の展望等

スポーツに興味を持っている障害者に対して、その障害に適したスポーツの紹介や、継続的なスポーツ活動につなげるため地元のスポーツサークルなどとのマッチングを行う制度を確立させること（千葉市は昨年度からパラスポーツコンシェルジュを設立し、この任にあたっている）、障害者と健常者が同じ場所、同じ日程で競技を行う環境の整備（バレーボールの市民大会で、シッティングバレーも同時に行うなど）が重要となる。障害者スポーツをスポーツ施策と一体的に推進する組織づくりが必要である。また、スキルと体力が必要な競技性の高い種目だけでなく、「楽しい」が全面に来るレクリエーション的なパラスポーツの紹介と普及。障害者もできるスポーツやレクリエーションに障害者が入っていけるような機運の醸成も課題として挙げられる。

パラスポーツの用具購入は来年度で終わる予定のため、用具活用につながる大会の実施を検討中である。障害者のスポーツ実施率向上につなげ、障害者の利用率を上げていくため、今後も施設や支援学校への障害者スポーツ用具の案内に努めていく。

1-5 大阪府立障がい者交流促進センター ファインプラザ大阪

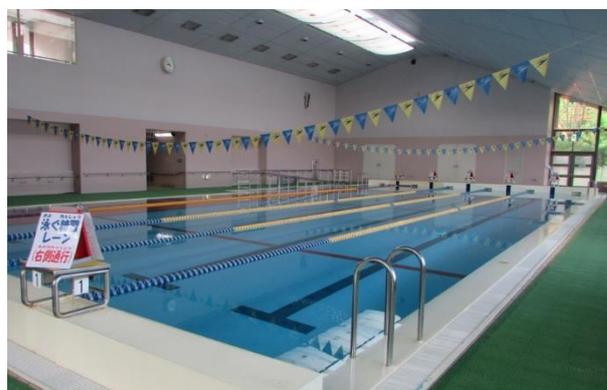
(1) 施設概要

ファインプラザ大阪は昭和 56 年の国際障害者年を契機に、スポーツ・文化・レクリエーションを通じて、障害者の自立と社会参加を促進し、広く人々との交流を図るふれあいの場として昭和 61 年に設立された施設で、障害のあるなしに関わらず、だれでも利用が可能である。

プール、体育館やトレーニング室に加え、アーチェリー場やサウンドテーブルテニス室を有する。また、障害のある方を対象に競技スポーツ練習会を開催している（種目：陸上・水泳・卓球・STT・アーチェリー・フライングディスク・車いすハンド・ボッチャ・車いすバスケ・シッティングバレー）。そのほか、障がい者スポーツ指導員のスポーツ相談を月 2 回実施するなど、これから運動を始める方から継続されている方まで様々な運動の実施について相談・情報提供している。平成 25 年度、大阪府から大阪府障がい者スポーツ協会が移管され、施設と協会が一体的に府内の障害者スポーツ振興を図っている。



施設外観



プール

ファインプラザ大阪 提供資料

(2) 障害者スポーツ用具の保有状況

バスケットボール用車椅子やレーサーなど幅広い用具を保有している。貸出用として整備した訳ではなく、施設利用者や事業開催のために整備したものを外部への貸出にも活用している。(備品の使用の優先順位：①施設利用者及び事業での使用 ②外部への貸出。)したがって、保有用具の種類決定も、施設利用者や事業開催のために整備したもののうち、外部への貸出ができるものについては貸し出しているという状況である。用具を増やす際は、事業に必要な数量を確保することとしている。(破損等により買い替えを要する場合は会議等で検討、購入)。



貸出用具（車椅子）

ファインプラザ大阪提供資料

(3) 貸出条件・利用者

施設外への持ち出しにより、府内各地で活用されることでパラスポーツが広く認知され、障害理解やパラスポーツの振興につながると考えているため、施設外へ持ち出す貸出も行っている。

貸出手続きには「事前申請書の提出」を求めている。これは、備品の使用は開催事業を優先するため日程調整を行う必要があることや、ダブルブッキングや口頭でやりとりすることによるトラブルを防ぐことを目的としている。

施設利用者（個人利用・団体利用）が利用しているほか、開催事業の参加者が利用している。外部への貸出は、学校・企業・団体に限定しており、このうち9割が学校である。

(4) 貸出時の使用方法指導・メンテナンス

貸出用障害者スポーツ用具の使用法の指導は、利用者の安全を守る観点で行っている。メンテナンスについては、備品を購入する以上必要な業務として想定しているが、貸出件数増に従って故障も増え、開催事業に必要な備品の数量が確保できなくなる可能性が出てきたため、定期的な点検やメンテナンスを強化するようになった。

メンテナンスは主に有資格者（障がい者スポーツ指導員資格を持つ職員）が行うことで、備品がどのように扱われるモノか理解した上で作業ができるため効率が良いと考えている。ただし、メンテナンスに要する時間やそれにかかる人件費等を勘案し、今後は業者への外注も検討していく必要を感じている。また、指導・メンテナンスを行う上で、競技に精通した選手等から情報収集できるつながりを維持・開拓していくことも必要と考えている。

(5) 周知方法

施設のホームページに用具の貸出情報を掲載している。また、学校等で出前事業を行う際（小中高の支援学校・支援学級をはじめ、一般校でも実施）や、教員を対象にしたパラスポーツの研修会等を開催した際に貸出事業について周知している。特にニーズの多い車椅子については、故障のリスクも勘案し、これら事業において車椅子に触れ、使用方法を理解された先生（学校）へ貸出を制限している。

(6) 課題・問題点

備品台数が限られるため、貸出期間を最長（概ね）1週間と定めていることから、貸出先で備品を活用する展開にも限界がある。少額であっても有料での貸出とし、メンテナンス等費用を捻出するなど貸出事業によるより良いスポーツ振興を検討していきたい。

外部への貸出については積極的に行いたい半面、取り扱いに不慣れな人の使用時に備品が故障するケースが多いこともあり、使用方法の指導の精度を高めていく必要がある。

(7) 必要な支援・今後の展望等

学校、地域、競技団体、指導者団体等あらゆる関係機関との連携により、障害者スポーツの周知・振興を図っていくことに注力している。また、SNSの活用による周知広報に注力していきたいと考えている。

5 障害者スポーツ用具の貸出対応施設・協会・団体一覧

アンケート結果をもとに、障害者スポーツ用具の貸出を行っている施設、協会、団体の情報をリスト形式で掲載する。

番号	都道府県	施設名	住所	電話番号	URL	施設での実施可能種別数 ※アンケート をもとに変任 集計した数字 (外)	貸出用具		障害者スポーツ用具の 貸出条件	障害者スポーツ用具の 使用方法的指導の有無	
							車椅子 (レジャー用 以外)	チェアスキー (車椅子 用)			
1	北海道	釧路市障害者救済文化体育施設 サン・アビリティースクエア	釧路市鳥取町1丁目2番20号	0154-51-9865	https://www.city.kushiro.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	10	2	フットサルゴール一式 他	施設の水：○ 押出可：■ どちらでも可：○	○	
2	東京都	青森県身体障害者福祉センターぬむのき会館	青森市大野町字今田52番地4号	017-738-5033	http://mmmk.jp/	21	8	ポッチャ、フライングディスク、 ディスクランチャー、車輪ハレー	施設内でだけ貸し出す用具と 施設外へも貸し出す用具の区 別がある。施設外への貸出条 件は、期間は最大2週間ま で、来館して受け取り返却す ること。	基本的に指輪は行っ ておらず、使用方法的指導 は行っていない。	
3	秋田県	秋田県助身障者福祉センター	秋田市新藤 下川原町2番4号	018-583-7762	https://www.akl-arts.or.jp/sports/03.html	21	4	ポッチャセット/グラウンドゴル フセット/卓球台/フライングディ スク用具他		○	
4	群馬県	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	群馬県伊勢崎市下俣町238-3	0270-62-9000	http://www.furuaiki.com/	39	47	弓具一式 他		○	
5	埼玉県	埼玉県障害者交流センター	埼玉県熊谷市大宮6-5-1	043-253-6111	http://shibascr.com/	32	32	チェアスキー 3台・バイス キー2台		○	
6	千葉県	千葉県障害者スポーツ・レクリエーション センター	千葉県稲毛区天谷6-5-1	043-253-6111	http://shibascr.com/	16	20	ポッチャ一式32年用(公式レ クリエーション) 他		○	
7	千葉県	千葉市(千葉ポートアリーナ他6施設)	千葉市		https://www.city.chiba.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	43	43	ポッチャ、ゴルフボール、陸上機 械用車椅子、バスケットボール用 車椅子、テニス用車椅子 等	【バスケットボール用車椅子(大人用)】 千葉ポートアリーナ：10台 その他各体育施設：6台 【バスケットボール用車椅子(子供用)】 千葉ポートアリーナ：3台 【ポッチャ競技用具】 千葉ポートアリーナ：4セット その他各体育施設：3セット	○	
8	東京都	駒沢オリンピック公園総合運動場	世田谷区駒沢公園1-1	03-3421-6199	https://www.of.or.jp/abr	45	0	シッティングハレー一式 他		○	
9	東京都	東京都障害者スポーツセンター	東京都北区十条1-2-2	03-3907-5631	https://hand.sport.or.jp/	48	35	ポッチャ一式 他	現在は新型コロナウイルス予防のため、館外 貸出は行っていない(4/13現在)	○	
10	東京都	東京都障害者スポーツセンター	東京都立市富士台5-1-1	042-773-3811	https://hand.sport.or.jp/	19	37	ポッチャ一式 他	現在は新型コロナウイルス予防のため、館外 貸出は行っていない(4/13現在)	○	
11	東京都	東京都武蔵野	足立区練馬3-20-1	03-5697-2111	https://www.pst.kansai-nippon-bank.co.jp/face/6464.html	1	4			○	
12	神奈川県	神奈川県立スポーツセンター	神奈川県横浜市港町1-2	0466-81-2570 (代表)	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	41	17	有		○	
13	神奈川県	川崎市立市民文化館市民スポーツ室	川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎アビリティースクエア	044-200-3547	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	10	10	ポッチャセット10セット保管 車椅子：バスケットボール用	川崎市が主催する事業、障害 者スポーツイベント・体験会 等での使用	○	
14	石川県	金沢市障害者高齢者体育館	石川県金沢市別荘156-1	058-233-7500	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	16	10	ゴルフボール用具一式 他		○	
15	長野県	長野県がいの福祉センターサンプアップル	長野県長野市長倉津光太町2075-28	058-233-8822	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	1	2			○	
16	岐阜県	岐阜県がいの福祉センターサンプアップル	岐阜県岐阜市武蔵町竹原970番地1	0573-28-3390	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	1	0	氷上イス：5台		○	
17	岐阜県	岐阜県スポーツ科学センター-御嶽湖河高地 トレーニングセンター	岐阜県下呂市小坂町南香2276-1	0576-62-3088	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	1	0	障がい者スポーツ用卓球台： 2台		○	
18	愛知県	安城市総合福祉センター	安城市		https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	2	0	ポッチャ6セット		○	
19	愛知県	豊田市障がい者総合福祉会館 (サン・アビリティーズ豊田)	豊田市山崎町5-2-6	0565-33-5631	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	10	2	スポーツウェア等収納用具 一式 他		○	
20	愛知県	名古屋障害者スポーツセンター	愛知県名古屋市長区新子坊二丁目 1501番地	052-703-6633	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	お問い合わせ ください	お問い合わせ ください	車椅子： バスケットボール用、テニス用あり	用具によって異なる	○	
21	三重県	三重県身体障害者福祉センター	三重県津市一身田大古倉670番地2	059-231-0155	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	18	21	アームチェア用具一式		○	
22	滋賀県	滋賀県立障害者福祉センター	滋賀県立		https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	15	12		用具によって異なる	○	
23	京都府	京都府障害者スポーツセンター	京都府南区上鳥羽区/鼻上河原 37-4	075-682-7140	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	28	20	ポッチャ用具一式 他	用具によって異なる	○	
24	京都府	京都府障害者救済文化・体育会館	京都府南区亀山台5丁目番2号	072-296-6311	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	19	5	ポッチャ用具一式 他	用具によって異なる	○	
25	大阪府	大阪府障がい者交流促進センター ファイブプラザ大阪	大阪府東淀川区山崎5丁目番2号	072-275-5029 FAX: 072-243-4545	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	42	22	フライングディスク用具一式 他		○	
26	大阪府	堺市立障害福祉プラザスポーツセンター	堺市東区境ヶ丘中町4丁目3番1号		https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	20	20	ポッチャ用具一式：12セット、ラ ンプ：3セット	用具によって異なる	○	
27	大阪府	大阪府立福生スポーツセンター	大阪府中央区豊上通3-1-32	078-271-5330	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	20	2			○	
28	兵庫県	神戸市障害者スポーツ福祉センター	神戸市中央区磯上通3-1-32		https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	11	12	ポッチャ他		要相談	
29	岡山県	岡山市障害者体育センター	岡山市		https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	19	2			○	
30	広島県	広島県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター-おりづる	広島県広島市南区東区2丁目1番5号	082-261-2333	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	38	22	フライングディスク用具一式 他	車椅子：テニス7、バスケット15	○	
31	広島県	広島市心身障害者福祉センター	広島市東区光町二丁目1番10号	084-931-1833	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	11	20-25	チェアスキー 4台・バイス スキー3台	特になし(要相談)	○	
32	広島県	福山市障害者体育センター	福山市港町一丁目11番10号	084-931-1833	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	19	5			○	
33	山口県	下関市障害者スポーツセンター	山口県下関市豊後町三丁目4-1	083-232-1846	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	19	3			○	
34	香川県	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	高松市田井町1114番地	087-587-7686	https://www.kagawa-eha.net/abvsh.html	詳細はお問い合わせ ください	2	2	ツインバスケットボールゴール、 シッティングバレーボール支柱、 ポッチャボール等、体育館に常備 車椅子：バスケット台 出している。詳細品以外のものは貸し 出している。	障害者団体と障害者をサポートす る団体のみとし、一般の方へ の貸出はしない。障害者 団体等目的により、一般へ の貸出は行っている。	○
35	愛知県	サン・アビリティーズ今治	愛知県今治市藤田村二丁目1番10号	0898-48-3477	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	14	15			○	
36	福岡県	福岡市障がい者スポーツセンター	福岡市南区清水1-17-15	092-511-1132	https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	27	48	ランプ(手動)：3セット		用具によって異なる	
37	熊本県	熊本県身体障害者福祉センター	熊本県		https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	18	15			○	
38	鹿児島県	ハートピアアコース	鹿児島県		https://www.city.yokohama.lg.jp/ann/abv/abvsh/abvsh0015.html	22	12	アームチェア用具：2セット		用具によって異なる	

都道府県	協会・団体名	住所	電話番号	URL	施設での実施可能競技数 ※アンケート票をもとに変任者において集計した数字	貸出用具				障害者スポーツ用具の貸出条件	障害者スポーツ用具の使用方法的指導の有無
						車椅子（レジャー以外）	チェアスキー等（冬季競技）	その他	備考		
1 秋田県	秋田県障害者スポーツ協会	秋田県秋田市長北原町1-5 秋田県社会福祉会館内	018-854-2750	http://www.akita-ssb.jp/	/	0	3	ポッチャ、フライングディスクなど	障害者、指導者優先	○	
2 茨城県	茨城県障害者スポーツ文化協会	茨城県水戸市並原町978-6（順子13階） 茨城県障害者福祉会館内	029-301-3375	http://www.itsukushima-shibuhai.or.jp/	/	1		ポッチャ、フライングディスク	○	○	
3 栃木県	（特約）栃木県障害者スポーツ協会	栃木県宇都宮市並木1-10-6 とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター内	028-824-2761	http://www.tokushima-shibuhai.or.jp/	約10競技	20		ポッチャ、フライングディスク他 車椅子：バスケットボール用	○	○	
4 富山県	富山県障害者スポーツ協会			http://www.toyama-ssb.jp/	/	24	6	ポッチャセット他	用具は全て外部へ持ち出し	○	
5 石川県	石川県障害者スポーツ協会			http://www.ishikawa-ssb.jp/	/	8	1	ポッチャ一式 5セット カローリング一式（12ローラー） 3セット	用具によって相談	○	
6 福井県	しあわせ福祉スポーツ協会	福井県福井市2-20 （福井運動公園事務所内）	0776-43-9712	https://hisa21.net/	/	17	3	ポッチャ、フライングディスク他 【車椅子】 バスケットボール用：10台 卓球用：2台 【レジャー】 5台 大人用1台、子供用2台	協会の会員（個人会員1,000円/年、団体会員3,000円/年） ※誰でも会員の登録が可能	○	
7 長野県	長野県障がい者スポーツ協会	長野県長野市下駒町586 長野県障がい者福祉センター内	026-295-3661	https://www.nagano-ssb.jp/	/	8	3		○	○	
8 大阪府	大阪市障害者福祉・スポーツ協会 スポーツ推進室	大阪府東住吉区長寿公園1-32 長寿障がい者スポーツセンター	06-6006-1631	http://www.osakashi-shibuhai.or.jp/	/	10		ポッチャ用具一式 他	○	○	
9 大阪府	大阪府障がい者スポーツ協会	大阪府堺市南区福山台5-1-2（7ファイ ンブタザ大館内）	072-296-6311	http://www.osaka-ssb.jp/	/	お問合せください		ポッチャ、フライングディスク・ 車椅子等	用具によって異なる	○	
10 山口県	山口県障害者スポーツ協会	山口市八幡町36-1 山口県身体障害者福祉センター内	083-901-4065	http://www.yamaguchi-shibuhai.or.jp/	15	3	4	1	ポッチャ 他	○	
11 徳島県	徳島県障がい者スポーツ協会	徳島県美波町三好2丁目1-59 （徳島県徳島市社会福祉事業団内）	088-634-2000	http://www.tokushima-shibuhai.or.jp/	/	3	3		ジャベリックスロー 他	○	
12 愛媛県	愛媛県障がい者スポーツ協会	愛媛県松山市道後2-12-11 愛媛県身体障がい者福祉センター内	089-824-2101	http://www.ehime-shibuhai.or.jp/	19	11			ポッチャ用具一式 他	○	
13 福岡県	福岡県障がい者スポーツ協会	福岡県福岡市中央区東戸3丁目3番39 号 福岡市長福祉プラザ 3F	092-781-0561	http://www.fukuoka-ssb.jp/	/	0		フライングディスク用具一式 他	○	○	
14 佐賀県	佐賀県障がい者スポーツ協会	佐賀市天志1丁目8-5 勤労身体障害者職業文化体育館	0952-24-3809	https://sasagaki-shibuhai.or.jp/	/	9		協会ホームページに掲載	○	○	
15 長崎県	一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会	長崎県長崎市京里町3-24 【事務局本部（講演用）】 東京都文京区春日1-16-30 講演室4階	095-894-9686	http://nagasaki-shibuhai.or.jp/	/	5		ポッチャ 3セット 他 車椅子：マルホススポーツ車椅子	要相談	○	
16 東京都	日本視覚障害者会連盟	東京都港区有楽町1-2-2 日本財団ビル4F	03-3811-5800	https://huhb.or.jp/	1	0		蒸気車（子供用おもちゃ）、 アイマスク	※蒸気車は使用後 クリーニングして返却	○	
17 東京都	日本肢体不自由者卓球協会	東京都港区有楽町1-2-2 日本財団ビル4F	03-6229-5427	http://jtbl.or.jp/	/	0		ハラ卓球台：3台	○	○	
18 東京都	日本いすカーリング協会	東京都港区有楽町1-2-2 日本財団ビル 4階 公益財団法人日本財団ホール ピタカサポートセンター内	03-6229-5439	http://nhk-outing.com/	/	2		車いすカーリング用具（足部の車 椅子とスライク10本（東京の事 参照））	※その場、レンタル用にスライクを2、 3本揃えている地方のカーリング施設あり	○	
19 東京都	一般社団法人日本ポッチャ協会			http://japan.pocha.com/	/	0		ポッチャゲームセット	用具によって異なる	○	
20 兵庫県	一般社団法人日本ハラ水泳連盟	【事務局本部】 神戸市東灘区住吉ヶ丘2丁目5番地3ア フレスト第25205 【東京事務所】 東京都港区有楽町1-2-2 日本財団 ビル4階 日本財団ホールピタカサ ポートセンター内	080-4275-2775	http://harawater.jp/	/	0		障害障がい者用合図機（タッペン クチャバイスともいう）、最大は本 アタカゴール（黒く塗りつぶ したゴール）、最大10個	ハラ水泳視覚障がい者の体験 会や広報展示（期間のもの） 料）	○	
21 熊本県	一般社団法人日本車いすミニスケット協会			http://minis.com/	1	10		車椅子・ラケット・ ミニスケット	施設外での有料貸出となって いる	○	

1. 事業概要

令和2年度 障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究

<目的>

スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、日本各地において障害者が健常者と同様にスポーツに親しめるようにするためには、各地域で抱える課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備を図ることが不可欠である。平成29年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」においても、障害者スポーツ振興のための体制や方策の充実を重点的に盛り込んでいる。このことから、本事業では、障害者がスポーツに参加するに当たっての阻害要因や促進要因を障害種別や程度別に把握した上で分析するなどの調査研究を実施することにより、障害者のスポーツ参加促進に資することを目的とする。

<調査概要>

①障害児・者のスポーツライフに関する調査

- 全国の障害者及び障害者を家族に持つ方々を対象として、障害に関する基本情報、スポーツ・レクリエーションの実施状況(実施種目、頻度、目的等)、スポーツ実施における障壁、今後行いたいと思うスポーツ・レクリエーション、スポーツクラブや同好会・サークルへの加入状況、過去1年間のスポーツ観戦の実態、スポーツ観戦における障壁等を調査した。

②障害者スポーツ施設等における障害者スポーツ用具の保有・貸出状況等の調査

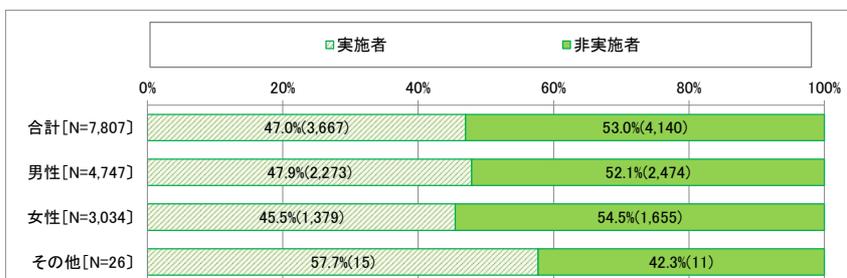
- スポーツ車いす、スポーツ義足等の用具を利用してスポーツを実施することを希望する障害者を対象に、これらの障害者スポーツ用具の地域の保有資源を有効活用してスポーツを実施できる仕組みを構築するため、障害者スポーツ施設やスポーツ団体等における、スポーツ車いす、スポーツ義足等の用具の利用を希望する障害者を対象とした用具をシェアする仕組みの有無に係る調査を実施した。

1

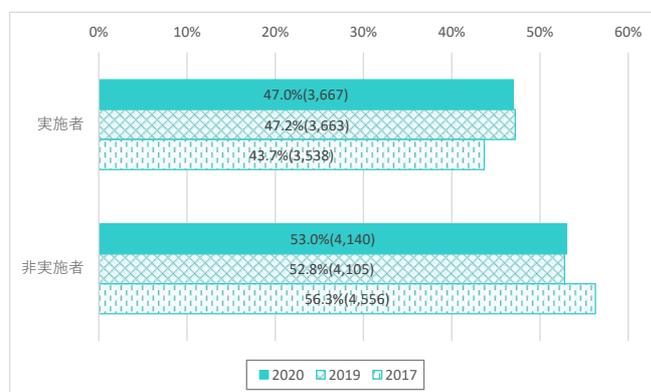
2. 調査結果 ①障害児・者のスポーツライフに関する調査

■ アンケートの結果、過去1年間に何らかのスポーツ・レクリエーションを行った割合をみると、男性で47.9%、女性で45.5%という結果となった。

■ 2019年度調査と比較すると、実施者の割合は47.2%から47.0%となり、ほぼ横ばいである。新型コロナウイルス感染症がスポーツの実施に何らかの影響を与えていた可能性も考えられる。



図表1 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無

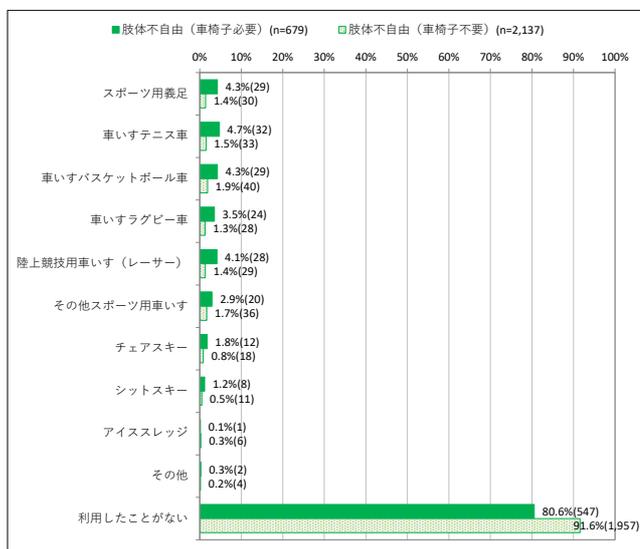


図表2 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの実施の有無 (過去との比較)

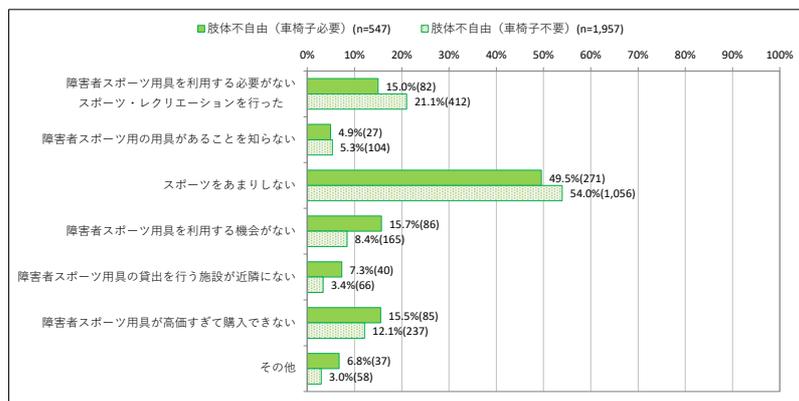
2. 調査結果 ①障害児・者のスポーツライフに関する調査

■障害者スポーツ用具の利用経験について障害種別を肢体不自由に絞ってみると、「利用したことがない」が8割以上という結果になった。

■障害者スポーツ用具を利用したことがない人にその理由を聞くと、「スポーツをあまりしない」の割合が約半数を占めた。



図表3 利用したことがある障害者スポーツ用具



図表4 障害者スポーツ用具を利用したことがない理由

3

2. 調査結果 ①障害児・者のスポーツライフに関する調査

その他の主な調査結果

過去1年間に実施したスポーツ・レクリエーションの上位種目は、「ウォーキング」「散歩（ぶらぶら歩き）」

・過去1年間にスポーツ・レクリエーションを実施した人が行った種目は、「ウォーキング」「散歩（ぶらぶら歩き）」の割合が高い。

スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけは「特にない・なんとなく」

・スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけは、「特に理由はない・なんとなく」が約4割だが、障害種別にみると、肢体不自由は「作業療法士（OT）・理学療法士（PT）・看護師等のからの奨め」の割合が他より高い。

スポーツ・レクリエーションを行う主な目的は、「健康の維持・増進のため」

・スポーツ・レクリエーションを行う目的は、主に「健康の維持・増進のため」であった。障害種別にみると、知的障害・発達障害・精神障害は「気分転換・ストレス解消のため」の割合が約2割と他の障害種別より高くなっている

スポーツ実施者は「学校体育を楽しんでいた」割合が高い

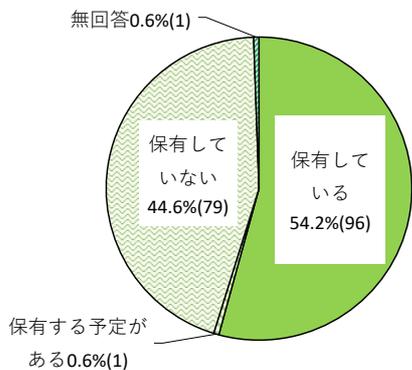
・「学校体育を楽しんでいたかどうか」が、その後のスポーツ・レクリエーションの実施状況に影響があるかみると、スポーツの実施者は学校体育を楽しんでいた割合が非実施者に比べて高い。

4

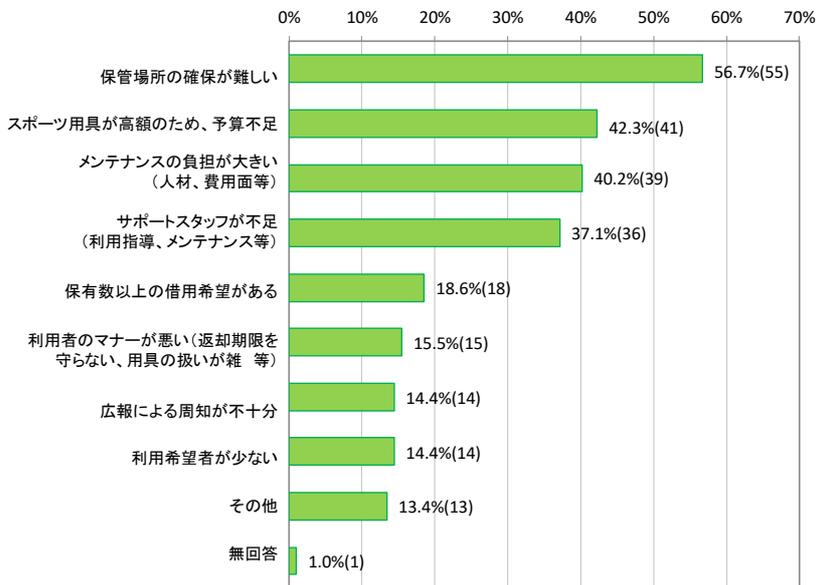
2. 調査結果 ②障害者スポーツ施設等における障害者スポーツ用具の保有・貸出状況等の調査

■貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況については、「保有している」が54.2%という結果になった。

■障害者スポーツ用具の貸出における問題点は、「保管場所の確保が難しい」(56.7%)の割合が最も高かった。



図表5 貸出用の障害者スポーツ用具の保有状況



図表6 障害者スポーツ用具の貸出における問題点

5

3. ヒアリング調査結果（アンケート結果をもとに抽出）

対象	概要
長野県障がい者福祉センター「サンアップル」	本館と、サテライト4か所を長野県内に設置。今年4月からは貸出備品を増量、利用者の障害の有無を問わず、競技用車椅子、ゴールボール、ポッチャ等を貸出する予定。サテライト施設では出張スポーツ事業を行い、依頼元の教育、福祉、スポーツ関係団体からの要望に応じた運動支援指導をしている。
広島県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センターおりづる	テニス用車椅子7台とバスケットボール用車椅子15台の計22台を保有、貸出を実施。一般の小中学校等でスポーツ用車椅子を体験できる外部派遣事業(地域派遣事業)を行っている。
釧路市障害者教養文化体育施設 サン・アビリティーズくしろ	貸出用具として、バスケットボール用車椅子を2台、そのほかポッチャ等を保有。週2回、同施設を練習拠点とする車いすバスケットボールチーム「釧路FREEZZ」が年間10回前後、小中学校の総合学習の授業(車いすバスケットボール)で協力参加している。
千葉市	東京2020大会の開催を機に、障害者と健常者が共にスポーツを楽しむまちを目指し、障害者のスポーツ参加促進や身近な地域でのパラスポーツ普及に力を注いでいる。また、スポーツ振興基金を創出し、千葉ポートアリーナをはじめとした市内6区の拠点体育館へパラスポーツ競技用具を整備するとともに市民への貸出を行っている。
大阪府立障がい者交流促進センター ファインプラザ大阪	バスケットボール用車椅子やレーサーなど幅広い用具を保有。施設利用者や事業開催のために整備したものを外部への貸出にも活用している。

6